

2022年度厚生労働省委託事業  
製造請負事業実態把握調査  
報告書

2023年3月

一般社団法人 日本 BPO 協会

## 目次

はじめに 調査実施概要 .....	1
1. 調査の目的・背景 .....	2
2. 調査の内容 .....	2
(1) 調査対象 .....	2
(2) 調査方法 .....	3
(3) 調査期間 .....	3
(4) 調査項目 .....	4
(5) 有効回収数 .....	6
3. 調査結果の概要（問題点・課題等）について ※ [ ] 内は参照ページ及び図表番号 .....	7
I. 発注者（委託元） .....	20
1. 委託業務の概要 .....	21
(1) 発注者の概要 .....	21
2. 委託業務の活用 .....	24
(1) 委託業務と派遣労働者の活用状況 .....	24
(2) 委託業務の生産品目 .....	25
(3) 委託業務の人数規模 .....	26
(4) 業務委託（アウトソーシング）の目的 .....	27
3. 委託業務の実態 .....	28
(1) 委託業務への指示 .....	28
(2) 委託業務を行っている現場の状況 .....	29
(3) 委託業務の内容・範囲の明確化 .....	30
(4) 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 .....	31
(5) 委託業務での機械・設備等の使用状況 .....	32
4. 適正な請負 .....	33
(1) 偽装請負への不安 .....	33
(2) 適正な請負を行うための知識の認知 .....	34
(3) GJ 認定制度の認知経路 .....	39
5. 請負事業者との関係 .....	40
(1) 発注量変動への対応 .....	40
(2) 急激な生産減になった場合の委託先への補償 .....	41
(3) 委託料金の設定・支払い方法 .....	42
(4) 生産性向上と委託料金の見直し状況 .....	43
(5) 委託料金の値上げ申し入れへの対応 .....	44
(6) 値上げに応じる際に重視する理由 .....	45
(7) 委託先に求める重視ポイント .....	46
(8) 安全衛生管理の委託先との連携 .....	47

6.	今後の事業運営 .....	51
	(1) 技術革新の委託業務への影響 .....	51
II.	受託者（請負事業者） .....	52
1.	請負業務の概要 .....	53
	(1) 受託者の概要 .....	53
2.	請負業務の状況 .....	60
	(1) 請負業務の生産品目 .....	60
	(2) 請負業務の人数規模 .....	61
	(3) 請負業務の有期契約雇用者の割合 .....	62
3.	請負業務の実態 .....	63
	(1) 発注者の請負業務への指示 .....	63
	(2) 請負業務を行っている現場の状況 .....	64
	(3) 請負業務の内容・範囲の明確化 .....	65
	(4) 請負業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 .....	66
	(5) 請負業務での機械、設備等の使用状況 .....	67
4.	適正な請負 .....	68
	(1) 偽装請負への不安 .....	68
	(2) 適正な請負を行うための知識の認知 .....	69
	(3) GJ 認定制度の認知経路 .....	74
5.	発注者との関係 .....	75
	(1) 発注量変動への対応 .....	75
	(2) 急激な生産減になった場合の発注者からの補償 .....	76
	(3) 請負業務の料金設定・請求方法 .....	77
	(4) 生産性向上の請負料金の見直し状況 .....	78
	(5) 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 .....	79
	(6) 受注のためのアピールポイント .....	80
	(7) 安全衛生管理の発注者との連携 .....	81
6.	請負労働者の雇用管理 .....	85
	(1) 請負業務の従業員の1年以内の離職状況 .....	85
	(2) 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み .....	86
	(3) 請負業務の従業員に実施したい研修 .....	94
	(4) 内部通報窓口・相談窓口の設置状況 .....	95
7.	請負業務の問題・課題 .....	98
	(1) 請負業務の問題・課題 - 取引き、料金、請負契約 .....	98
	(2) 請負業務の問題・課題 - 業務運営、職場 .....	99
	(3) 請負業務の問題・課題 - 人事、労務、組織 .....	100
8.	今後の事業運営 .....	101
	(1) 技術革新の請負業務への影響 .....	101

(2)	技術革新による請負業務への懸念、課題 .....	102
III.	請負労働者 .....	104
1.	請負労働者の概要 .....	105
(1)	請負労働者の概要と現在の労働環境 .....	105
(2)	近い将来の働き方（雇用契約）の希望 .....	110
(3)	有期雇用社員を希望する理由 .....	111
(4)	給与の単価の変化.....	112
2.	業務の実態 .....	113
(1)	発注者からの業務についての指示.....	113
(2)	業務の現場の状況.....	114
(3)	IT化、自動化、デジタル化の状況.....	115
(4)	IT化、自動化、デジタル化の影響.....	116
(5)	内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況.....	123
3.	教育・研修.....	126
(1)	教育・研修を受けた経験 .....	126
(2)	今後受けたい教育・研修 .....	127
(3)	今後受けたい教育・研修の理由 .....	128
4.	キャリア形成支援 .....	129
(1)	キャリア面談を受けた経験 .....	129
(2)	キャリアパスの提示.....	130
5.	能力評価、処遇.....	131
(1)	評価の仕組みの有無・説明状況 .....	131
(2)	仕事上の貢献の処遇への反映 .....	132
6.	働き方について.....	133
(1)	今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望.....	133
(2)	仕事や働き方に関して重視していること.....	134
IV.	テーマ別調査結果.....	136
1.	コンプライアンス.....	137
(1)	発注者（委託元） .....	137
【1】	委託業務への指示について（Q9） [図表①～⑥] .....	137
【2】	委託業務を行っている現場の状況について（Q10） [図表⑦].....	140
【3】	委託業務の内容・範囲の明確化について（Q11） [図表⑧～⑪] .....	141
【4】	偽装請負への不安について（Q14） [図表⑫～⑭].....	143
【5】	委託料金の設定・支払い方法について（Q19） [図表⑮～⑰].....	145
(2)	受託者（請負事業者） .....	149
【1】	発注者の請負業務への指示について（Q9） [図表①～⑥].....	149
【2】	請負業務を行っている現場の状況について（Q10） [図表⑦].....	152
【3】	請負業務の内容・範囲の明確化について（Q11） [図表⑧～⑪] .....	153



【4】偽装請負への不安について（Q14） [図表⑫～⑭]	155
【5】請負業務の料金設定・請求方法について（Q19） [図表⑮～⑰]	157
(3) 請負労働者	161
【1】発注者からの業務についての指示について（Q11） [図表①]	161
2. 価格交渉の成否	162
(1) 発注者（委託元）	162
【1】委託料金の値上げの申し入れへの対応について（Q21） [図表①～⑥]	162
【2】委託先に求める重視ポイントについて（Q23） [図表⑦]	165
(2) 受託者（請負事業者）	166
【1】請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応について（Q21） [図表①～⑥]	166
【2】受注のためのアピールポイントについて（Q22） [図表⑦]	170
3. 労働者の定着	171
(1) 受託者（請負事業者）	171
【1】請負業務の従業員の1年以内の離職状況について（Q24） [図表①～⑧]	171
(2) 請負労働者	175
【1】仕事上の貢献の処遇への反映について（Q22） [図表①～④]	175
【2】今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望について（Q23） [図表⑤～⑨]	177
【3】キャリア面談を受けた経験について（Q19） [図表⑩]	182
【4】キャリアパスの提示について（Q20） [図表⑪]	183
【5】評価の仕組みの有無・説明状況について（Q21） [図表⑫]	184
【6】仕事上の貢献の処遇への反映について（Q22） [図表⑬]	185
4. 教育研修の取組み	186
(1) 請負労働者	186
【1】教育・研修を受けた経験（Q16） [図表①③]/今後受けたい教育・研修（Q17） [図表②④]について	186
(参考) 調査票	188
1. スクリーニング票	189
2. 本調査_発注者（委託元）票	193
3. 本調査_受託者（請負事業者）票	201
4. 本調査_請負労働者票	211

# はじめに 調査実施概要

# 1. 調査の目的・背景

製造業の請負事業については、いわゆる偽装請負の問題をはじめとする労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和 60 年法律第 88 号。以下「労働者派遣法」という。）等の労働関係法令違反、労働条件や処遇の改善の必要性、これらの職場で働く労働者のキャリアパスが明らかでない等、様々な問題点が指摘されてきました。

本調査は、業界の実態把握を目的として、請負事業者、発注者及び請負労働者を対象にアンケート調査の実施・分析を行い、抱えている問題・課題等を整理し、製造業の請負事業適正化・雇用管理改善に向けた今後の労働行政の施策検討に役立てるためのものです。

## 2. 調査の内容

### (1) 調査対象

#### <スクリーニング>

(株)インテージが保有するインターネットモニターの法人パネル(2022 年 5 月実施)のうち、次の条件に該当するモニター

- ・年齢：20-79 歳
- ・職業：会社員、パート・アルバイト
- ・職種：製造・生産管理・品質管理

#### <本調査>

#### ① 発注者（委託元）

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務の発注（委託）をしている会社員

- ・職業・役職：主任クラス以上
- ・事業所規模：従業員数 3 人以上
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務発注（委託）をしていて、事業所内（構内）で行っている

#### ② 受託者（請負事業者）

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務を受託（請負）している会社員

- ・職業・役職：主任クラス以上
- ・事業所規模：従業員数 3 人以上
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務受託（請負）をしていて、事業所内（構内）で行っている

#### ③ 請負労働者

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務に従事している会社員、パート・アルバイト

- ・職業・役職：一般社員と非正規社員
- ・事業所規模：従業員数 3 人以上
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務受託（請負）をしていて、事業所内（構内）で行っている

(2) 調査方法

- ① 発注者（委託元）および②受託者（請負事業者）および③請負労働者ともに、インターネット調査  
（スクリーニング、本調査）

(3) 調査期間

スクリーニング調査:2022年8月29日（月）－9月5日（月）

本調査 :2022年9月8日（木）－9月15日（木）

#### (4) 調査項目

##### スクリーニング

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	職業
Q4	役職
Q5	従業員規模
Q6	業種
Q7	発注（委託）・受託（請負）の有無
Q8	受託（請負）業務の内容
Q9	受託（請負）業務の発注者事業所内（構内）実施の有無
Q10	発注（委託）業務の内容
Q11	発注（委託）の事業所内（構内）実施の有無

##### 発注者（委託元）本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	売上高
Q4	従業員数
Q5	委託業務と派遣労働者の活用状況
Q6	委託業務の生産品目
Q7	委託業務の人数規模
Q8	業務委託（アウトソーシング）の目的
Q9	委託業務への指示
Q10	委託業務を行っている現場の状況
Q11	委託業務の内容・範囲の明確化
Q12	委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更
Q13	委託業務での機械・設備等の使用状況
Q14	偽装請負への不安
Q15	適正な請負を行うための知識の認知
Q16	GJ 認定制度の認知経路
Q17	発注量変動への対応
Q18	急激な生産減になった場合の委託先への補償
Q19	委託料金の設定・支払い方法
Q20	生産性向上の委託料金の見直し状況
Q21	委託料金の値上げの申し入れへの対応
Q22	値上げに応じる際に重視する理由
Q23	委託先に求める重視ポイント
Q24	安全衛生管理の委託先との連携
Q25	技術革新の委託業務への影響

受託者（請負事業者）本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	売上高
Q4	事業別の売上比率
Q5	従業員数
Q6	請負業務の生産品目
Q7	請負業務の人数規模
Q8	請負業務の有期契約雇用者の割合
Q9	発注者の請負業務への指示
Q10	請負業務を行っている現場の状況
Q11	請負業務の内容・範囲の明確化
Q12	請負業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更
Q13	請負業務での機械、設備等の使用状況
Q14	偽装請負への不安
Q15	適正な請負を行うための知識の認知
Q16	GJ 認定制度の認知経路
Q17	発注量変動への対応
Q18	急激な生産減になった場合の発注者からの補償
Q19	請負業務の料金設定・請求方法
Q20	生産性向上の請負料金の見直し状況
Q21	請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応
Q22	受注のためのアピールポイント
Q23	安全衛生管理の発注者との連携
Q24	請負業務の従業員の1年以内の離職状況
Q25	請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み
Q26	請負業務の従業員に実施したい研修
Q27	内部通報窓口・相談窓口の設置状況
Q28	請負業務の問題・課題－取引、料金、請負契約
Q29	請負業務の問題・課題－業務運営、職場
Q30	請負業務の問題・課題－人事、労務、組織
Q31	技術革新の請負業務への影響
Q32	技術革新による請負業務への懸念、課題

請負労働者 本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	従事している業務の生産品目
Q4	業務内容
Q5	現在の雇用形態
Q6	現在の雇用契約の期間
Q7	現在の会社での勤続年数
Q8	近い将来の働き方（雇用契約）の希望
Q9	有期雇用社員を希望する理由
Q10	給与の単価の変化
Q11	発注者からの業務についての指示
Q12	業務の現場の状況
Q13	IT化、自動化、デジタル化の状況
Q14	IT化、自動化、デジタル化の影響
Q15	内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況
Q16	教育・研修を受けた経験
Q17	今後受けたい教育・研修
Q18	今後受けたい教育・研修の理由
Q19	キャリア面談を受けた経験
Q20	キャリアパスの提示
Q21	評価の仕組みの有無・説明状況
Q22	仕事上の貢献の処遇への反映
Q23	今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望
Q24	仕事や働き方に関して重視していること

(5) 有効回収数

スクリーニング有効回収数 : 49,310s

本調査有効回収数 : 発注者（委託元）328s 受託者（請負事業者）271s  
請負労働者 402s

### 3. 調査結果の概要(問題点・課題等)について ※[ ]内は参照ページ及び図表番号

#### 1. 発注者(委託元)の調査結果から

- (1) 発注者が業務委託の目的として特に重視しているものは、「人件費・管理コストの軽減」の割合が最も高く68.9%、「人材不足への対応」50.6%、「業務量変動への対応」39.0%が続く。 [P27：図表 I -2-4]
- (2) 委託業務への指示では、「委託先の従業員に、直接指示を行っていると思う」割合は16.5%、「委託先の従業員に、直接指示を行っている場合があると思う」割合は8.2%ある。 [P28：図表 I -3-1]
- (3) 委託業務を行っている現場の状況では、「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」割合は高く35.7%、3割を大きく超えている。 [P29：図表 I -3-2]
- (4) 委託業務の内容・範囲の明確化では、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」割合は19.5%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」割合は9.1%、2つを合わせた「記載なし・詳細定めず」の割合は28.6%、約3割に及ぶ。明確で契約書等に具体的に記載している割合は61.3%。 [P30：図表 I -3-3]
- (5) 偽装請負への不安では、不安が「ない」割合は44.5%、5割に満たない。不安が「ある」5.5%、「多少ある」24.1%を合わせた不安が「ある」割合は29.6%、3割に及ぶ。 [P33：図表 I -4-1]
- (6) 適正な請負を行うための知識の認知では、「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率」の割合は、『(1)派遣事業と請負事業の区分基準(告示37号)』74.1%、『(2)製造請負ガイドライン』74.4%、『(3)労働契約申込みみなし制度』64.9%、『(4)製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)』は61.0%で最も低い割合となっている。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない」割合は、『(1)派遣事業と請負事業の区分基準(告示37号)』56.4%、『(2)製造請負ガイドライン』58.2%、『(3)労働契約申込みみなし制度』66.2%、『(4)製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)』72.6%で、いずれも高い割合(約6割以上)となっている。中でもGJ認定制度は7割強に及ぶ。 [P34：図表 I -4-2]
- (7) 急激な生産減になった場合の委託先への補償では、「契約書等に補償の記載があり、補償を行う」としている割合は22.6%、2割程度。「契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償する可能性がある」40.5%、「契約書等に補償の記載はなく、補償を行わない」割合は13.7%ある。 [P41：図表 I -5-2]
- (8) 委託料金の設定・支払い方法では、「事前に取り決めした時間単価をベースに、掛かった工数(人数×時間)を乗じて委託料金を支払っている(人工制度)」が23.5%、2割強ある。 [P42：図表 I -5-3]
- (9) 生産性向上と委託料金の見直し状況では、「変えない」22.6%、「変えないことが多い」39.0%を合わせた「変えない」割合は61.6%、「減らすことが多い」12.2%と「減らす」1.8%を合わせた「減らす」割合が14.0%ある。 [P43：図表 I -5-4]
- (10) 委託料金の値上げの申し入れへの対応では、「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」24.4%、「協議には応じるかどうか分からない」8.2%、「協議には応じない可能性が高い」0.9%を合わせた値上げの可能性が低い割合は33.5%、3割強に及ぶ。「協議に応じ、値上げを行うことがある」割合は47.9%。 [P44：図表 I -5-5]
- (11) 委託先に求める重視ポイントでは、「業務処理能力・品質」が最も高く73.2%、「委託料金」35.7%、「業務遂行のための必要人員の確保」31.1%が続く。 [P46：図表 I -5-7]
- (12) 安全衛生管理の委託先との連携では、「行っている」割合は、『(1)安全衛生委員会等への委託先の参加(合同開催含む)』46.6%、『(2)職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加(合同実施含む)』



56.1%、『(3)委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供』は71.6%で、情報の提供は比較的高い割合になっているが、安全委員会への参加や職場巡視、安全パトロールへの参加については5割前後の低い割合になっている。 [P47：図表 I -5-8]

- (13) 技術革新の委託業務への影響では、「労働集約的な委託業務は減少する」35.7%が最も高く、「委託業務全体が減少する」18.9%、「委託業務は特に変わらぬ」17.7%、「技術的・専門的な委託業務は増加する」17.1%が続く。 [P51：図表 I -6-1]

## 2. 受託者（請負事業者）の調査結果から

- (1) 発注者の請負業務への指示では、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っていると思う」割合11.8%、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」割合は9.6%ある。 [P63：図表 II -3-1]
- (2) 請負業務を行っている現場の状況では、「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」割合は高く35.8%、3割を大きく超えている。 [P64：図表 II -3-2]
- (3) 請負業務の内容・範囲の明確化では、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」割合は21.0%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」割合は11.8%、2つを合わせた「記載なし・詳細定めず」の割合は32.8%、3割を超えている。明確で契約書等に具体的に記載している割合は56.1%。 [P65：図表 II -3-3]
- (4) 偽装請負への不安では、不安が「ない」割合は42.8%、4割程度。不安が「ある」5.9%、「多少ある」22.5%を合わせた不安が「ある」割合は28.4%、約3割に及ぶ。 [P68：図表 II -4-1]
- (5) 適正な請負を行うための知識の認知では、「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率」の割合は、『(1)派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）』72.7%、『(2)製造請負ガイドライン』72.3%、『(3)労働契約申込みみなし制度』61.3%、『(4)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』は55.4%で最も低い割合となっている。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない」割合は、『(1)派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）』61.6%、『(2)製造請負ガイドライン』64.2%、『(3)労働契約申込みみなし制度』69.3%、『(4)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』は73.4%で、いずれも高い割合（6割以上）となっている。中でもGJ認定制度は7割強に及ぶ。 [P69：図表 II -4-2]
- (6) 急激な生産減になった場合の発注者からの補償では、「契約書等に補償の記載があり、補償を受けられる」としている割合は21.4%、2割程度。「契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償される可能性がある」割合は36.9%、「契約書等に補償の記載はなく、補償されないと思われる」割合は17.3%ある。 [P76：図表 II -5-2]
- (7) 請負料金の設定・請求方法では、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）」の割合が30.3%、3割ある。 [P77：図表 II -5-3]
- (8) 生産性向上の請負料金の見直し状況では、「変わらない」24.4%、「変わらないことが多い」35.8%を合わせた「変わらない」割合は60.1%、「減ることが多い」11.4%と「減る」3.7%を合わせた「減る」割合が15.1%ある。 [P78：図表 II -5-4]
- (9) 請負料金値上げの申し入れに対する発注者の対応では、「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」25.5%、「協議に応じてもらえなかった」4.4%を合わせた「値上げに応じてもらえなかった」割合は29.9%、3割に及ぶ。「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」39.1%。

[P79 : 図表Ⅱ-5-5]

- (10) 受注のためのアピールポイントでは、「業務処理能力・品質」の割合が最も高く59.0%、「専門知識・技術」36.9%、「安全衛生管理」28.8%が続く。 [P80 : 図表Ⅱ-5-6]
- (11) 安全衛生管理の発注者との連携では、「行っている」割合は、『(1)安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催含む）』59.0%、『(2)職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施含む）』62.7%、『(3)発注者（委託元）への情報（事故、注意喚起等）の提供』は76.8%で、情報の提供は比較的高い割合になっているが、安全委員会への参加や職場巡視、安全パトロールへの参加については6割前後の低い割合になっている。 [P81 : 図表Ⅱ-5-7]
- (12) 請負業務の従業員の採用後1年以内の離職状況では、「2割程度」12.5%、「3割程度」8.9%、「4割程度」1.8%、「5割以上」5.2%を合わせた2割程度以上の割合は、28.4%、約3割に及ぶ。「1割未満」36.9%、「1割程度」10.7%を合わせた1割程度以下の割合は47.6%。 [P85 : 図表Ⅱ-6-1]
- (13) 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取り組みでは、「あまり行っていない」、「行っていない」を合わせた「行っていない」割合は、『(3)リーダー・管理職等へのキャリアパスの仕組みの明示』28.4%、『(4)定期的な面談による本人の希望の聴取』30.3%、『(5)業務や能力評価の賃金への反映』28.4%、『(6)福利厚生面の充実』27.7%、いずれも約3割に及ぶ。『(1)人材育成（教育訓練）の実施』は16.6%、『(2)必要な職務知識、資格等の明示』14.1%となっている。 [P86 : 図表Ⅱ-6-2]
- (14) 請負業務の問題・課題について
- 取引き、料金、請負契約では、「定期的にコストダウンを要請される」26.9%が最も高く、「請負料金の見直し交渉に応じてもらえない」16.2%、「同業者間の値下げ競争（ダンピング）が激しい」12.9%、「契約の期間が短い」12.9%が続く。 [P98 : 図表Ⅱ-7-1]
- 業務運営、職場では、「生産性向上が思うように進まない」40.6%が最も高く、「業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している」29.5%、「作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい」27.3%が続く。 [P99 : 図表Ⅱ-7-2]
- 人事、労務、組織では、「人材の確保が難しい」59.4%が最も高く、「働き方改革関連法への対応によるコストが増えている」22.1%、「教育研修、訓練が行える環境が整わず、長期的な人材育成ができない」20.3%、「請負現場の従業員の定着率が低い」17.0%が続く。 [P100 : 図表Ⅱ-7-3]
- (15) 技術革新の請負業務への影響では、「労働集約的な請負業務は減少する」31.7%で最も高く、「請負業務全体が減少する」26.6%、「技術的・専門的な請負業務は増加する」20.3%が続く。 [P101 : 図表Ⅱ-8-1]
- (16) 技術革新による請負業務への懸念、課題では、「人材の採用・確保が難しくなる」34.3%が最も高く、「自動化・IT化に対応するための教育・研修に割く時間がない」25.8%、「自動化・IT化に対応するための教育・研修の費用が負担になる」22.1%が続く。 [P102 : 図表Ⅱ-8-2]

### 3. 請負労働者の調査結果から

- (1) 現在の雇用形態と近い将来の働き方（雇用契約）の希望の関係では、現在の雇用形態が「契約社員」の割合は8.7%で、近い将来の働き方（雇用契約）の希望が「契約社員」の割合は4.7%で約半分の値となっている。「派遣社員」においても、現在の雇用形態6.2%、近い将来の働き方（雇用契約）の希望が「派遣社員」は3.0%で半減となっている。「正社員」等、他の社員形態については、社員形態と近い将来の働き方（雇用契約）の希望の割合にあまり差はない。 [P108 : 図表Ⅲ-1-1⑤] [P110 : 図表Ⅲ-1-2]

- (2) 有期雇用社員を希望する理由では、「責任が重くない働き方をしたい」割合が最も高く46.3%、「契約で定められた、限られた範囲の仕事のみをしたい」43.8%、「有給休暇が取りやすい働き方をしたい」41.3%、「残業や休日出勤はあまりしたくない」35.0%、「転勤などがない働き方をしたい」30.0%が続く。  
[P111：図表Ⅲ-1-3]
- (3) 過去1年間の給与の単価の変化では、「上がった」割合は46.3%、5割に満たない。「変わらなかった」43.0%、4割を超え、「下がった」割合は10.0%、1割となっている。  
[P112：図表Ⅲ-1-4]
- (4) 発注者からの業務についての指示では、発注者の従業員から直接指示を受けることが「よくあると思う」割合は26.6%、3割近く。「たまにあると思う」36.1%と合わせた「あると思う」割合は、62.7%、6割を超える。  
[P113：図表Ⅲ-2-1]
- (5) 業務の現場の状況では、「発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う」割合が14.2%ある。「自社の従業員と一緒に働いていると思う」は74.1%。  
[P114：図表Ⅲ-2-2]
- (6) IT化、自動化、デジタル化の影響については、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う」割合は『(5)仕事の難しさと給与等の処遇が結びついていない』が最も高く64.4%、『(1)新たに勉強することが増えている』62.2%、『(6)やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる』52.7%が続く。  
[P116：図表Ⅲ-2-4]
- (7) 教育・研修を受けた経験では、「安全衛生の研修」の割合が最も高く53.0%、「個人のスキル、能力がアップする研修」38.8%、「現場改善に役立つ研修」33.3%が続く。「安全衛生の研修」については、雇い入れ時安全衛生教育が必須であることを考慮すると低い割合とも考えられる。また、教育・研修を「受けたことがない」割合が19.7%、2割に及ぶ。「IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修」の割合は低く10.0%。  
[P126：図表Ⅲ-3-1]
- (8) 今後受けたい教育・研修では、「個人のスキル、能力がアップする研修」の割合が最も高く41.8%、「IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修」30.8%、「現場改善に役立つ研修」24.1%が続く。また、「特にない」が31.6%、3割を超えている。  
[P127：図表Ⅲ-3-2]
- (9) 今後受けたい教育・研修の理由では、「能力を向上させるため」75.6%、「給与等、収入をアップさせるため」49.8%、「キャリアアップさせるため」41.5%が続く。  
[P128：図表Ⅲ-3-3]
- (10) キャリア面談を受けた経験では、「受けたことがない」の割合が最も高く55.0%。「たまに受けている」26.1%と「定期的に受けている」14.2%を合わせた「受けている」割合は40.3%、4割と低い。  
[P129：図表Ⅲ-4-1]
- (11) キャリアパスの提示では、「示されたことがない」割合が最も高く67.7%、約7割に及ぶ。「示されたことがある」割合は21.4%、約2割と低い。  
[P130：図表Ⅲ-4-2]
- (12) 仕事上の貢献を評価する仕組みの有無・説明状況では、評価する「仕組みがない」割合が最も高く35.1%、3割を大きく超え、「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」25.1%で、2割を大きく超えている。「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」割合は23.6%。  
[P131：図表Ⅲ-5-1]
- (13) 仕事上の貢献の処遇への反映では、「反映されていない」の割合が最も高く30.8%、「あまり反映されていない」30.6%を合わせた「反映されていない」割合は61.4%、6割に及ぶ。「反映されている」2.5%と「だいたい反映されている」25.1%を合わせた「反映されている」割合は27.6%で、3割に満たない。  
[P132：図表Ⅲ-5-2]
- (14) 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望では、「特にない」割合が最も高く26.9%、3割近くになっている。「製造業務で作業員として働きたい」26.4%、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」12.9%が続く。  
[P133：図表Ⅲ-6-1]
- (15) 仕事や働き方に関して重視していることでは、「給与（時給）等の処遇」の割合が最も高く56.5%、「職場で

の人間関係」53.0%、「仕事のやりがい」51.5%が続く。次いで、「有給休暇の取りやすさ」39.6%、「労働時間の長さ・短さ」37.8%、「時間外労働（残業・休日出勤）の多さ・少なさ」34.1%が続く。

[P134：図表Ⅲ-6-2]

#### 4. テーマ別調査結果から

##### ■ テーマ1：コンプライアンス

###### (1) 発注者（委託元）

###### 【1】委託業務への指示について

○ 委託業務を行っている現場の状況別にみると、「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」場合は、「委託先の従業員に直接指示をしていると思う」が12.1%、「委託先の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」が6.0%、合わせて18.1%であるのに対し、「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」場合は、それぞれ25.6%、12.8%、合わせて38.4%と「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」場合の約2倍になっている。 [P137：図表Ⅳ-1-1①]

○ 委託業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は「委託先の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く70.6%、7割。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の48.4%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の50.0%を大きく上回っている。

また、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合では、「委託先の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」が最も高く29.7%、3割。「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合の14.4%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の13.3%を大きく上回っている。 [P137：図表Ⅳ-1-1②]

○ 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場合は、「委託先の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く67.8%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では56.0%、「名前も内容も知らない」場合では49.4%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制）についても同様の傾向がみられる。 [P138-139：図表Ⅳ-1-1③～⑥]

###### 【2】委託業務を行っている現場の状況について

○ 委託業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」が最も高く63.7%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の51.6%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の43.3%を大きく上回っている。

また、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」が最も高く46.9%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の43.3%が続く。 [P140：図表Ⅳ-1-1⑦]

###### 【3】委託業務の内容・範囲の明確化について

○ 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場合は、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」が最も高く78.3%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では61.0%、「名前も内容も知らない」場合では32.9%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定

制度)についても同様の傾向がみられる。

[P141-142 : 図表IV-1-1⑧~⑩]

#### 【4】 偽装請負への不安について

- 委託業務を行っている現場の状況別にみると、「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた不安が「ある」が38.5%、約4割であるのに対し、「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」場合は26.9%と低くなっている。  
[P143 : 図表IV-1-1⑫]
- 委託業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた不安が「ある」が最も高く34.4%。「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合の32.8%とあまり差はない。また、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合は、不安が「ある」が20.0%で最も低い、「意識したことがない」が36.7%、他の場合より圧倒的に高い。  
[P143 : 図表IV-1-1⑬]
- 委託業務の料金設定・支払方法別にみると、「事前に取り決めした時間単価をベースに、掛かった工数(人数×時間)を乗じて委託料金を支払っている(人工制度)」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた不安が「ある」が最も高く42.9%、4割を超えている。  
[P144 : 図表IV-1-1⑭]

#### 【5】 委託料金の設定・支払い方法について

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場合は、「事前に取り決めた委託(請負)単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている(個建て制度)」が最も高く53.8%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では41.0%、「名前も内容も知らない」場合では28.2%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)についても同様の傾向がみられる。

[P145-148 : 図表IV-1-1⑮~⑰]

## (2) 受託者(請負事業者)

### 【1】 発注者の請負業務への指示について

- 請負業務を行っている現場の状況別にみると、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」場合は、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く52.0%。「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」場合の45.4%を上回っている。また、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」場合は、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っていると思う」が11.3%、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」6.0%、合わせて17.3%であるのに対し、「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」場合では、それぞれ14.4%、16.5%、合わせて30.9%、約2倍近くとなっている。

[P149 : 図表IV-1-2①]

- 請負業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く56.6%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の35.1%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の40.6%を大きく上回っている。

また、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っていると思う」と「発注者が自社の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」を合わせた割合が31.6%。「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合は、その合わせた割合が34.4%となっている。

[P149 : 図表IV-1-2②]

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場

合は、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く 53.8%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では 45.2%、「名前も内容も知らない」場合では 37.8%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度についても同様の傾向がみられる。製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）については、「名前も内容も知っている」場合が 52.8%で最も高く、「名前は知っているが内容は知らない」43.6%、「名前も内容も知らない」44.6%となっている。

[P150-151：図表Ⅳ-1-2③～⑥]

## 【2】請負業務を行っている現場の状況について

- 請負業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」が最も高く 69.7%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の 38.6%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の 50.0%を大きく上回っている。

また、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は、「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」が最も高く 59.6%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」40.6%が続く。

[P152：図表Ⅳ-1-2⑦]

## 【3】請負業務の内容・範囲の明確化について

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示 37 号については、「名前も内容も知っている」場合は、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」が最も高く 72.1%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では 47.3%、「名前も内容も知らない」場合では 44.6%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）についても同様の傾向がみられる。

[P153-154：図表Ⅳ-1-2⑧～⑪]

## 【4】偽装請負への不安について

- 請負業務を行っている現場の状況別にみると、「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた「ある」が最も高く 39.2%。「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」場合の 24.7%を大きく上回っている。

[P155：図表Ⅳ-1-2⑫]

- 請負業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた「ある」が最も高く 49.1%。「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合の 26.3%を大きく上回っている。

一方、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は、不安が「ない」が最も高く 57.2%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の 26.3%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の 31.3%を大きく上回っている。なお、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合は、「意識したことがない」が最も高く 37.5%となっている。

[P155：図表Ⅳ-1-2⑬]

- 請負業務の料金設定・請求方法別にみると、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）」場合は、偽装請負への不安が「ある」と「多少ある」を合わせた「ある」が最も高く 37.8%、約 4 割となっている。

[P156：図表Ⅳ-1-2⑭]

## 【5】請負業務の料金設定・請求方法について

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示 37 号については、「名前も内容も知っている」場合は、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」が 42.3%であり、「名前は知っているが内容は知らない」場合の

25.8%、「名前も内容も知らない」場合の23.0%を上回っている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）についても概ね同様の傾向がみられる。 [P157-160：図表IV-1-2⑮～⑱]

### （3）請負労働者

#### 【1】発注者からの業務についての指示について

- 業務の現場の状況別にみると、「発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う」場合は、発注者の従業員から直接指示を受けることが「よくあると思う」と「たまにあると思う」を合わせた「あると思う」が最も高く96.5%、10割に迫る。「自社の従業員と一緒に働いていると思う」場合の58.4%、「他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う」場合の63.3%を大きく上回っている。

[P161：図表IV-1-3①]

## ■ テーマ2：価格交渉の成否

### （1）発注者（委託元）

#### 【1】委託料金の値上げの申し入れへの対応について

- 委託業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」場合は、「協議に応じ、値上げを行うことがある」が最も高く58.7%、約6割。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の37.5%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合の30.0%を大きく上回っている。  
また、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合は、「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」が最も高く40.6%。「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合では、「協議には応じるかどうか分からない」が最も高く23.3%、他の場合の約3倍近くとなっている。

[P162：図表IV-2-1①]

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場合は、「協議に応じ、値上げを行うことがある」が最も高く59.4%、「名前は知っているが内容は知らない」場合では43.0%、「名前も内容も知らない」場合では34.1%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）についても同様の傾向がみられる。

[P162-164：図表IV-2-1②～⑤]

- 委託業務の料金設定・支払い方法別にみると、「事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）」の場合は、「協議に応じ、値上げを行うことがある」が最も高く63.4%、6割を超え、「事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）」場合は、最も低く39.0%となっている。また、人工制度の場合では、「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」が最も高く48.1%、約5割となっている。

[P164：図表IV-2-1⑥]

#### 【2】委託先に求める重視ポイントについて

- 委託料金の値上げの申し入れへの対応別でみると、「値上げに応じる可能性がある」場合は、「業務処理能力・品質」が最も高く85.4%、8割を大きく超え、「値上げの可能性が低い（協議に応じるが値上げの可能性は低い/協議に応じるかどうか分からない/協議には応じない可能性が高い）」場合の62.7%を大きく上回っている。

[P165：図表IV-2-1⑦]

### （2）受託者（請負事業者）

#### 【1】請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応について

- 請負業務の内容・範囲の明確化別にみると、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」

場合は、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」が最も高く48.7%、約5割。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」35.1%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」28.1%を大きく上回っている。

また、「詳細には定めず、柔軟に対応している」場合は、「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」が最も高く43.8%、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」場合の35.1%が続く。 [P166：図表IV-2-2①]

- 適正な請負を行うための知識の認知別にみると、告示37号については、「名前も内容も知っている」場合は、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」が最も高く51.9%、「名前も内容も知らない」場合では34.4%、「名前も内容も知らない」場合では27.0%に止まっている。製造請負ガイドライン、労働契約申込みみなし制度、製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）についても同様の傾向がみられる。 [P167-168：図表IV-2-2②～⑤]
- 請負業務の料金設定・請求方法別にみると、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」場合は、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」が最も高く58.8%、約6割、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）」場合は最も低く31.7%で、「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」が最も高い43.9%となっている。 [P169：図表IV-2-2⑥]

## 【2】受注のためのアピールポイントについて

- 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応別にみると、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」場合は、「業務処理能力・品質」が最も高く77.4%、「値上げには至っていない（協議には応じてもらえたが、値上げには至らなかった/協議に応じてもらえなかった/値上げを申し入れたことがない）」場合の43.6%を大きく上回っている。 [P170：図表IV-2-2⑦]

## ■ テーマ3：労働者の定着

### （1）受託者（請負事業者）

#### 【1】請負業務の従業員の1年以内の離職状況について

- 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応別にみると、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」場合は、「1割未満」が最も高く48.1%。「値上げに至っていない（協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった/協議に応じてもらえなかった/値上げを申し入れたことはない）」場合の35.1%を大きく上回っている。

また、「値上げに至っていない（※省略）」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く28.7%、認めてもらった場合の10.4%を大きく上回っている。

[P171：図表IV-3-1①]

- 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別にみると、

- 「(1)人材育成（教育訓練）の実施」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」が最も高く43.2%、「行っていない/あまり行っていない」場合の28.9%を大きく上回っている。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く26.7%、「行っている/概ね行っている」場合の15.1%を大きく上回っている。

[P171：図表IV-3-1②]

- 「(2)必要な職務知識、資格等の明示」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」



が最も高く42.4%、「行っていない/あまり行っていない」場合の31.6%を大きく上回っている。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く28.9%、「行っている/概ね行っている」場合の15.1%を大きく上回っている。

[P172：図表IV-3-1③]

- 「(3)リーダー・管理職等へのキャリアパスの仕組みの明示」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」が最も高く43.1%、「行っていない/あまり行っていない」場合の37.7%を上回っている。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く22.1%、「行っている/概ね行っている」場合の15.6%を上回っている。

[P172：図表IV-3-1④]

- 「(4)定期的な面談による本人の希望の聴取」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」が最も高く43.0%、「行っていない/あまり行っていない」場合の37.8%を上回っている。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く22.0%、「行っている/概ね行っている」場合の15.2%を上回っている。

[P173：図表IV-3-1⑤]

- 「(5)業務や能力評価の賃金への反映」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」が最も高く44.1%で、「行っていない/あまり行っていない」場合の36.4%を上回っている。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く22.1%、「行っている/概ね行っている」場合の15.5%を上回っている。

[P173：図表IV-3-1⑥]

- 「(6)福利厚生面の充実」については、「行っている/概ね行っている」場合は、「1割未満」が42.9%、「行っていない/あまり行っていない」場合は41.3%で、あまり差はない。

一方、「行っていない/あまり行っていない」場合は、「3割程度以上（3割程度/4割程度/5割以上）」が最も高く24.0%、「行っている/概ね行っている」場合の14.7%を大きく上回っている。

[P174：図表IV-3-1⑦]

## (2) 請負労働者

### 【1】 仕事上の貢献の処遇への反映について

- 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況の(2)苦情や相談ごと等の相談窓口別にみると、「窓口を知っており、利用したことがある」場合は、「十分反映されている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている」が最も高く50.0%、「窓口を知っているが、利用したことはない」場合の36.2%、「窓口を知らない、利用したことはない」場合の14.2%を大きく上回っている。

一方、「窓口を知らない、利用したことはない」場合は、「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない」が最も高く71.0%、「窓口を知っており、利用したことがある」場合の43.8%、「窓口を知っているが、利用したことはない」場合の54.9%を大きく上回っている。

[P175：図表IV-3-2①]

- キャリア面談を受けた経験別にみると、「たまに受けている」場合が、「十分反映されている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている」が最も高く40.0%、「定期的な受けている」場合の33.3%が続く。「受けたことがない」場合は22.2%、2割程度の低い割合となっている。

一方、「受けたことがない」場合は、「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない」が最も高く66.1%、約7割。「定期的な受けている」57.9%、「たまに受けている」54.3%を大きく上回っている。

[P175：図表IV-3-2②]

- キャリアパスの提示別にみると、「示されたことがある」場合は、「十分反映れている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている」が最も高く 51.2%、5 割を超え、「示されたことがない」場合の 21.3% を大きく上回っている。

一方、「示されたことがない」場合は、「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない」が最も高く 68.4%、約 7 割。「示されたことがある」場合の 43.0% を大きく上回っている。

[P176：図表IV-3-2③]

- 評価の仕組みの有無・説明状況別にみると、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」場合は、「十分反映されている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている」が最も高く 56.8%、「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」場合の 31.7% が続く。「仕組みがない」場合は 7.8%、1 割に満たない。

また、「仕組みがない」場合は、「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない」が最も高く 82.3%、8 割を超え、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」39.0%、「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」62.3% を大きく上回っている。

[P176：図表IV-3-2④]

## 【2】今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望について

- 給与の単価の変化別にみると、「上がった」場合は、「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く 31.2%、3 割。「変わらなかった」場合の 22.5% が続く。「下がった」場合は 17.5%、2 割未満となる。一方、「下がった」場合では、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」が最も高く 20.0%、「変わらなかった」場合の 16.8% が続く。「上がった」場合は 8.1%、最も低い割合となっている。

[P177：図表IV-3-2⑤]

- キャリア面談を受けた経験別にみると、「たまに受けている」場合が、「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く 29.5%、3 割。「受けたことがない」場合の 27.6%、「定期的に受けている」24.6% が続く。一方、「受けたことがない」場合は、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」が最も高く 16.3%、「たまに受けている」場合の 9.5%、「定期的に受けている」7.0% を大きく上回っている。

[P178：図表IV-3-2⑥]

- キャリアパスの提示別にみると、「示されたことがある」場合は、「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く 34.9%、3 割を大きく超え、「示されたことがない」場合の 26.1% を大きく上回っている。

一方、「示されたことがない」場合は、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」が最も高く 14.7%、「示されている」場合の 8.1% を大きく上回っている。

[P179：図表IV-3-2⑦]

- 評価の仕組みの有無・説明状況別にみると、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」場合は「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く 28.4%、「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」場合の 26.7%、「仕組みがない」場合の 22.0% が続く。

一方、「仕組みがない」場合では、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」が最も高く 17.0%、「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」場合の 11.9%、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」場合の 10.5% が続く。

[P180：図表IV-3-2⑧]

- 仕事上の貢献の処遇への反映別にみると、「反映されている（十分反映されている/だいたい反映されている）」場合は、「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く 35.1%、「反映されていない（あまり反映されていない/反映されていない）」場合の 24.3% を大きく上回っている。

一方、「反映されていない（※省略）」場合は、「現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」が最も高く 17.0%、「反映されている（※省略）」場合の 5.4% を大きく上回っている。

[P181：図表IV-3-2⑨]

### 【3】キャリア面談を受けた経験について

- 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別にみると、「勤続志向」の場合は、キャリア面談を「定期的に受けている」と「たまに受けている」を合わせた「受けている」が最も高く48.5%、「転職志向」の場合の26.9%、「成り行き志向」の場合の28.7%を大きく上回っている。

[P182：図表IV-3-2⑩]

### 【4】キャリアパスの提示について

- 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別にみると、「勤続志向」の場合は、「示されたことがある」が最も高く26.8%、「転職志向」の場合の13.5%、「成り行き志向」の場合の13.0%を大きく上回っている。  
一方、「転職志向」の場合は、「示されたことがない」が最も高く76.9%。約8割に及ぶ。

[P183：図表IV-3-2⑪]

### 【5】評価の仕込みの有無・説明状況について

- 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別にみると、「勤続志向」の場合は、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」と「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」を合わせた仕組みの「認知率」が最も高く59.4%。「転職志向」の場合の42.3%、「成り行き志向」の場合の28.7%を大きく上回っている。  
一方、「転職志向」の場合は、「仕組みがない」が最も高く46.2%、「成り行き志向」43.5%が続く。「勤続志向」の場合の28.5%を大きく上回っている。

[P184：図表IV-3-2⑫]

### 【6】仕事上の貢献の処遇への反映について

- 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別にみると、「勤続志向」の場合は、「十分反映されている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている」が最も高く36.4%、「転職志向」の場合の11.5%、「成り行き志向」の場合の15.7%を大きく上回っている。  
一方、「転職志向」の場合は、「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない」が最も高く80.8%、8割。「勤続志向」の場合の57.4%、成り行き志向の場合の61.1%を大きく上回っている。

[P185：図表IV-3-2⑬]

## ■ テーマ4：教育研修の取組み

### （1）請負労働者

#### 【1】教育・研修を受けた経験/今後受けたい教育・研修について

- 教育・研修を受けた経験について、キャリア面談を受けた経験別にみると、「受けたことがない」場合は、どの研修においても、「定期的に受けている」場合や「たまに受けている」場合より低い割合となっている。  
また、「安全衛生の研修」51.6%を除き、3割程度以下の低い割合となっている。

[P186：図表IV-4-1①]

- 今後受けたい教育・研修について、キャリア面談を受けた経験別にみると、「受けたことがない」場合は、「特になし」が最も高く33.5%。「定期的に受けている」場合の24.6%、「たまに受けている」場合の24.8%を大きく上回っている。また、『「ものづくり」の基本的な知識を習得する研修』22.6%を除き、どの研修においても、最も低い割合となっており、「個人のスキル、能力がアップする研修」40.7%を除き、3割未満の低い割合となっている。

[P186：図表IV-4-1②]

- 教育・研修を受けた経験について、キャリアパスの提示別にみると、「示されたことがない」場合は、どの研修においても、「示されたことがある」場合より低く、「安全衛生の研修」51.1%を除き、3割程度以下の低い割

合となっている。

また、「示されたことがない」場合では、「現場管理職やリーダーになるための研修」が 15.8%、「示されたことがある」場合の 27.9%を大きく下回っている。 [P187：図表IV-4-1③]

- 今後受けた教育・研修について、キャリアパスの提示別にみると、「示されたことがない」場合は、「特にない」が最も高く 31.3%、「示されたことがある」場合の 20.9%を大きく上回っている。また、どの研修においても、「示されたことがある」場合より低い割合となっており、「個人のスキル、能力をアップする研修」40.4%を除き、3割未満の低い割合となっている。

「現場管理職やリーダーになるための研修」では、「示されたことがある」場合は 19.8%、「示されたことがない」場合は 17.3%で大きな差はない。 [P187：図表IV-4-1④]

#### \*調査結果(数値)の見方

- 報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細は、調査票参照）。
- 調査結果の数値は回答率（%）で示している。%の母数は、その質問の回答数または属性別の TOTAL 数で、「n=」で表している。
- 割合は小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位まで示している。よって、「○は 1 つだけ」などの質問であっても、端数が影響し、回答率の合計値が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（「○は 3 つまで」を含む）の設問では、回答率（%）は回答数「n=」に占める割合となっている。したがって、回答割合を全て合計しても 100.0%にならない場合がある。
- 属性の回答者数では、傾向を分析する上で十分とは言えない 30 人未満の結果も含まれるが、参考値として掲載している

## I. 発注者(委託元)

# 1. 委託業務の概要

## (1) 発注者の概要

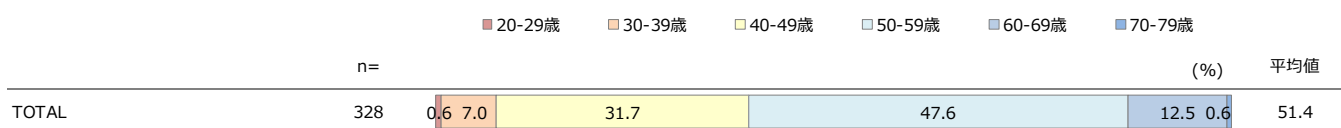
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 I-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 I-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。

- 回答者の会社の売上高は、「1,000 億円以上」の割合が最も高く、26.5%。「10～50 億円未満」22.0%、「10 億円未満」17.1%が続く。

図表 I-1-1③. 回答者の会社の売上高 (Q3)

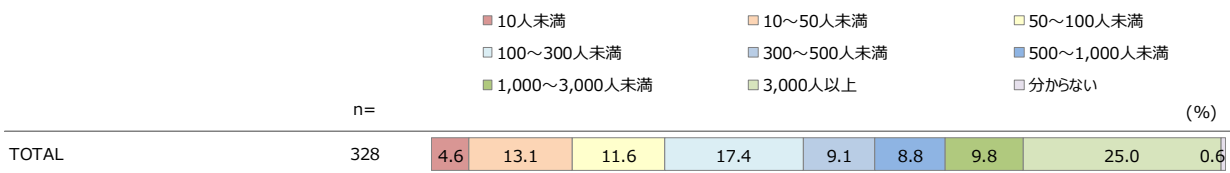
		10億円未満	10～50億円未満	50～100億円未満	100～500億円未満	500～1,000億円未満	1,000億円以上	分からない
n=		(%)						
TOTAL	328	17.1	22.0	8.5	14.0	6.1	26.5	5.8

		n=	10億円未満	10～50億円未満	50～100億円未満	100～500億円未満	500～1,000億円未満	1,000億円以上	分からない
		(%)							
	TOTAL	328	17.1	22.0	8.5	14.0	6.1	26.5	5.8
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	23.8	26.5	7.3	11.9	6.6	19.2	4.6
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	6.8	19.2	8.2	21.9	4.1	34.2	5.5
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	1.6	19.0	14.3	12.7	9.5	38.1	4.8
	分からない	41	34.1	14.6	4.9	9.8	2.4	22.0	12.2
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	16.7	13.9	0.0	22.2	11.1	30.6	5.6
	電気・情報通信機械器具・部品	56	12.5	25.0	10.7	14.3	7.1	25.0	5.4
	輸送用機械器具・部品	26	11.5	19.2	15.4	11.5	0.0	42.3	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	30.2	24.5	3.8	11.3	0.0	20.8	9.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	15.8	18.4	10.5	7.9	7.9	34.2	5.3
	食料品/飲料品	23	8.7	26.1	21.7	17.4	8.7	17.4	0.0
Q7 委託業務の 人数規模	その他	96	16.7	22.9	7.3	14.6	7.3	24.0	7.3
	30人未満	121	28.1	33.1	9.9	6.6	1.7	18.2	2.5
	30～100人未満	67	17.9	16.4	10.4	29.9	9.0	10.4	6.0
	100～500人未満	43	0.0	14.0	11.6	23.3	18.6	30.2	2.3
	500人以上	30	3.3	3.3	0.0	6.7	6.7	73.3	6.7
	分からない	67	13.4	20.9	6.0	9.0	3.0	34.3	13.4

【設問文】 Q4 あなたの会社の従業員のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。

- 回答者の会社の従業員数では、「3,000人以上」の割合が最も高く、25.0%。「100～300人未満」17.4%、「10～50人未満」13.1%が続く。

図表 I-1-1④. 回答者の会社の従業員数 (Q4)



		n=	10人未満	10～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000～3,000人未満	3,000人以上	分からない
TOTAL		328	4.6	13.1	11.6	17.4	9.1	8.8	9.8	25.0	0.6
Q3 売上高	50億円未満	128	11.7	29.7	27.3	24.2	3.1	1.6	1.6	0.8	0.0
	50～500億円未満	74	0.0	1.4	2.7	28.4	32.4	21.6	9.5	2.7	1.4
	500億円以上	107	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	7.5	18.7	71.0	0.9
	分からない	19	0.0	21.1	5.3	21.1	5.3	15.8	15.8	15.8	0.0
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	7.3	17.9	17.2	15.2	9.3	7.9	6.6	17.9	0.7
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	0.0	6.8	5.5	19.2	13.7	8.2	8.2	38.4	0.0
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	1.6	1.6	6.3	19.0	9.5	9.5	19.0	31.7	1.6
	分からない	41	7.3	24.4	9.8	19.5	0.0	12.2	9.8	17.1	0.0
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	0.0	5.6	11.1	13.9	11.1	5.6	13.9	36.1	2.8
	電気・情報通信機械器具・部品	56	7.1	10.7	8.9	17.9	10.7	8.9	5.4	28.6	1.8
	輸送用機械器具・部品	26	0.0	3.8	15.4	19.2	15.4	3.8	0.0	42.3	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	9.4	24.5	7.5	17.0	9.4	5.7	7.5	18.9	0.0
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	0.0	18.4	10.5	13.2	7.9	10.5	18.4	21.1	0.0
	食料品/飲料品	23	0.0	8.7	21.7	17.4	17.4	17.4	4.3	13.0	0.0
	その他	96	6.3	12.5	12.5	19.8	4.2	10.4	12.5	21.9	0.0
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	9.9	22.3	18.2	18.2	6.6	3.3	6.6	14.9	0.0
	30～100人未満	67	0.0	9.0	14.9	19.4	19.4	16.4	10.4	9.0	1.5
	100～500人未満	43	0.0	2.3	0.0	25.6	11.6	14.0	16.3	27.9	2.3
	500人以上	30	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	10.0	0.0	80.0	0.0
	分からない	67	4.5	11.9	9.0	13.4	6.0	7.5	14.9	32.8	0.0



## 2. 委託業務の活用

### (1) 委託業務と派遣労働者の活用状況

【設問文】 Q5 あなたの関わる業務における委託業務と派遣労働者の活用状況を教えてください。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務と派遣労働者の活用状況では、「委託業務をメインに活用している」の割合が最も高く、24.7%。「委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている」22.3%、「どちらかという委託業務をメインに活用している」21.3%が続く。
- 「委託業務をメインに活用している」と「どちらかという委託業務をメインに活用している」を合わせた「委託業務をメインに活用している（Top2）」の割合は46.0%。「どちらかという派遣労働者をメインに活用している」と「派遣労働者をメインに活用している」を合わせた「派遣労働者をメインに活用している（Bottom2）」の割合は19.2%。

図表 I-2-1. 委託業務と派遣労働者の活用状況（Q5）

n=		(% )							委託業務をメインに活用している (Top2)	派遣労働者をメインに活用している (Bottom2)
		委託業務をメインに活用している	どちらかという委託業務をメインに活用している	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	どちらかという派遣労働者をメインに活用している	分らない				
TOTAL	328	24.7	21.3	22.3	12.5	6.7	12.5	46.0	19.2	

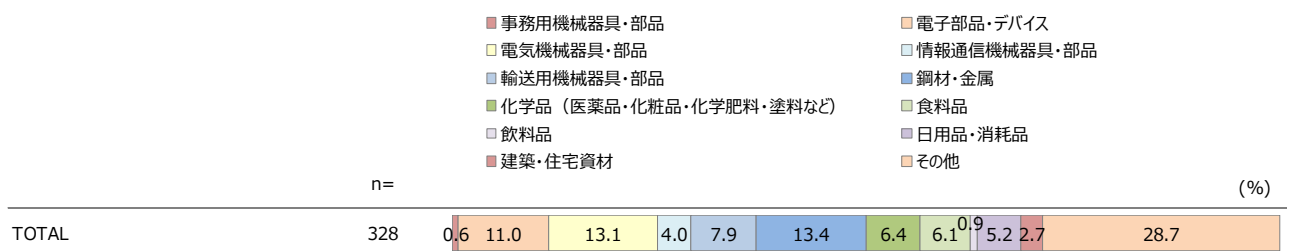
		(% )								
n=		委託業務をメインに活用している	どちらかという委託業務をメインに活用している	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	どちらかという派遣労働者をメインに活用している	分らない	委託業務をメインに活用している (Top2)		派遣労働者をメインに活用している (Bottom2)	
TOTAL		328	24.7	21.3	22.3	12.5	6.7	12.5	46.0	19.2
Q3 売上高	50億円未満	128	37.5	21.9	14.8	3.9	6.3	15.6	59.4	10.2
	50～500億円未満	74	18.9	20.3	29.7	14.9	8.1	8.1	39.2	23.0
	500億円以上	107	15.9	20.6	26.2	20.6	7.5	9.3	36.4	28.1
	分らない	19	10.5	26.3	21.1	15.8	0.0	26.3	36.8	15.8
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	16.7	8.3	33.3	25.0	5.6	11.1	25.0	30.6
	電気・情報通信機械器具・部品	56	28.6	23.2	25.0	10.7	3.6	8.9	51.8	14.3
	輸送用機械器具・部品	26	19.2	34.6	19.2	11.5	7.7	7.7	53.8	19.2
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	24.5	28.3	26.4	5.7	3.8	11.3	52.8	9.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	38	23.7	21.1	23.7	10.5	7.9	13.2	44.7	18.4
	食品/飲料品	23	13.0	17.4	34.8	13.0	8.7	13.0	30.4	21.7
	その他	96	30.2	18.8	11.5	13.5	9.4	16.7	49.0	22.9
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	27.3	25.6	18.2	8.3	7.4	13.2	52.9	15.7
	30～100人未満	67	23.9	26.9	26.9	13.4	1.5	7.5	50.7	14.9
	100～500人未満	43	27.9	18.6	34.9	11.6	2.3	4.7	46.5	13.9
	500人以上	30	26.7	16.7	33.3	10.0	6.7	6.7	43.3	16.7
	分らない	67	17.9	11.9	11.9	20.9	13.4	23.9	29.9	34.3

## (2) 委託業務の生產品目

【設問文】 Q6 委託業務の生產品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務の生產品目では、「鋼材・金属」の割合が最も高く、13.4%。「電気機械器具・部品」13.1%、「電子部品・デバイス」11.0%が続く。

図表 I-2-2. 委託業務の生產品目 (Q6)



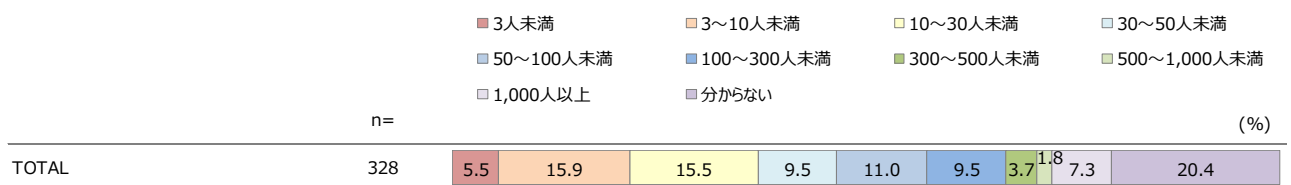
Q3 売上高	n	事務用機械器具・部品	電子部品・デバイス	電気機械器具・部品	情報通信機械器具・部品	輸送用機械器具・部品	鋼材・金属	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	食料品	飲料品	日用品・消耗品	建築・住宅資材	その他	
		TOTAL	328	0.6	11.0	13.1	4.0	7.9	13.4	6.4	6.1	0.9	5.2	2.7
50億円未満	128	1.6	8.6	13.3	3.1	6.3	18.8	3.9	6.3	0.0	6.3	3.9	28.1	
50～500億円未満	74	0.0	10.8	14.9	4.1	9.5	5.4	4.1	12.2	0.0	5.4	5.4	28.4	
500億円以上	107	0.0	14.0	11.2	5.6	10.3	10.3	12.1	2.8	2.8	2.8	0.0	28.0	
分からない	19	0.0	10.5	15.8	0.0	0.0	26.3	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	36.8	
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	1.3	6.0	14.6	4.6	9.3	15.2	4.6	4.6	0.0	6.6	3.3	29.8
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	0.0	16.4	16.4	2.7	6.8	15.1	11.0	8.2	2.7	1.4	4.1	15.1
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	0.0	17.5	7.9	4.8	7.9	6.3	7.9	7.9	0.0	3.2	1.6	34.9
	分からない	41	0.0	9.8	9.8	2.4	4.9	14.6	2.4	4.9	2.4	9.8	0.0	39.0
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	0.8	3.3	15.7	2.5	8.3	14.0	4.1	7.4	0.8	6.6	2.5	33.9
	30～100人未満	67	1.5	13.4	10.4	4.5	7.5	10.4	10.4	4.5	0.0	7.5	4.5	25.4
	100～500人未満	43	0.0	14.0	25.6	9.3	7.0	9.3	7.0	2.3	0.0	2.3	2.3	20.9
	500人以上	30	0.0	33.3	3.3	6.7	13.3	10.0	10.0	0.0	6.7	0.0	3.3	13.3
	分からない	67	0.0	10.4	7.5	1.5	6.0	19.4	4.5	10.4	0.0	4.5	1.5	34.3

### (3) 委託業務の人数規模

【設問文】 Q7 委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務の人数規模では、「分からない」の割合が最も高く、20.4%。「3～10人未満」15.9%、「10～30人未満」15.5%が続く。

図表 I-2-3. 委託業務の人数規模 (Q7)



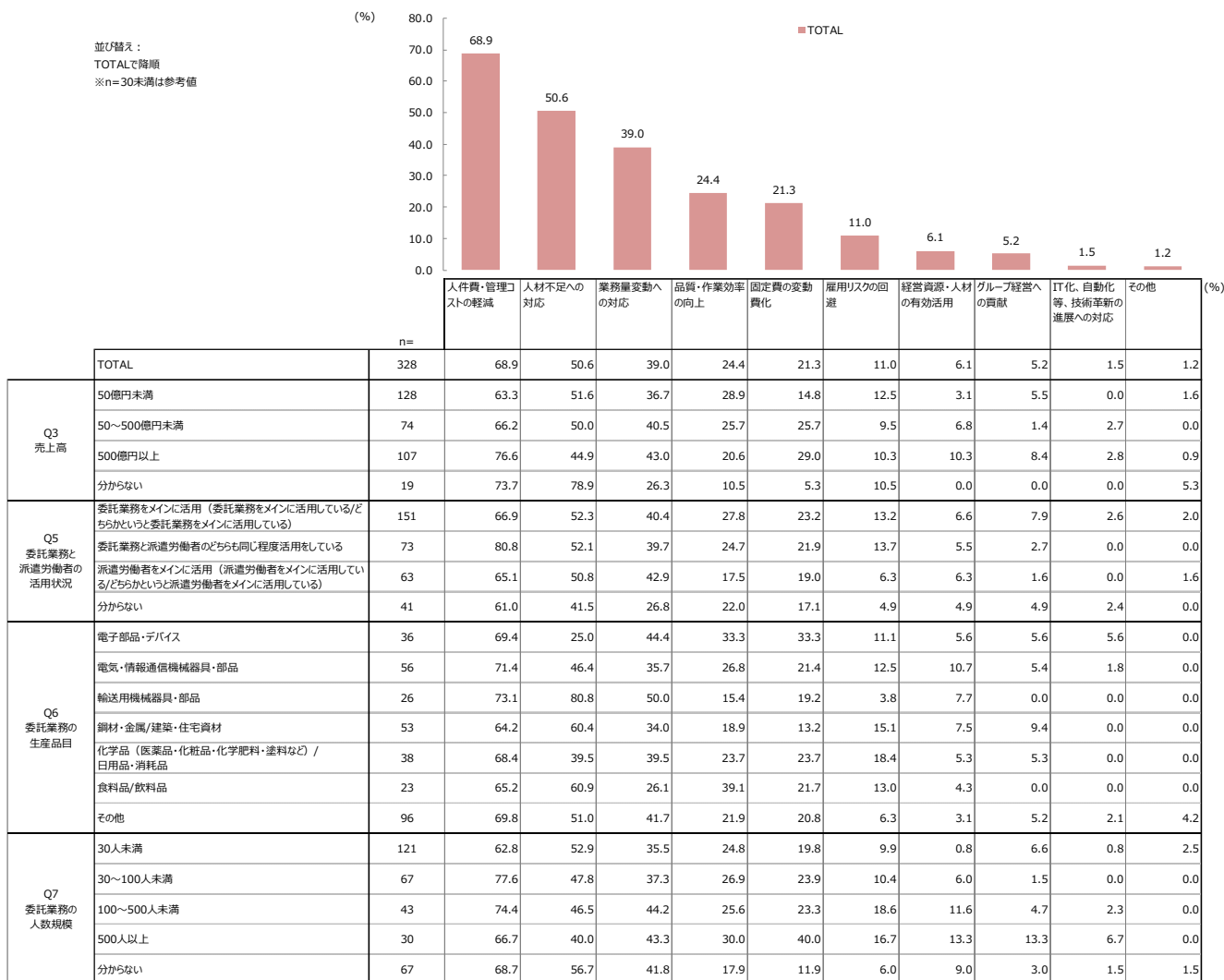
Q3 売上高	n=	人数規模 (%)										
		3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない	
TOTAL	328	5.5	15.9	15.5	9.5	11.0	9.5	3.7	1.8	7.3	20.4	
Q3 売上高	50億円未満	128	9.4	30.5	18.0	7.0	10.9	4.7	0.0	0.0	1.6	18.0
	50～500億円未満	74	5.4	5.4	16.2	17.6	18.9	13.5	6.8	1.4	1.4	13.5
	500億円以上	107	1.9	7.5	13.1	5.6	6.5	13.1	6.5	3.7	18.7	23.4
	分からない	19	0.0	5.3	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	47.4
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかという委託業務をメインに活用している)	151	6.6	19.9	15.9	9.3	13.2	10.6	2.6	2.0	6.6	13.2
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	0.0	9.6	20.5	11.0	13.7	12.3	8.2	2.7	11.0	11.0
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかという派遣労働者をメインに活用している)	63	4.8	11.1	14.3	9.5	6.3	6.3	3.2	0.0	7.9	36.5
	分からない	41	12.2	19.5	7.3	7.3	4.9	4.9	0.0	2.4	2.4	39.0
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	0.0	5.6	5.6	13.9	11.1	11.1	5.6	5.6	22.2	19.4
	電気・情報通信機械器具・部品	56	3.6	17.9	17.9	10.7	7.1	16.1	10.7	1.8	3.6	10.7
	輸送用機械器具・部品	26	3.8	23.1	11.5	11.5	7.7	11.5	0.0	0.0	15.4	15.4
	銅材・金属/建築・住宅資材	53	1.9	15.1	20.8	5.7	13.2	7.5	1.9	0.0	7.5	26.4
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	10.5	10.5	13.2	13.2	18.4	5.3	5.3	0.0	7.9	15.8
	食料品/飲料品	23	0.0	17.4	26.1	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3	4.3	30.4
	その他	96	10.4	18.8	14.6	7.3	11.5	8.3	1.0	2.1	2.1	24.0

#### (4) 業務委託(アウトソーシング)の目的

【設問文】 Q8 業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

- 業務委託（アウトソーシング）の目的として特に重要視しているものでは、「人件費・管理コストの軽減」の割合が最も高く、68.9%。「人材不足への対応」50.6%、「業務量変動への対応」39.0%が続く。

図表 I-2-4. 業務委託（アウトソーシング）の目的（Q8）＊複数回答＊



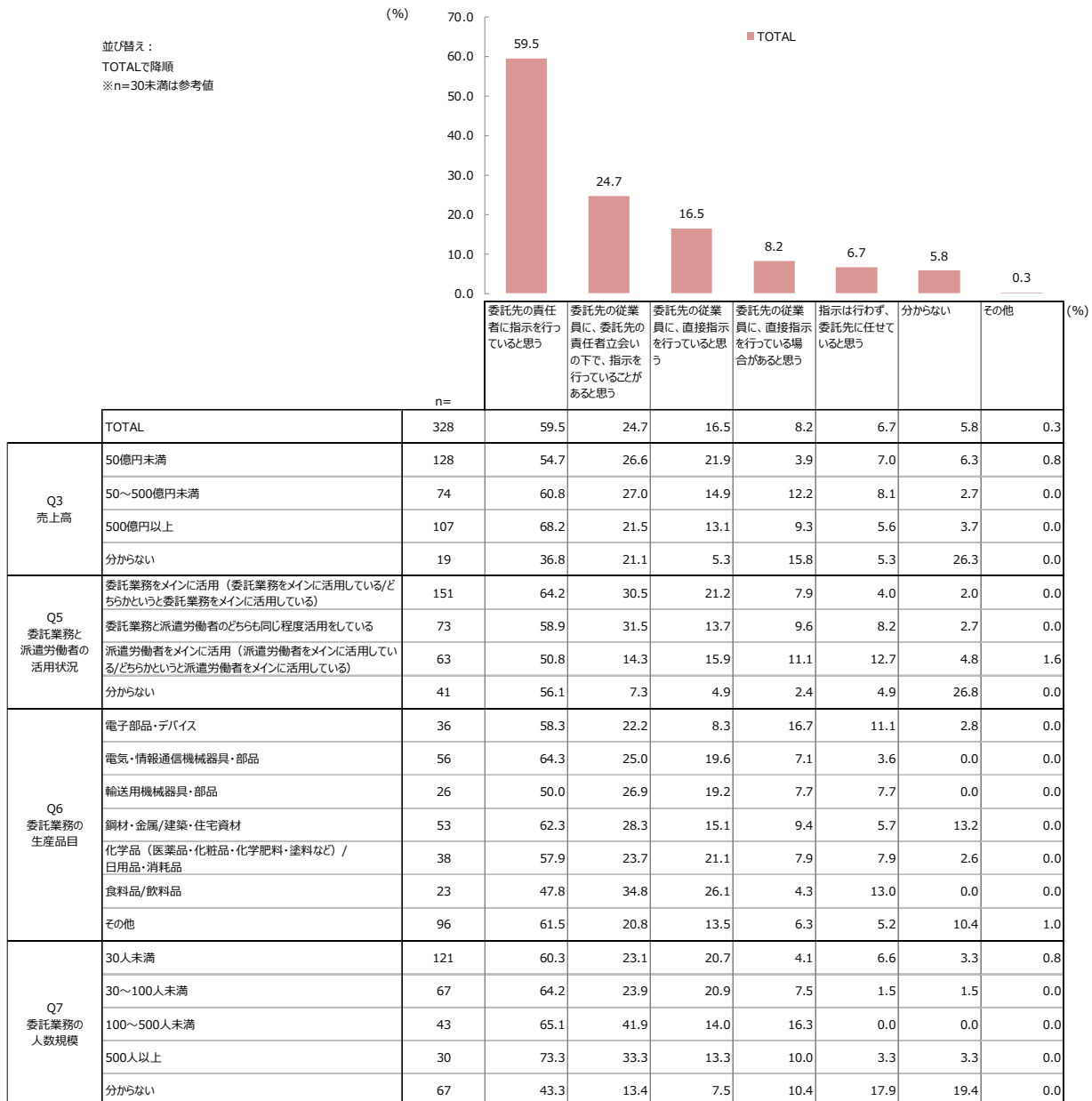
### 3. 委託業務の実態

#### (1) 委託業務への指示

【設問文】 Q9 委託業務の遂行に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 委託業務への指示では、「委託先の責任者に指示を行っていると思う」の割合が最も高く、59.5%。「委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う」24.7%、「委託先の従業員に、直接指示を行っていると思う」16.5%が続く。「委託先の従業員に、直接指示を行っている場合があると思う」は8.2%。

図表 I-3-1. 委託業務への指示 (Q9) \* 複数回答 \*



## (2) 委託業務を行っている現場の状況

【設問文】 Q10 委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務を行っている現場の状況では、「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」の割合が最も高く、55.5%。「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」35.7%、「分からない」8.8%が続く。

図表 I-3-2. 委託業務を行っている現場の状況 (Q10)

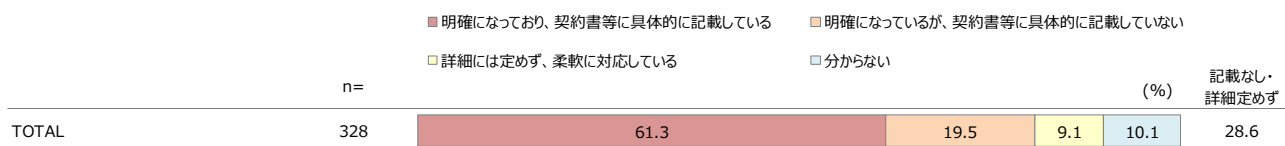
		n=	(%)			
			■ 委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	■ 自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	□ その他	□ 分からない
TOTAL		328	55.5	35.7	0.0	8.8
(%)						
		n=	委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	その他	分からない
	TOTAL	328	55.5	35.7	0.0	8.8
Q3 売上高	50億円未満	128	57.8	29.7	0.0	12.5
	50～500億円未満	74	60.8	35.1	0.0	4.1
	500億円以上	107	51.4	42.1	0.0	6.5
	分からない	19	42.1	42.1	0.0	15.8
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかという委託業務をメインに活用している）	151	64.9	30.5	0.0	4.6
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	50.7	46.6	0.0	2.7
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかという派遣労働者をメインに活用している）	63	50.8	42.9	0.0	6.3
	分からない	41	36.6	24.4	0.0	39.0
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	44.4	47.2	0.0	8.3
	電気・情報通信機械器具・部品	56	53.6	42.9	0.0	3.6
	輸送用機械器具・部品	26	57.7	38.5	0.0	3.8
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	58.5	26.4	0.0	15.1
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	63.2	34.2	0.0	2.6
	食料品/飲料品	23	30.4	65.2	0.0	4.3
	その他	96	61.5	25.0	0.0	13.5
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	62.8	32.2	0.0	5.0
	30～100人未満	67	56.7	38.8	0.0	4.5
	100～500人未満	43	58.1	34.9	0.0	7.0
	500人以上	30	46.7	46.7	0.0	6.7
	分からない	67	43.3	34.3	0.0	22.4

### (3) 委託業務の内容・範囲の明確化

【設問文】 Q11 委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務の内容・範囲の明確化では、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」の割合が最も高く、61.3%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」19.5%、「分からない」10.1%が続く。
- 「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」と「詳細には定めず、柔軟に対応している」を合わせた「記載なし・詳細定めず」の割合は28.6%であった。

図表 I-3-3. 委託業務の内容・範囲の明確化 (Q11)



Q	項目	n=	割合 (%)				
			明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めず、柔軟に対応している	分からない	記載なし・詳細定めず
TOTAL		328	61.3	19.5	9.1	10.1	28.6
Q3 売上高	50億円未満	128	46.9	27.3	15.6	10.2	42.9
	50～500億円未満	74	71.6	18.9	5.4	4.1	24.3
	500億円以上	107	72.9	12.1	3.7	11.2	15.8
	分からない	19	52.6	10.5	10.5	26.3	21.0
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	63.6	23.8	8.6	4.0	32.4
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	74.0	17.8	6.8	1.4	24.6
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	55.6	19.0	7.9	17.5	26.9
	分からない	41	39.0	7.3	17.1	36.6	24.4
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	63.9	16.7	11.1	8.3	27.8
	電気・情報通信機械器具・部品	56	66.1	23.2	10.7	0.0	33.9
	輸送用機械器具・部品	26	61.5	19.2	11.5	7.7	30.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	52.8	15.1	18.9	13.2	34.0
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	63.2	28.9	0.0	7.9	28.9
	食料品/飲料品	23	60.9	26.1	8.7	4.3	34.8
	その他	96	61.5	15.6	5.2	17.7	20.8
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	63.6	20.7	9.1	6.6	29.8
	30～100人未満	67	64.2	25.4	7.5	3.0	32.9
	100～500人未満	43	76.7	16.3	4.7	2.3	21.0
	500人以上	30	63.3	30.0	0.0	6.7	30.0
	分からない	67	43.3	9.0	17.9	29.9	26.9

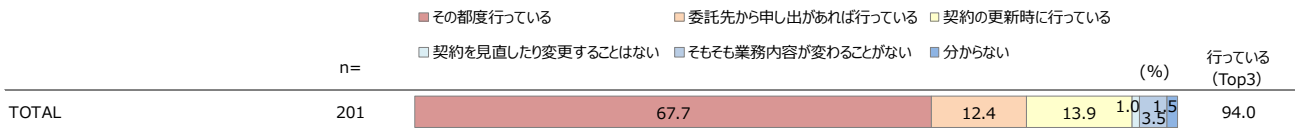
#### (4) 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更

【設問文】 Q12 委託業務の内容、範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更を行っていますか。該当するものを1つ選んでください。

(Q11の選択肢『1.明確になっており、契約書等に具体的に記載している』を選択した方のみ回答)

- 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更では、「その都度行っている」の割合が最も高く、67.7%。「契約の更新時に行っている」13.9%、「委託先から申し出があれば行っている」12.4%が続く。
- 「その都度行っている」「委託先から申し出があれば行っている」「契約の更新時に行っている」を合わせた「行っている (Top3)」の割合は、94.0%。

図表 I-3-4. 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 (Q12)



		その都度行っている						行っている (Top3)
n=		その都度行っている	委託先から申し出があれば行っている	契約の更新時に行っている	契約を見直したり変更することはない	そもそも業務内容が変わることがない	分からない	行っている (Top3)
TOTAL	201	67.7	12.4	13.9	1.0	3.5	1.5	94.0



## (5) 委託業務での機械・設備等の使用状況

【設問文】 Q13 業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』※とあります。あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務での機械・設備等の使用状況では、「すべて基準通りに行っていると思う」の割合が最も高く、45.1%。「おおむね基準通りに行っていると思う」36.0%、「分からない」11.0%が続く。
- 「すべて基準通りに行っていると思う」と「おおむね基準通りに行っていると思う」を合わせた「行っていると思う (Top2)」の割合は、81.1%。

図表 I-3-5. 委託業務での機械・設備等の使用状況 (Q13)

	n=	(% )					行っていると思う (Top2)
		すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	(%)
TOTAL	328	45.1	36.0	4.9	3.0	11.0	81.1

		n=	(% )					行っていると思う (Top2)
			すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	(%)
TOTAL		328	45.1	36.0	4.9	3.0	11.0	81.1
Q3 売上高	50億円未満	128	35.2	39.8	7.8	3.1	14.1	75.0
	50～500億円未満	74	47.3	39.2	5.4	5.4	2.7	86.5
	500億円以上	107	55.1	32.7	1.9	0.0	10.3	87.9
	分からない	19	47.4	15.8	0.0	10.5	26.3	63.2
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	44.4	36.4	6.6	6.0	6.6	80.8
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	56.2	37.0	4.1	0.0	2.7	93.2
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	44.4	36.5	3.2	1.6	14.3	81.0
	分からない	41	29.3	31.7	2.4	0.0	36.6	61.0
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	50.0	38.9	2.8	2.8	5.6	88.9
	電気・情報通信機械器具・部品	56	53.6	33.9	7.1	5.4	0.0	87.5
	輸送用機械器具・部品	26	42.3	46.2	3.8	3.8	3.8	88.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	49.1	24.5	7.5	1.9	17.0	73.6
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	44.7	39.5	7.9	0.0	7.9	84.2
	食料品/飲料品	23	30.4	47.8	4.3	4.3	13.0	78.3
	その他	96	40.6	35.4	2.1	3.1	18.8	76.0
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	46.3	35.5	5.0	3.3	9.9	81.8
	30～100人未満	67	47.8	35.8	7.5	6.0	3.0	83.6
	100～500人未満	43	48.8	44.2	4.7	0.0	2.3	93.0
	500人以上	30	53.3	33.3	0.0	3.3	10.0	86.7
	分からない	67	34.3	32.8	4.5	1.5	26.9	67.2

## 4. 適正な請負

### (1) 偽装請負への不安

【設問文】 Q14 委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

- 偽装請負への不安では、「ない」の割合が最も高く、44.5%。「多少ある」24.1%、「意識したことがない」14.3%が続く。
- 「ある」と「多少ある」を合わせた「ある（Top2）」の割合は、29.6%。

図表 I-4-1. 偽装請負への不安（Q14）

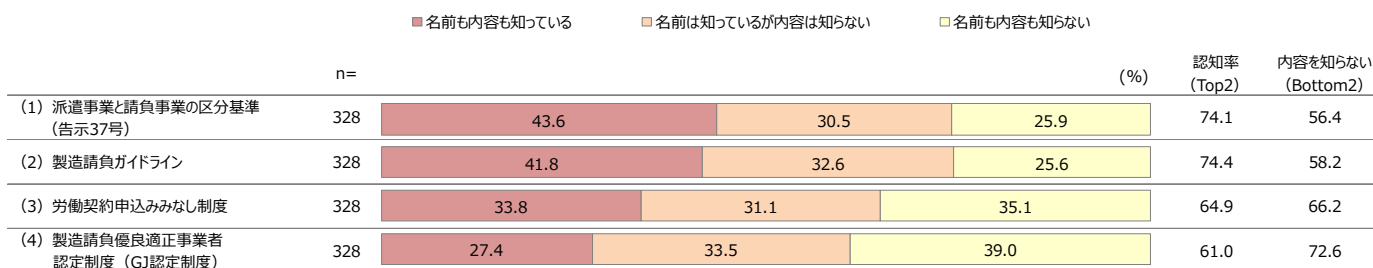
		n=	■ある	■多少ある	■ない	■意識したことがない	■分からない	ある (Top2)	
			n=					(%)	ある (Top2)
TOTAL		328	5.5	24.1	44.5	14.3	11.6	29.6	
								(%)	
		n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)	
	TOTAL	328	5.5	24.1	44.5	14.3	11.6	29.6	
Q3 売上高	50億円未満	128	5.5	22.7	43.0	16.4	12.5	28.1	
	50～500億円未満	74	2.7	29.7	50.0	13.5	4.1	32.4	
	500億円以上	107	8.4	22.4	42.1	15.0	12.1	30.8	
	分からない	19	0.0	21.1	47.4	0.0	31.6	21.1	
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	6.0	22.5	51.7	13.9	6.0	28.5	
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	8.2	37.0	39.7	9.6	5.5	45.2	
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	1.6	19.0	38.1	22.2	19.0	20.6	
	分からない	41	4.9	14.6	36.6	12.2	31.7	19.5	
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	11.1	33.3	38.9	13.9	2.8	44.4	
	電気・情報通信機械器具・部品	56	5.4	30.4	48.2	10.7	5.4	35.7	
	輸送用機械器具・部品	26	0.0	34.6	38.5	23.1	3.8	34.6	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	9.4	18.9	43.4	18.9	9.4	28.3	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	5.3	26.3	42.1	10.5	15.8	31.6	
	食料品/飲料品	23	8.7	21.7	43.5	13.0	13.0	30.4	
	その他	96	2.1	16.7	47.9	13.5	19.8	18.8	
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	4.1	21.5	52.9	12.4	9.1	25.6	
	30～100人未満	67	3.0	29.9	47.8	14.9	4.5	32.8	
	100～500人未満	43	9.3	37.2	44.2	7.0	2.3	46.5	
	500人以上	30	16.7	30.0	26.7	20.0	6.7	46.7	
	分からない	67	3.0	11.9	34.3	19.4	31.3	14.9	

## (2) 適正な請負を行うための知識の認知

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

- 適正な請負を行うための知識の認知について、「名前も内容も知っている」割合が高いのは『(1) 派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）』（43.6%）、『(2) 製造請負ガイドライン』（41.8%）で4割を超える。
- 一方、「名前も内容も知らない」割合が高いのは『(4) 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』（39.0%）、『(3) 労働契約申込みみなし制度』（35.1%）で4割弱となっている。

図表 I-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知（Q15）



		%				
	n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示37号)	328	43.6	30.5	25.9	74.1	56.4
(2) 製造請負ガイドライン	328	41.8	32.6	25.6	74.4	58.2
(3) 労働契約申込みみなし制度	328	33.8	31.1	35.1	64.9	66.2
(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	328	27.4	33.5	39.0	61.0	72.6

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)

- 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号) では、「名前も内容も知っている」割合が最も高く、43.6%。「名前は知っているが内容は知らない」30.5%、「名前も内容も知らない」25.9%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、74.1%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、56.4%。

図表 I-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号) (Q15)

	n=	■ 名前も内容も知っている	□ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	認知率 (Top2) (%)	内容を知らない (Bottom2) (%)
TOTAL	328	43.6	30.5	25.9	74.1	56.4

		n=	名前も内容も知っている (%)	名前は知っているが内容は知らない (%)	名前も内容も知らない (%)	認知率 (Top2) (%)	内容を知らない (Bottom2) (%)
TOTAL		328	43.6	30.5	25.9	74.1	56.4
Q3 売上高	50億円未満	128	28.1	36.7	35.2	64.8	71.9
	50～500億円未満	74	51.4	33.8	14.9	85.1	48.6
	500億円以上	107	57.9	22.4	19.6	80.4	42.1
	分からない	19	36.8	21.1	42.1	57.9	63.2
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	48.3	31.8	19.9	80.1	51.7
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	54.8	26.0	19.2	80.8	45.2
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	34.9	36.5	28.6	71.4	65.1
	分からない	41	19.5	24.4	56.1	43.9	80.5
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	58.3	22.2	19.4	80.6	41.7
	電気・情報通信機械器具・部品	56	50.0	26.8	23.2	76.8	50.0
	輸送用機械器具・部品	26	26.9	53.8	19.2	80.8	73.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	39.6	22.6	37.7	62.3	60.4
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	52.6	31.6	15.8	84.2	47.4
	食料品/飲料品	23	43.5	30.4	26.1	73.9	56.5
	その他	96	37.5	33.3	29.2	70.8	62.5
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	37.2	33.9	28.9	71.1	62.8
	30～100人未満	67	49.3	35.8	14.9	85.1	50.7
	100～500人未満	43	65.1	25.6	9.3	90.7	34.9
	500人以上	30	63.3	20.0	16.7	83.3	36.7
	分からない	67	26.9	26.9	46.3	53.7	73.1

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(2) 製造請負ガイドライン

- 製造請負ガイドラインでは、「名前も内容も知っている」割合が最も高く、41.8%。「名前は知っているが内容は知らない」32.6%、「名前も内容も知らない」25.6%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、74.4%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、58.2%。

図表 I-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知

(2) 製造請負ガイドライン (Q15)

	n=	■ 名前も内容も知っている	□ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	(%)	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL	328	41.8	32.6	25.6		74.4	58.2

(%)

		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL		328	41.8	32.6	25.6	74.4	58.2
Q3 売上高	50億円未満	128	30.5	36.7	32.8	67.2	69.5
	50～500億円未満	74	52.7	31.1	16.2	83.8	47.3
	500億円以上	107	49.5	30.8	19.6	80.4	50.5
	分からない	19	31.6	21.1	47.4	52.6	68.4
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	44.4	36.4	19.2	80.8	55.6
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	54.8	27.4	17.8	82.2	45.2
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	31.7	36.5	31.7	68.3	68.3
	分からない	41	24.4	22.0	53.7	46.3	75.6
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	50.0	36.1	13.9	86.1	50.0
	電気・情報通信機械器具・部品	56	55.4	19.6	25.0	75.0	44.6
	輸送用機械器具・部品	26	30.8	46.2	23.1	76.9	69.2
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	34.0	34.0	32.1	67.9	66.0
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	55.3	31.6	13.2	86.8	44.7
	食料品/飲料品	23	47.8	26.1	26.1	73.9	52.2
	その他	96	31.3	36.5	32.3	67.7	68.8
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	39.7	29.8	30.6	69.4	60.3
	30～100人未満	67	43.3	41.8	14.9	85.1	56.7
	100～500人未満	43	69.8	18.6	11.6	88.4	30.2
	500人以上	30	60.0	26.7	13.3	86.7	40.0
	分からない	67	17.9	40.3	41.8	58.2	82.1

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(3) 労働契約申込みみなし制度

- 労働契約申込みみなし制度では、「名前も内容も知らない」割合が最も高く、35.1%。「名前も内容も知っている」33.8%、「名前は知っているが内容は知らない」31.1%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率（Top2）」の割合は、64.9%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（Bottom2）」の割合は、66.2%。

図表 I-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知

(3) 労働契約申込みみなし制度 (Q15)

	n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL	328	33.8	31.1	35.1	64.9	66.2

(%)

		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL		328	33.8	31.1	35.1	64.9	66.2
Q3 売上高	50億円未満	128	28.1	35.2	36.7	63.3	71.9
	50～500億円未満	74	39.2	33.8	27.0	73.0	60.8
	500億円以上	107	39.3	25.2	35.5	64.5	60.7
	分からない	19	21.1	26.3	52.6	47.4	78.9
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	39.1	29.8	31.1	68.9	60.9
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	43.8	32.9	23.3	76.7	56.2
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	17.5	36.5	46.0	54.0	82.5
	分からない	41	22.0	24.4	53.7	46.3	78.0
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	41.7	33.3	25.0	75.0	58.3
	電気・情報通信機械器具・部品	56	46.4	17.9	35.7	64.3	53.6
	輸送用機械器具・部品	26	26.9	30.8	42.3	57.7	73.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	32.1	34.0	34.0	66.0	67.9
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	39.5	39.5	21.1	78.9	60.5
	食料品/飲料品	23	39.1	26.1	34.8	65.2	60.9
	その他	96	22.9	34.4	42.7	57.3	77.1
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	28.9	38.8	32.2	67.8	71.1
	30～100人未満	67	38.8	35.8	25.4	74.6	61.2
	100～500人未満	43	62.8	14.0	23.3	76.7	37.2
	500人以上	30	56.7	13.3	30.0	70.0	43.3
	分からない	67	9.0	31.3	59.7	40.3	91.0

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

- 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度) では、「名前も内容も知らない」割合が最も高く、39.0%。「名前は知っているが内容は知らない」33.5%、「名前も内容も知っている」27.4%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、61.0%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、72.6%。

図表 I-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知  
(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度) (Q15)

	n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
					(%)	(%)
TOTAL	328	27.4	33.5	39.0	61.0	72.6

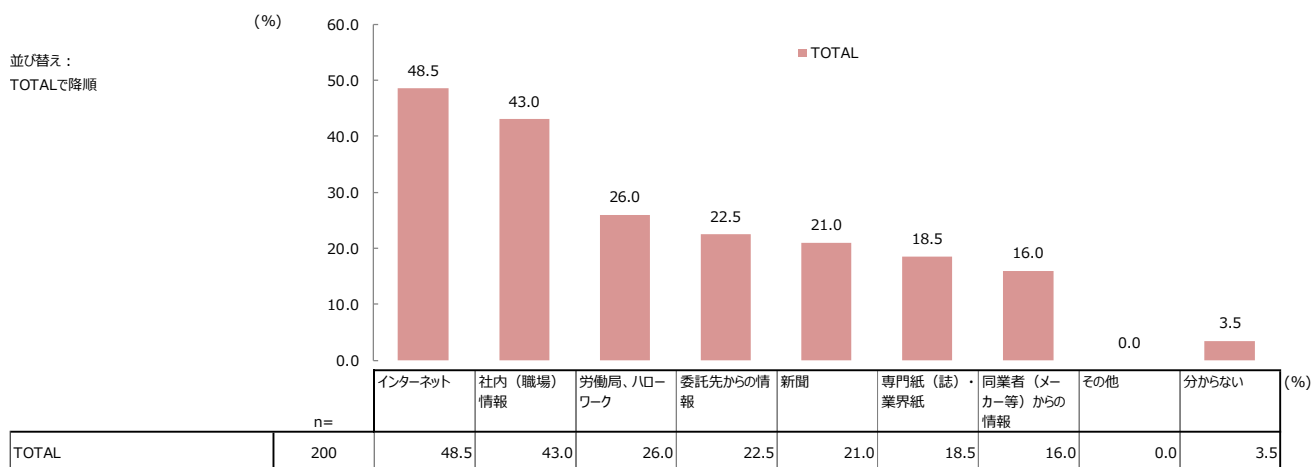
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
						(%)	(%)
	TOTAL	328	27.4	33.5	39.0	61.0	72.6
Q3 売上高	50億円未満	128	21.9	34.4	43.8	56.3	78.1
	50～500億円未満	74	35.1	32.4	32.4	67.6	64.9
	500億円以上	107	31.8	34.6	33.6	66.4	68.2
	分からない	19	10.5	26.3	63.2	36.8	89.5
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	29.1	37.7	33.1	66.9	70.9
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	41.1	31.5	27.4	72.6	58.9
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	14.3	34.9	50.8	49.2	85.7
	分からない	41	17.1	19.5	63.4	36.6	82.9
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	33.3	41.7	25.0	75.0	66.7
	電気・情報通信機械器具・部品	56	30.4	30.4	39.3	60.7	69.6
	輸送用機械器具・部品	26	19.2	42.3	38.5	61.5	80.8
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	28.3	30.2	41.5	58.5	71.7
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	34.2	36.8	28.9	71.1	65.8
	食料品/飲料品	23	39.1	17.4	43.5	56.5	60.9
	その他	96	19.8	34.4	45.8	54.2	80.2
Q7 委託業務の人数規模	30人未満	121	20.7	37.2	42.1	57.9	79.3
	30～100人未満	67	31.3	40.3	28.4	71.6	68.7
	100～500人未満	43	51.2	27.9	20.9	79.1	48.8
	500人以上	30	50.0	20.0	30.0	70.0	50.0
	分からない	67	10.4	29.9	59.7	40.3	89.6

### (3) GJ 認定制度の認知経路

【設問文】 Q16 Q15 の(4)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）について、「名前も内容も知っている」及び「名前は知っているが内容は知らない」と答えた方にお伺いします。それは、どの方法で知りましたか、該当するものを選んでください。（複数回答可）

- GJ 認定制度の認知経路では、「インターネット」の割合が最も高く、48.5%。「社内（職場）情報」43.0%、「労働局、ハローワーク」26.0%が続く。

図表 I-4-3. GJ 認定制度の認知経路（Q16） \* 複数回答 \*





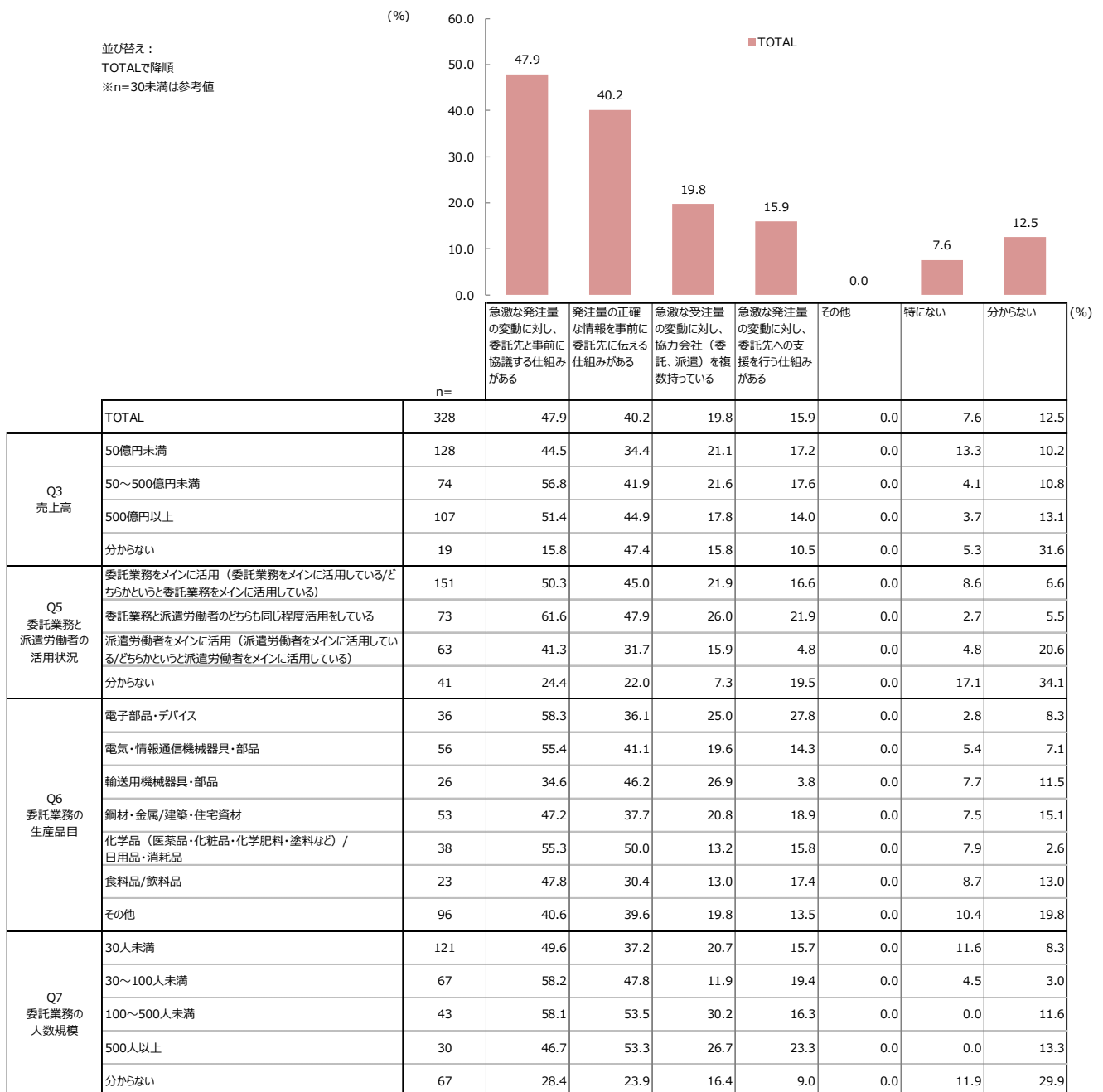
## 5. 請負事業者との関係

### (1) 発注量変動への対応

【設問文】 Q17 委託業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 発注量変動への対応では、「急激な発注量の変動に対し、委託先と事前に協議する仕組みがある」の割合が最も高く、47.9%。「発注量の正確な情報を事前に委託先に伝える仕組みがある」40.2%、「急激な受注量の変動に対し、協力会社（委託、派遣）を複数持っている」19.8%が続く。

図表 I-5-1. 発注量変動への対応（Q17）\* 複数回答 \*



## (2) 急激な生産減になった場合の委託先への補償

【設問文】 Q18 委託業務が急激な生産減になった場合の委託先への補償についてお伺いします。該当するものを1つ選んでください。

- 急激な生産減になった場合の委託先への補償では、「契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償する可能性がある」の割合が最も高く、40.5%。「契約書等に補償の記載があり、補償を行う」「分からない」22.6%が続く。

図表 I-5-2. 急激な生産減になった場合の委託先への補償 (Q18)

		n=	(% )				
			■ 契約書等に補償の記載があり、補償を行う	■ 契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償する可能性がある	□ 契約書等に補償の記載はなく、補償を行わない	□ その他	■ 分からない
TOTAL		328	22.6	40.5	13.7	0.6	22.6
			(% )				
		n=	契約書等に補償の記載があり、補償を行う	契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償する可能性がある	契約書等に補償の記載はなく、補償を行わない	その他	分からない
	TOTAL	328	22.6	40.5	13.7	0.6	22.6
Q3 売上高	50億円未満	128	18.0	39.1	15.6	0.0	27.3
	50～500億円未満	74	17.6	50.0	17.6	1.4	13.5
	500億円以上	107	32.7	38.3	9.3	0.9	18.7
	分からない	19	15.8	26.3	10.5	0.0	47.4
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	23.8	41.1	21.2	0.7	13.2
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	28.8	49.3	5.5	1.4	15.1
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	15.9	41.3	6.3	0.0	36.5
	分からない	41	17.1	22.0	12.2	0.0	48.8
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	25.0	55.6	8.3	0.0	11.1
	電気・情報通信機械器具・部品	56	25.0	37.5	16.1	0.0	21.4
	輸送用機械器具・部品	26	15.4	50.0	11.5	3.8	19.2
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	24.5	32.1	13.2	0.0	30.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） / 日用品・消耗品	38	23.7	39.5	23.7	0.0	13.2
	食料品/飲料品	23	30.4	39.1	13.0	0.0	17.4
	その他	96	18.8	39.6	11.5	1.0	29.2
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	19.8	43.8	15.7	1.7	19.0
	30～100人未満	67	23.9	52.2	14.9	0.0	9.0
	100～500人未満	43	34.9	41.9	11.6	0.0	11.6
	500人以上	30	43.3	40.0	6.7	0.0	10.0
	分からない	67	9.0	22.4	13.4	0.0	55.2



#### (4) 生産性向上と委託料金の見直し状況

【設問文】 Q20 委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金(単価)はどのようにしていますか。

その対応について、最も該当するものを1つ選んでください。

- 生産性向上と委託料金の見直し状況では、「変えないことが多い」の割合が最も高く、39.0%。「分からない」24.4%、「変えない」22.6%が続く。
- 「変えない」と「変えないことが多い」を合わせた「変えない (Top2)」の割合は、61.6%となっている。一方、「減らすことが多い」と「減らす」を合わせた「減らす (Bottom2)」の割合は、14.0%。

図表 I-5-4. 生産性向上と委託料金の見直し状況 (Q20)

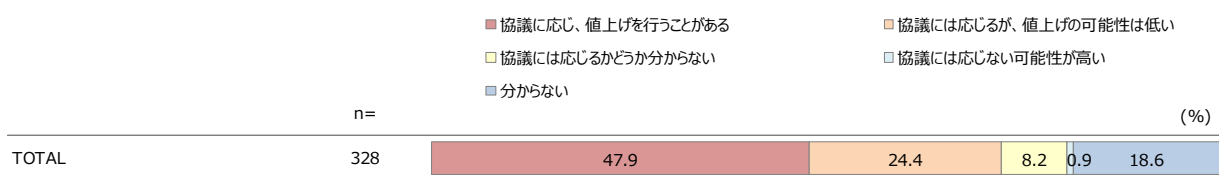
		n=	n=					(%)	
			■ 変えない	■ 変えないことが多い	■ 減らすことが多い	■ 減らす	■ 分からない	変えない (Top2)	減らす (Bottom2)
TOTAL		328	22.6	39.0	12.2	1.8	24.4	61.6	14.0
(%)									
		n=	変えない	変えないことが多い	減らすことが多い	減らす	分からない	変えない (Top2)	減らす (Bottom2)
Q3 売上高	TOTAL	328	22.6	39.0	12.2	1.8	24.4	61.6	14.0
	50億円未満	128	24.2	42.2	10.2	1.6	21.9	66.4	11.8
	50～500億円未満	74	20.3	51.4	13.5	1.4	13.5	71.6	14.9
	500億円以上	107	23.4	30.8	15.0	2.8	28.0	54.2	17.8
	分からない	19	15.8	15.8	5.3	0.0	63.2	31.6	5.3
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	24.5	45.7	12.6	2.0	15.2	70.2	14.6
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	19.2	52.1	12.3	0.0	16.4	71.2	12.3
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	23.8	22.2	17.5	3.2	33.3	46.0	20.7
	分からない	41	19.5	17.1	2.4	2.4	58.5	36.6	4.8
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	16.7	41.7	22.2	0.0	19.4	58.3	22.2
	電気・情報通信機械器具・部品	56	17.9	46.4	14.3	0.0	21.4	64.3	14.3
	輸送用機械器具・部品	26	26.9	50.0	0.0	0.0	23.1	76.9	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	22.6	43.4	7.5	3.8	22.6	66.0	11.3
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	18.4	50.0	13.2	2.6	15.8	68.4	15.8
	食料品/飲料品	23	21.7	39.1	13.0	4.3	21.7	60.9	17.3
	その他	96	28.1	24.0	12.5	2.1	33.3	52.1	14.6
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	28.1	39.7	12.4	2.5	17.4	67.8	14.9
	30～100人未満	67	19.4	53.7	17.9	0.0	9.0	73.1	17.9
	100～500人未満	43	27.9	48.8	11.6	0.0	11.6	76.7	11.6
	500人以上	30	23.3	36.7	13.3	6.7	20.0	60.0	20.0
	分からない	67	11.9	17.9	6.0	1.5	62.7	29.9	7.5

## (5) 委託料金の値上げ申し入れへの対応

【設問文】 Q21 委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託料金の値上げの申し入れへの対応では、「協議に応じ、値上げを行うことがある」の割合が最も高く、47.9%。「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」24.4%、「分からない」18.6%が続く。
- 「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」と「協議には応じるかどうか分からない」8.2%、「協議には応じない可能性が高い」0.9%を合わせた値上げに応じる可能性が低い割合は33.5%。

図表 I-5-5. 委託料金の値上げ申し入れへの対応 (Q21)



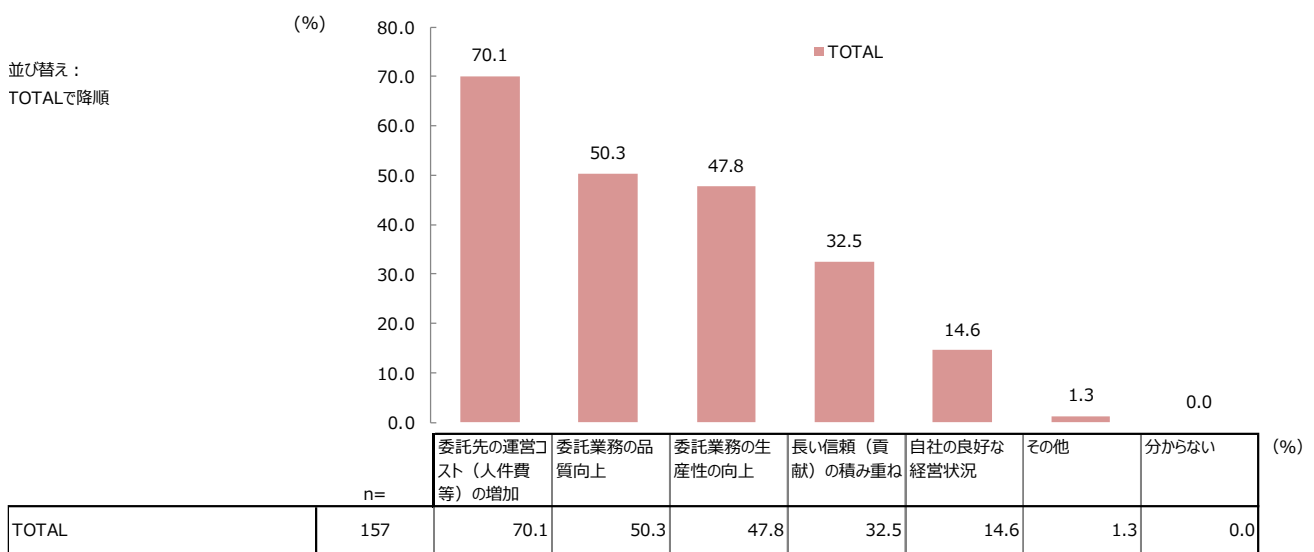
Q21	n=	割合 (%)					
		協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない	
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6	
Q3 売上高	50億円未満	128	38.3	29.7	10.2	1.6	20.3
	50～500億円未満	74	54.1	29.7	6.8	0.0	9.5
	500億円以上	107	56.1	17.8	7.5	0.9	17.8
	分からない	19	42.1	5.3	5.3	0.0	47.4
Q5 委託業務と派遣労働者の活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	52.3	26.5	7.9	1.3	11.9
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用している	73	47.9	31.5	11.0	0.0	9.6
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	44.4	19.0	6.3	0.0	30.2
	分からない	41	36.6	12.2	7.3	2.4	41.5
Q6 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	36	58.3	22.2	11.1	0.0	8.3
	電気・情報通信機械器具・部品	56	50.0	30.4	3.6	3.6	12.5
	輸送用機械器具・部品	26	46.2	26.9	15.4	0.0	11.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	49.1	20.8	9.4	0.0	20.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	38	47.4	28.9	7.9	2.6	13.2
	食料品/飲料品	23	30.4	43.5	8.7	0.0	17.4
Q7 委託業務の人数規模	その他	96	46.9	16.7	7.3	0.0	29.2
	30人未満	121	44.6	28.9	9.1	1.7	15.7
	30～100人未満	67	53.7	31.3	9.0	0.0	6.0
	100～500人未満	43	60.5	27.9	2.3	2.3	7.0
	500人以上	30	66.7	16.7	10.0	0.0	6.7
分からない	67	31.3	10.4	9.0	0.0	49.3	

## (6) 値上げに応じる際に重視する理由

【設問文】 Q22 Q21 で、「協議に応じ、値上げを行うことがある」と答えた方にお尋ねします。値上げに応じる際に、重視する理由を最大3つまで選んでください。

- 値上げに応じる際に重視する理由では、「委託先の運営コスト（人件費等）の増加」の割合が最も高く、70.1%。「委託業務の品質向上」50.3%、「委託業務の生産性の向上」47.8%が続く。

図表 I-5-6. 値上げに応じる際に重視する理由（Q22） \* 複数回答 \*

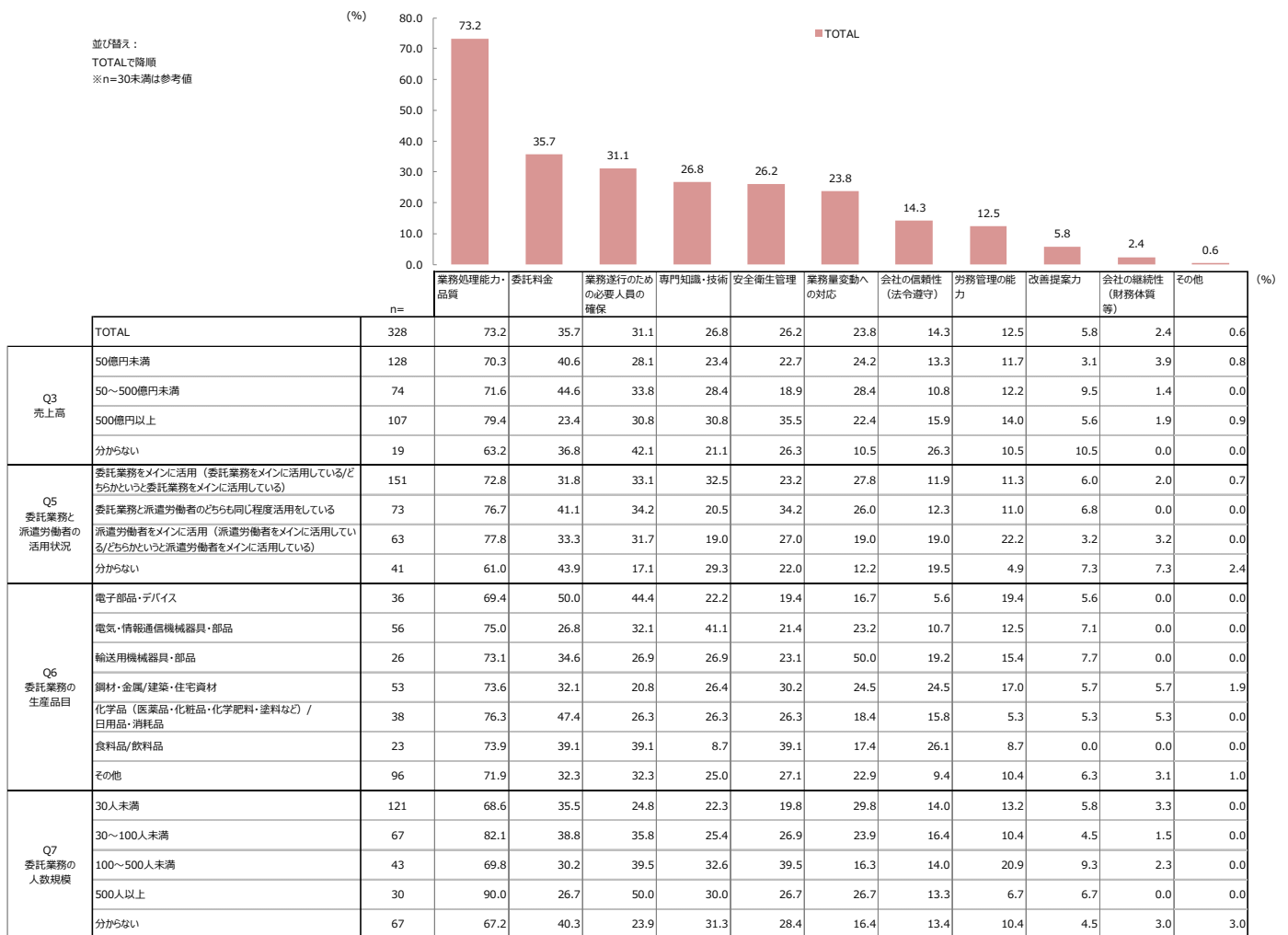


## (7) 委託先に求める重視ポイント

【設問文】 Q23 委託業務において委託先に求めることを教えてください。特に重視するものを最大3つまで選んでください。

- 委託先に求める重視ポイントでは、「業務処理能力・品質」の割合が最も高く、73.2%。「委託料金」35.7%、「業務遂行のための必要人員の確保」31.1%が続く。

図表 I-5-7. 委託先に求める重視ポイント (Q23) \* 複数回答 \*

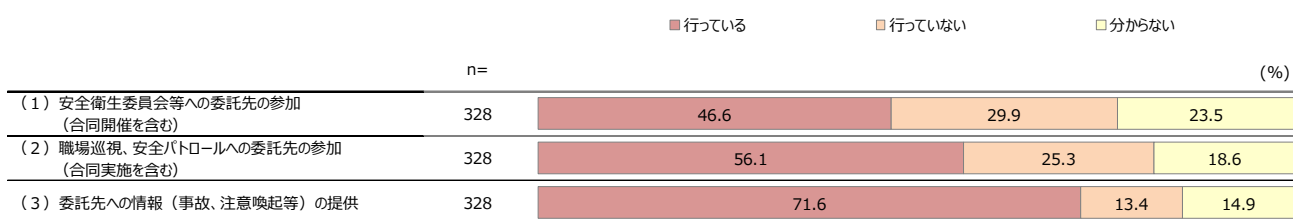


## (8) 安全衛生管理の委託先との連携

【設問文】 Q24 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

- 安全衛生管理の委託先との情報共有・連携状況について、「行っている」割合が高いのは『（3）委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供』（71.6%）で7割を超える。『（2）職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）』（56.1%）では6割弱、『（1）安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）』（46.6%）では5割弱となっている。

図表 I-5-8. 安全衛生管理の委託先との連携（Q24）



		n=		
		行っている	行っていない	分からない
(1) 安全衛生委員会等への委託先の参加 (合同開催を含む)	328	46.6	29.9	23.5
(2) 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加 (合同実施を含む)	328	56.1	25.3	18.6
(3) 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供	328	71.6	13.4	14.9



【設問文】 Q24 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

(1) 安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）

- 安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）では、「行っている」の割合が最も高く、46.6%。「行っていない」29.9%、「分からない」23.5%が続く。

図表 I-5-8. 安全衛生管理の委託先との連携  
(1) 安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）（Q24）

		n=	n=			(%)
			■ 行っている	■ 行っていない	□ 分からない	
TOTAL		328	46.6	29.9	23.5	
			(%)			
		n=	行っている	行っていない	分からない	
	TOTAL	328	46.6	29.9	23.5	
Q3 売上高	50億円未満	128	27.3	42.2	30.5	
	50～500億円未満	74	55.4	33.8	10.8	
	500億円以上	107	64.5	15.0	20.6	
	分からない	19	42.1	15.8	42.1	
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	43.7	37.7	18.5	
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	67.1	20.5	12.3	
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	42.9	23.8	33.3	
	分からない	41	26.8	26.8	46.3	
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	58.3	27.8	13.9	
	電気・情報通信機械器具・部品	56	44.6	35.7	19.6	
	輸送用機械器具・部品	26	42.3	34.6	23.1	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	41.5	34.0	24.5	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/ 日用品・消耗品	38	55.3	34.2	10.5	
	食料品/飲料品	23	39.1	39.1	21.7	
	その他	96	45.8	19.8	34.4	
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	39.7	33.9	26.4	
	30～100人未満	67	52.2	37.3	10.4	
	100～500人未満	43	72.1	23.3	4.7	
	500人以上	30	76.7	10.0	13.3	
	分からない	67	23.9	28.4	47.8	

【設問文】 Q24 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

(2) 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加 (合同実施を含む)

- 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加 (合同実施を含む) では、「行っている」の割合が最も高く、56.1%。「行っていない」25.3%、「分からない」18.6%が続く。

図表 I-5-8. 安全衛生管理の委託先との連携

(2) 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加 (合同実施を含む) (Q24)

		n=	(%)		
			■ 行っている	■ 行っていない	□ 分からない
TOTAL		328	56.1	25.3	18.6
			(%)		
		n=	行っている	行っていない	分からない
	TOTAL	328	56.1	25.3	18.6
Q3 売上高	50億円未満	128	43.0	35.9	21.1
	50～500億円未満	74	68.9	21.6	9.5
	500億円以上	107	63.6	16.8	19.6
	分からない	19	52.6	15.8	31.6
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用 (委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している)	151	55.0	31.8	13.2
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	71.2	17.8	11.0
	派遣労働者をメインに活用 (派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している)	63	52.4	20.6	27.0
	分からない	41	39.0	22.0	39.0
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	69.4	19.4	11.1
	電気・情報通信機械器具・部品	56	50.0	33.9	16.1
	輸送用機械器具・部品	26	61.5	23.1	15.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	60.4	24.5	15.1
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) / 日用品・消耗品	38	55.3	28.9	15.8
	食料品/飲料品	23	65.2	21.7	13.0
	その他	96	49.0	22.9	28.1
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	48.8	31.4	19.8
	30～100人未満	67	68.7	25.4	6.0
	100～500人未満	43	74.4	18.6	7.0
	500人以上	30	76.7	10.0	13.3
	分からない	67	35.8	25.4	38.8

【設問文】 Q24 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

(3) 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供

- 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供では、「行っている」の割合が最も高く、71.6%。「分からない」14.9%、「行っていない」13.4%が続く。

図表 I-5-8. 安全衛生管理の委託先との連携  
(3) 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供 (Q24)

		n=	(%)		
			■ 行っている	□ 行っていない	□ 分からない
TOTAL		328	71.6	13.4	14.9
(%)					
		n=	行っている	行っていない	分からない
	TOTAL	328	71.6	13.4	14.9
Q3 売上高	50億円未満	128	54.7	25.8	19.5
	50～500億円未満	74	86.5	8.1	5.4
	500億円以上	107	83.2	1.9	15.0
	分からない	19	63.2	15.8	21.1
Q5 委託業務と 派遣労働者の 活用状況	委託業務をメインに活用（委託業務をメインに活用している/どちらかというと委託業務をメインに活用している）	151	74.2	17.2	8.6
	委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている	73	76.7	13.7	9.6
	派遣労働者をメインに活用（派遣労働者をメインに活用している/どちらかというと派遣労働者をメインに活用している）	63	77.8	4.8	17.5
	分からない	41	43.9	12.2	43.9
Q6 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	36	80.6	8.3	11.1
	電気・情報通信機械器具・部品	56	69.6	21.4	8.9
	輸送用機械器具・部品	26	76.9	11.5	11.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	53	66.0	18.9	15.1
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/ 日用品・消耗品	38	65.8	18.4	15.8
	食料品/飲料品	23	87.0	0.0	13.0
	その他	96	69.8	9.4	20.8
Q7 委託業務の 人数規模	30人未満	121	69.4	18.2	12.4
	30～100人未満	67	80.6	13.4	6.0
	100～500人未満	43	86.0	14.0	0.0
	500人以上	30	83.3	0.0	16.7
	分からない	67	52.2	10.4	37.3

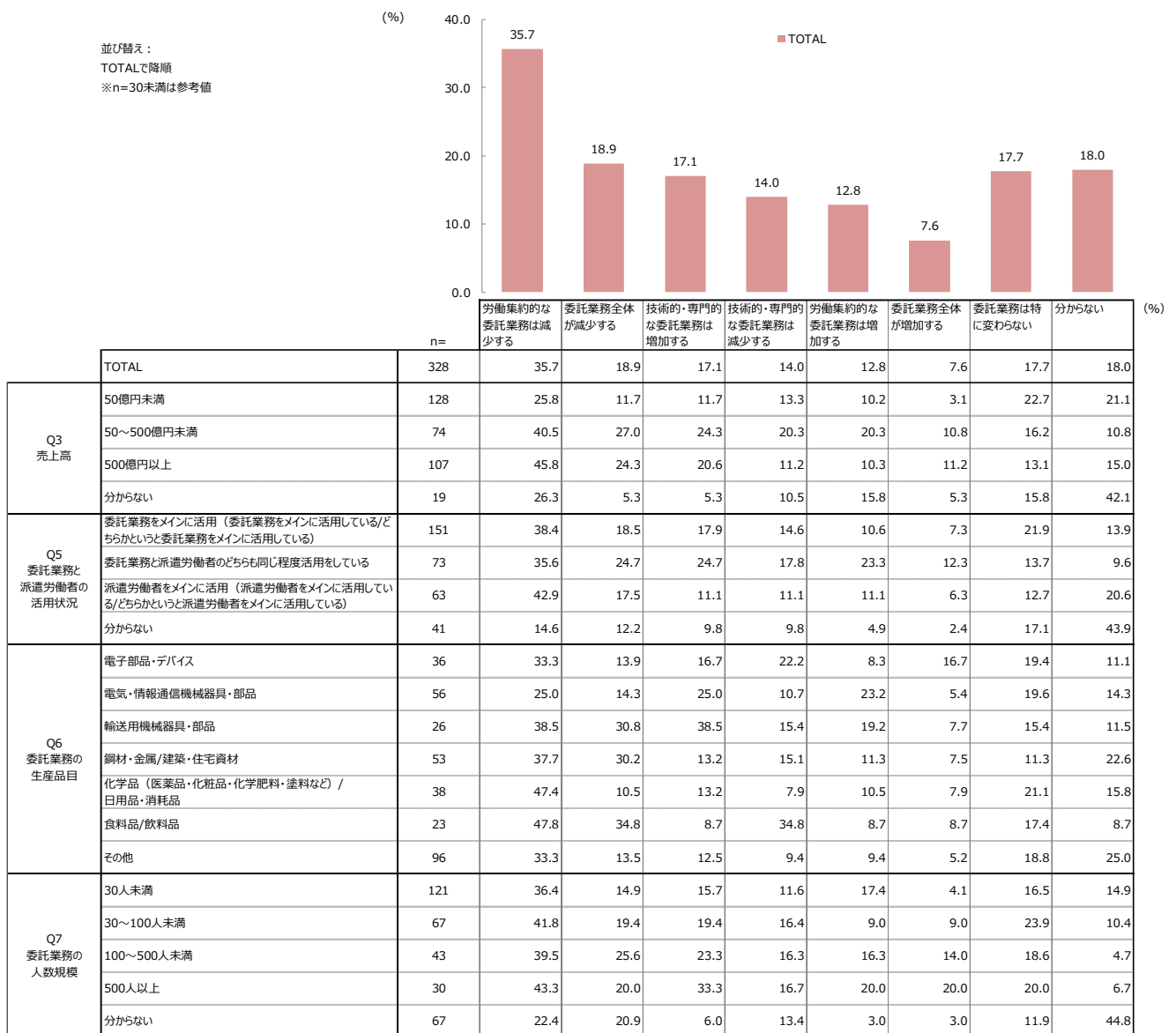
## 6. 今後の事業運営

### (1) 技術革新の委託業務への影響

【設問文】 Q25 今後、自動化（ロボット化）・IT 化など技術革新が進展するとしたら、委託業務にどのような影響があると思われますか。委託業務の今後の見通しについて、該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 技術革新の委託業務への影響では、「労働集約的な委託業務は減少する」の割合が最も高く、35.7%。「委託業務全体が減少する」18.9%、「技術的・専門的な委託業務は増加する」17.1%が続く。
- 「委託業務は特に変わらない」は 17.7%で 2 割弱となっている。

図表 I-6-1. 技術革新の委託業務への影響（Q25）＊複数回答＊



## II. 受託者(請負事業者)

# 1. 請負業務の概要

## (1) 受託者の概要

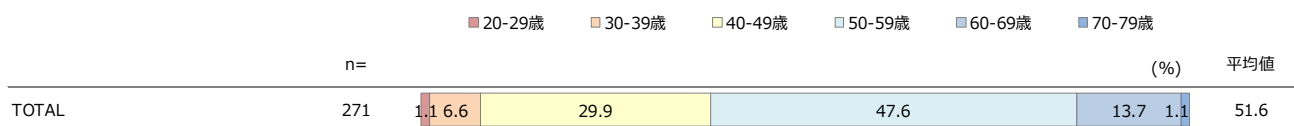
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 II-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 II-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。

- 回答者の会社の売上高は、「100 億円以上」の割合が最も高く、32.8%。「分からない」16.6%、「1～5 億円未満」15.5%が続く。

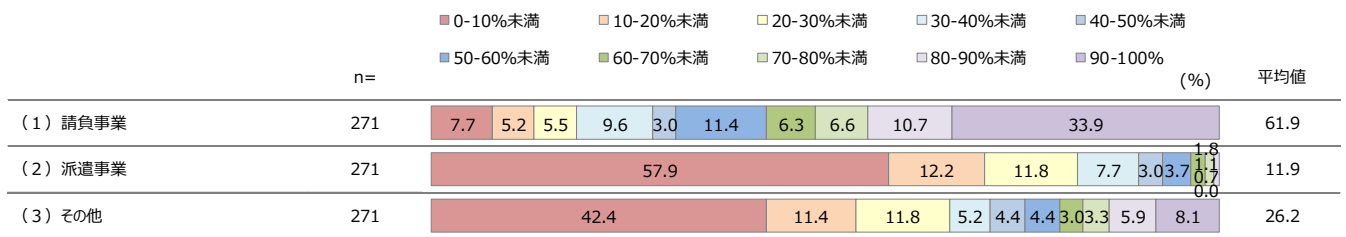
図表 II-1-1③. 回答者の会社の売上高 (Q3)



【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

- 回答者の会社の事業別の売上比率について、「90-100%」の割合が高いのは『（1）請負事業』（33.9%）で3割を超える。一方で、「0-10%未満」の割合が高いのは『（2）派遣事業』（57.9%）で約6割、『（3）その他』（42.4%）は約4割となっている。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上比率（Q4）



		売上比率 (%)										平均値
事業別	n=	0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	
(1) 請負事業	271	7.7	5.2	5.5	9.6	3.0	11.4	6.3	6.6	10.7	33.9	61.9
(2) 派遣事業	271	57.9	12.2	11.8	7.7	3.0	3.7	1.8	1.1	0.7	0.0	11.9
(3) その他	271	42.4	11.4	11.8	5.2	4.4	4.4	3.0	3.3	5.9	8.1	26.2



【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

(1) 請負事業

- 回答者の会社の請負事業の売上比率は、「90-100%」の割合が最も高く、33.9%。「50-60%未満」11.4%、「80-90%未満」10.7%が続く。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上比率

(1) 請負事業 (Q4)

		n=	(% )										平均値
			0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	
TOTAL		271	7.7	5.2	5.5	9.6	3.0	11.4	6.3	6.6	10.7	33.9	61.9

		n=	(% )										平均値
			0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	
TOTAL		271	7.7	5.2	5.5	9.6	3.0	11.4	6.3	6.6	10.7	33.9	61.9
Q3 売上高	10億円未満	82	0.0	2.4	1.2	9.8	3.7	14.6	6.1	12.2	13.4	36.6	71.4
	10～100億円未満	55	10.9	3.6	12.7	5.5	5.5	7.3	10.9	1.8	5.5	36.4	58.7
	100億円以上	89	13.5	11.2	5.6	12.4	2.2	10.1	4.5	2.2	12.4	25.8	51.4
	分からない	45	6.7	0.0	4.4	8.9	0.0	13.3	4.4	11.1	8.9	42.2	69.1
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	0.0	0.0	5.9	17.6	0.0	11.8	17.6	5.9	11.8	29.4	65.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	8.3	8.3	5.0	11.7	5.0	13.3	3.3	8.3	13.3	23.3	55.4
	輸送用機械器具・部品	24	8.3	0.0	4.2	12.5	0.0	16.7	4.2	4.2	4.2	45.8	67.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	11.1	4.4	2.2	11.1	0.0	4.4	11.1	11.1	13.3	31.1	61.9
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	11.1	7.4	7.4	0.0	0.0	11.1	0.0	3.7	18.5	40.7	65.6
	食料品/飲料品	22	4.5	4.5	18.2	9.1	13.6	4.5	9.1	0.0	4.5	31.8	54.8
	その他	76	6.6	5.3	3.9	7.9	2.6	14.5	5.3	6.6	7.9	39.5	65.2
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	9.2	9.2	6.6	10.5	3.9	10.5	6.6	3.9	10.5	28.9	56.3
	30～100人未満	59	5.1	5.1	6.8	8.5	5.1	13.6	6.8	11.9	6.8	30.5	61.0
	100～500人未満	60	6.7	1.7	5.0	6.7	1.7	10.0	10.0	6.7	6.7	45.0	69.2
	500人以上	52	5.8	3.8	3.8	9.6	1.9	11.5	3.8	3.8	19.2	36.5	67.0
	分からない	24	16.7	4.2	4.2	16.7	0.0	12.5	0.0	8.3	12.5	25.0	52.5

【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

(2) 派遣事業

- 回答者の会社の派遣事業の売上比率は、「0-10%未満」の割合が最も高く、57.9%。「10-20%未満」12.2%、「20-30%未満」11.8%が続く。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上比率  
(2) 派遣事業 (Q4)



【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。(数字は概算値で結構です。)

(3) その他

- 回答者の会社のその他の売上比率は、「0-10%未満」の割合が最も高く、42.4%。「20-30%未満」11.8%、「10-20%未満」11.4%が続く。

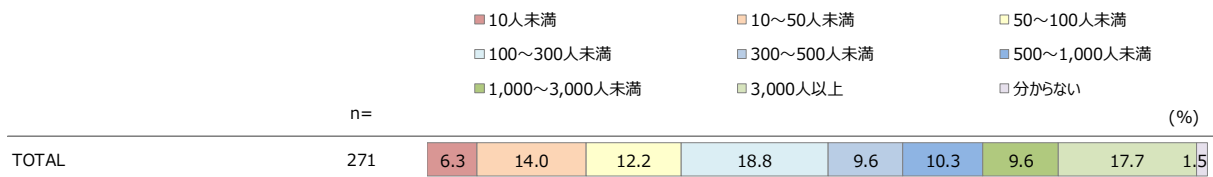
図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上比率  
(3) その他 (Q4)

		n=	0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	平均値
			(%)										
TOTAL		271	42.4	11.4	11.8	5.2	4.4	4.4	3.0	3.3	5.9	8.1	26.2
		n=	0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	平均値
Q3 売上高	TOTAL	271	42.4	11.4	11.8	5.2	4.4	4.4	3.0	3.3	5.9	8.1	26.2
	10億円未満	82	50.0	17.1	15.9	4.9	4.9	1.2	1.2	3.7	1.2	0.0	13.7
	10~100億円未満	55	41.8	7.3	7.3	9.1	7.3	0.0	0.0	3.6	10.9	12.7	31.6
	100億円以上	89	32.6	11.2	10.1	1.1	4.5	9.0	5.6	3.4	9.0	13.5	36.4
	分からない	45	48.9	6.7	13.3	8.9	0.0	6.7	4.4	2.2	2.2	6.7	22.4
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	41.2	11.8	17.6	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	22.0
	電気・情報通信機械器具・部品	60	36.7	15.0	11.7	5.0	3.3	3.3	5.0	1.7	5.0	13.3	29.6
	輸送用機械器具・部品	24	58.3	4.2	4.2	0.0	4.2	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3	22.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	37.8	15.6	11.1	11.1	6.7	0.0	2.2	4.4	0.0	11.1	25.8
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	48.1	7.4	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	11.1	7.4	24.3
	食料品/飲料品	22	31.8	18.2	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5	9.1	18.2	0.0	31.6
	その他	76	46.1	7.9	13.2	3.9	5.3	6.6	1.3	2.6	6.6	6.6	25.0
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	39.5	9.2	10.5	3.9	5.3	2.6	2.6	5.3	11.8	9.2	31.6
	30~100人未満	59	35.6	16.9	15.3	11.9	1.7	0.0	3.4	3.4	5.1	6.8	24.6
	100~500人未満	60	53.3	11.7	10.0	3.3	5.0	3.3	1.7	3.3	3.3	5.0	19.3
	500人以上	52	48.1	7.7	9.6	3.8	7.7	11.5	1.9	0.0	3.8	5.8	23.1
		分からない	24	29.2	12.5	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	4.2	0.0	20.8

【設問文】 Q5 あなたの会社の従業員（現場スタッフを含む）のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。

- 回答者の会社の従業員数は、「100～300人未満」の割合が最も高く、18.8%。「3,000人以上」17.7%、「10～50人未満」14.0%が続く。

図表 II-1-1⑤. 回答者の会社の従業員数（Q5）



	n	従業員数 (%)									
		10人未満	10～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000～3,000人未満	3,000人以上	分からない	
TOTAL	271	6.3	14.0	12.2	18.8	9.6	10.3	9.6	17.7	1.5	
Q3 売上高	10億円未満	82	19.5	29.3	20.7	17.1	4.9	6.1	2.4	0.0	0.0
	10～100億円未満	55	0.0	16.4	18.2	41.8	14.5	3.6	3.6	1.8	0.0
	100億円以上	89	0.0	2.2	0.0	3.4	9.0	16.9	19.1	49.4	0.0
	分からない	45	2.2	6.7	13.3	24.4	13.3	13.3	11.1	6.7	8.9
Q4 事業別の売上比率	請負事業（30%未満）	50	2.0	20.0	10.0	12.0	6.0	18.0	8.0	24.0	0.0
	請負事業（30～70%未満）	82	7.3	8.5	8.5	22.0	14.6	3.7	13.4	19.5	2.4
	請負事業（70%以上）	139	7.2	15.1	15.1	19.4	7.9	11.5	7.9	14.4	1.4
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	5.9	5.9	11.8	35.3	5.9	17.6	5.9	11.8	0.0
	電気・情報通信機械器具・部品	60	1.7	13.3	13.3	20.0	13.3	11.7	8.3	16.7	1.7
	輸送用機械器具・部品	24	4.2	8.3	8.3	20.8	8.3	12.5	12.5	25.0	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	6.7	15.6	13.3	24.4	4.4	8.9	13.3	11.1	2.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	14.8	14.8	7.4	18.5	11.1	11.1	3.7	18.5	0.0
	食料品/飲料品	22	9.1	13.6	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	22.7	0.0
	その他	76	6.6	17.1	14.5	10.5	10.5	7.9	10.5	19.7	2.6
Q7 請負業務の人数規模	30人未満	76	21.1	38.2	14.5	9.2	7.9	3.9	2.6	1.3	1.3
	30～100人未満	59	1.7	8.5	35.6	30.5	5.1	5.1	1.7	10.2	1.7
	100～500人未満	60	0.0	3.3	0.0	40.0	26.7	21.7	6.7	1.7	0.0
	500人以上	52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	26.9	59.6	0.0
	分からない	24	0.0	8.3	4.2	8.3	4.2	8.3	20.8	37.5	8.3

## 2. 請負業務の状況

### (1) 請負業務の生産品目

【設問文】 Q6 請負業務の生産品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の生産品目では、「電気機械器具・部品」の割合が最も高く、16.6%。「輸送用機械器具・部品」「鋼材・金属」8.9%が続く。

図表 II-2-1. 請負業務の生産品目 (Q6)



## (2) 請負業務の人数規模

【設問文】 Q7 請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか（派遣労働者を含む）。およその人数について、該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の人数規模では、「100～300 人未満」の割合が最も高く、17.0%。「50～100 人未満」「1,000 人以上」13.7%が続く。

図表 II-2-2. 請負業務の人数規模（Q7）

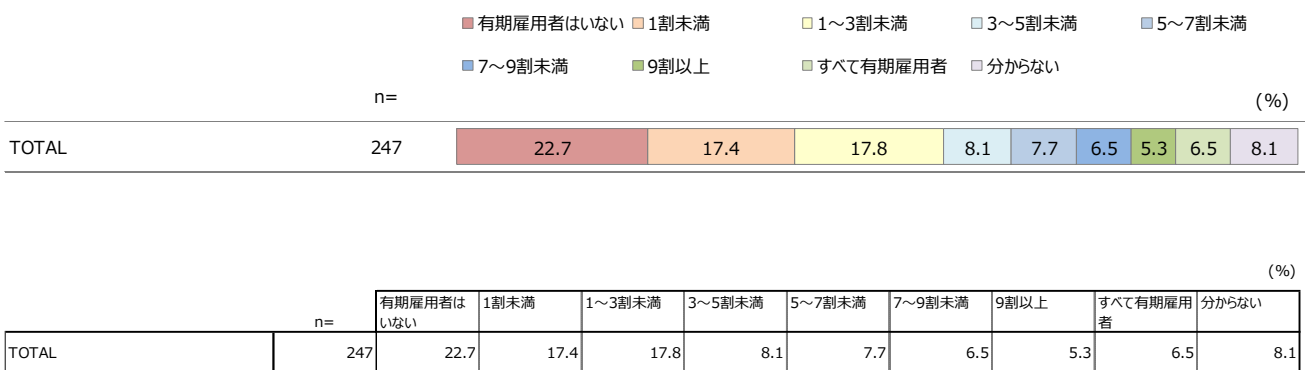
		n=											(%)	
		3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない			
TOTAL	271	3.7	11.4	12.9	8.1	13.7	17.0	5.2	5.5	13.7	8.9			
		(%)												
		n=												
		3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない			
TOTAL		271	3.7	11.4	12.9	8.1	13.7	17.0	5.2	5.5	13.7	8.9		
Q3 売上高	10億円未満	82	7.3	23.2	25.6	9.8	15.9	12.2	2.4	0.0	1.2	2.4		
	10～100億円未満	55	1.8	10.9	12.7	12.7	18.2	25.5	7.3	7.3	1.8	1.8		
	100億円以上	89	2.2	2.2	5.6	5.6	10.1	11.2	6.7	9.0	36.0	11.2		
	分からない	45	2.2	8.9	4.4	4.4	11.1	26.7	4.4	6.7	6.7	24.4		
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	8.0	18.0	12.0	4.0	16.0	14.0	2.0	6.0	8.0	12.0		
	請負事業（30～70%未満）	82	3.7	12.2	13.4	13.4	11.0	17.1	3.7	2.4	14.6	8.5		
	請負事業（70%以上）	139	2.2	8.6	12.9	6.5	14.4	18.0	7.2	7.2	15.1	7.9		
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	5.9	5.9	11.8	23.5	11.8	23.5	0.0	5.9	5.9	5.9		
	電気・情報通信機械器具・部品	60	1.7	11.7	13.3	10.0	10.0	15.0	5.0	8.3	11.7	13.3		
	輸送用機械器具・部品	24	0.0	4.2	4.2	8.3	12.5	20.8	16.7	4.2	16.7	12.5		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	2.2	17.8	13.3	8.9	17.8	13.3	6.7	6.7	11.1	2.2		
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	7.4	14.8	7.4	14.8	22.2	7.4	7.4	3.7	11.1	3.7		
	食料品/飲料品	22	4.5	9.1	13.6	9.1	9.1	31.8	0.0	0.0	18.2	4.5		
	その他	76	5.3	10.5	17.1	0.0	13.2	17.1	2.6	5.3	17.1	11.8		

### (3) 請負業務の有期契約雇用者の割合

【設問文】 Q8 Q7 で回答いただいた人数（請負業務を行っている人数）の中で、有期雇用者（派遣労働者を除く）の占める割合は、およそどれくらいですか。該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の有期契約雇用者の割合では、「有期雇用者はいない」割合が最も高く、22.7%。「1～3割未満」17.8%、「1割未満」17.4%が続く。

図表 II-2-3. 請負業務の有期契約雇用者の割合（Q8）



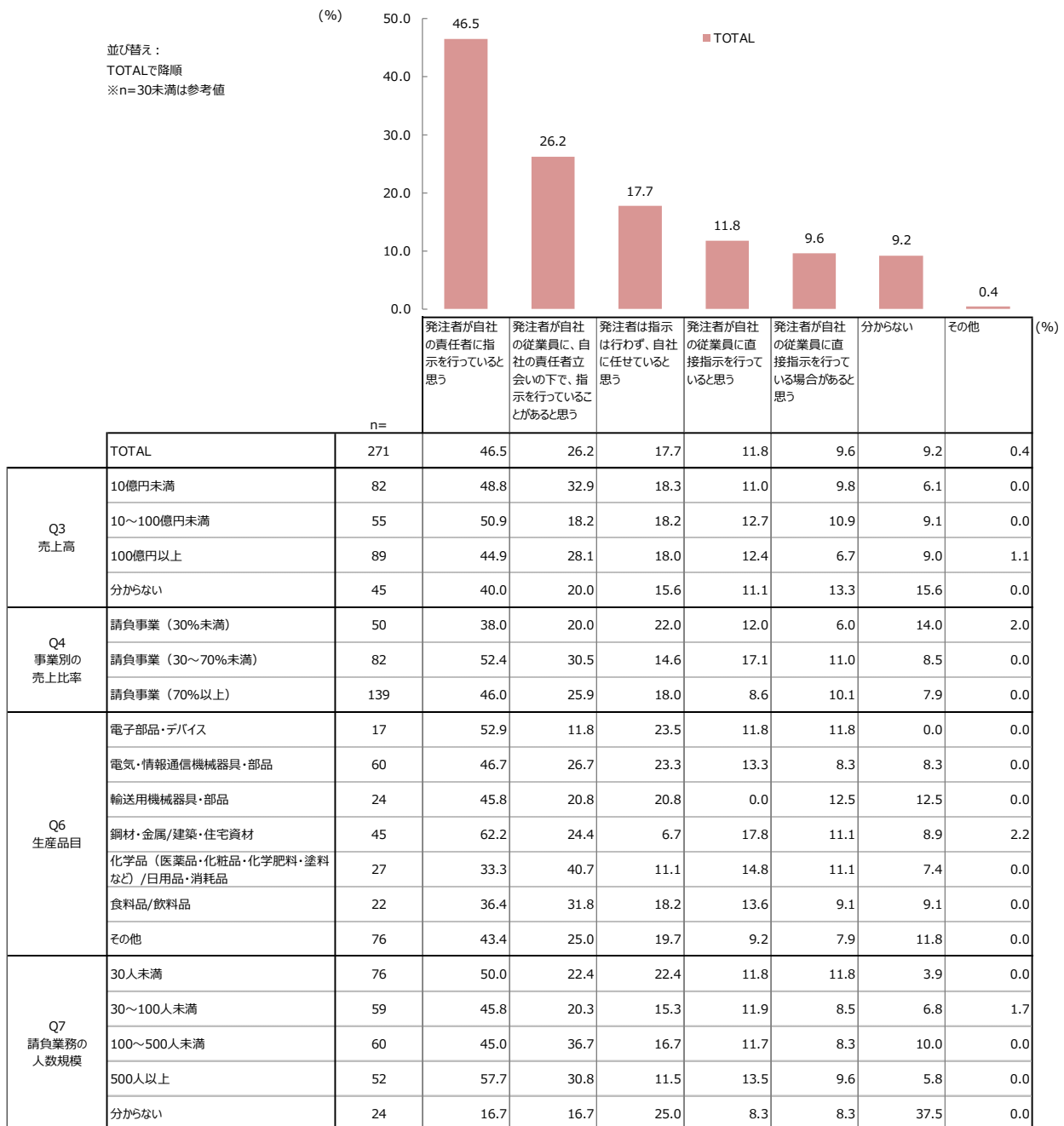
### 3. 請負業務の実態

#### (1) 発注者の請負業務への指示

【設問文】 Q9 請負業務の遂行に関し、発注者は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 発注者の請負業務への指示では、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」割合が最も高く、46.5%。「発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う」26.2%、「発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う」17.7%が続く。
- 「発注者が自社の従業員に直接指示を行っていると思う」は 11.8%、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っている場合があると思う」は 9.6%。

図表 II-3-1. 発注者の請負業務への指示 (Q9) \* 複数回答 \*





## (2) 請負業務を行っている現場の状況

【設問文】 Q10 請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務を行っている現場の状況では、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」割合が最も高く、55.4%。「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」35.8%、「分からない」7.7%が続く。

図表 II-3-2. 請負業務を行っている現場の状況 (Q10)

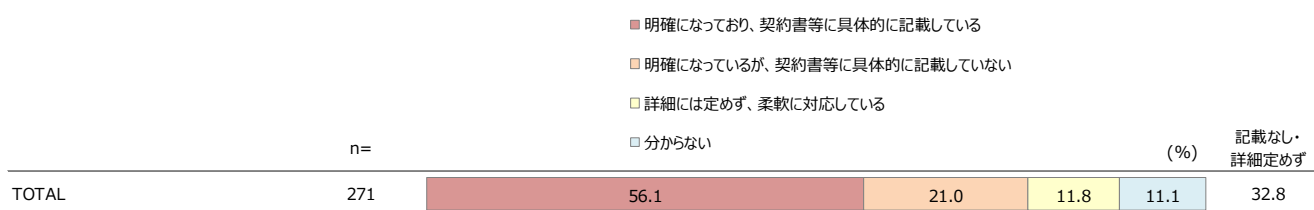
		n=	(% )			
			■ 自社の従業員だけで業務を行っていると思う	■ 発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	■ その他	■ 分からない
TOTAL		271	55.4	35.8	1.1	7.7
			(% )			
		n=	自社の従業員 だけで業務を 行っていると思う	発注者の従業員も請負現場の 中で一緒に業 務を行っている と思う	その他	分からない
	TOTAL	271	55.4	35.8	1.1	7.7
Q3 売上高	10億円未満	82	67.1	29.3	0.0	3.7
	10～100億円未満	55	63.6	29.1	0.0	7.3
	100億円以上	89	44.9	42.7	3.4	9.0
	分からない	45	44.4	42.2	0.0	13.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	48.0	34.0	2.0	16.0
	請負事業（30～70%未満）	82	56.1	35.4	1.2	7.3
	請負事業（70%以上）	139	57.6	36.7	0.7	5.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	58.8	35.3	0.0	5.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	56.7	36.7	1.7	5.0
	輸送用機械器具・部品	24	50.0	37.5	0.0	12.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	53.3	40.0	0.0	6.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など）/日用品・消耗品	27	55.6	44.4	0.0	0.0
	食料品/飲料品	22	72.7	27.3	0.0	0.0
	その他	76	51.3	31.6	2.6	14.5
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	60.5	35.5	1.3	2.6
	30～100人未満	59	57.6	37.3	0.0	5.1
	100～500人未満	60	53.3	40.0	0.0	6.7
	500人以上	52	55.8	38.5	1.9	3.8
	分からない	24	37.5	16.7	4.2	41.7

### (3) 請負業務の内容・範囲の明確化

【設問文】 Q11 請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の内容・範囲の明確化では、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」割合が最も高く、56.1%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」21.0%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」11.8%が続く。
- 「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」と「詳細には定めず、柔軟に対応している」を合わせた「記載なし・詳細定めず」の割合は32.8%であった。

図表 II-3-3. 請負業務の内容・範囲の明確化 (Q11)



		n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めず、柔軟に対応している	分からない	記載なし・ 詳細定めず
TOTAL		271	56.1	21.0	11.8	11.1	32.8
Q3 売上高	10億円未満	82	51.2	23.2	19.5	6.1	42.7
	10~100億円未満	55	58.2	18.2	10.9	12.7	29.1
	100億円以上	89	64.0	20.2	5.6	10.1	25.8
	分からない	45	46.7	22.2	11.1	20.0	33.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	46.0	20.0	16.0	18.0	36.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	54.9	26.8	11.0	7.3	37.8
	請負事業 (70%以上)	139	60.4	18.0	10.8	10.8	28.8
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	41.2	41.2	11.8	5.9	53.0
	電気・情報通信機械器具・部品	60	66.7	20.0	5.0	8.3	25.0
	輸送用機械器具・部品	24	50.0	20.8	20.8	8.3	41.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	53.3	13.3	15.6	17.8	28.9
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	55.6	25.9	7.4	11.1	33.3
	食料品/飲料品	22	68.2	18.2	9.1	4.5	27.3
	その他	76	51.3	21.1	14.5	13.2	35.6
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	43.4	25.0	25.0	6.6	50.0
	30~100人未満	59	59.3	23.7	6.8	10.2	30.5
	100~500人未満	60	58.3	21.7	10.0	10.0	31.7
	500人以上	52	73.1	15.4	1.9	9.6	17.3
	分からない	24	45.8	12.5	8.3	33.3	20.8

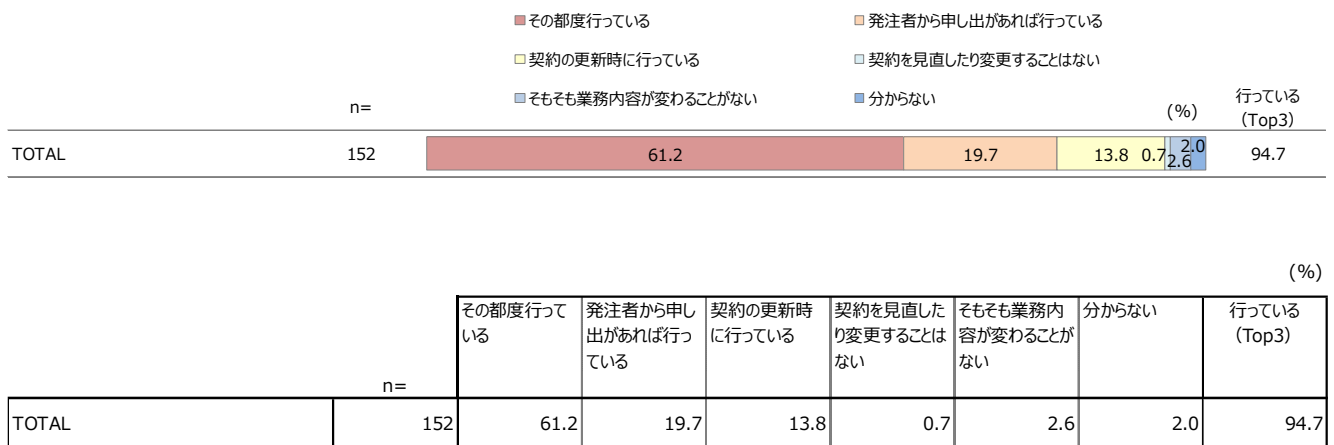
#### (4) 請負業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更

【設問文】 Q12 請負業務の内容、範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更が行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

(Q11の選択肢『1.明確になっており、契約書等に具体的に記載している』を選択した方のみ回答)

- 請負業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更では、「その都度行っている」割合が最も高く、61.2%。「発注者から申し出があれば行っている」19.7%、「契約の更新時に行っている」13.8%が続く。
- 「その都度行っている」「発注者から申し出があれば行っている」「契約の更新時に行っている」を合わせた「行っている (Top3)」の割合は、94.7%。

図表 II-3-4. 請負業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 (Q12)



## (5) 請負業務での機械、設備等の使用状況

【設問文】 Q13 業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』とあります。あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務での機械、設備等の使用状況では、「すべて基準通りに行っていると思う」「おおむね基準通りに行っていると思う」の割合が最も高く、40.6%。「分からない」12.2%が続く。
- 「すべて基準通りに行っていると思う」と「おおむね基準通りに行っていると思う」を合わせた「行っていると思う（Top2）」の割合は、81.2%。

図表 II-3-5. 請負業務での機械、設備等の使用状況（Q13）

		n=	(% )					行っていると思う (Top2)
			すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	
TOTAL		271	40.6	40.6	4.4	2.2	12.2	81.2
			(% )					
		n=	すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (Top2)
	TOTAL	271	40.6	40.6	4.4	2.2	12.2	81.2
Q3 売上高	10億円未満	82	39.0	43.9	4.9	4.9	7.3	82.9
	10～100億円未満	55	40.0	38.2	3.6	0.0	18.2	78.2
	100億円以上	89	47.2	37.1	4.5	1.1	10.1	84.3
	分からない	45	31.1	44.4	4.4	2.2	17.8	75.6
Q4 事業別の売上比率	請負事業（30%未満）	50	42.0	28.0	4.0	0.0	26.0	70.0
	請負事業（30～70%未満）	82	43.9	45.1	1.2	1.2	8.5	89.0
	請負事業（70%以上）	139	38.1	42.4	6.5	3.6	9.4	80.6
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	47.1	29.4	11.8	5.9	5.9	76.5
	電気・情報通信機械器具・部品	60	36.7	43.3	5.0	1.7	13.3	80.0
	輸送用機械器具・部品	24	45.8	37.5	4.2	0.0	12.5	83.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	35.6	46.7	4.4	2.2	11.1	82.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	37.0	37.0	11.1	0.0	14.8	74.1
	食料品/飲料品	22	40.9	45.5	0.0	4.5	9.1	86.4
	その他	76	44.7	38.2	1.3	2.6	13.2	82.9
Q7 請負業務の人数規模	30人未満	76	42.1	38.2	5.3	5.3	9.2	80.3
	30～100人未満	59	45.8	39.0	3.4	0.0	11.9	84.7
	100～500人未満	60	35.0	45.0	6.7	3.3	10.0	80.0
	500人以上	52	46.2	42.3	1.9	0.0	9.6	88.5
	分からない	24	25.0	37.5	4.2	0.0	33.3	62.5

## 4. 適正な請負

### (1) 偽装請負への不安

【設問文】 Q14 請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

- 偽装請負への不安では、「ない」の割合が最も高く、42.8%。「多少ある」22.5%、「意識したことがない」15.9%が続く。
- 「ある」と「多少ある」を合わせた「ある（Top2）」の割合は、28.4%。

図表 II-4-1. 偽装請負への不安（Q14）

		n=	n=					ある (Top2)
			ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	(%)
TOTAL		271	5.9	22.5	42.8	15.9	12.9	28.4
			(%)					
		n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)
	TOTAL	271	5.9	22.5	42.8	15.9	12.9	28.4
Q3 売上高	10億円未満	82	4.9	20.7	39.0	24.4	11.0	25.6
	10～100億円未満	55	5.5	25.5	41.8	18.2	9.1	30.9
	100億円以上	89	9.0	24.7	43.8	12.4	10.1	33.7
	分からない	45	2.2	17.8	48.9	4.4	26.7	20.0
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	8.0	16.0	40.0	20.0	16.0	24.0
	請負事業（30～70%未満）	82	2.4	28.0	46.3	14.6	8.5	30.5
	請負事業（70%以上）	139	7.2	21.6	41.7	15.1	14.4	28.8
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	0.0	35.3	47.1	5.9	11.8	35.3
	電気・情報通信機械器具・部品	60	6.7	28.3	38.3	18.3	8.3	35.0
	輸送用機械器具・部品	24	4.2	4.2	54.2	25.0	12.5	8.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	8.9	17.8	48.9	13.3	11.1	26.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	14.8	25.9	33.3	11.1	14.8	40.7
	食料品/飲料品	22	0.0	31.8	40.9	18.2	9.1	31.8
Q7 請負業務の 人数規模	その他	76	3.9	19.7	42.1	15.8	18.4	23.7
	30人未満	76	2.6	15.8	43.4	25.0	13.2	18.4
	30～100人未満	59	5.1	33.9	37.3	15.3	8.5	39.0
	100～500人未満	60	6.7	23.3	48.3	10.0	11.7	30.0
	500人以上	52	11.5	23.1	40.4	13.5	11.5	34.6
	分からない	24	4.2	12.5	45.8	8.3	29.2	16.7

## (2) 適正な請負を行うための知識の認知

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

- 適正な請負を行うための知識の認知について、「名前も内容も知っている」割合が高いのは『（１）派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）』（38.4%）で約4割、『（２）製造請負ガイドライン』（35.8%）で4割弱となっている。
- 一方、「名前も内容も知らない」割合が高いのは『（４）製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』（44.6%）で4割強、『（３）労働契約申込みみなし制度』（38.7%）で約4割となっている。
- 『（１）派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）』、『（２）製造請負ガイドライン』については、「認知率（Top2）」の割合は高いいずれも7割を超え、「内容を知らない（Bottom2）」は各6割超。
- 『（３）労働契約申込みみなし制度』は、「認知率（Top2）」の割合が6割を超えているが、「内容を知らない（Bottom2）」の割合は高く、約7割。
- 『（４）製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』は、「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率（Top2）」は55.4%で最も低く、「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（Bottom2）」の割合は73.4%、7割を超え最も高い。

図表 II-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知（Q15）

	n=	%			認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
		■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	■ 名前も内容も知らない		
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示37号)	271	38.4	34.3	27.3	72.7	61.6
(2) 製造請負ガイドライン	271	35.8	36.5	27.7	72.3	64.2
(3) 労働契約申込みみなし制度	271	30.6	30.6	38.7	61.3	69.3
(4) 製造請負優良適正事業者 認定制度 (GJ認定制度)	271	26.6	28.8	44.6	55.4	73.4

	n=	%			%	
		名前も内容も 知っている	名前は知っている が内容は知らない	名前も内容も知 らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示37号)	271	38.4	34.3	27.3	72.7	61.6
(2) 製造請負ガイドライン	271	35.8	36.5	27.7	72.3	64.2
(3) 労働契約申込みみなし制度	271	30.6	30.6	38.7	61.3	69.3
(4) 製造請負優良適正事業者 認定制度 (GJ認定制度)	271	26.6	28.8	44.6	55.4	73.4

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37号)

- 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37号) では、「名前も内容も知っている」の割合が最も高く、38.4%。「名前は知っているが内容は知らない」34.3%、「名前も内容も知らない」27.3%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、72.7%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、61.6%。

図表 II-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37号) (Q15)

	n=	名前も内容も知っている (%)	名前は知っているが内容は知らない (%)	名前も内容も知らない (%)	認知率 (Top2) (%)	内容を知らない (Bottom2) (%)
TOTAL	271	38.4	34.3	27.3	72.7	61.6

		n=	名前も内容も知っている (%)	名前は知っているが内容は知らない (%)	名前も内容も知らない (%)	認知率 (Top2) (%)	内容を知らない (Bottom2) (%)
TOTAL		271	38.4	34.3	27.3	72.7	61.6
Q3 売上高	10億円未満	82	36.6	34.1	29.3	70.7	63.4
	10~100億円未満	55	36.4	25.5	38.2	61.8	63.7
	100億円以上	89	47.2	41.6	11.2	88.8	52.8
	分からない	45	26.7	31.1	42.2	57.8	73.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	40.0	26.0	34.0	66.0	60.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	47.6	35.4	17.1	82.9	52.5
	請負事業 (70%以上)	139	32.4	36.7	30.9	69.1	67.6
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	58.8	29.4	11.8	88.2	41.2
	電気・情報通信機械器具・部品	60	53.3	20.0	26.7	73.3	46.7
	輸送用機械器具・部品	24	16.7	70.8	12.5	87.5	83.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	42.2	24.4	33.3	66.7	57.7
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	37.0	48.1	14.8	85.2	62.9
	食料品/飲料品	22	36.4	45.5	18.2	81.8	63.7
	その他	76	27.6	32.9	39.5	60.5	72.4
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	36.8	31.6	31.6	68.4	63.2
	30~100人未満	59	42.4	25.4	32.2	67.8	57.6
	100~500人未満	60	30.0	46.7	23.3	76.7	70.0
	500人以上	52	50.0	32.7	17.3	82.7	50.0
	分からない	24	29.2	37.5	33.3	66.7	70.8

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(2) 製造請負ガイドライン

- 製造請負ガイドラインでは、「名前は知っているが内容は知らない」の割合が最も高く、36.5%。「名前も内容も知っている」35.8%、「名前も内容も知らない」27.7%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、72.3%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、64.2%。

図表 II-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知  
(2) 製造請負ガイドライン (Q15)

		n=	n=			(%)	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)	
			■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	■ 名前も内容も知らない				
TOTAL		271	35.8	36.5	27.7	72.3	64.2		
			(%)						
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)		
TOTAL		271	35.8	36.5	27.7	72.3	64.2		
Q3 売上高	10億円未満	82	32.9	37.8	29.3	70.7	67.1		
	10～100億円未満	55	36.4	25.5	38.2	61.8	63.7		
	100億円以上	89	48.3	42.7	9.0	91.0	51.7		
	分からない	45	15.6	35.6	48.9	51.1	84.5		
Q4 事業別の売上比率	請負事業 (30%未満)	50	40.0	32.0	28.0	72.0	60.0		
	請負事業 (30～70%未満)	82	42.7	40.2	17.1	82.9	57.3		
	請負事業 (70%以上)	139	30.2	36.0	33.8	66.2	69.8		
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	29.4	52.9	17.6	82.4	70.5		
	電気・情報通信機械器具・部品	60	50.0	28.3	21.7	78.3	50.0		
	輸送用機械器具・部品	24	12.5	75.0	12.5	87.5	87.5		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	37.8	31.1	31.1	68.9	62.2		
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	33.3	51.9	14.8	85.2	66.7		
	食料品/飲料品	22	40.9	31.8	27.3	72.7	59.1		
	その他	76	31.6	26.3	42.1	57.9	68.4		
Q7 請負業務の人数規模	30人未満	76	35.5	28.9	35.5	64.5	64.4		
	30～100人未満	59	37.3	33.9	28.8	71.2	62.7		
	100～500人未満	60	26.7	53.3	20.0	80.0	73.3		
	500人以上	52	48.1	34.6	17.3	82.7	51.9		
	分からない	24	29.2	29.2	41.7	58.3	70.9		



【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(3) 労働契約申込みみなし制度

- 労働契約申込みみなし制度では、「名前も内容も知らない」の割合が最も高く、38.7%。「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」30.6%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、61.3%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、69.3%。

図表 II-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知

(3) 労働契約申込みみなし制度 (Q15)

	n=	n=			(%)	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない			
TOTAL	271	30.6	30.6	38.7		61.3	69.3

		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL		271	30.6	30.6	38.7	61.3	69.3
Q3 売上高	10億円未満	82	26.8	35.4	37.8	62.2	73.2
	10~100億円未満	55	29.1	20.0	50.9	49.1	70.9
	100億円以上	89	43.8	38.2	18.0	82.0	56.2
	分からない	45	13.3	20.0	66.7	33.3	86.7
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	36.0	22.0	42.0	58.0	64.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	34.1	35.4	30.5	69.5	65.9
	請負事業 (70%以上)	139	26.6	30.9	42.4	57.6	73.3
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	29.4	35.3	35.3	64.7	70.6
	電気・情報通信機械器具・部品	60	35.0	28.3	36.7	63.3	65.0
	輸送用機械器具・部品	24	12.5	50.0	37.5	62.5	87.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	26.7	26.7	46.7	53.3	73.4
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	33.3	37.0	29.6	70.4	66.6
	食料品/飲料品	22	50.0	13.6	36.4	63.6	50.0
	その他	76	28.9	30.3	40.8	59.2	71.1
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	28.9	31.6	39.5	60.5	71.1
	30~100人未満	59	28.8	28.8	42.4	57.6	71.2
	100~500人未満	60	21.7	35.0	43.3	56.7	78.3
	500人以上	52	44.2	32.7	23.1	76.9	55.8
	分からない	24	33.3	16.7	50.0	50.0	66.7

【設問文】 Q15 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

- 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度) では、「名前も内容も知らない」の割合が最も高く、44.6%。「名前は知っているが内容は知らない」28.8%、「名前も内容も知っている」26.6%が続く。
- 「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知率 (Top2)」の割合は、55.4%。「名前は知っているが内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない (Bottom2)」の割合は、73.4%。

図表 II-4-2. 適正な請負を行うための知識の認知  
(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度) (Q15)

	n=	■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	■ 名前も内容も知らない	(%)	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL	271	26.6	28.8	44.6		55.4	73.4

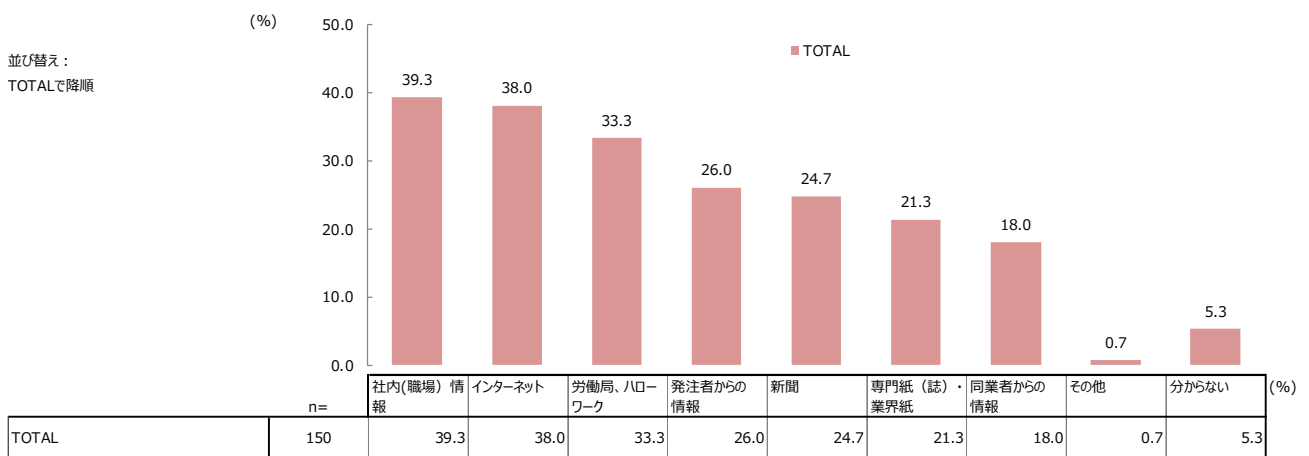
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	認知率 (Top2)	内容を知らない (Bottom2)
TOTAL		271	26.6	28.8	44.6	55.4	73.4
Q3 売上高	10億円未満	82	25.6	29.3	45.1	54.9	74.4
	10~100億円未満	55	25.5	16.4	58.2	41.8	74.6
	100億円以上	89	38.2	40.4	21.3	78.7	61.7
	分からない	45	6.7	20.0	73.3	26.7	93.3
Q4 事業別の売上比率	請負事業 (30%未満)	50	40.0	16.0	44.0	56.0	60.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	30.5	31.7	37.8	62.2	69.5
	請負事業 (70%以上)	139	19.4	31.7	48.9	51.1	80.6
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	17.6	35.3	47.1	52.9	82.4
	電気・情報通信機械器具・部品	60	35.0	21.7	43.3	56.7	65.0
	輸送用機械器具・部品	24	12.5	50.0	37.5	62.5	87.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	24.4	20.0	55.6	44.4	75.6
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	29.6	37.0	33.3	66.7	70.3
	食料品/飲料品	22	40.9	27.3	31.8	68.2	59.1
	その他	76	22.4	28.9	48.7	51.3	77.6
Q7 請負業務の人数規模	30人未満	76	30.3	25.0	44.7	55.3	69.7
	30~100人未満	59	23.7	25.4	50.8	49.2	76.2
	100~500人未満	60	15.0	35.0	50.0	50.0	85.0
	500人以上	52	38.5	34.6	26.9	73.1	61.5
	分からない	24	25.0	20.8	54.2	45.8	75.0

### (3) GJ 認定制度の認知経路

【設問文】 Q16 Q15 の(4)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）について、「名前も内容も知っている」及び「名前は知っているが内容は知らない」と答えた方にお伺いします。それは、どの方法で知りましたか、該当するものを選んでください。（複数回答可）

- GJ 認定制度の認知経路では、「社内(職場) 情報」の割合が最も高く、39.3%。「インターネット」38.0%、「労働局、ハローワーク」33.3%が続く。

図表 II-4-3. GJ 認定制度の認知経路（Q16） \* 複数回答 \*



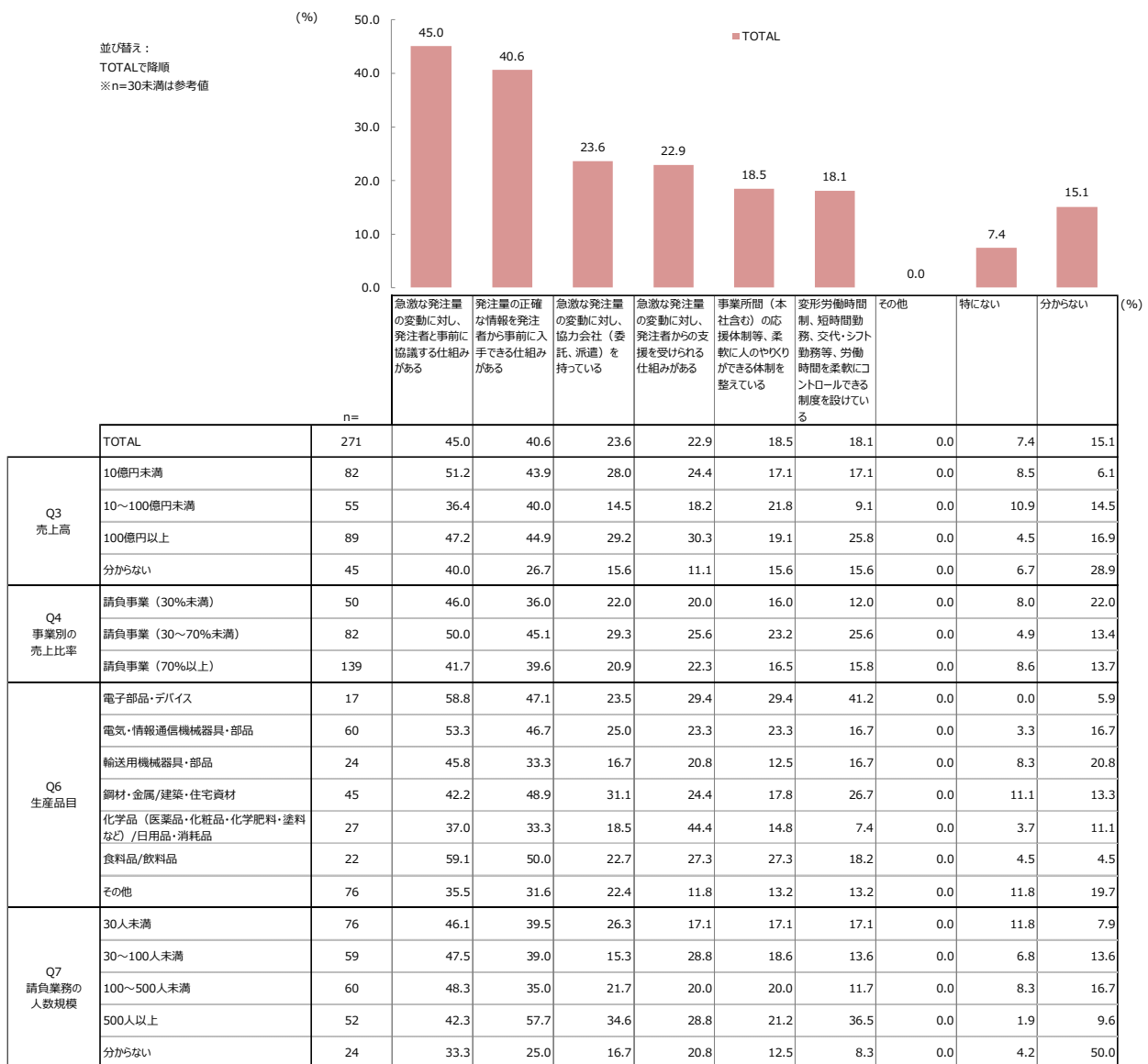
## 5. 発注者との関係

### (1) 発注量変動への対応

【設問文】 Q17 請負業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 発注量変動への対応では、「急激な発注量の変動に対し、発注者と事前に協議する仕組みがある」割合が最も高く、45.0%。「発注量の正確な情報を発注者から事前に入手できる仕組みがある」40.6%、「急激な発注量の変動に対し、協力会社（委託、派遣）を持っている」23.6%が続く。

図表 II-5-1. 発注量変動への対応（Q17） \* 複数回答 \*



## (2) 急激な生産減になった場合の発注者からの補償

【設問文】 Q18 請負業務が急激な生産減になった場合の発注者からの補償についてお伺いします。該当するものを1つ選んでください。

- 急激な生産減になった場合の発注者からの補償では、「契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償される可能性がある」割合が最も高く、36.9%。「分からない」23.6%、「契約書等に補償の記載があり、補償を受けられる」21.4%が続く。

図表 II-5-2. 急激な生産減になった場合の発注者からの補償 (Q18)

	n=	(% )				
TOTAL	271	21.4	36.9	17.3	0.7	23.6

		n=	契約書等に補償の記載があり、補償を受けられる	契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償される可能性がある	契約書等に補償の記載はなく、補償されないとと思われる	その他	分からない
TOTAL		271	21.4	36.9	17.3	0.7	23.6
Q3 売上高	10億円未満	82	20.7	39.0	25.6	1.2	13.4
	10～100億円未満	55	18.2	40.0	18.2	0.0	23.6
	100億円以上	89	25.8	41.6	9.0	0.0	23.6
	分からない	45	17.8	20.0	17.8	2.2	42.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	18.0	40.0	10.0	0.0	32.0
	請負事業（30～70%未満）	82	29.3	39.0	13.4	1.2	17.1
	請負事業（70%以上）	139	18.0	34.5	22.3	0.7	24.5
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	11.8	52.9	11.8	0.0	23.5
	電気・情報通信機械器具・部品	60	21.7	36.7	16.7	1.7	23.3
	輸送用機械器具・部品	24	12.5	41.7	16.7	4.2	25.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	28.9	22.2	22.2	0.0	26.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	18.5	55.6	11.1	0.0	14.8
	食料品/飲料品	22	27.3	54.5	13.6	0.0	4.5
	その他	76	21.1	28.9	19.7	0.0	30.3
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	15.8	40.8	26.3	0.0	17.1
	30～100人未満	59	20.3	42.4	15.3	3.4	18.6
	100～500人未満	60	20.0	28.3	25.0	0.0	26.7
	500人以上	52	34.6	38.5	5.8	0.0	21.2
	分からない	24	16.7	29.2	0.0	0.0	54.2

### (3) 請負業務の料金設定・請求方法

【設問文】 Q19 請負業務の料金設定、請求方法はどのようになっていますか。最も該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の料金設定・請求方法では、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」割合が最も高く、31.4%。「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）」30.3%、「分からない」22.5%が続く。

図表 II-5-3. 請負業務の料金設定・請求方法（Q19）

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
- 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他
- 分からない

	n=	%					
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	0.4	22.5

		n=	%					
			請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他	分からない
TOTAL		271	31.4	30.3	9.2	6.3	0.4	22.5
Q3 売上高	10億円未満	82	37.8	29.3	8.5	11.0	1.2	12.2
	10～100億円未満	55	40.0	20.0	7.3	9.1	0.0	23.6
	100億円以上	89	27.0	43.8	9.0	3.4	0.0	16.9
	分からない	45	17.8	17.8	13.3	0.0	0.0	51.1
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	28.0	32.0	10.0	4.0	0.0	26.0
	請負事業（30～70%未満）	82	34.1	30.5	8.5	8.5	0.0	18.3
	請負事業（70%以上）	139	30.9	29.5	9.4	5.8	0.7	23.7
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	47.1	29.4	5.9	0.0	0.0	17.6
	電気・情報通信機械器具・部品	60	28.3	31.7	8.3	8.3	0.0	23.3
	輸送用機械器具・部品	24	25.0	29.2	8.3	8.3	0.0	29.2
	銅材・金属/建築・住宅資材	45	26.7	33.3	6.7	8.9	0.0	24.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	25.9	44.4	7.4	3.7	3.7	14.8
	食料品/飲料品	22	45.5	31.8	13.6	0.0	0.0	9.1
	その他	76	32.9	22.4	11.8	6.6	0.0	26.3
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	32.9	22.4	15.8	14.5	0.0	14.5
	30～100人未満	59	39.0	35.6	3.4	1.7	1.7	18.6
	100～500人未満	60	25.0	35.0	6.7	5.0	0.0	28.3
	500人以上	52	34.6	34.6	11.5	1.9	0.0	17.3
	分からない	24	16.7	20.8	4.2	4.2	0.0	54.2

#### (4) 生産性向上の請負料金の見直し状況

【設問文】 Q20 請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金（単価）はどのようになることが多いですか。最も該当するものを1つ選んでください。

- 生産性向上の請負料金の見直し状況では、「変わらないことが多い」割合が最も高く、35.8%。「分からない」24.7%、「変わらない」24.4%が続く。
- 「変わらない」と「変わらないことが多い」を合わせた「変わらない（Top2）」の割合は、60.1%となっている。一方、「減ることが多い」と「減る」を合わせた「減る（Bottom2）」の割合は、15.1%。

図表 II-5-4. 生産性向上の請負料金の見直し状況（Q20）

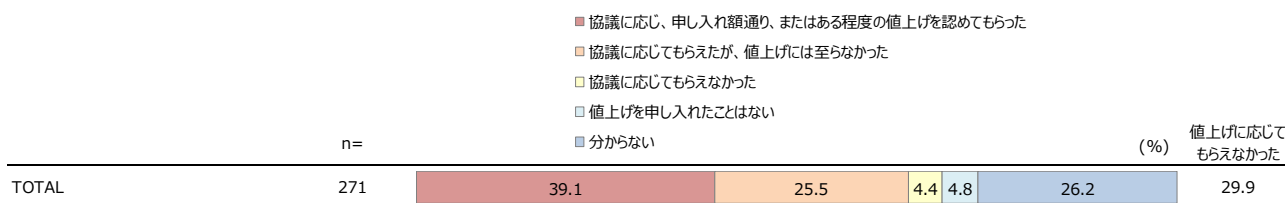
		n=	(% )					変わらない (Top2)	減る (Bottom2)
			■ 変わらない	■ 変わらないことが多い	□ 減ることが多い	■ 減る	■ 分からない		
TOTAL		271	24.4	35.8	11.4	3.7	24.7	60.1	15.1
			(%)						
		n=	変わらない	変わらないことが多い	減ることが多い	減る	分からない	変わらない (Top2)	減る (Bottom2)
TOTAL		271	24.4	35.8	11.4	3.7	24.7	60.1	15.1
Q3 売上高	10億円未満	82	29.3	42.7	11.0	6.1	11.0	72.0	17.1
	10~100億円未満	55	27.3	30.9	10.9	0.0	30.9	58.2	10.9
	100億円以上	89	22.5	41.6	13.5	3.4	19.1	64.0	16.9
	分からない	45	15.6	17.8	8.9	4.4	53.3	33.3	13.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	22.0	28.0	16.0	4.0	30.0	50.0	20.0
	請負事業（30~70%未満）	82	30.5	40.2	7.3	3.7	18.3	70.7	11.0
	請負事業（70%以上）	139	21.6	36.0	12.2	3.6	26.6	57.6	15.8
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	23.5	52.9	5.9	0.0	17.6	76.5	5.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	36.7	25.0	10.0	1.7	26.7	61.7	11.7
	輸送用機械器具・部品	24	16.7	29.2	16.7	4.2	33.3	45.8	20.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	28.9	28.9	15.6	2.2	24.4	57.8	17.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	14.8	55.6	0.0	7.4	22.2	70.4	7.4
	食料品/飲料品	22	22.7	45.5	9.1	0.0	22.7	68.2	9.1
	その他	76	18.4	36.8	14.5	6.6	23.7	55.3	21.1
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	31.6	32.9	9.2	7.9	18.4	64.5	17.1
	30~100人未満	59	28.8	44.1	6.8	5.1	15.3	72.9	11.9
	100~500人未満	60	13.3	38.3	18.3	1.7	28.3	51.7	20.0
	500人以上	52	26.9	36.5	15.4	0.0	21.2	63.5	15.4
	分からない	24	12.5	16.7	4.2	0.0	66.7	29.2	4.2

## (5) 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応

【設問文】 Q21 発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の主な例について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

- 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応では、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」割合が最も高く、39.1%。「分からない」26.2%、「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」25.5%が続く。
- 「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」と「協議に応じてもらえなかった」（4.4%）を合わせた「値上げに応じてもらえなかった」割合は29.9%、約3割。

図表 II-5-5. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 (Q21)



		n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない	値上げに応じてもらえなかった
TOTAL		271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2	29.9
Q3 売上高	10億円未満	82	48.8	24.4	6.1	7.3	13.4	30.5
	10~100億円未満	55	43.6	23.6	1.8	7.3	23.6	25.4
	100億円以上	89	40.4	33.7	4.5	1.1	20.2	38.2
	分からない	45	13.3	13.3	4.4	4.4	64.4	17.7
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	48.0	20.0	2.0	0.0	30.0	22.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	46.3	23.2	4.9	4.9	20.7	28.1
	請負事業 (70%以上)	139	31.7	28.8	5.0	6.5	28.1	33.8
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	41.2	11.8	5.9	5.9	35.3	17.7
	電気・情報通信機械器具・部品	60	40.0	26.7	3.3	1.7	28.3	30.0
	輸送用機械器具・部品	24	29.2	33.3	4.2	0.0	33.3	37.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	37.8	20.0	6.7	6.7	28.9	26.7
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	48.1	33.3	0.0	3.7	14.8	33.3
	食料品/飲料品	22	54.5	22.7	4.5	0.0	18.2	27.2
	その他	76	34.2	26.3	5.3	9.2	25.0	31.6
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	53.9	22.4	2.6	7.9	13.2	25.0
	30~100人未満	59	39.0	32.2	3.4	6.8	18.6	35.6
	100~500人未満	60	28.3	28.3	8.3	3.3	31.7	36.6
	500人以上	52	38.5	25.0	5.8	1.9	28.8	30.8
	分からない	24	20.8	12.5	0.0	0.0	66.7	12.5

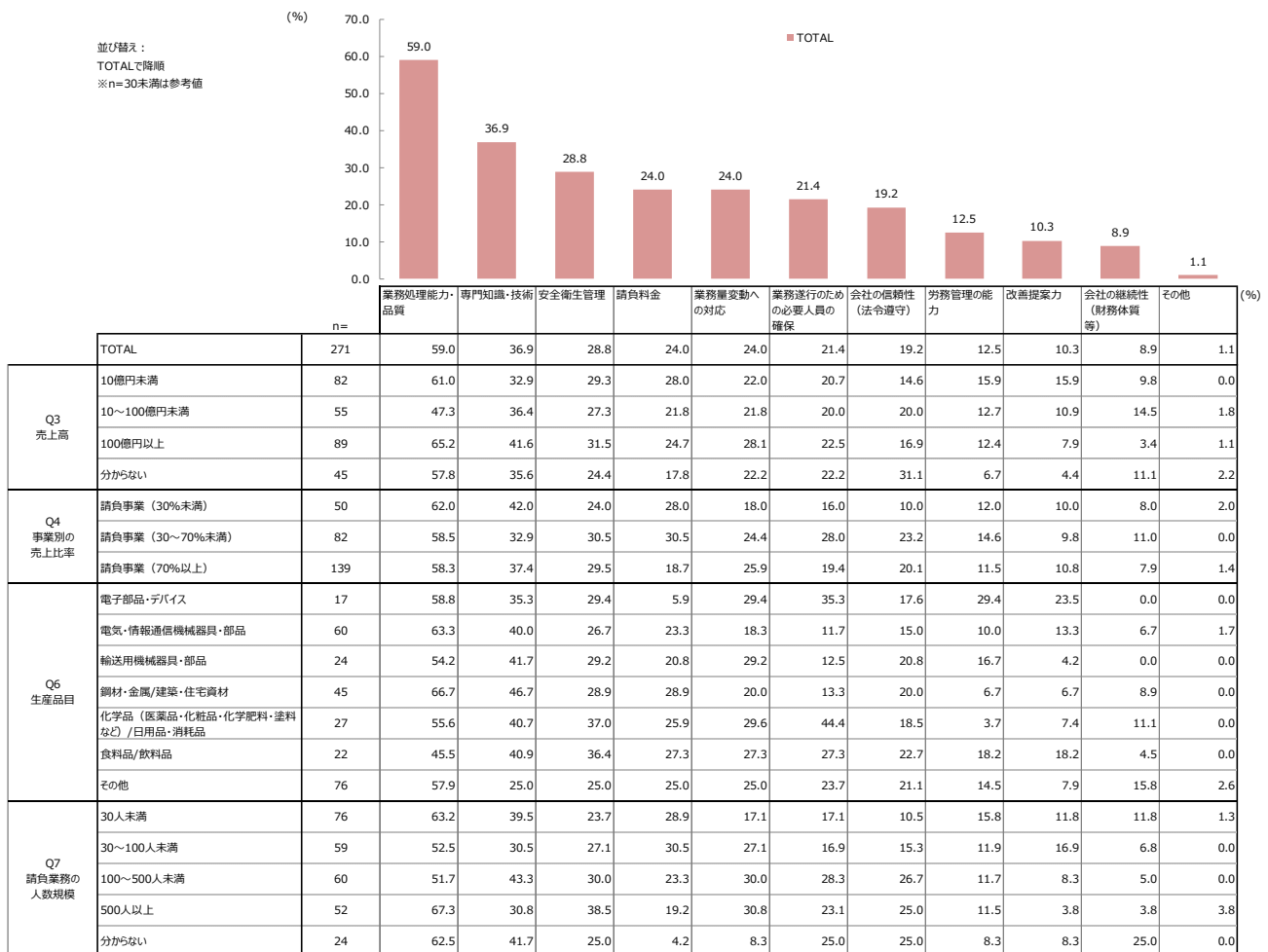


## (6) 受注のためのアピールポイント

【設問文】 Q22 請負業務を受注するために、発注者へアピールできるポイントを次の中から、最大3つまで選んでください。

- 受注のためのアピールポイントでは、「業務処理能力・品質」の割合が最も高く、59.0%。「専門知識・技術」36.9%、「安全衛生管理」28.8%が続く。

図表 II-5-6. 受注のためのアピールポイント (Q22) \* 複数回答 \*

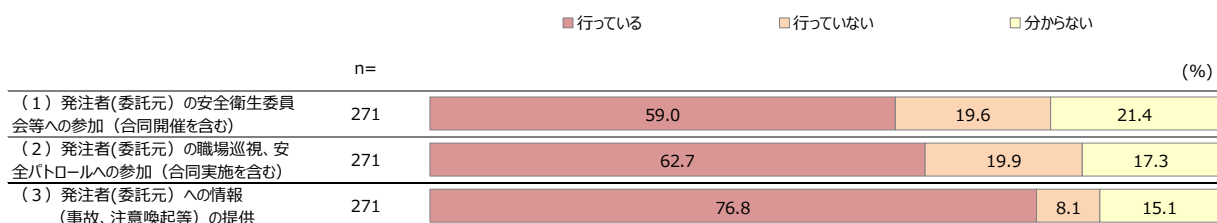


## (7) 安全衛生管理の発注者との連携

【設問文】 Q23 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを 1 つ選んでください。

- 安全衛生管理の発注者との連携について、「行っている」割合が高い順に『（（3）発注者(委託元) への情報（事故、注意喚起等）の提供』（76.8%）で 7 割を超え、『（2）発注者(委託元) の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）』（62.7%）は 6 割強、『（1）発注者(委託元) の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）』（59.0%）も約 6 割となっている。

図表 II-5-7. 安全衛生管理の発注者との連携（Q23）



	n=	行っている (%)	行っていない (%)	分からない (%)
(1) 発注者(委託元) の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）	271	59.0	19.6	21.4
(2) 発注者(委託元) の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）	271	62.7	19.9	17.3
(3) 発注者(委託元) への情報（事故、注意喚起等）の提供	271	76.8	8.1	15.1

【設問文】Q23 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

(1) 発注者（委託元）の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）

- 発注者（委託元）の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）では、「行っている」の割合が最も高く、59.0%。「分からない」21.4%、「行っていない」19.6%が続く。

図表 II-5-7. 安全衛生管理の発注者との連携

(1) 発注者（委託元）の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）（Q23）

	n=	行っている	行っていない	分からない
TOTAL	271	59.0	19.6	21.4

		n=	行っている	行っていない	分からない
TOTAL		271	59.0	19.6	21.4
Q3 売上高	10億円未満	82	57.3	31.7	11.0
	10～100億円未満	55	61.8	10.9	27.3
	100億円以上	89	62.9	16.9	20.2
	分からない	45	51.1	13.3	35.6
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	52.0	18.0	30.0
	請負事業（30～70%未満）	82	68.3	18.3	13.4
	請負事業（70%以上）	139	56.1	20.9	23.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	58.8	35.3	5.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	53.3	21.7	25.0
	輸送用機械器具・部品	24	45.8	12.5	41.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	77.8	8.9	13.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	48.1	40.7	11.1
	食料品/飲料品	22	68.2	9.1	22.7
	その他	76	57.9	18.4	23.7
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	44.7	36.8	18.4
	30～100人未満	59	64.4	15.3	20.3
	100～500人未満	60	71.7	10.0	18.3
	500人以上	52	67.3	15.4	17.3
	分からない	24	41.7	8.3	50.0

【設問文】Q23 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

(2) 発注者（委託元）の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）

- 発注者（委託元）の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）では、「行っている」の割合が最も高く、62.7%。「行っていない」19.9%、「分からない」17.3%が続く。

図表 II-5-7. 安全衛生管理の発注者との連携

(2) 発注者（委託元）の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）（Q23）

	n=	行っている	行っていない	分からない
TOTAL	271	62.7	19.9	17.3

		n=	行っている	行っていない	分からない
TOTAL		271	62.7	19.9	17.3
Q3 売上高	10億円未満	82	54.9	34.1	11.0
	10～100億円未満	55	63.6	9.1	27.3
	100億円以上	89	74.2	12.4	13.5
	分からない	45	53.3	22.2	24.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	58.0	16.0	26.0
	請負事業（30～70%未満）	82	68.3	22.0	9.8
	請負事業（70%以上）	139	61.2	20.1	18.7
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	64.7	29.4	5.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	55.0	23.3	21.7
	輸送用機械器具・部品	24	62.5	12.5	25.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	77.8	8.9	13.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	51.9	37.0	11.1
	食料品/飲料品	22	54.5	22.7	22.7
	その他	76	65.8	17.1	17.1
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	44.7	39.5	15.8
	30～100人未満	59	72.9	11.9	15.3
	100～500人未満	60	68.3	16.7	15.0
	500人以上	52	76.9	9.6	13.5
	分からない	24	50.0	8.3	41.7

【設問文】Q23 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

(3) 発注者（委託元）への情報（事故、注意喚起等）の提供

- 発注者（委託元）への情報（事故、注意喚起等）の提供では、「行っている」の割合が最も高く、76.8%。「分からない」15.1%、「行っていない」8.1%が続く。

図表 II-5-7. 安全衛生管理の発注者との連携

(3) 発注者（委託元）への情報（事故、注意喚起等）の提供（Q23）

		<span style="color: #800000;">■</span> 行っている <span style="color: #FF8C00;">■</span> 行っていない <span style="color: #FFFF00;">■</span> 分からない			
		n=	（%）		
TOTAL	271	76.8	8.1	15.1	

		（%）			
		n=	行っている	行っていない	分からない
	TOTAL	271	76.8	8.1	15.1
Q3 売上高	10億円未満	82	81.7	8.5	9.8
	10～100億円未満	55	72.7	9.1	18.2
	100億円以上	89	77.5	7.9	14.6
	分からない	45	71.1	6.7	22.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	68.0	12.0	20.0
	請負事業（30～70%未満）	82	84.1	6.1	9.8
	請負事業（70%以上）	139	75.5	7.9	16.5
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	88.2	5.9	5.9
	電気・情報通信機械器具・部品	60	73.3	10.0	16.7
	輸送用機械器具・部品	24	75.0	8.3	16.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	82.2	4.4	13.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など）/日用品・消耗品	27	66.7	25.9	7.4
	食料品/飲料品	22	86.4	4.5	9.1
	その他	76	75.0	3.9	21.1
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	67.1	17.1	15.8
	30～100人未満	59	84.7	1.7	13.6
	100～500人未満	60	83.3	10.0	6.7
	500人以上	52	80.8	3.8	15.4
	分からない	24	62.5	0.0	37.5

## 6. 請負労働者の雇用管理

### (1) 請負業務の従業員の1年以内の離職状況

【設問文】 Q24 請負業務の従業員が採用後1年以内に離職したおおよその割合（有期の雇用契約の満了によるものも含む）を教えてください。該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の従業員の1年以内の離職状況では、「1割未満」の割合が最も高く、36.9%。「分からない」24.0%、「2割程度」12.5%が続く。

図表 II-6-1. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況（Q24）

		n=	1割未満 1割程度 2割程度 3割程度 4割程度 5割以上 分からない (%)						
TOTAL		271	36.9	10.7	12.5	8.9	1.8	5.2	24.0
		n=	1割未満	1割程度	2割程度	3割程度	4割程度	5割以上	分からない
TOTAL		271	36.9	10.7	12.5	8.9	1.8	5.2	24.0
Q3 売上高	10億円未満	82	53.7	9.8	7.3	4.9	2.4	6.1	15.9
	10～100億円未満	55	40.0	14.5	12.7	10.9	1.8	3.6	16.4
	100億円以上	89	30.3	9.0	14.6	10.1	1.1	6.7	28.1
	分からない	45	15.6	11.1	17.8	11.1	2.2	2.2	40.0
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	28.0	6.0	16.0	10.0	2.0	4.0	34.0
	請負事業（30～70%未満）	82	39.0	11.0	12.2	12.2	1.2	4.9	19.5
	請負事業（70%以上）	139	38.8	12.2	11.5	6.5	2.2	5.8	23.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	35.3	23.5	11.8	17.6	0.0	0.0	11.8
	電気・情報通信機械器具・部品	60	45.0	10.0	13.3	5.0	0.0	3.3	23.3
	輸送用機械器具・部品	24	37.5	0.0	16.7	12.5	0.0	8.3	25.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	33.3	11.1	13.3	8.9	6.7	4.4	22.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	22.2	11.1	11.1	11.1	7.4	11.1	25.9
	食料品/飲料品	22	31.8	4.5	18.2	13.6	0.0	9.1	22.7
	その他	76	39.5	13.2	9.2	6.6	0.0	3.9	27.6
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	51.3	6.6	9.2	9.2	0.0	1.3	22.4
	30～100人未満	59	39.0	15.3	8.5	8.5	5.1	8.5	15.3
	100～500人未満	60	26.7	15.0	20.0	10.0	1.7	6.7	20.0
	500人以上	52	38.5	7.7	15.4	9.6	1.9	7.7	19.2
	分からない	24	8.3	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	70.8

## (2) 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組みについて、「行っている」および「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合が高いのは、『(2) 必要な職務知識、資格等の明示』(75.6%) や『(1) 人材の育成 (教育訓練) の実施』(73.4%) となっている。「あまり行っていない」および「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合が高いのは、『(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取』(30.3%)、『(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示』(28.4%)、『(5) 業務や能力評価の賃金への反映』(28.4%)。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み (Q25)

	n=	(% )					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
(1) 人材の育成 (教育訓練) の実施	271	35.8	37.6	12.2	4.4	10.0	73.4	16.6
(2) 必要な職務知識、資格等の明示	271	34.3	41.3	8.9	5.2	10.3	75.6	14.1
(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示	271	25.1	33.9	20.7	7.7	12.5	59.0	28.4
(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取	271	26.9	31.4	20.3	10.0	11.4	58.3	30.3
(5) 業務や能力評価の賃金への反映	271	24.4	35.1	20.3	8.1	12.2	59.4	28.4
(6) 福利厚生面の充実	271	26.2	31.4	22.5	5.2	14.8	57.6	27.7
(7) その他	271	13.3	22.1	16.2	7.4	41.0	35.4	23.6

(%)

	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
(1) 人材の育成 (教育訓練) の実施	271	35.8	37.6	12.2	4.4	10.0	73.4	16.6
(2) 必要な職務知識、資格等の明示	271	34.3	41.3	8.9	5.2	10.3	75.6	14.1
(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示	271	25.1	33.9	20.7	7.7	12.5	59.0	28.4
(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取	271	26.9	31.4	20.3	10.0	11.4	58.3	30.3
(5) 業務や能力評価の賃金への反映	271	24.4	35.1	20.3	8.1	12.2	59.4	28.4
(6) 福利厚生面の充実	271	26.2	31.4	22.5	5.2	14.8	57.6	27.7
(7) その他	271	13.3	22.1	16.2	7.4	41.0	35.4	23.6

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(1) 人材の育成（教育訓練）の実施

- 人材の育成（教育訓練）の実施では、「概ね行っている」の割合が最も高く、37.6%。「行っている」35.8%、「あまり行っていない」12.2%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている（Top2）」割合は、73.4%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、16.6%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ  
(1) 人材の育成（教育訓練）の実施（Q25）

		n=	%					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
TOTAL		271	35.8	37.6	12.2	4.4	10.0	73.4	16.6
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
Q3 売上高	TOTAL	271	35.8	37.6	12.2	4.4	10.0	73.4	16.6
	10億円未満	82	32.9	39.0	13.4	6.1	8.5	72.0	19.5
	10～100億円未満	55	36.4	40.0	7.3	5.5	10.9	76.4	12.8
	100億円以上	89	40.4	39.3	10.1	2.2	7.9	79.8	12.3
	分からない	45	31.1	28.9	20.0	4.4	15.6	60.0	24.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	50	28.0	30.0	12.0	10.0	20.0	58.0	22.0
	請負事業（30～70%未満）	82	41.5	36.6	13.4	1.2	7.3	78.0	14.6
	請負事業（70%以上）	139	35.3	41.0	11.5	4.3	7.9	76.3	15.8
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	47.1	41.2	5.9	5.9	0.0	88.2	11.8
	電気・情報通信機械器具・部品	60	45.0	31.7	10.0	1.7	11.7	76.7	11.7
	輸送用機械器具・部品	24	37.5	29.2	20.8	0.0	12.5	66.7	20.8
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	31.1	31.1	15.6	8.9	13.3	62.2	24.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	27	29.6	40.7	11.1	11.1	7.4	70.4	22.2
	食料品/飲料品	22	31.8	59.1	4.5	0.0	4.5	90.9	4.5
	その他	76	31.6	40.8	13.2	3.9	10.5	72.4	17.1
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	26.3	38.2	15.8	9.2	10.5	64.5	25.0
	30～100人未満	59	35.6	42.4	13.6	5.1	3.4	78.0	18.7
	100～500人未満	60	35.0	38.3	15.0	1.7	10.0	73.3	16.7
	500人以上	52	48.1	38.5	7.7	0.0	5.8	86.5	7.7
	分からない	24	41.7	20.8	0.0	4.2	33.3	62.5	4.2



【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(2) 必要な職務知識、資格等の明示

- 必要な職務知識、資格等の明示では、「概ね行っている」の割合が最も高く、41.3%。「行っている」34.3%、「分からない」10.3%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、75.6%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、14.1%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ  
(2) 必要な職務知識、資格等の明示 (Q25)

		n=	n=					行っていない (Bottom2)	
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			(%)						
TOTAL		271	34.3	41.3	8.9	5.2	10.3	75.6	14.1
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL		271	34.3	41.3	8.9	5.2	10.3	75.6	14.1
Q3 売上高	10億円未満	82	29.3	45.1	11.0	7.3	7.3	74.4	18.3
	10~100億円未満	55	38.2	41.8	3.6	3.6	12.7	80.0	7.2
	100億円以上	89	41.6	39.3	6.7	4.5	7.9	80.9	11.2
	分からない	45	24.4	37.8	15.6	4.4	17.8	62.2	20.0
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	26.0	32.0	12.0	8.0	22.0	58.0	20.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	46.3	36.6	7.3	2.4	7.3	82.9	9.7
	請負事業 (70%以上)	139	30.2	47.5	8.6	5.8	7.9	77.7	14.4
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	29.4	41.2	17.6	11.8	0.0	70.6	29.4
	電気・情報通信機械器具・部品	60	43.3	40.0	3.3	1.7	11.7	83.3	5.0
	輸送用機械器具・部品	24	41.7	29.2	8.3	4.2	16.7	70.8	12.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	37.8	31.1	11.1	6.7	13.3	68.9	17.8
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	25.9	40.7	18.5	3.7	11.1	66.7	22.2
	食料品/飲料品	22	31.8	45.5	13.6	4.5	4.5	77.3	18.1
	その他	76	27.6	51.3	5.3	6.6	9.2	78.9	11.9
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	23.7	43.4	11.8	9.2	11.8	67.1	21.0
	30~100人未満	59	33.9	45.8	11.9	5.1	3.4	79.7	17.0
	100~500人未満	60	36.7	38.3	10.0	6.7	8.3	75.0	16.7
	500人以上	52	48.1	42.3	1.9	0.0	7.7	90.4	1.9
	分からない	24	33.3	29.2	4.2	0.0	33.3	62.5	4.2

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示

- リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示では、「概ね行っている」の割合が最も高く、33.9%。「行っている」25.1%、「あまり行っていない」20.7%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、59.0%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、28.4%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ

(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示 (Q25)

		n=	%					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
TOTAL		271	25.1	33.9	20.7	7.7	12.5	59.0	28.4
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
Q3 売上高	TOTAL	271	25.1	33.9	20.7	7.7	12.5	59.0	28.4
	10億円未満	82	24.4	29.3	30.5	6.1	9.8	53.7	36.6
	10~100億円未満	55	23.6	38.2	14.5	9.1	14.5	61.8	23.6
	100億円以上	89	32.6	40.4	13.5	3.4	10.1	73.0	16.9
	分からない	45	13.3	24.4	24.4	17.8	20.0	37.8	42.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	18.0	32.0	16.0	10.0	24.0	50.0	26.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	32.9	36.6	14.6	4.9	11.0	69.5	19.5
	請負事業 (70%以上)	139	23.0	33.1	25.9	8.6	9.4	56.1	34.5
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	35.3	23.5	17.6	17.6	5.9	58.8	35.2
	電気・情報通信機械器具・部品	60	28.3	36.7	16.7	3.3	15.0	65.0	20.0
	輸送用機械器具・部品	24	25.0	29.2	20.8	8.3	16.7	54.2	29.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	33.3	26.7	17.8	6.7	15.6	60.0	24.5
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	22.2	44.4	14.8	11.1	7.4	66.7	25.9
	食料品/飲料品	22	18.2	45.5	27.3	0.0	9.1	63.6	27.3
	その他	76	18.4	32.9	26.3	10.5	11.8	51.3	36.8
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	22.4	26.3	25.0	10.5	15.8	48.7	35.5
	30~100人未満	59	25.4	35.6	25.4	8.5	5.1	61.0	33.9
	100~500人未満	60	16.7	43.3	23.3	8.3	8.3	60.0	31.6
	500人以上	52	40.4	34.6	9.6	3.8	11.5	75.0	13.4
	分からない	24	20.8	29.2	12.5	4.2	33.3	50.0	16.7

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取

- 定期的な面談による本人の希望の聴取では、「概ね行っている」の割合が最も高く、31.4%。「行っている」26.9%、「あまり行っていない」20.3%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、58.3%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、30.3%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ

(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取 (Q25)

		n=	n=					行っている (Top2)		行っていない (Bottom2)	
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	(%)			
TOTAL		271	26.9	31.4	20.3	10.0	11.4	58.3	30.3		
			(%)								
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)		
TOTAL		271	26.9	31.4	20.3	10.0	11.4	58.3	30.3		
Q3 売上高	10億円未満	82	24.4	26.8	26.8	13.4	8.5	51.2	40.2		
	10~100億円未満	55	21.8	34.5	20.0	9.1	14.5	56.4	29.1		
	100億円以上	89	40.4	34.8	11.2	4.5	9.0	75.3	15.7		
	分からない	45	11.1	28.9	26.7	15.6	17.8	40.0	42.3		
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	22.0	24.0	16.0	10.0	28.0	46.0	26.0		
	請負事業 (30~70%未満)	82	26.8	42.7	18.3	3.7	8.5	69.5	22.0		
	請負事業 (70%以上)	139	28.8	27.3	23.0	13.7	7.2	56.1	36.7		
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	29.4	29.4	23.5	17.6	0.0	58.8	41.1		
	電気・情報通信機械器具・部品	60	33.3	36.7	13.3	3.3	13.3	70.0	16.6		
	輸送用機械器具・部品	24	25.0	41.7	8.3	8.3	16.7	66.7	16.6		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	20.0	20.0	24.4	20.0	15.6	40.0	44.4		
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	25.9	22.2	22.2	18.5	11.1	48.1	40.7		
	食料品/飲料品	22	31.8	22.7	40.9	0.0	4.5	54.5	40.9		
	その他	76	25.0	36.8	19.7	7.9	10.5	61.8	27.6		
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	18.4	25.0	27.6	15.8	13.2	43.4	43.4		
	30~100人未満	59	30.5	32.2	18.6	13.6	5.1	62.7	32.2		
	100~500人未満	60	16.7	36.7	26.7	8.3	11.7	53.3	35.0		
	500人以上	52	46.2	34.6	9.6	1.9	7.7	80.8	11.5		
	分からない	24	29.2	29.2	8.3	4.2	29.2	58.3	12.5		

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(5) 業務や能力評価の賃金への反映

- 業務や能力評価の賃金への反映では、「概ね行っている」の割合が最も高く、35.1%。「行っている」24.4%、「あまり行っていない」20.3%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、59.4%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、28.4%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ  
(5) 業務や能力評価の賃金への反映 (Q25)

		n=	%					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
TOTAL		271	24.4	35.1	20.3	8.1	12.2	59.4	28.4
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL		271	24.4	35.1	20.3	8.1	12.2	59.4	28.4
Q3 売上高	10億円未満	82	23.2	36.6	23.2	8.5	8.5	59.8	31.7
	10~100億円未満	55	30.9	32.7	16.4	7.3	12.7	63.6	23.7
	100億円以上	89	29.2	44.9	10.1	4.5	11.2	74.2	14.6
	分からない	45	8.9	15.6	40.0	15.6	20.0	24.4	55.6
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	24.0	32.0	10.0	8.0	26.0	56.0	18.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	29.3	30.5	22.0	7.3	11.0	59.8	29.3
	請負事業 (70%以上)	139	21.6	38.8	23.0	8.6	7.9	60.4	31.6
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	29.4	23.5	35.3	11.8	0.0	52.9	47.1
	電気・情報通信機械器具・部品	60	30.0	35.0	15.0	5.0	15.0	65.0	20.0
	輸送用機械器具・部品	24	29.2	29.2	16.7	4.2	20.8	58.3	20.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	15.6	33.3	24.4	13.3	13.3	48.9	37.7
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	25.9	40.7	14.8	11.1	7.4	66.7	25.9
	食料品/飲料品	22	27.3	40.9	22.7	4.5	4.5	68.2	27.2
	その他	76	21.1	36.8	21.1	7.9	13.2	57.9	29.0
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	19.7	35.5	21.1	10.5	13.2	55.3	31.6
	30~100人未満	59	23.7	33.9	25.4	11.9	5.1	57.6	37.3
	100~500人未満	60	23.3	35.0	25.0	6.7	10.0	58.3	31.7
	500人以上	52	30.8	42.3	13.5	3.8	9.6	73.1	17.3
	分からない	24	29.2	20.8	8.3	4.2	37.5	50.0	12.5

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(6) 福利厚生面の充実

- 福利厚生面の充実では、「概ね行っている」の割合が最も高く、31.4%。「行っている」26.2%、「あまり行っていない」22.5%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、57.6%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、27.7%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ  
(6) 福利厚生面の充実 (Q25)

		n=	(% )					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
TOTAL		271	26.2	31.4	22.5	5.2	14.8	57.6	27.7
			(% )						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL		271	26.2	31.4	22.5	5.2	14.8	57.6	27.7
Q3 売上高	10億円未満	82	23.2	29.3	30.5	7.3	9.8	52.4	37.8
	10~100億円未満	55	30.9	29.1	20.0	5.5	14.5	60.0	25.5
	100億円以上	89	32.6	38.2	12.4	3.4	13.5	70.8	15.8
	分からない	45	13.3	24.4	31.1	4.4	26.7	37.8	35.5
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	28.0	20.0	18.0	4.0	30.0	48.0	22.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	30.5	40.2	13.4	3.7	12.2	70.7	17.1
	請負事業 (70%以上)	139	23.0	30.2	29.5	6.5	10.8	53.2	36.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	35.3	17.6	41.2	5.9	0.0	52.9	47.1
	電気・情報通信機械器具・部品	60	28.3	31.7	18.3	3.3	18.3	60.0	21.6
	輸送用機械器具・部品	24	25.0	41.7	4.2	8.3	20.8	66.7	12.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	22.2	35.6	22.2	4.4	15.6	57.8	26.6
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	25.9	25.9	29.6	7.4	11.1	51.9	37.0
	食料品/飲料品	22	22.7	40.9	13.6	9.1	13.6	63.6	22.7
	その他	76	26.3	27.6	27.6	3.9	14.5	53.9	31.5
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	21.1	25.0	32.9	5.3	15.8	46.1	38.2
	30~100人未満	59	27.1	37.3	25.4	6.8	3.4	64.4	32.2
	100~500人未満	60	26.7	30.0	20.0	8.3	15.0	56.7	28.3
	500人以上	52	34.6	40.4	11.5	1.9	11.5	75.0	13.4
	分からない	24	20.8	20.8	12.5	0.0	45.8	41.7	12.5

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

(7) その他

- その他では、「分からない」の割合が最も高く、41.0%。「概ね行っている」22.1%、「あまり行っていない」16.2%が続く。
- 「行っている」と「概ね行っている」を合わせた「行っている (Top2)」割合は、35.4%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない (Bottom2)」割合は、23.6%。

図表 II-6-2. 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップ  
(7) その他 (Q25)

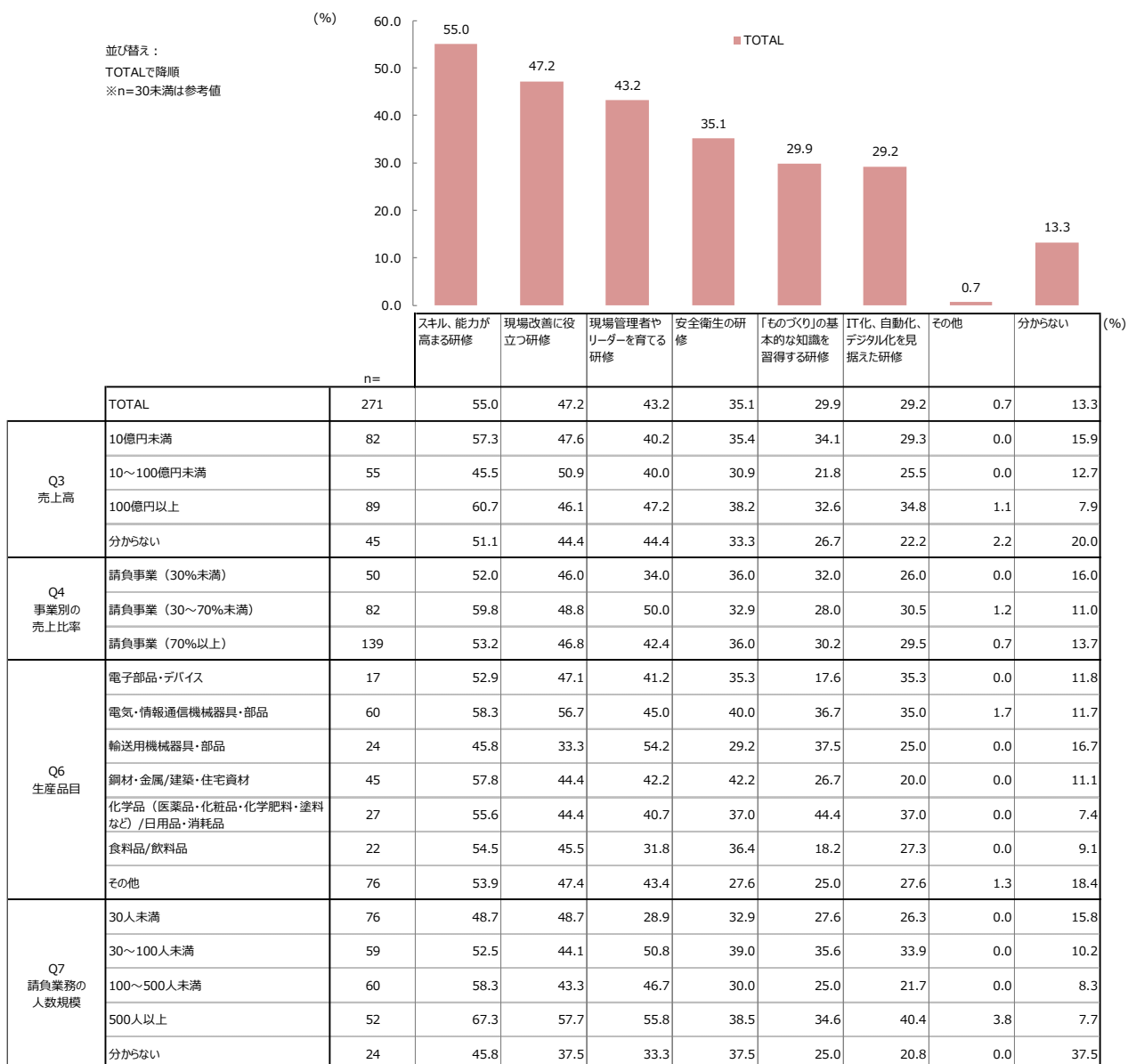
		n=	%					行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
			行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
TOTAL		271	13.3	22.1	16.2	7.4	41.0	35.4	23.6
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
Q3 売上高	TOTAL	271	13.3	22.1	16.2	7.4	41.0	35.4	23.6
	10億円未満	82	11.0	18.3	26.8	8.5	35.4	29.3	35.3
	10~100億円未満	55	16.4	16.4	12.7	9.1	45.5	32.7	21.8
	100億円以上	89	18.0	34.8	6.7	7.9	32.6	52.8	14.6
	分からない	45	4.4	11.1	20.0	2.2	62.2	15.6	22.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	12.0	20.0	4.0	20.0	44.0	32.0	24.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	18.3	28.0	19.5	2.4	31.7	46.3	21.9
	請負事業 (70%以上)	139	10.8	19.4	18.7	5.8	45.3	30.2	24.5
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	17.6	17.6	29.4	17.6	17.6	35.3	47.0
	電気・情報通信機械器具・部品	60	18.3	15.0	13.3	6.7	46.7	33.3	20.0
	輸送用機械器具・部品	24	16.7	20.8	8.3	4.2	50.0	37.5	12.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	8.9	20.0	24.4	8.9	37.8	28.9	33.3
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	27	14.8	25.9	14.8	7.4	37.0	40.7	22.2
	食料品/飲料品	22	9.1	27.3	18.2	4.5	40.9	36.4	22.7
	その他	76	10.5	27.6	13.2	6.6	42.1	38.2	19.8
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	13.2	14.5	22.4	11.8	38.2	27.6	34.2
	30~100人未満	59	13.6	25.4	16.9	10.2	33.9	39.0	27.1
	100~500人未満	60	10.0	20.0	16.7	3.3	50.0	30.0	20.0
	500人以上	52	21.2	30.8	9.6	3.8	34.6	51.9	13.4
	分からない	24	4.2	25.0	8.3	4.2	58.3	29.2	12.5

### (3) 請負業務の従業員に実施したい研修

【設問文】 Q26 請負業務の従業員に今後、実施したい研修はどのようなものですか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 請負業務の従業員に実施したい研修では、「スキル、能力が高まる研修」の割合が最も高く、55.0%。「現場改善に役立つ研修」47.2%、「現場管理者やリーダーを育てる研修」43.2%が続く。

図表 II-6-3. 請負業務の従業員に実施したい研修（Q26） \* 複数回答 \*

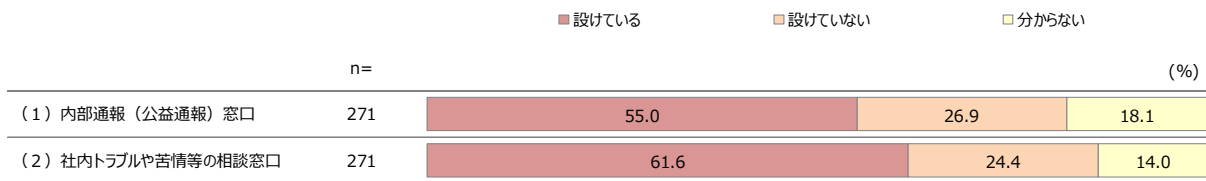


#### (4) 内部通報窓口・相談窓口の設置状況

【設問文】 Q27 従業員が社内の不正行為等を通報するための内部通報(公益通報) 窓口や、社内トラブルや苦情等の相談窓口の設置状況についてお伺いします。該当するものを選んでください。

- 内部通報窓口・相談窓口の設置状況について、「設けている」割合が最も高いのは『(2) 社内トラブルや苦情等の相談窓口』で61.6%となっている。『(1) 内部通報(公益通報) 窓口』は55.0%となっている。

図表 II-6-4. 内部通報窓口・相談窓口の設置状況 (Q27)



	n=	設けている (%)		
		設けている	設けていない	分からない
(1) 内部通報(公益通報) 窓口	271	55.0	26.9	18.1
(2) 社内トラブルや苦情等の相談窓口	271	61.6	24.4	14.0

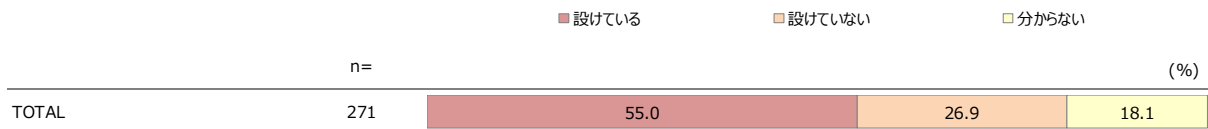


【設問文】 Q27 従業員が社内の不正行為等を通報するための内部通報(公益通報) 窓口や、社内トラブルや苦情等の相談窓口の設置状況について  
お伺いします。該当するものを選んでください。

(1) 内部通報(公益通報) 窓口

- 内部通報(公益通報) 窓口では、「設けている」の割合が最も高く、55.0%。「設けていない」26.9%、「分からない」18.1%が続く。

図表 II-6-4. 内部通報窓口・相談窓口の設置状況  
(1) 内部通報(公益通報) 窓口(Q27)



		(%)			
		n=	設けている	設けていない	分からない
TOTAL		271	55.0	26.9	18.1
Q3 売上高	10億円未満	82	39.0	42.7	18.3
	10~100億円未満	55	49.1	27.3	23.6
	100億円以上	89	73.0	18.0	9.0
	分からない	45	55.6	15.6	28.9
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	56.0	20.0	24.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	62.2	26.8	11.0
	請負事業 (70%以上)	139	50.4	29.5	20.1
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	47.1	29.4	23.5
	電気・情報通信機械器具・部品	60	63.3	21.7	15.0
	輸送用機械器具・部品	24	45.8	37.5	16.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	53.3	28.9	17.8
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	51.9	29.6	18.5
	食料品/飲料品	22	59.1	22.7	18.2
	その他	76	53.9	26.3	19.7
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	35.5	43.4	21.1
	30~100人未満	59	49.2	35.6	15.3
	100~500人未満	60	60.0	21.7	18.3
	500人以上	52	80.8	9.6	9.6
	分からない	24	62.5	4.2	33.3

【設問文】 Q27 従業員が社内の不正行為等を通報するための内部通報(公益通報) 窓口や、社内トラブルや苦情等の相談窓口の設置状況について  
お伺いします。該当するものを選んでください。

(2) 社内トラブルや苦情等の相談窓口

- 社内トラブルや苦情等の相談窓口では、「設けている」の割合が最も高く、61.6%。「設けていない」24.4%、「分からない」14.0%が続く。

図表 II-6-4. 内部通報窓口・相談窓口の設置状況  
(2) 社内トラブルや苦情等の相談窓口 (Q27)

		n=	(%)		
			■ 設けている	■ 設けていない	□ 分からない
TOTAL		271	61.6	24.4	14.0

		n=	(%)		
			設けている	設けていない	分からない
TOTAL		271	61.6	24.4	14.0
Q3 売上高	10億円未満	82	53.7	36.6	9.8
	10~100億円未満	55	52.7	25.5	21.8
	100億円以上	89	80.9	13.5	5.6
	分からない	45	48.9	22.2	28.9
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	50	62.0	16.0	22.0
	請負事業 (30~70%未満)	82	67.1	24.4	8.5
	請負事業 (70%以上)	139	58.3	27.3	14.4
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	17	58.8	29.4	11.8
	電気・情報通信機械器具・部品	60	70.0	16.7	13.3
	輸送用機械器具・部品	24	50.0	33.3	16.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	45	57.8	28.9	13.3
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料 など) /日用品・消耗品	27	63.0	25.9	11.1
	食料品/飲料品	22	68.2	13.6	18.2
	その他	76	59.2	26.3	14.5
Q7 請負業務の 人数規模	30人未満	76	44.7	39.5	15.8
	30~100人未満	59	57.6	25.4	16.9
	100~500人未満	60	68.3	25.0	6.7
	500人以上	52	82.7	9.6	7.7
	分からない	24	62.5	4.2	33.3

## 7. 請負業務の問題・課題

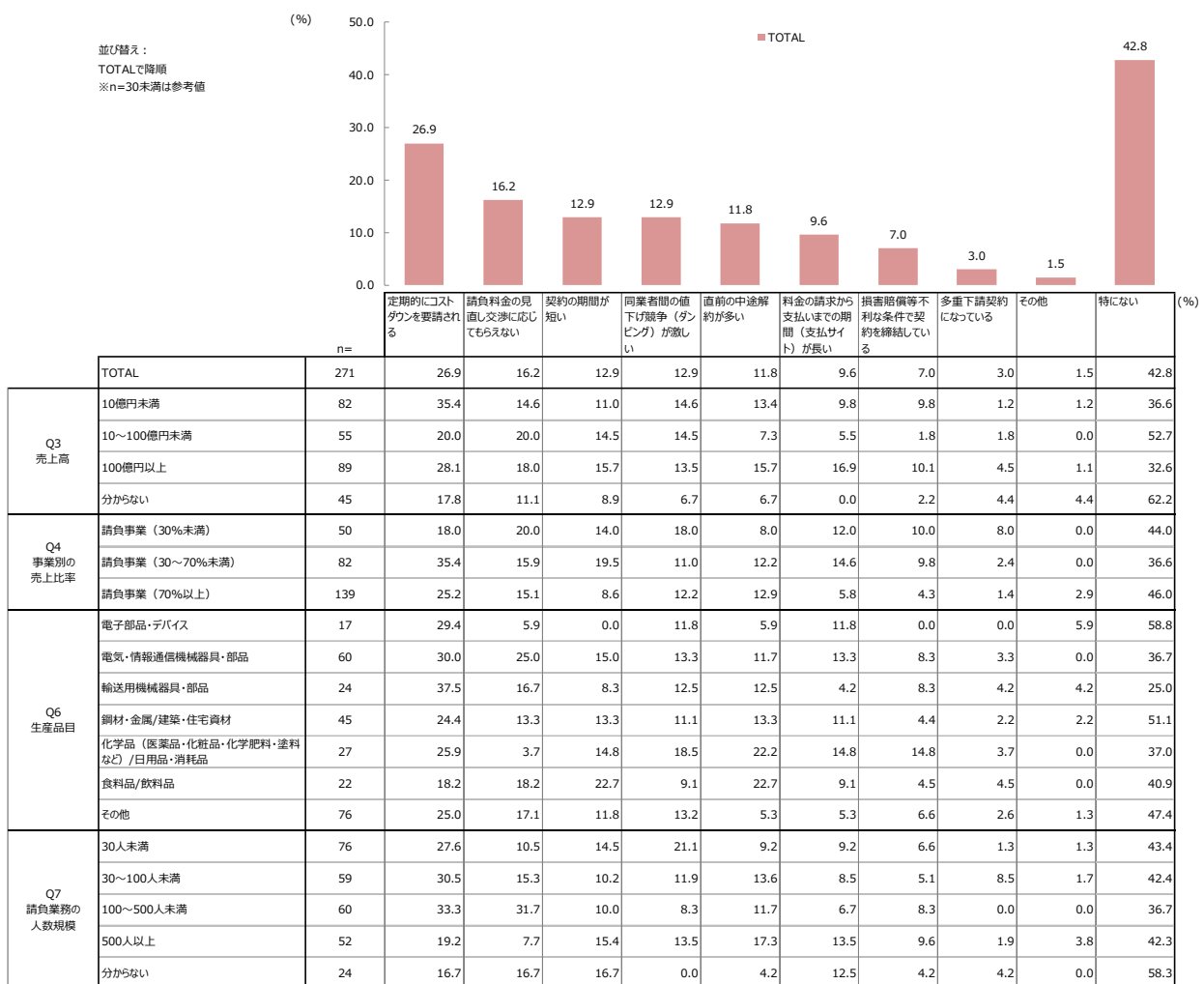
### (1) 請負業務の問題・課題 — 取引、料金、請負契約

【設問文】 Q28 請負業務を進めていく上で、「取引、料金、請負契約」の視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

(最大3つまで)

- 請負業務の問題・課題—取引、料金、請負契約では、「定期的コストダウンを要請される」の割合が最も高く、26.9%。「請負料金の見直し交渉に応じてもらえない」16.2%、「契約の期間が短い」「同業者間の値下げ競争（ダンピング）が激しい」12.9%が続く。なお、「特になし」は42.8%。

図表 II-7-1. 請負業務の問題・課題 — 取引、料金、請負契約 (Q28) \* 複数回答 \*



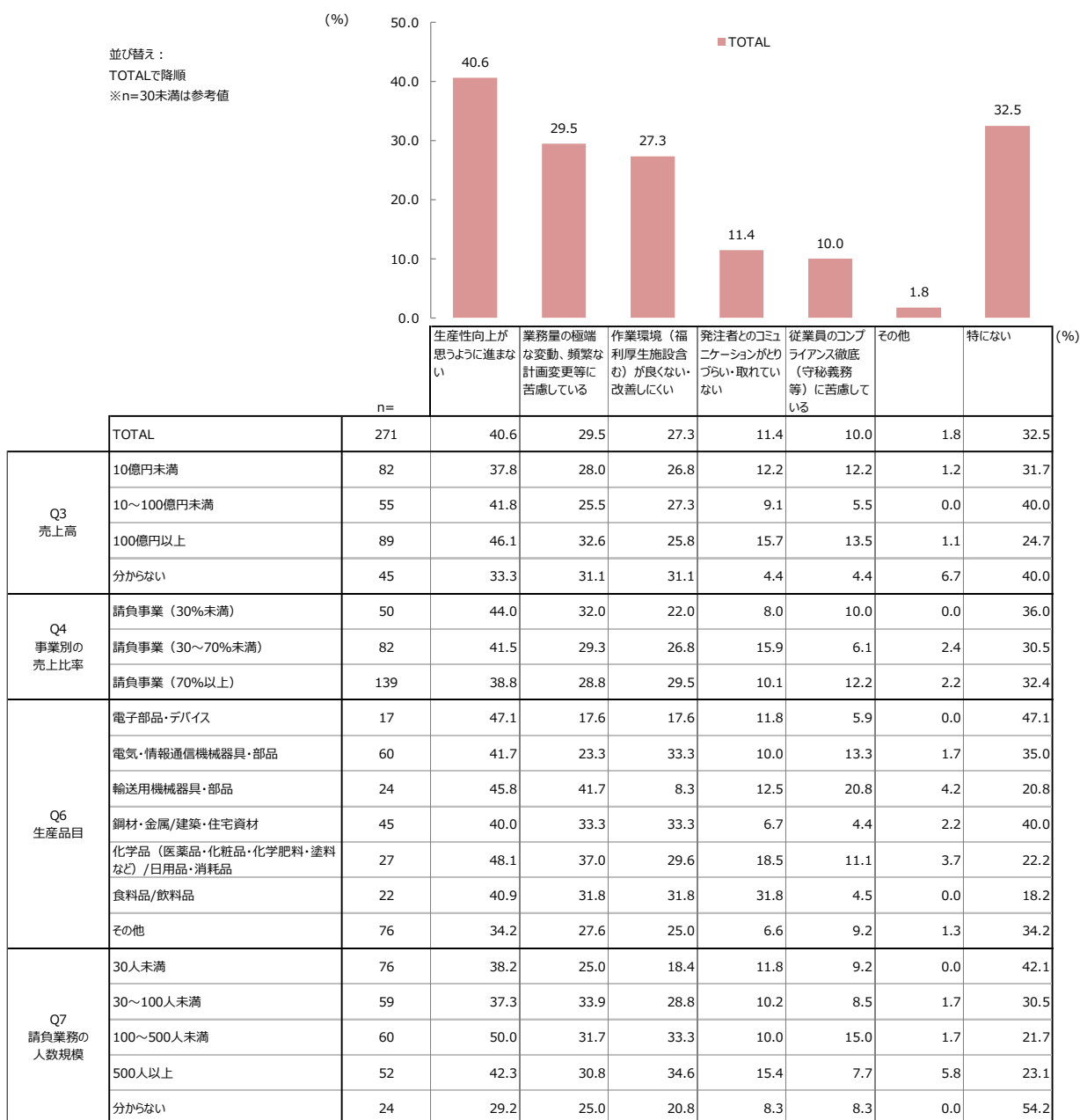
## (2) 請負業務の問題・課題 — 業務運営、職場

【設問文】 Q29 請負業務を進めていく上で、「業務運営、職場」の視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

(最大3つまで)

- 請負業務の問題・課題—業務運営、職場では、「生産性向上が思うように進まない」の割合が最も高く、40.6%。「業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している」29.5%、「作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい」27.3%が続く。なお、「特にない」は32.5%。

図表 II-7-2. 請負業務の問題・課題 — 業務運営、職場 (Q29) \*複数回答\*



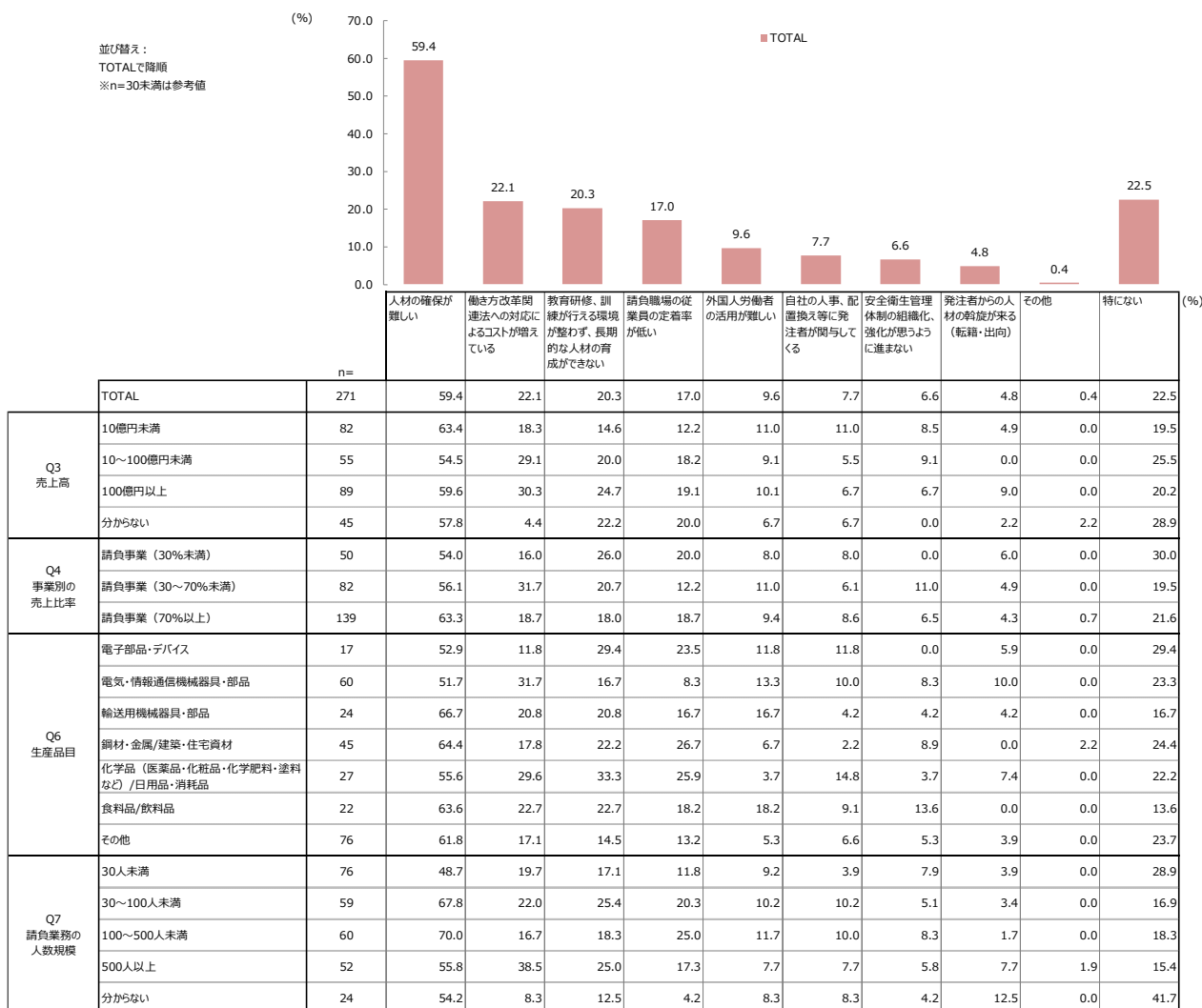
### (3) 請負業務の問題・課題 — 人事、労務、組織

【設問文】 Q30 請負業務を進めていく上で、「人事、労務、組織」の視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

(最大3つまで)

- 請負業務の問題・課題—人事、労務、組織では、「人材の確保が難しい」の割合が最も高く、59.4%。「働き方改革関連法への対応によるコストが増えている」22.1%、「教育研修、訓練が行える環境が整わず、長期的な人材の育成ができない」20.3%が続く。なお、「特にない」は22.5%。

図表 II-7-3. 請負業務の問題・課題 — 人事、労務、組織 (Q30) \* 複数回答\*



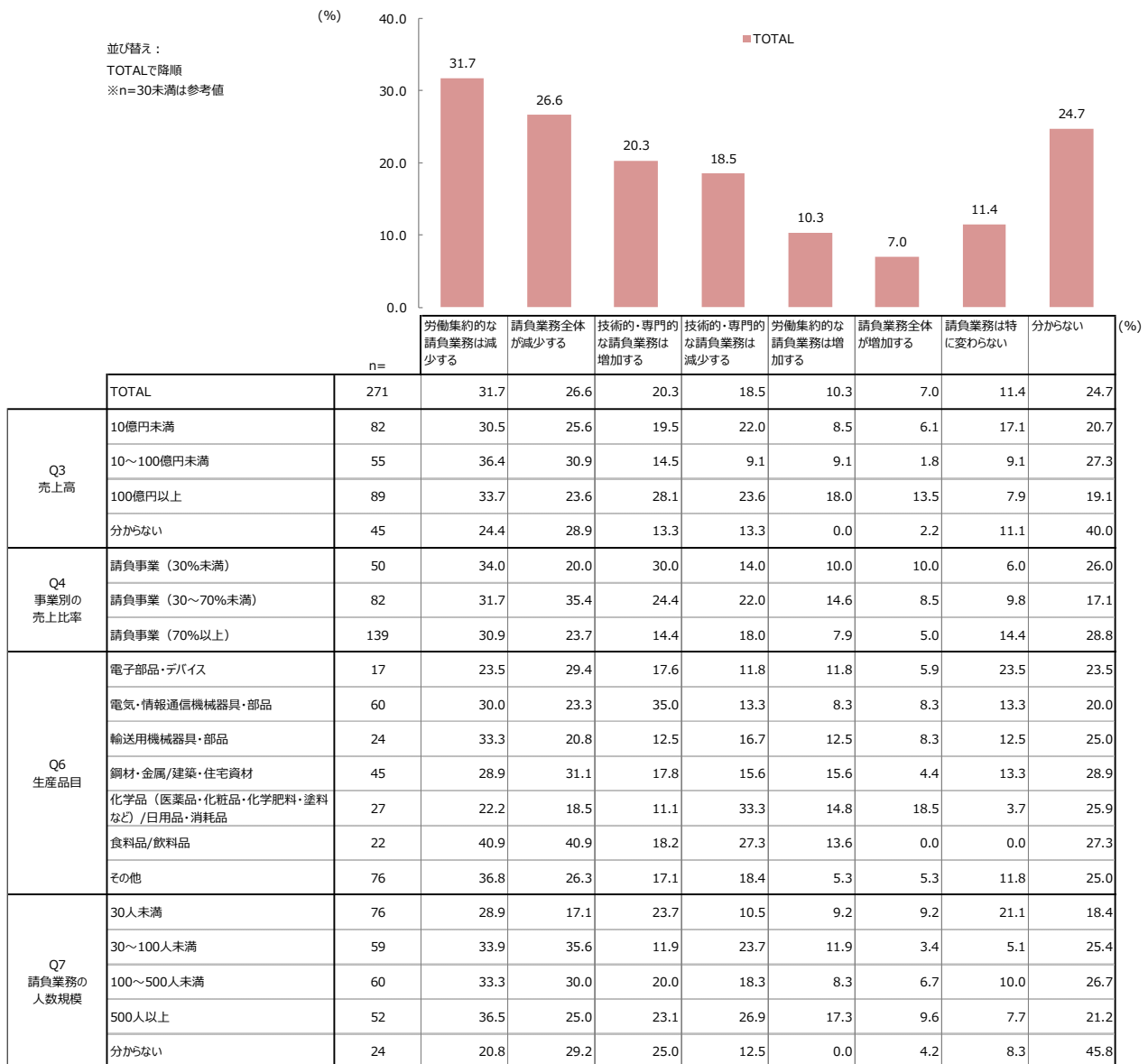
## 8. 今後の事業運営

### (1) 技術革新の請負業務への影響

【設問文】 Q31 今後、自動化（ロボット化）・IT 化など技術革新が進展するとしたら、請負業務にどのような影響があると思われますか。請負業務の今後の見通しについて、該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 技術革新の請負業務への影響では、「労働集約的な請負業務は減少する」の割合が最も高く、31.7%。「請負業務全体が減少する」26.6%、「技術的・専門的な請負業務は増加する」20.3%が続く。なお、「請負業務は特に変わらない」は 11.4%。

図表 II-8-1. 技術革新の請負業務への影響（Q31）＊複数回答＊

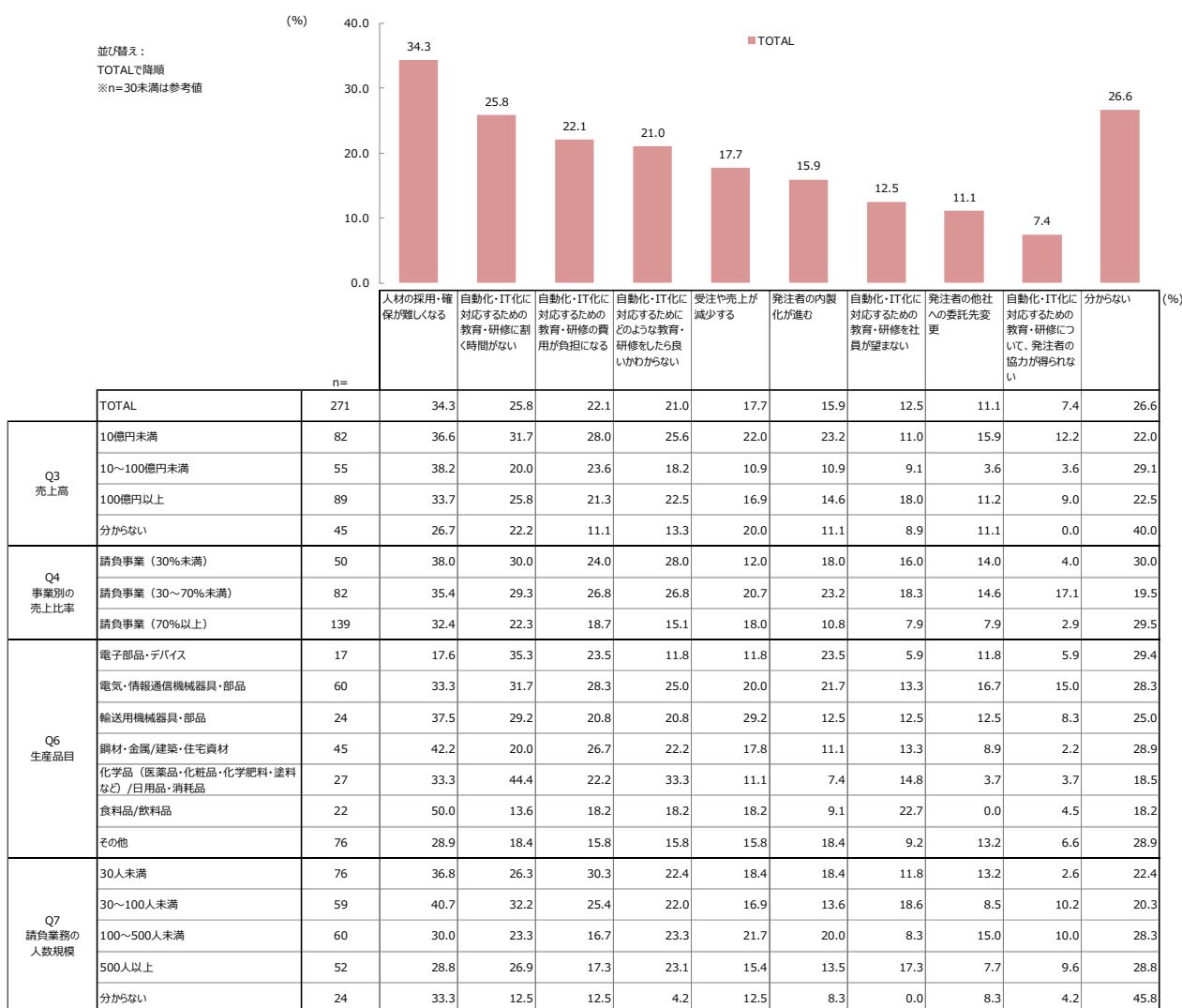


## (2) 技術革新による請負業務への懸念、課題

【設問文】 Q32 今後、自動化（ロボット化）・IT化など技術革新が進展するとしたら、請負業務において、懸念されること、あるいは課題としてどのようなことがあると思われますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 技術革新による請負業務への懸念、課題では、「人材の採用・確保が難しくなる」の割合が最も高く、34.3%。「自動化・IT化に対応するための教育・研修に割く時間がない」25.8%、「自動化・IT化に対応するための教育・研修の費用が負担になる」22.1%が続く。

図表 II-8-2. 技術革新による請負業務への懸念、課題（Q32）＊複数回答＊







### III. 請負労働者

# 1. 請負労働者の概要

## (1) 請負労働者の概要と現在の労働環境

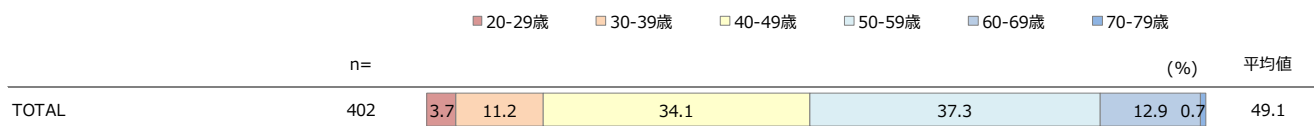
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 III-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



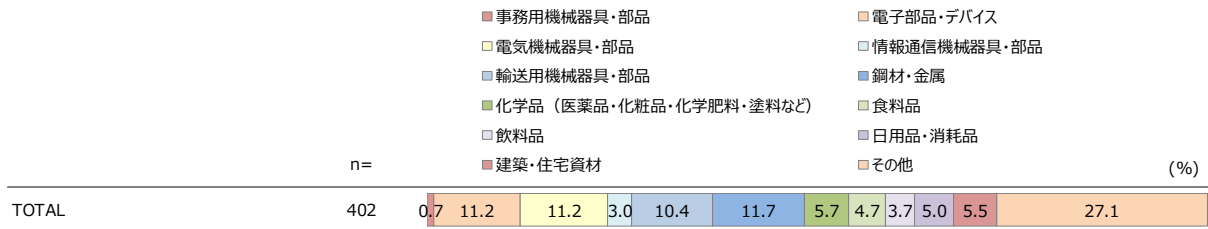
図表 III-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたが従事している業務の生産品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

- 従事している業務の生産品目では、「鋼材・金属」の割合が最も高く、11.7%。「電子部品・デバイス」「電気機械器具・部品」11.2%が続く。

図表 III-1-1③. 従事している業務の生産品目 (Q3)



業務内容	n=	生産品目 (%)												
		事務用機械器具・部品	電子部品・デバイス	電気機械器具・部品	情報通信機械器具・部品	輸送用機械器具・部品	鋼材・金属	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	食料品	飲料品	日用品・消耗品	建築・住宅資材	その他	
TOTAL	402	0.7	11.2	11.2	3.0	10.4	11.7	5.7	4.7	3.7	5.0	5.5	27.1	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	1.1	13.7	17.9	3.2	14.7	8.4	1.1	3.2	2.1	2.1	12.6	20.0
	検査	60	1.7	16.7	13.3	3.3	13.3	15.0	10.0	0.0	1.7	5.0	5.0	15.0
	梱包・運搬 (構内)	35	0.0	5.7	5.7	0.0	14.3	5.7	11.4	2.9	8.6	11.4	5.7	28.6
	生産 (工程)・品質管理	138	0.7	9.4	7.2	1.4	7.2	11.6	6.5	8.7	6.5	5.1	3.6	31.9
	機械操作・点検・保守	39	0.0	17.9	10.3	7.7	12.8	20.5	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	25.6
	その他	35	0.0	0.0	11.4	5.7	0.0	11.4	5.7	8.6	0.0	8.6	0.0	48.6
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	0.7	9.9	11.0	2.5	12.4	11.7	6.0	3.5	4.6	4.6	6.0	27.0
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	1.1	12.8	10.6	3.2	5.3	9.6	5.3	7.4	2.1	6.4	3.2	33.0
	派遣社員	25	0.0	20.0	16.0	8.0	8.0	16.0	4.0	8.0	0.0	4.0	8.0	8.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	0.0	15.9	13.4	2.4	9.8	15.9	3.7	4.9	7.3	7.3	1.2	18.3
	3年~5年未満	46	0.0	8.7	10.9	6.5	6.5	8.7	6.5	10.9	4.3	6.5	6.5	23.9
	5年以上	274	1.1	10.2	10.6	2.6	11.3	10.9	6.2	3.6	2.6	4.0	6.6	30.3

【設問文】 Q4 あなたが従事している業務について教えてください。主に従事しているものを1つ選んでください。

- 業務内容では、「生産（工程）・品質管理」の割合が最も高く、34.3%。「検査」14.9%、「加工」12.4%が続く。

図表 III-1-1④. 業務内容 (Q4)

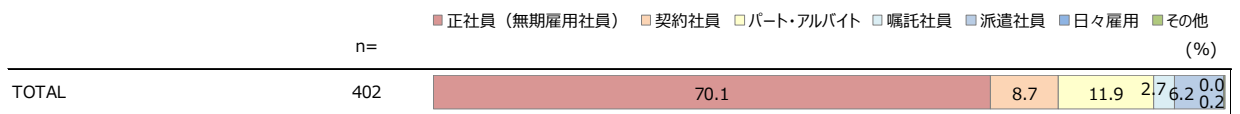


【設問文】 Q5 あなたの現在の雇用形態について、当てはまるものを1つ選んでください。

Q6 Q5で、有期雇用社員（契約社員、パート・アルバイト、嘱託社員、派遣社員）と回答された方にお尋ねします。あなたの現在の雇用契約の期間を教えてください。最も近いものを1つ選んでください。

- 現在の雇用形態では、「正社員（無期雇用社員）」の割合が最も高く、70.1%。「パート・アルバイト」11.9%、「契約社員」8.7%が続く。
- 現在の雇用契約の期間では、「1年単位」の割合が最も高く、39.5%。「3ヵ月単位」16.8%が続く。

図表 III-1-1⑤. 現在の雇用形態（Q5）



Q3 生産品目	n=	現在の雇用形態 (%)								
		正社員（無期雇用社員）	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他		
TOTAL	402	70.1	8.7	11.9	2.7	6.2	0.0	0.2		
電子部品・デバイス	45	62.2	17.8	8.9	0.0	11.1	0.0	0.0		
電気・情報通信機械器具・部品	57	66.7	10.5	7.0	5.3	10.5	0.0	0.0		
輸送用機械器具・部品	42	83.3	2.4	7.1	2.4	4.8	0.0	0.0		
鋼材・金属/建築・住宅資材	69	72.5	5.8	10.1	1.4	8.7	0.0	1.4		
化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	69.8	2.3	20.9	2.3	4.7	0.0	0.0		
食料品/飲料品	34	67.6	5.9	20.6	0.0	5.9	0.0	0.0		
その他	112	69.6	11.6	12.5	4.5	1.8	0.0	0.0		
Q4 業務内容	n=	現在の雇用形態 (%)								
		正社員（無期雇用社員）	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他		
		加工・組み立て	95	66.3	9.5	15.8	2.1	6.3	0.0	0.0
		検査	60	63.3	5.0	18.3	1.7	11.7	0.0	0.0
		梱包・運搬（構内）	35	71.4	2.9	22.9	0.0	2.9	0.0	0.0
		生産（工程）・品質管理	138	74.6	8.7	7.2	4.3	5.1	0.0	0.0
機械操作・点検・保守	39	71.8	17.9	5.1	0.0	5.1	0.0	0.0		
その他	35	71.4	8.6	5.7	5.7	5.7	0.0	2.9		
Q7 勤務年数	n=	現在の雇用形態 (%)								
		正社員（無期雇用社員）	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他		
		3年未満	82	47.6	8.5	23.2	1.2	19.5	0.0	0.0
3年～5年未満	46	58.7	13.0	23.9	0.0	4.3	0.0	0.0		
5年以上	274	78.8	8.0	6.6	3.6	2.6	0.0	0.4		

図表 III-1-1⑥. 現在の雇用契約の期間（Q6）



勤務年数	n=	現在の雇用契約の期間 (%)									
		1日単位	1週間単位	1ヵ月単位	2ヵ月単位	3ヵ月単位	6ヵ月単位	1年単位	その他	分からない	
TOTAL	119	0.0	0.0	2.5	5.0	16.8	10.1	39.5	11.8	14.3	

【設問文】 Q7 現在の会社での勤続はおよそ何年になりますか、教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

- 現在の会社での勤続年数では、「10年以上」の割合が最も高く、48.8%。「5年～10年未満」19.4%、「1年～3年未満」12.2%が続く。

図表 III-1-1⑦. 現在の会社での勤続年数 (Q7)

		n=					(%)
		1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	
TOTAL		402	8.2	12.2	11.4	19.4	48.8
		n=					(%)
			1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
Q3 生産品目	TOTAL	402	8.2	12.2	11.4	19.4	48.8
	電子部品・デバイス	45	13.3	15.6	8.9	24.4	37.8
	電気・情報通信機械器具・部品	57	8.8	14.0	14.0	24.6	38.6
	輸送用機械器具・部品	42	2.4	16.7	7.1	23.8	50.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	7.2	13.0	10.1	21.7	47.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	7.0	14.0	14.0	11.6	53.5
	食品/飲料品	34	11.8	17.6	20.6	8.8	41.2
その他	112	8.0	5.4	9.8	17.9	58.9	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	10.5	13.7	12.6	29.5	33.7
	検査	60	6.7	13.3	11.7	18.3	50.0
	梱包・運搬（構内）	35	0.0	14.3	22.9	17.1	45.7
	生産（工程）・品質管理	138	10.1	12.3	5.8	13.8	58.0
	機械操作・点検・保守	39	7.7	12.8	17.9	17.9	43.6
	その他	35	5.7	2.9	11.4	20.0	60.0
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	5.7	8.2	9.6	19.5	57.1
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	9.6	19.1	18.1	21.3	31.9
	派遣社員	25	32.0	32.0	8.0	12.0	16.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

## (2) 近い将来の働き方(雇用契約)の希望

【設問文】 Q8 あなたは、近い将来（2～5年後）に、どのような働き方(雇用契約)をしたいですか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 近い将来の働き方（雇用契約）の希望では、「正社員」の割合が最も高く、72.1%。「パート・アルバイト」10.4%、「分からない」7.2%が続く。

図表 III-1-2. 近い将来の働き方（雇用契約）の希望（Q8）

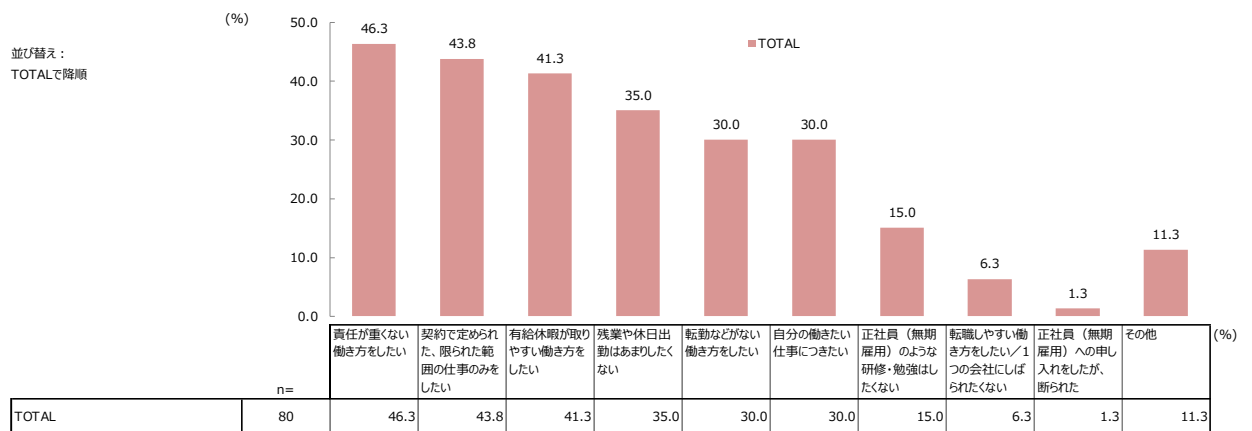
		n=	(%)							
			正社員	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他	分からない
TOTAL		402	72.1	4.7	10.4	1.7	3.0	0.2	0.5	7.2
		n=	正社員	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他	分からない
Q3 生産品目	TOTAL	402	72.1	4.7	10.4	1.7	3.0	0.2	0.5	7.2
	電子部品・デバイス	45	75.6	4.4	11.1	0.0	4.4	0.0	0.0	4.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	63.2	10.5	8.8	1.8	3.5	1.8	0.0	10.5
	輸送用機械器具・部品	42	76.2	4.8	7.1	2.4	2.4	0.0	0.0	7.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	75.4	2.9	8.7	1.4	4.3	0.0	1.4	5.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	67.4	2.3	14.0	0.0	4.7	0.0	2.3	9.3
	食料品/飲料品	34	76.5	0.0	11.8	0.0	2.9	0.0	0.0	8.8
その他	112	72.3	5.4	11.6	3.6	0.9	0.0	0.0	6.3	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	66.3	7.4	11.6	2.1	5.3	0.0	2.1	5.3
	検査	60	71.7	0.0	16.7	1.7	3.3	0.0	0.0	6.7
	梱包・運搬（構内）	35	74.3	0.0	20.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0
	生産（工程）・品質管理	138	78.3	4.3	6.5	2.2	0.7	0.0	0.0	8.0
	機械操作・点検・保守	39	71.8	7.7	5.1	0.0	5.1	2.6	0.0	7.7
	その他	35	62.9	8.6	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	17.1
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	92.6	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.4	3.5
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	20.2	16.0	41.5	5.3	1.1	0.0	1.1	14.9
	派遣社員	25	40.0	4.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	16.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	62.2	6.1	15.9	0.0	9.8	0.0	0.0	6.1
	3年～5年未満	46	65.2	6.5	19.6	0.0	2.2	0.0	2.2	4.3
	5年以上	274	76.3	4.0	7.3	2.6	1.1	0.4	0.4	8.0

### (3) 有期雇用社員を希望する理由

【設問文】 Q9 Q8 で、有期雇用社員（契約社員、パート・アルバイト、嘱託社員、派遣社員）と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

- 有期雇用社員を希望する理由では、「責任が重くない働き方をしたい」の割合が最も高く、46.3%。「契約で定められた、限られた範囲の仕事のみをしたい」43.8%、「有給休暇が取りやすい働き方をしたい」41.3%が続く。

図表 III-1-3. 有期雇用社員を希望する理由（Q9） \* 複数回答 \*





#### (4) 給与の単価の変化

【設問文】 Q10 あなたの給与の時給（日給を含む）や月給などの単価は、この過去 1 年間で上がりましたか。（昇給しましたか。）当てはまるものを 1 つ選んでください。

- 給与の単価の変化では、「上がった」の割合が最も高く、46.3%。「変わらなかった」43.0%、「下がった」10.0%が続く。

図表 III-1-4. 給与の単価の変化（Q10）

		n=	（%）			
			■ 上がった	■ 変わらなかった	■ 下がった	■ 分からない
TOTAL		402	46.3	43.0	10.0	0.7
			（%）			
		n=	上がった	変わらなかった	下がった	分からない
Q3 生産品目	TOTAL	402	46.3	43.0	10.0	0.7
	電子部品・デバイス	45	44.4	51.1	4.4	0.0
	電気・情報通信機械器具・部品	57	36.8	47.4	15.8	0.0
	輸送用機械器具・部品	42	61.9	28.6	9.5	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	43.5	44.9	10.1	1.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	48.8	44.2	7.0	0.0
	食料品/飲料品	34	44.1	44.1	8.8	2.9
その他	112	47.3	41.1	10.7	0.9	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	52.6	37.9	8.4	1.1
	検査	60	53.3	43.3	3.3	0.0
	梱包・運搬（構内）	35	45.7	45.7	8.6	0.0
	生産（工程）・品質管理	138	45.7	42.8	10.1	1.4
	機械操作・点検・保守	39	33.3	48.7	17.9	0.0
	その他	35	34.3	48.6	17.1	0.0
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	49.3	40.1	10.3	0.4
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	42.6	45.7	9.6	2.1
	派遣社員	25	28.0	64.0	8.0	0.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	47.6	39.0	11.0	2.4
	3年～5年未満	46	58.7	34.8	6.5	0.0
	5年以上	274	43.8	45.6	10.2	0.4

## 2. 業務の実態

### (1) 発注者からの業務についての指示

【設問文】 Q11 あなたが従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 発注者からの業務についての指示では、「たまにあると思う」の割合が最も高く、36.1%。「ないと思う」31.1%、「よくあると思う」26.6%が続く。
- 「よくあると思う」と「たまにあると思う」を合わせた「あると思う（Top2）」割合は、62.7%と6割を超える。

図表 III-2-1. 発注者からの業務についての指示（Q11）

		n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (Top2)
			n=				(%)
TOTAL		402	26.6	36.1	31.1	6.2	62.7
							(%)
		n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (Top2)
	TOTAL	402	26.6	36.1	31.1	6.2	62.7
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	44.4	20.0	33.3	2.2	64.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	17.5	47.4	29.8	5.3	64.9
	輸送用機械器具・部品	42	28.6	28.6	40.5	2.4	57.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	27.5	42.0	26.1	4.3	69.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	20.9	30.2	37.2	11.6	51.2
	食料品/飲料品	34	26.5	38.2	26.5	8.8	64.7
	その他	112	25.0	37.5	29.5	8.0	62.5
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	22.1	40.0	32.6	5.3	62.1
	検査	60	25.0	28.3	38.3	8.3	53.3
	梱包・運搬（構内）	35	11.4	37.1	37.1	14.3	48.6
	生産（工程）・品質管理	138	32.6	34.8	29.0	3.6	67.4
	機械操作・点検・保守	39	33.3	41.0	25.6	0.0	74.4
	その他	35	25.7	37.1	22.9	14.3	62.9
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	30.5	33.7	29.4	6.4	64.2
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	13.8	43.6	37.2	5.3	57.4
	派遣社員	25	28.0	36.0	28.0	8.0	64.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	35.4	39.0	20.7	4.9	74.4
	3年～5年未満	46	17.4	47.8	23.9	10.9	65.2
	5年以上	274	25.5	33.2	35.4	5.8	58.8

## (2) 業務の現場の状況

【設問文】 Q12 あなたが従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

- 業務の現場の状況では、「自社の従業員と一緒に働いていると思う」の割合が最も高く、74.1%。「発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う」14.2%、「他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う」7.5%が続く。

図表 III-2-2. 業務の現場の状況（Q12）

		n=	(% )				
			自社の従業員と一緒に働いていると思う	発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	その他	分からない
TOTAL		402	74.1	14.2	7.5	1.0	3.2
			(% )				
		n=	自社の従業員と一緒に働いていると思う	発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	その他	分からない
Q3 生産品目	TOTAL	402	74.1	14.2	7.5	1.0	3.2
	電子部品・デバイス	45	64.4	17.8	11.1	4.4	2.2
	電気・情報通信機械器具・部品	57	59.6	24.6	12.3	0.0	3.5
	輸送用機械器具・部品	42	69.0	19.0	9.5	2.4	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	87.0	7.2	2.9	0.0	2.9
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	86.0	7.0	2.3	2.3	2.3
	食料品/飲料品	34	76.5	14.7	5.9	0.0	2.9
その他	112	74.1	12.5	8.0	0.0	5.4	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	74.7	11.6	9.5	1.1	3.2
	検査	60	78.3	11.7	6.7	0.0	3.3
	梱包・運搬（構内）	35	82.9	8.6	5.7	0.0	2.9
	生産（工程）・品質管理	138	76.8	13.8	5.8	1.4	2.2
	機械操作・点検・保守	39	59.0	28.2	7.7	0.0	5.1
	その他	35	62.9	17.1	11.4	2.9	5.7
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	73.4	15.6	6.4	1.4	3.2
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	81.9	6.4	8.5	0.0	3.2
	派遣社員	25	52.0	28.0	16.0	0.0	4.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	61.0	26.8	9.8	0.0	2.4
	3年～5年未満	46	76.1	15.2	6.5	0.0	2.2
	5年以上	274	77.7	10.2	6.9	1.5	3.6

### (3) IT化、自動化、デジタル化の状況

【設問文】 Q13 あなたが従事している業務の工程や現場において、IT化や自動化、デジタル化が進んでいますか。最も近いと思われるものを1つ選んでください。

- IT化、自動化、デジタル化の状況では、「あまり進んでいないと思う」の割合が最も高く、46.3%。「ある程度進んでいると思う」27.9%、「まったく進んでいないと思う」19.4%が続く。
- 「あまり進んでいないと思う」と「まったく進んでいないと思う」を合わせた「進んでいないと思う（Bottom2）」割合は、65.7%と7割弱となっている。一方、「かなり進んでいると思う」と「ある程度進んでいると思う」を合わせた「進んでいると思う（Top2）」の割合は31.3%。

図表 III-2-3. IT化、自動化、デジタル化の状況（Q13）

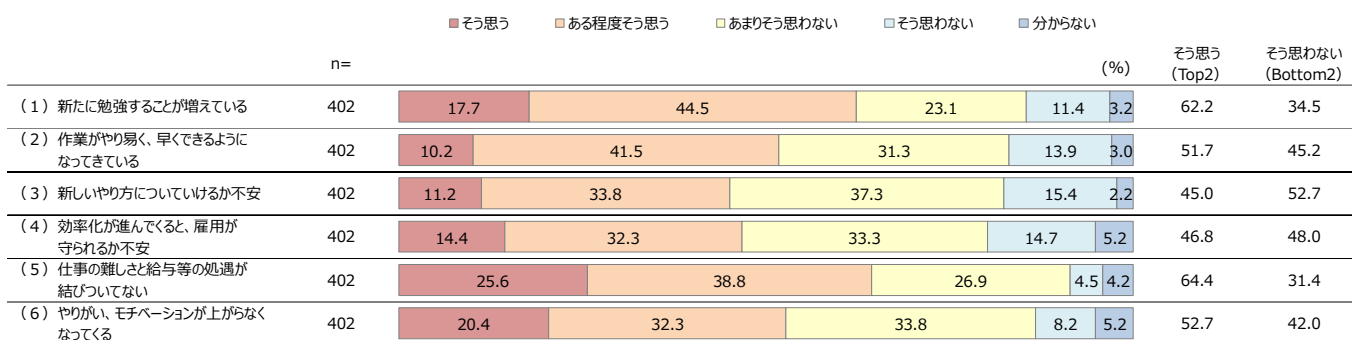
	n=	割合 (%)					進んでいると思う (Top2)	進んでいないと思う (Bottom2)	
		かなり進んでいると思う	ある程度進んでいると思う	あまり進んでいないと思う	まったく進んでいないと思う	分からない			
TOTAL	402	3.5	27.9	46.3	19.4	3.0	31.3	65.7	
(%)									
	n=	かなり進んでいると思う	ある程度進んでいると思う	あまり進んでいないと思う	まったく進んでいないと思う	分からない	進んでいると思う (Top2)	進んでいないと思う (Bottom2)	
TOTAL	402	3.5	27.9	46.3	19.4	3.0	31.3	65.7	
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	4.4	40.0	37.8	15.6	2.2	44.4	53.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	7.0	38.6	36.8	10.5	7.0	45.6	47.3
	輸送用機械器具・部品	42	0.0	23.8	54.8	19.0	2.4	23.8	73.8
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	1.4	23.2	50.7	24.6	0.0	24.6	75.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	4.7	18.6	60.5	14.0	2.3	23.3	74.5
	食料品/飲料品	34	2.9	17.6	55.9	20.6	2.9	20.6	76.5
	その他	112	3.6	28.6	40.2	24.1	3.6	32.1	64.3
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	2.1	17.9	48.4	29.5	2.1	20.0	77.9
	検査	60	3.3	28.3	51.7	11.7	5.0	31.7	63.4
	梱包・運搬（構内）	35	0.0	34.3	42.9	14.3	8.6	34.3	57.2
	生産（工程）・品質管理	138	3.6	31.9	42.8	19.6	2.2	35.5	62.4
	機械操作・点検・保守	39	5.1	30.8	46.2	17.9	0.0	35.9	64.1
	その他	35	8.6	28.6	48.6	11.4	2.9	37.1	60.0
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	3.2	27.3	45.0	21.6	2.8	30.5	66.6
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	3.2	29.8	53.2	11.7	2.1	33.0	64.9
	派遣社員	25	8.0	24.0	36.0	24.0	8.0	32.0	60.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	6.1	29.3	40.2	19.5	4.9	35.4	59.7
	3年～5年未満	46	4.3	26.1	54.3	6.5	8.7	30.4	60.8
	5年以上	274	2.6	27.7	46.7	21.5	1.5	30.3	68.2

#### (4) IT化、自動化、デジタル化の影響

【設問文】 Q14 IT化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

- IT化、自動化、デジタル化の影響について、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」割合が高いのは『(5) 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない』(64.4%) や『(1) 新たに勉強することが増えている』(62.2%) となっている。「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」割合が高いのは、『(3) 新しいやり方についていけるか不安』(52.7%)、『(4) 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安』(48.0%)。

図表 III-2-4. IT化、自動化、デジタル化の影響 (Q14)



項目	n=	割合 (%)					そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
		そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない		
(1) 新たに勉強することが増えている	402	17.7	44.5	23.1	11.4	3.2	62.2	34.5
(2) 作業がやり易く、早くできるようになってきている	402	10.2	41.5	31.3	13.9	3.0	51.7	45.2
(3) 新しいやり方についていけるか不安	402	11.2	33.8	37.3	15.4	2.2	45.0	52.7
(4) 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安	402	14.4	32.3	33.3	14.7	5.2	46.8	48.0
(5) 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない	402	25.6	38.8	26.9	4.5	4.2	64.4	31.4
(6) やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる	402	20.4	32.3	33.8	8.2	5.2	52.7	42.0

【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 新たに勉強することが増えている

- IT 化、自動化、デジタル化の影響：新たに勉強することが増えているでは、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、44.5%。「あまりそう思わない」23.1%、「そう思う」17.7%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 62.2%と 6 割を超える。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 34.5%と 3 割強となっている。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響

(1) 新たに勉強することが増えている (Q14)

	n=	■ そう思う	■ ある程度そう思う	■ あまりそう思わない	■ そう思わない	■ 分からない	(%)	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
TOTAL	402	17.7	44.5	23.1	11.4	3.2		62.2	34.5

(%)

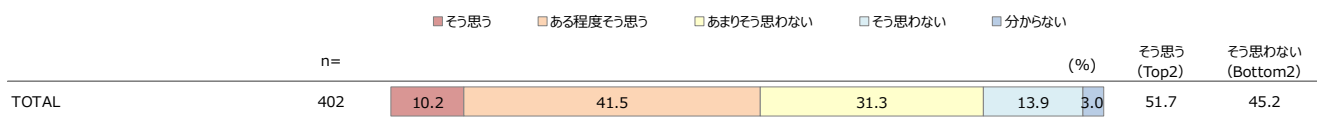
		n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
TOTAL		402	17.7	44.5	23.1	11.4	3.2	62.2	34.5
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	15.6	42.2	26.7	8.9	6.7	57.8	35.6
	電気・情報通信機械器具・部品	57	15.8	49.1	22.8	10.5	1.8	64.9	33.3
	輸送用機械器具・部品	42	21.4	42.9	19.0	14.3	2.4	64.3	33.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	13.0	46.4	26.1	10.1	4.3	59.4	36.2
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	16.3	46.5	23.3	11.6	2.3	62.8	34.9
	食料品/飲料品	34	29.4	23.5	32.4	11.8	2.9	52.9	44.2
	その他	112	17.9	48.2	18.8	12.5	2.7	66.1	31.3
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	18.9	34.7	29.5	15.8	1.1	53.7	45.3
	検査	60	25.0	50.0	15.0	6.7	3.3	75.0	21.7
	梱包・運搬 (構内)	35	11.4	34.3	31.4	17.1	5.7	45.7	48.5
	生産 (工程)・品質管理	138	19.6	47.1	21.0	8.7	3.6	66.7	29.7
	機械操作・点検・保守	39	7.7	61.5	17.9	10.3	2.6	69.2	28.2
	その他	35	11.4	42.9	25.7	14.3	5.7	54.3	40.0
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	20.2	42.6	23.0	11.3	2.8	62.8	34.3
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	10.6	51.1	25.5	10.6	2.1	61.7	36.1
	派遣社員	25	16.0	44.0	16.0	12.0	12.0	60.0	28.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	24.4	46.3	15.9	9.8	3.7	70.7	25.7
	3年～5年未満	46	13.0	45.7	37.0	2.2	2.2	58.7	39.2
	5年以上	274	16.4	43.8	23.0	13.5	3.3	60.2	36.5

【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(2) 作業がやり易く、早くできるようになってきている

- IT 化、自動化、デジタル化の影響：作業がやり易く、早くできるようになってきているでは、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、41.5%。「あまりそう思わない」31.3%、「そう思わない」13.9%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 51.7%と 5 割を超える。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 45.2%と 5 割弱となっている。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響  
(2) 作業がやり易く、早くできるようになってきている (Q14)



Q3 生産品目	n=	割合 (%)					Top2 (%)	Bottom2 (%)	
		そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない			
TOTAL	402	10.2	41.5	31.3	13.9	3.0	51.7	45.2	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	13.7	37.9	29.5	15.8	3.2	51.6	45.3
	検査	60	8.3	45.0	33.3	11.7	1.7	53.3	45.0
	梱包・運搬 (構内)	35	8.6	45.7	25.7	14.3	5.7	54.3	40.0
	生産 (工程)・品質管理	138	12.3	39.9	34.1	10.9	2.9	52.2	45.0
	機械操作・点検・保守	39	2.6	41.0	33.3	23.1	0.0	43.6	56.4
	その他	35	5.7	48.6	25.7	14.3	5.7	54.3	40.0
	Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	11.0	39.7	33.0	13.8	2.5	50.7
契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト		94	8.5	44.7	29.8	14.9	2.1	53.2	44.7
派遣社員		25	8.0	48.0	20.0	12.0	12.0	56.0	32.0
その他		1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	12.2	46.3	24.4	9.8	7.3	58.5	34.2
	3年~5年未満	46	6.5	54.3	30.4	8.7	0.0	60.9	39.1
	5年以上	274	10.2	38.0	33.6	16.1	2.2	48.2	49.7

【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(3) 新しいやり方についていけるか不安

- IT 化、自動化、デジタル化の影響：新しいやり方についていけるか不安では、「あまりそう思わない」の割合が最も高く、37.3%。「ある程度そう思う」33.8%、「そう思わない」15.4%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 45.0%と 5 割弱となっている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 52.7%と 5 割を超える。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響  
(3) 新しいやり方についていけるか不安 (Q14)

		n=	(%)					そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
			■ そう思う	■ ある程度そう思う	■ あまりそう思わない	■ そう思わない	■ 分からない		
TOTAL		402	11.2	33.8	37.3	15.4	2.2	45.0	52.7
			(%)						
		n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
Q3 生産品目	TOTAL	402	11.2	33.8	37.3	15.4	2.2	45.0	52.7
	電子部品・デバイス	45	6.7	31.1	31.1	24.4	6.7	37.8	55.5
	電気・情報通信機械器具・部品	57	10.5	26.3	42.1	19.3	1.8	36.8	61.4
	輸送用機械器具・部品	42	11.9	33.3	33.3	19.0	2.4	45.2	52.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	7.2	37.7	40.6	11.6	2.9	44.9	52.2
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	9.3	27.9	48.8	14.0	0.0	37.2	62.8
	食料品/飲料品	34	29.4	29.4	26.5	14.7	0.0	58.8	41.2
その他	112	10.7	40.2	35.7	11.6	1.8	50.9	47.3	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	9.5	34.7	38.9	14.7	2.1	44.2	53.6
	検査	60	6.7	45.0	28.3	16.7	3.3	51.7	45.0
	梱包・運搬 (構内)	35	8.6	37.1	40.0	11.4	2.9	45.7	51.4
	生産 (工程)・品質管理	138	15.9	30.4	37.7	15.2	0.7	46.4	52.9
	機械操作・点検・保守	39	7.7	33.3	43.6	12.8	2.6	41.0	56.4
	その他	35	11.4	22.9	37.1	22.9	5.7	34.3	60.0
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	11.3	35.1	36.2	15.6	1.8	46.5	51.8
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	9.6	35.1	39.4	14.9	1.1	44.7	54.3
	派遣社員	25	16.0	16.0	40.0	16.0	12.0	32.0	56.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	13.4	36.6	35.4	12.2	2.4	50.0	47.6
	3年～5年未満	46	6.5	45.7	37.0	10.9	0.0	52.2	47.9
	5年以上	274	11.3	31.0	38.0	17.2	2.6	42.3	55.2



【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(4) 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安

- IT 化、自動化、デジタル化の影響: 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安では、「あまりそう思わない」の割合が最も高く、33.3%。「ある程度そう思う」32.3%、「そう思わない」14.7%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 46.8%と 5 割弱となっている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 48.0%と約 5 割となっている。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響  
(4) 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安 (Q14)

	n=	割合 (%)					そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)	
		■ そう思う	■ ある程度そう思う	■ あまりそう思わない	■ そう思わない	■ 分からない			
TOTAL	402	14.4	32.3	33.3	14.7	5.2	46.8	48.0	
(%)									
	n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)	
Q3 生産品目	TOTAL	402	14.4	32.3	33.3	14.7	5.2	46.8	48.0
	電子部品・デバイス	45	6.7	40.0	33.3	17.8	2.2	46.7	51.1
	電気・情報通信機械器具・部品	57	14.0	29.8	31.6	19.3	5.3	43.9	50.9
	輸送用機械器具・部品	42	11.9	31.0	45.2	11.9	0.0	42.9	57.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	17.4	31.9	30.4	14.5	5.8	49.3	44.9
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	16.3	30.2	34.9	14.0	4.7	46.5	48.9
	食料品/飲料品	34	32.4	32.4	23.5	8.8	2.9	64.7	32.3
その他	112	10.7	32.1	33.9	14.3	8.9	42.9	48.2	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	13.7	32.6	34.7	13.7	5.3	46.3	48.4
	検査	60	28.3	35.0	25.0	6.7	5.0	63.3	31.7
	梱包・運搬 (構内)	35	11.4	28.6	34.3	14.3	11.4	40.0	48.6
	生産 (工程)・品質管理	138	13.8	34.1	31.9	16.7	3.6	47.8	48.6
	機械操作・点検・保守	39	7.7	30.8	48.7	12.8	0.0	38.5	61.5
	その他	35	5.7	25.7	31.4	25.7	11.4	31.4	57.1
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	16.0	31.9	34.0	13.8	4.3	47.9	47.8
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	11.7	30.9	30.9	18.1	8.5	42.6	49.0
	派遣社員	25	8.0	44.0	32.0	12.0	4.0	52.0	44.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	14.6	35.4	32.9	8.5	8.5	50.0	41.4
	3年～5年未満	46	13.0	37.0	37.0	6.5	6.5	50.0	43.5
	5年以上	274	14.6	30.7	32.8	17.9	4.0	45.3	50.7

【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(5) 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてないでは、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、38.8%。「あまりそう思わない」26.9%、「そう思う」25.6%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 64.4%と 6 割を超える。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 31.4%と約 3 割となっている。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響  
(5) 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない (Q14)

		■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ あまりそう思わない □ そう思わない ■ 分からない							
		n=	(%)					そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
TOTAL		402	25.6	38.8	26.9	4.5	4.2	64.4	31.4
			(%)						
		n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
Q3 生産品目	TOTAL	402	25.6	38.8	26.9	4.5	4.2	64.4	31.4
	電子部品・デバイス	45	28.9	37.8	28.9	4.4	0.0	66.7	33.3
	電気・情報通信機械器具・部品	57	17.5	47.4	24.6	3.5	7.0	64.9	28.1
	輸送用機械器具・部品	42	35.7	28.6	23.8	7.1	4.8	64.3	30.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	29.0	40.6	23.2	2.9	4.3	69.6	26.1
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	20.9	39.5	32.6	2.3	4.7	60.5	34.9
	食料品/飲料品	34	35.3	23.5	26.5	11.8	2.9	58.8	38.3
その他	112	21.4	42.0	28.6	3.6	4.5	63.4	32.2	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	20.0	41.1	29.5	7.4	2.1	61.1	36.9
	検査	60	33.3	36.7	23.3	3.3	3.3	70.0	26.6
	梱包・運搬 (構内)	35	22.9	37.1	31.4	2.9	5.7	60.0	34.3
	生産 (工程)・品質管理	138	28.3	37.0	26.1	4.3	4.3	65.2	30.4
	機械操作・点検・保守	39	28.2	41.0	20.5	2.6	7.7	69.2	23.1
	その他	35	17.1	42.9	31.4	2.9	5.7	60.0	34.3
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	28.7	39.0	24.8	3.9	3.5	67.7	28.7
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	18.1	38.3	30.9	6.4	6.4	56.4	37.3
	派遣社員	25	20.0	36.0	36.0	4.0	4.0	56.0	40.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	17.1	45.1	34.1	1.2	2.4	62.2	35.3
	3年~5年未満	46	19.6	34.8	34.8	6.5	4.3	54.3	41.3
	5年以上	274	29.2	37.6	23.4	5.1	4.7	66.8	28.5

【設問文】 Q14 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(6) やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる

- IT 化、自動化、デジタル化の影響：やりがい、モチベーションが上がらなくなってくるでは、「あまりそう思わない」の割合が最も高く、33.8%。「ある程度そう思う」32.3%、「そう思う」20.4%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う (Top2)」の割合は 52.7%と 5 割を超える。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない (Bottom2)」の割合は 42.0%と約 4 割となっている。

図表 III-2-4. IT 化、自動化、デジタル化の影響  
(6) やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる (Q14)

		n=	(%)					そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
			■ そう思う	■ ある程度そう思う	■ あまりそう思わない	■ そう思わない	■ 分からない		
TOTAL		402	20.4	32.3	33.8	8.2	5.2	52.7	42.0
			(%)						
		n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う (Top2)	そう思わない (Bottom2)
	TOTAL	402	20.4	32.3	33.8	8.2	5.2	52.7	42.0
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	22.2	35.6	26.7	13.3	2.2	57.8	40.0
	電気・情報通信機械器具・部品	57	12.3	38.6	36.8	5.3	7.0	50.9	42.1
	輸送用機械器具・部品	42	23.8	31.0	28.6	9.5	7.1	54.8	38.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	21.7	34.8	33.3	5.8	4.3	56.5	39.1
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	25.6	20.9	39.5	7.0	7.0	46.5	46.5
	食料品/飲料品	34	17.6	38.2	26.5	14.7	2.9	55.9	41.2
	その他	112	20.5	29.5	37.5	7.1	5.4	50.0	44.6
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	13.7	34.7	34.7	10.5	6.3	48.4	45.2
	検査	60	26.7	40.0	26.7	3.3	3.3	66.7	30.0
	梱包・運搬 (構内)	35	17.1	45.7	28.6	2.9	5.7	62.9	31.5
	生産 (工程)・品質管理	138	23.9	23.2	39.1	9.4	4.3	47.1	48.5
	機械操作・点検・保守	39	25.6	35.9	23.1	7.7	7.7	61.5	30.8
	その他	35	11.4	31.4	40.0	11.4	5.7	42.9	51.4
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	24.5	31.2	33.3	6.0	5.0	55.7	39.3
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	11.7	35.1	34.0	13.8	5.3	46.8	47.8
	派遣社員	25	8.0	32.0	40.0	12.0	8.0	40.0	52.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	14.6	31.7	37.8	9.8	6.1	46.3	47.6
	3年～5年未満	46	10.9	43.5	32.6	8.7	4.3	54.3	41.3
	5年以上	274	23.7	30.7	32.8	7.7	5.1	54.4	40.5

## (5) 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況

【設問文】 Q15 請負現場で不正行為を発見したときや苦情や相談ごとがある場合に、現在、在籍している会社の通報や相談をする窓口を知っていますか。また、利用したことはありますか。次の各項目について、当てはまるものを選んでください。

- 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況について、「窓口を知っているが、利用したことはない」割合では『（２）苦情や相談ごと等の相談窓口』（55.7%）、『（１）不正行為を通報する内部通報窓口』（54.0%）ともに5割を超えている。

図表 III-2-5. 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況（Q15）

	n=	認知・利用状況				認知率 (Top2) (%)	利用したことは ない (Bottom2)
		■ 窓口を知っており、利用したことがある	□ 窓口を知っているが、利用したことはない	□ 窓口を知らない、利用したことはない	□ 答えたくない		
(1) 不正行為を通報する内部通報窓口	402	2.5	54.0	41.0	2.5	56.5	95.0
(2) 苦情や相談ごと等の相談窓口	402	4.0	55.7	38.6	1.7	59.7	94.3

	n=	認知・利用状況				認知率 (Top2) (%)	利用したことは ない (Bottom2)
		窓口を知っており、 利用したことがある	窓口を知っているが、 利用したことはない	窓口を知らない、 利用したことはない	答えたくない		
(1) 不正行為を通報する内部通報窓口	402	2.5	54.0	41.0	2.5	56.5	95.0
(2) 苦情や相談ごと等の相談窓口	402	4.0	55.7	38.6	1.7	59.7	94.3

【設問文】 Q15 請負現場で不正行為を発見したときや苦情や相談ごとがある場合に、現在、在籍している会社の通報や相談をする窓口を知っていますか。また、利用したことはありますか。次の各項目について、当てはまるものを選んでください。

(1) 不正行為を通報する内部通報窓口

- 不正行為を通報する内部通報窓口では、「窓口を知っているが、利用したことはない」の割合が最も高く、54.0%。「窓口を知らない、利用したことはない」41.0%、「窓口を知っており、利用したことがある」「答えたくない」2.5%が続く。
- 「窓口を知っており、利用したことがある」と「窓口を知っているが、利用したことはない」を合わせた「認知率（Top2）」は 56.5%となっている。一方、「窓口を知っているが、利用したことはない」と「窓口を知らない、利用したことはない」を合わせた「利用したことはない（Bottom2）」では 95.0%と9割を超える。

図表 III-2-5. 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況

(1) 不正行為を通報する内部通報窓口 (Q15)

	n=	%				認知率 (Top2)	利用したことはない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	54.0	41.0	2.5	56.5	95.0

		n=	%				認知率 (Top2)	利用したことはない (Bottom2)
			窓口を知っており、利用したことがある	窓口を知っているが、利用したことはない	窓口を知らない、利用したことはない	答えたくない		
TOTAL		402	2.5	54.0	41.0	2.5	56.5	95.0
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	0.0	64.4	35.6	0.0	64.4	100.0
	電気・情報通信機械器具・部品	57	3.5	50.9	42.1	3.5	54.4	93.0
	輸送用機械器具・部品	42	2.4	52.4	45.2	0.0	54.8	97.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	2.9	53.6	40.6	2.9	56.5	94.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	2.3	46.5	46.5	4.7	48.8	93.0
	食料品/飲料品	34	0.0	47.1	50.0	2.9	47.1	97.1
	その他	112	3.6	57.1	36.6	2.7	60.7	93.7
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	2.1	49.5	48.4	0.0	51.6	97.9
	検査	60	1.7	50.0	46.7	1.7	51.7	96.7
	梱包・運搬（構内）	35	5.7	40.0	45.7	8.6	45.7	85.7
	生産（工程）・品質管理	138	2.9	58.0	35.5	3.6	60.9	93.5
	機械操作・点検・保守	39	0.0	66.7	30.8	2.6	66.7	97.5
	その他	35	2.9	57.1	40.0	0.0	60.0	97.1
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	1.8	57.1	38.7	2.5	58.9	95.8
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	4.3	45.7	46.8	3.2	50.0	92.5
	派遣社員	25	4.0	48.0	48.0	0.0	52.0	96.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	3.7	53.7	40.2	2.4	57.3	93.9
	3年～5年未満	46	4.3	47.8	43.5	4.3	52.2	91.3
	5年以上	274	1.8	55.1	40.9	2.2	56.9	96.0

【設問文】 Q15 請負現場で不正行為を発見したときや苦情や相談ごとがある場合に、現在、在籍している会社の通報や相談をする窓口を知っていますか。また、利用したことはありますか。次の各項目について、当てはまるものを選んでください。

(2) 苦情や相談ごと等の相談窓口

- 苦情や相談ごと等の相談窓口では、「窓口を知っているが、利用したことはない」の割合が最も高く、55.7%。「窓口を知らない、利用したことはない」38.6%、「窓口を知っており、利用したことがある」4.0%が続く。
- 「窓口を知っており、利用したことがある」と「窓口を知っているが、利用したことはない」を合わせた「認知率 (Top2)」は 59.7%となっている。一方、「窓口を知っているが、利用したことはない」と「窓口を知らない、利用したことはない」を合わせた「利用したことはない (Bottom2)」では 94.3%と9割を超える。

図表 III-2-5. 内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況

(2) 苦情や相談ごと等の相談窓口 (Q15)

	n=	%				認知率 (Top2)	利用したことはない (Bottom2)
		■ 窓口を知っており、利用したことがある	□ 窓口を知らない、利用したことはない	■ 窓口を知っているが、利用したことはない	□ 答えたくない		
TOTAL	402	4.0	55.7	38.6	1.7	59.7	94.3

	n=	%				認知率 (Top2)	利用したことはない (Bottom2)	
		窓口を知っており、利用したことがある	窓口を知っているが、利用したことはない	窓口を知らない、利用したことはない	答えたくない			
TOTAL	402	4.0	55.7	38.6	1.7	59.7	94.3	
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	2.2	73.3	24.4	0.0	75.6	97.7
	電気・情報通信機械器具・部品	57	7.0	50.9	38.6	3.5	57.9	89.5
	輸送用機械器具・部品	42	2.4	57.1	40.5	0.0	59.5	97.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	2.9	53.6	43.5	0.0	56.5	97.1
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など) /日用品・消耗品	43	4.7	48.8	41.9	4.7	53.5	90.7
	食料品/飲料品	34	0.0	52.9	44.1	2.9	52.9	97.0
	その他	112	5.4	55.4	37.5	1.8	60.7	92.9
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	4.2	50.5	44.2	1.1	54.7	94.7
	検査	60	1.7	53.3	43.3	1.7	55.0	96.6
	梱包・運搬 (構内)	35	8.6	48.6	40.0	2.9	57.1	88.6
	生産 (工程)・品質管理	138	4.3	58.7	34.8	2.2	63.0	93.5
	機械操作・点検・保守	39	0.0	64.1	33.3	2.6	64.1	97.4
	その他	35	5.7	60.0	34.3	0.0	65.7	94.3
Q5 雇用形態	正社員 (無期雇用社員)	282	3.2	57.4	37.6	1.8	60.6	95.0
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	4.3	50.0	43.6	2.1	54.3	93.6
	派遣社員	25	12.0	56.0	32.0	0.0	68.0	88.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	6.1	56.1	36.6	1.2	62.2	92.7
	3年～5年未満	46	4.3	45.7	47.8	2.2	50.0	93.5
	5年以上	274	3.3	57.3	37.6	1.8	60.6	94.9

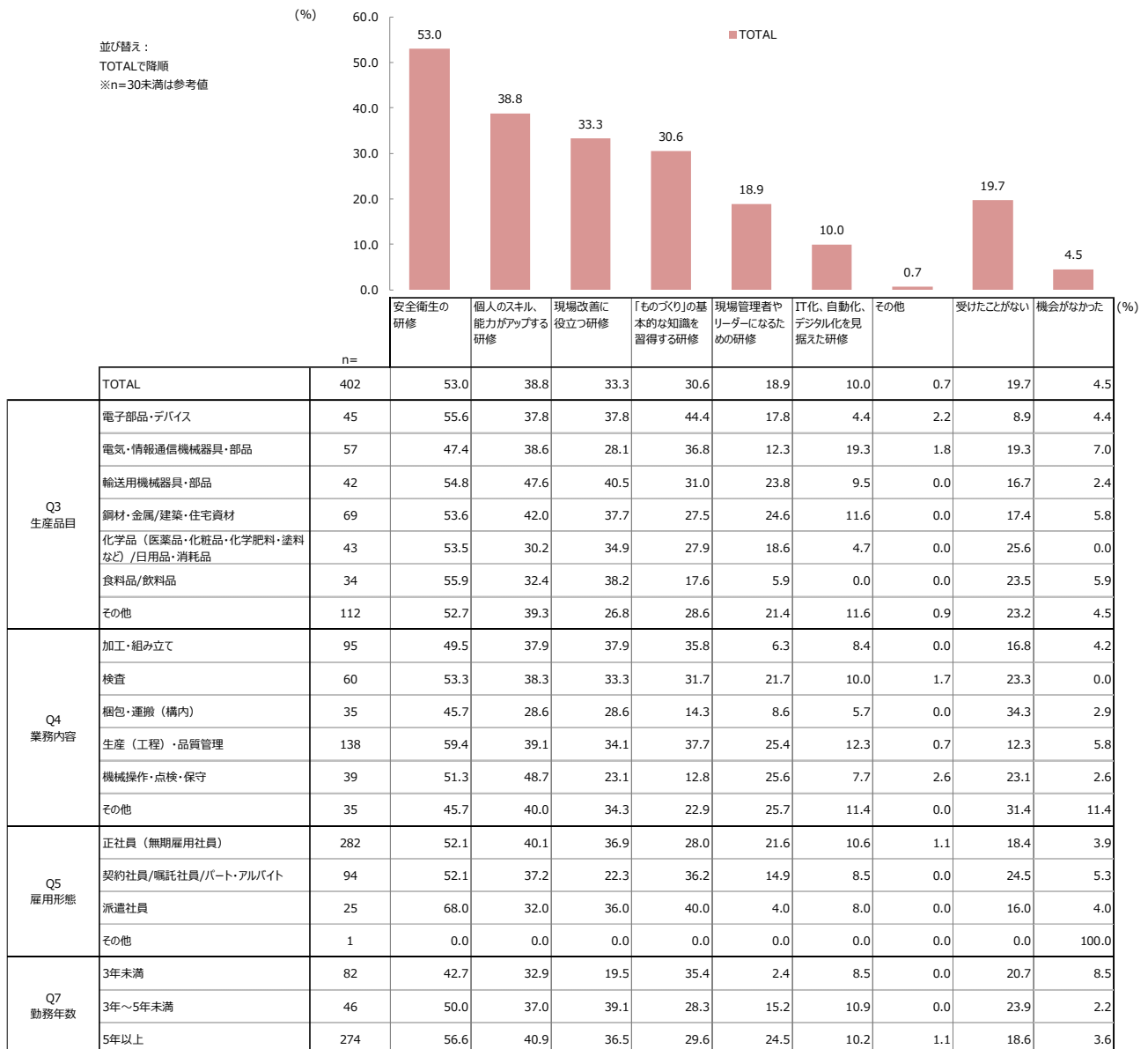
### 3. 教育・研修

#### (1) 教育・研修を受けた経験

【設問文】 Q16 現在あなたが在籍している会社で、これまでどのような教育・研修を受けましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 教育・研修を受けた経験では、「安全衛生の研修」の割合が最も高く、53.0%。「個人のスキル、能力がアップする研修」38.8%、「現場改善に役立つ研修」33.3%が続く。なお、「受けたことがない」は 19.7%。

図表 III-3-1. 教育・研修を受けた経験 (Q16) \* 複数回答 \*

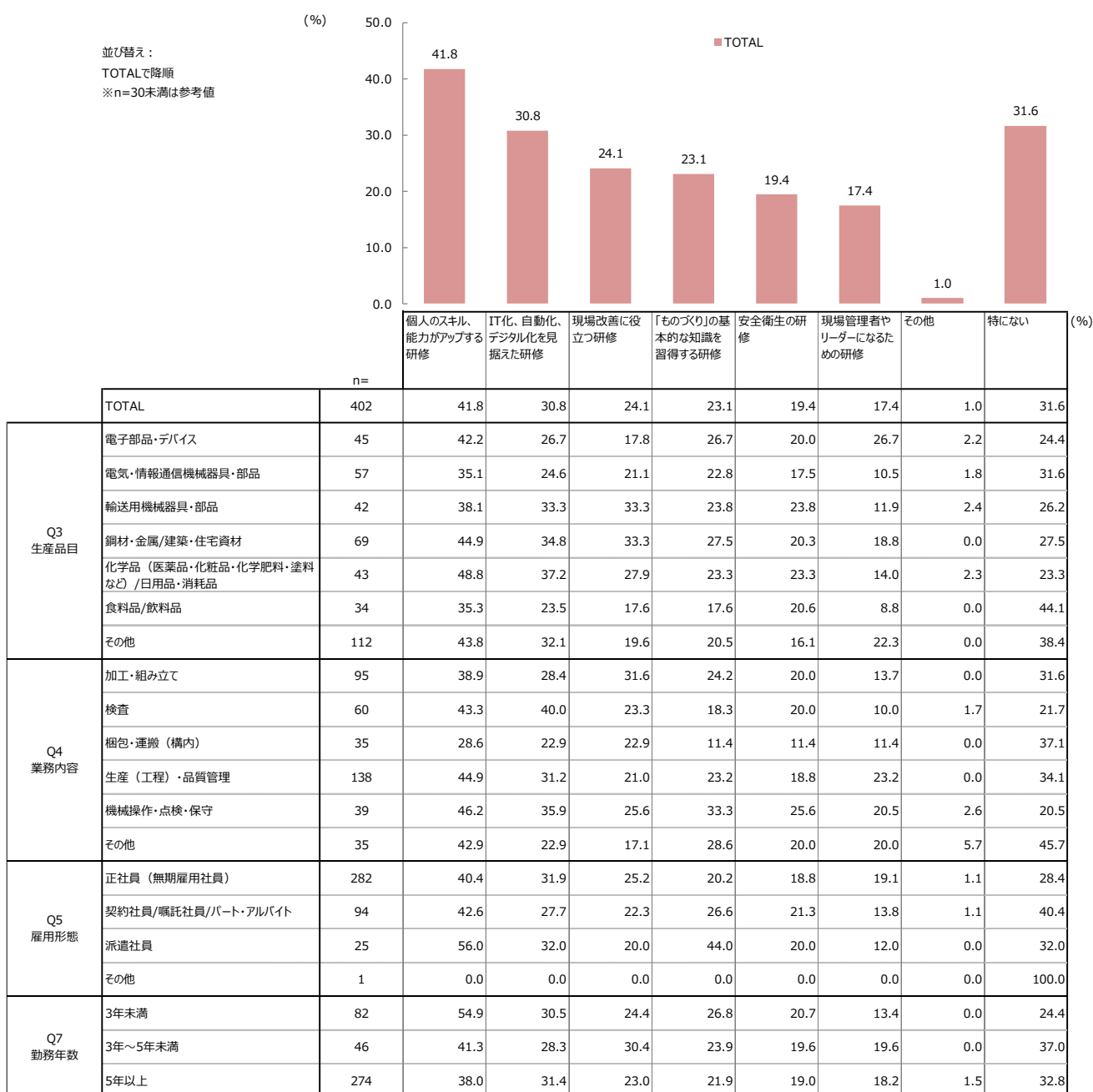


## (2) 今後受けた教育・研修

【設問文】 Q17 あなたが今後受けた教育・研修はどれですか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

- 今後受けた教育・研修では、「個人のスキル、能力がアップする研修」の割合が最も高く、41.8%。「IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修」30.8%、「現場改善に役立つ研修」24.1%が続く。なお、「特にない」は31.6%。

図表 III-3-2. 今後受けた教育・研修 (Q17) \* 複数回答 \*





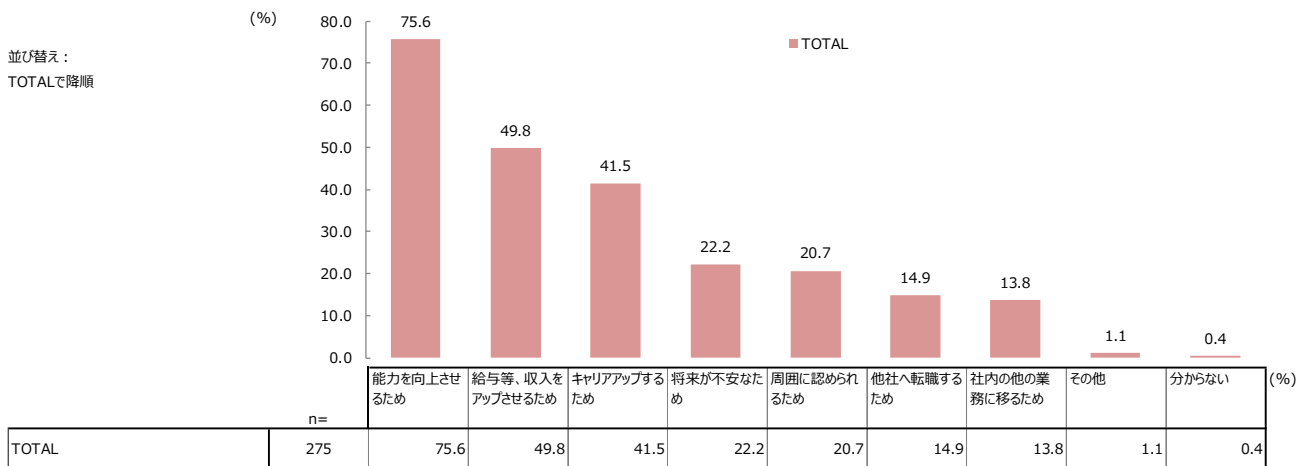
### (3) 今後受けてたい教育・研修の理由

【設問文】 Q18 Q17 で、答えた教育・研修を受けたい理由について教えてください。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

（Q17 の選択肢『1.現場改善に役立つ研修』～『7.その他』の中でいずれかを選択した方のみ回答）

- 今後受けてたい教育・研修の理由では、「能力を向上させるため」の割合が最も高く、75.6%。「給与等、収入をアップさせるため」49.8%、「キャリアアップするため」41.5%が続く。

図表 III-3-3. 今後受けてたい教育・研修の理由（Q18） \* 複数回答 \*



## 4. キャリア形成支援

### (1) キャリア面談を受けた経験

【設問文】 Q19 あなたは、現在、在籍している会社から、あなたの今後の仕事やキャリアについての面談を受けたことがありますか。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- キャリア面談を受けた経験では、「受けたことがない」の割合が最も高く、55.0%。「たまに受けている」26.1%、「定期的に受けている」14.2%が続く。
- 「定期的に受けている」と「たまに受けている」を合わせた「受けている（Top2）」の割合は 40.3%。

図表 III-4-1. キャリア面談を受けた経験（Q19）

		n=	定期的に受けている	たまに受けている	受けたことがない	分からない	受けている (Top2)
			(%)				40.3
TOTAL		402	14.2	26.1	55.0	4.7	40.3
			(%)				
		n=	定期的に受けている	たまに受けている	受けたことがない	分からない	受けている (Top2)
	TOTAL	402	14.2	26.1	55.0	4.7	40.3
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	11.1	22.2	64.4	2.2	33.3
	電気・情報通信機械器具・部品	57	17.5	24.6	52.6	5.3	42.1
	輸送用機械器具・部品	42	21.4	19.0	54.8	4.8	40.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	5.8	24.6	63.8	5.8	30.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	11.6	34.9	48.8	4.7	46.5
	食料品/飲料品	34	17.6	23.5	58.8	0.0	41.2
	その他	112	16.1	29.5	48.2	6.3	45.5
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	12.6	20.0	61.1	6.3	32.6
	検査	60	15.0	30.0	51.7	3.3	45.0
	梱包・運搬（構内）	35	14.3	17.1	62.9	5.7	31.4
	生産（工程）・品質管理	138	13.0	31.2	51.4	4.3	44.2
	機械操作・点検・保守	39	12.8	25.6	56.4	5.1	38.5
	その他	35	22.9	25.7	48.6	2.9	48.6
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	15.2	27.7	52.8	4.3	42.9
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	14.9	20.2	58.5	6.4	35.1
	派遣社員	25	0.0	28.0	68.0	4.0	28.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	12.2	25.6	61.0	1.2	37.8
	3年～5年未満	46	13.0	21.7	54.3	10.9	34.8
	5年以上	274	15.0	27.0	53.3	4.7	42.0

## (2) キャリアパスの提示

【設問文】 Q20 あなたは、現在あなたが在籍している会社から、今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- キャリアパスの提示では、「示されたことがない」の割合が最も高く、67.7%。「示されたことがある」21.4%、「分からない」10.9%が続く。

図表 III-4-2. キャリアパスの提示（Q20）

		n=	n=			(%)
			■ 示されたことがある	□ 示されたことがない	□ 分からない	
TOTAL		402	21.4	67.7	10.9	
						(%)
		n=	示されたことがある	示されたことがない	分からない	
	TOTAL	402	21.4	67.7	10.9	
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	11.1	84.4	4.4	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	28.1	63.2	8.8	
	輸送用機械器具・部品	42	23.8	64.3	11.9	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	20.3	69.6	10.1	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	25.6	69.8	4.7	
	食料品/飲料品	34	11.8	79.4	8.8	
	その他	112	23.2	58.9	17.9	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	23.2	69.5	7.4	
	検査	60	15.0	68.3	16.7	
	梱包・運搬（構内）	35	20.0	68.6	11.4	
	生産（工程）・品質管理	138	21.0	67.4	11.6	
	機械操作・点検・保守	39	20.5	66.7	12.8	
	その他	35	31.4	62.9	5.7	
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	22.0	68.4	9.6	
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	19.1	67.0	13.8	
	派遣社員	25	20.0	64.0	16.0	
	その他	1	100.0	0.0	0.0	
Q7 勤務年数	3年未満	82	18.3	70.7	11.0	
	3年～5年未満	46	26.1	60.9	13.0	
	5年以上	274	21.5	67.9	10.6	

## 5. 能力評価、処遇

### (1) 評価の仕組みの有無・説明状況

【設問文】 Q21 あなたの能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献を評価する仕組みについて教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

- 評価の仕組みの有無・説明状況では、「仕組みがない」の割合が最も高く、35.1%。「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」25.1%、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」23.6%が続く。
- 「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」と「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」を合わせた「認知率（Top2）」は48.8%となっている。

図表 III-5-1. 評価の仕組みの有無・説明状況（Q21）

		n=	■ 仕組みがあることは知っており、説明も受けている	■ 仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	■ 仕組みがない	■ 分からない	(%)	認知率 (Top2)	
TOTAL		402	23.6	25.1	35.1	16.2		48.8	
			(%)						
		n=	仕組みがあることは知っており、説明も受けている	仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	仕組みがない	分からない		認知率 (Top2)	
	TOTAL	402	23.6	25.1	35.1	16.2		48.8	
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	28.9	24.4	31.1	15.6		53.3	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	26.3	24.6	33.3	15.8		50.9	
	輸送用機械器具・部品	42	31.0	23.8	33.3	11.9		54.8	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	17.4	33.3	31.9	17.4		50.7	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	20.9	23.3	32.6	23.3		44.2	
	食料品/飲料品	34	8.8	17.6	52.9	20.6		26.5	
	その他	112	26.8	24.1	35.7	13.4		50.9	
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	23.2	26.3	32.6	17.9		49.5	
	検査	60	23.3	30.0	31.7	15.0		53.3	
	梱包・運搬（構内）	35	8.6	25.7	45.7	20.0		34.3	
	生産（工程）・品質管理	138	21.0	26.8	35.5	16.7		47.8	
	機械操作・点検・保守	39	35.9	10.3	43.6	10.3		46.2	
	その他	35	37.1	22.9	25.7	14.3		60.0	
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	25.2	27.0	34.0	13.8		52.1	
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	20.2	19.1	40.4	20.2		39.4	
	派遣社員	25	20.0	24.0	28.0	28.0		44.0	
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0		100.0	
Q7 勤務年数	3年未満	82	18.3	29.3	35.4	17.1		47.6	
	3年～5年未満	46	28.3	17.4	28.3	26.1		45.7	
	5年以上	274	24.5	25.2	36.1	14.2		49.6	

## (2) 仕事上の貢献の処遇への反映

【設問文】 Q22 あなたの能力や仕事ぶりなど仕事上の貢献は、給与などに反映されていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 仕事上の貢献の処遇への反映では、「反映されていない」の割合が最も高く、30.8%。「あまり反映されていない」30.6%、「だいたい反映されている」25.1%が続く。
- 「あまり反映されていない」と「反映されていない」を合わせた「反映されていない（Bottom2）」割合は、61.4%と6割を超える。一方、「十分反映されている」と「だいたい反映されている」を合わせた「反映されている（Top2）」の割合は27.6%と3割に満たない。

図表 III-5-2. 仕事上の貢献の処遇への反映（Q22）

	n=	十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
		(%)						
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4

(%)

		n=	十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL		402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
Q3 生産品目	電子部品・デバイス	45	2.2	22.2	35.6	31.1	8.9	24.4	66.7
	電気・情報通信機械器具・部品	57	1.8	31.6	21.1	31.6	14.0	33.3	52.7
	輸送用機械器具・部品	42	0.0	26.2	26.2	38.1	9.5	26.2	64.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	1.4	18.8	39.1	27.5	13.0	20.3	66.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）/日用品・消耗品	43	2.3	25.6	34.9	25.6	11.6	27.9	60.5
	食料品/飲料品	34	0.0	20.6	32.4	32.4	14.7	20.6	64.8
	その他	112	5.4	27.7	27.7	31.3	8.0	33.0	59.0
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	3.2	27.4	30.5	25.3	13.7	30.5	55.8
	検査	60	0.0	16.7	43.3	30.0	10.0	16.7	73.3
	梱包・運搬（構内）	35	0.0	17.1	31.4	34.3	17.1	17.1	65.7
	生産（工程）・品質管理	138	2.2	29.7	28.3	31.2	8.7	31.9	59.5
	機械操作・点検・保守	39	2.6	25.6	25.6	38.5	7.7	28.2	64.1
	その他	35	8.6	22.9	22.9	34.3	11.4	31.4	57.2
Q5 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	282	1.4	26.2	32.6	28.4	11.3	27.7	61.0
	契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	5.3	22.3	24.5	36.2	11.7	27.7	60.7
	派遣社員	25	4.0	24.0	28.0	40.0	4.0	28.0	68.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q7 勤務年数	3年未満	82	2.4	29.3	28.0	23.2	17.1	31.7	51.2
	3年～5年未満	46	6.5	21.7	30.4	26.1	15.2	28.3	56.5
	5年以上	274	1.8	24.5	31.4	33.9	8.4	26.3	65.3

## 6. 働き方について

### (1) 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望

【設問文】 Q23 今後1～2年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

- 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望では、「特にない」の割合が最も高く、26.9%。「製造業務で作業員として働きたい」26.4%、「現在、在籍する会社以外で働きたい(転職したい)」12.9%が続く。

図表 III-6-1. 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望(Q23)

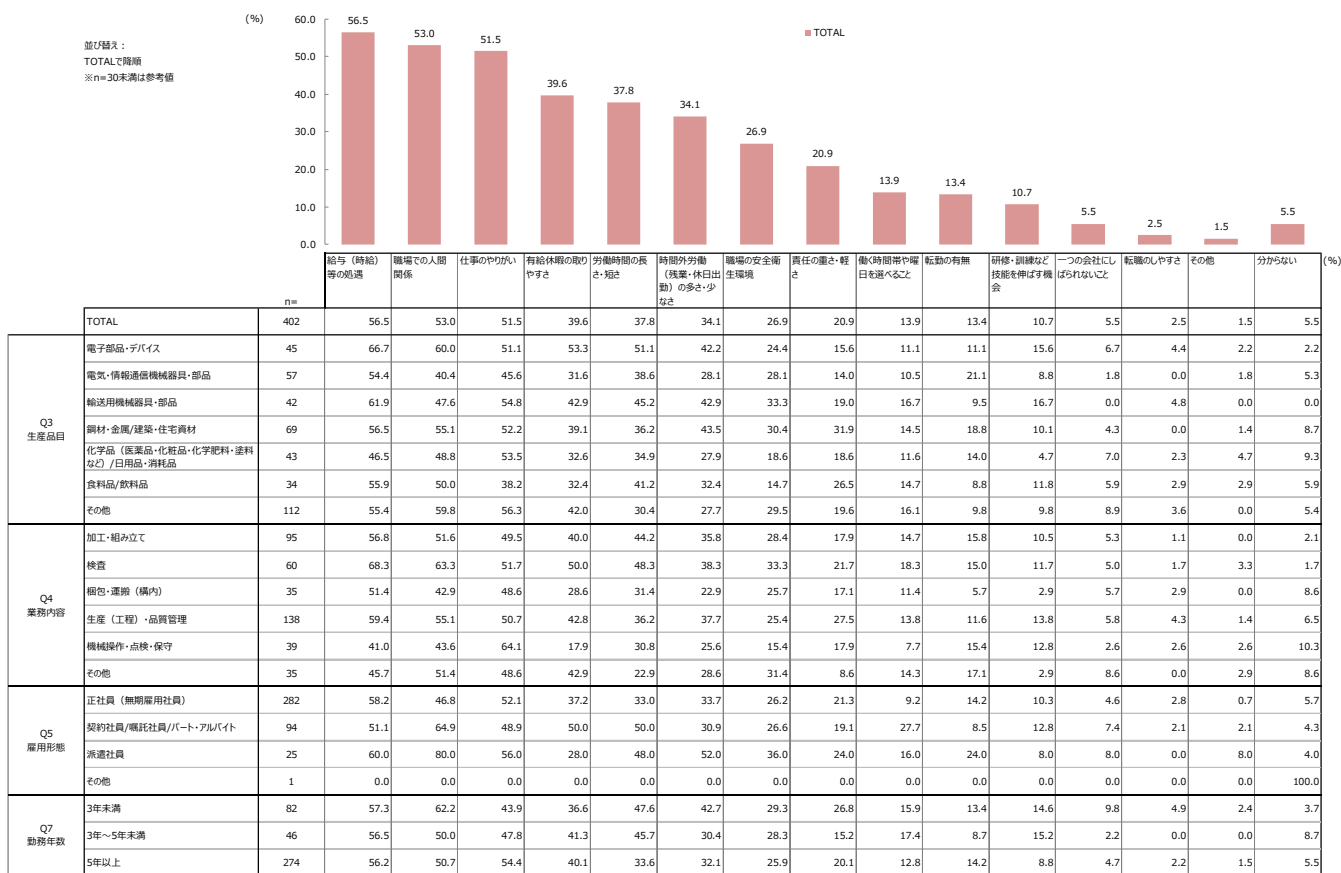
		n=								(%)
			製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい(転職したい)	その他	特にない
TOTAL		402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
		n=								(%)
Q3 生産品目	TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
	電子部品・デバイス	45	35.6	13.3	6.7	4.4	2.2	20.0	2.2	15.6
	電気・情報通信機械器具・部品	57	24.6	8.8	19.3	3.5	14.0	7.0	0.0	22.8
	輸送用機械器具・部品	42	38.1	4.8	11.9	7.1	9.5	7.1	2.4	19.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	69	27.5	8.7	11.6	4.3	5.8	14.5	1.4	26.1
	化学品(医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)/日用品・消耗品	43	25.6	4.7	9.3	7.0	2.3	11.6	0.0	39.5
	食料品/飲料品	34	32.4	8.8	8.8	2.9	17.6	5.9	0.0	23.5
	その他	112	17.0	18.8	4.5	3.6	6.3	17.0	0.0	33.0
Q4 業務内容	加工・組み立て	95	35.8	8.4	9.5	4.2	9.5	11.6	0.0	21.1
	検査	60	33.3	11.7	8.3	8.3	6.7	13.3	1.7	16.7
	梱包・運搬(構内)	35	28.6	0.0	14.3	2.9	5.7	5.7	0.0	42.9
	生産(工程)・品質管理	138	23.2	17.4	9.4	3.6	8.0	12.3	0.7	25.4
	機械操作・点検・保守	39	17.9	2.6	12.8	0.0	7.7	20.5	2.6	35.9
	その他	35	8.6	14.3	5.7	8.6	5.7	17.1	0.0	40.0
	Q5 雇用形態	正社員(無期雇用社員)	282	27.0	12.8	10.6	5.0	6.7	13.1	0.7
契約社員/嘱託社員/パート・アルバイト	94	21.3	9.6	8.5	3.2	10.6	12.8	0.0	34.0	
派遣社員	25	40.0	0.0	4.0	4.0	8.0	12.0	4.0	28.0	
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
Q7 勤務年数	3年未満	82	23.2	11.0	13.4	4.9	11.0	14.6	0.0	22.0
	3年～5年未満	46	32.6	10.9	8.7	2.2	8.7	6.5	2.2	28.3
	5年以上	274	26.3	11.3	8.8	4.7	6.6	13.5	0.7	28.1

## (2) 仕事や働き方に関して重視していること

【設問文】 Q24 あなたはご自身の仕事や働き方に関して、特に何を重視していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 仕事や働き方に関して重視していることでは、「給与（時給）等の処遇」の割合が最も高く、56.5%。「職場での人間関係」53.0%、「仕事のやりがい」51.5%が続く。

図表 III-6-2. 仕事や働き方に関して重視していること（Q24）＊複数回答＊







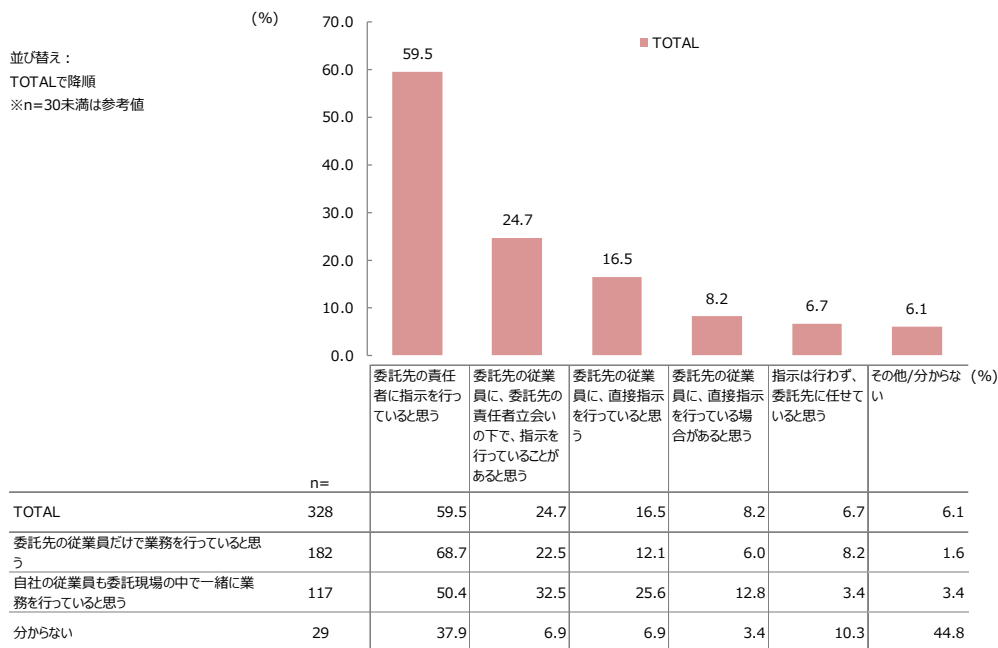
## IV. テーマ別調査結果

# 1. コンプライアンス

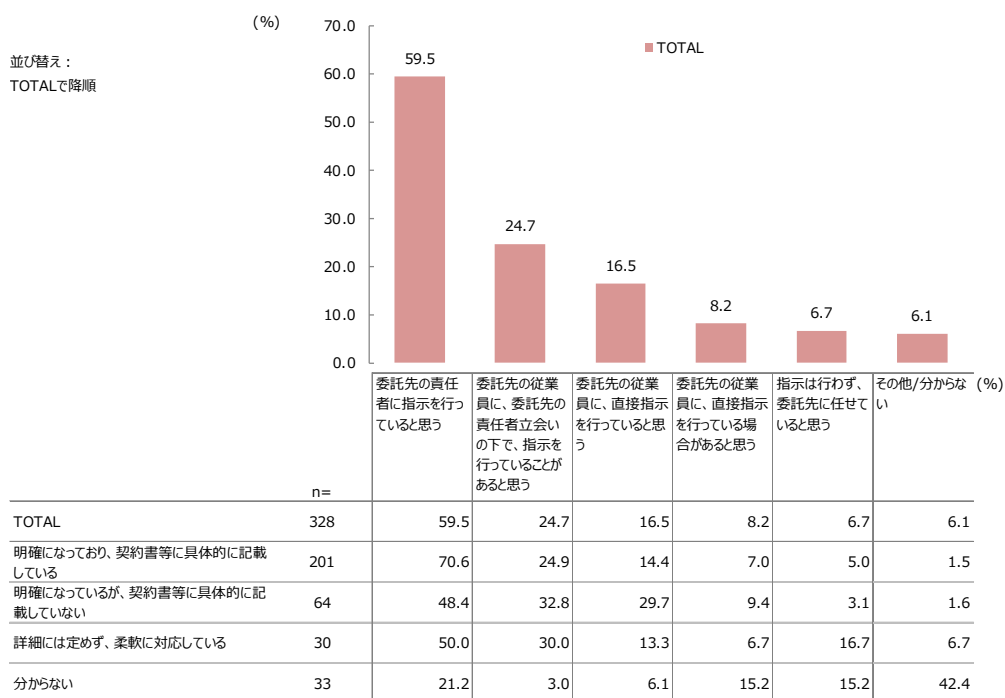
## (1) 発注者(委託元)

### 【1】委託業務への指示について(Q9)[図表①～⑥]

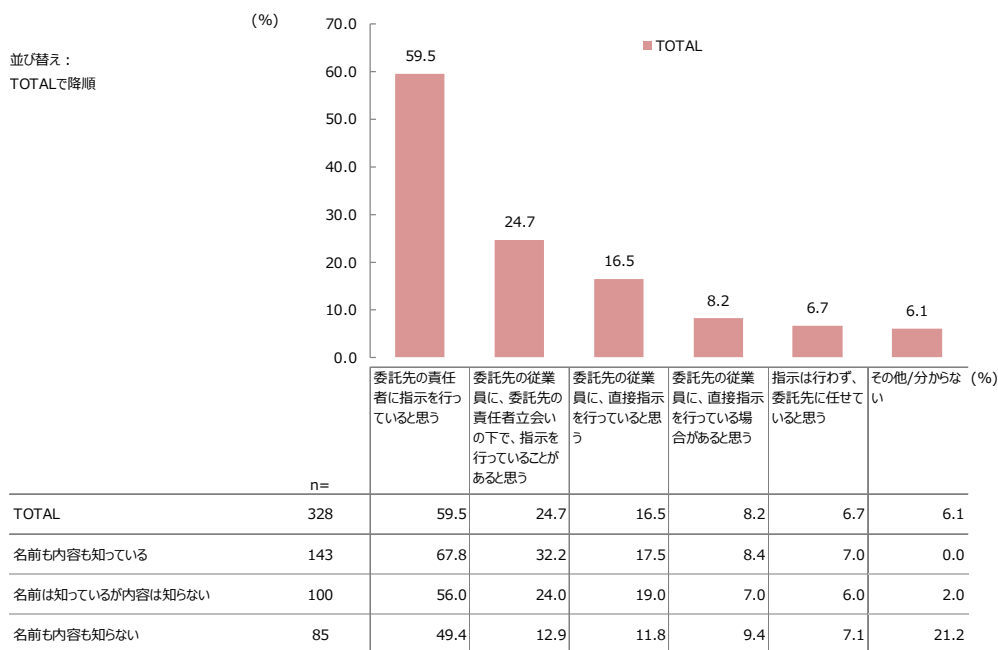
図表 IV-1-1①. 委託業務への指示（複数回答） 【委託業務を行っている現場の状況別】



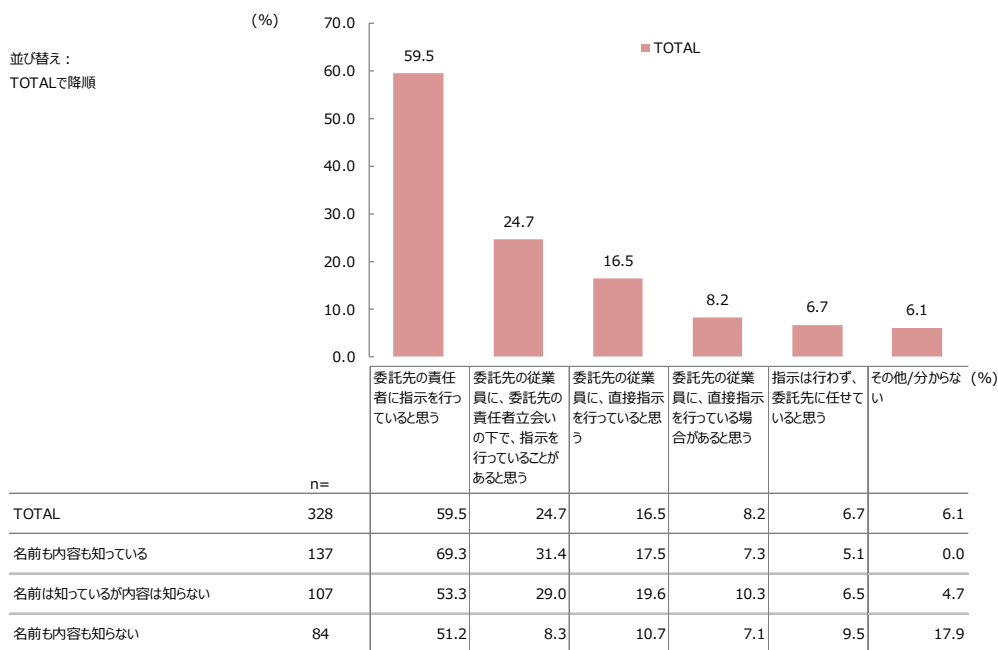
図表 IV-1-1②. 委託業務への指示（複数回答） 【委託業務の内容・範囲の明確化別】



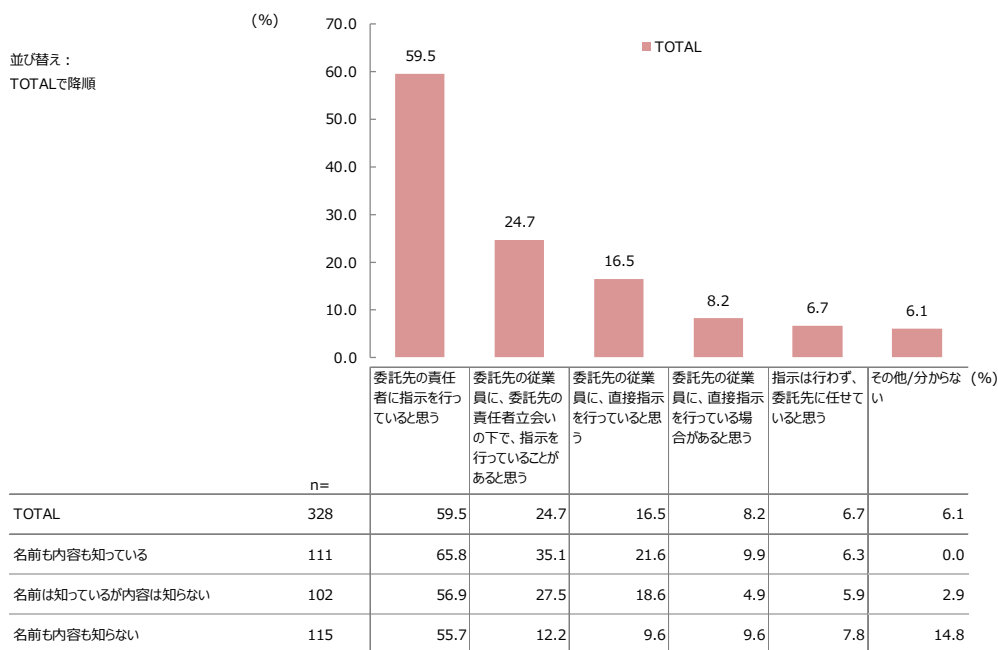
図表 IV-1-1③. 委託業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】  
 (1) 派遣事業と請負事業の区分基準（告示 37 号）



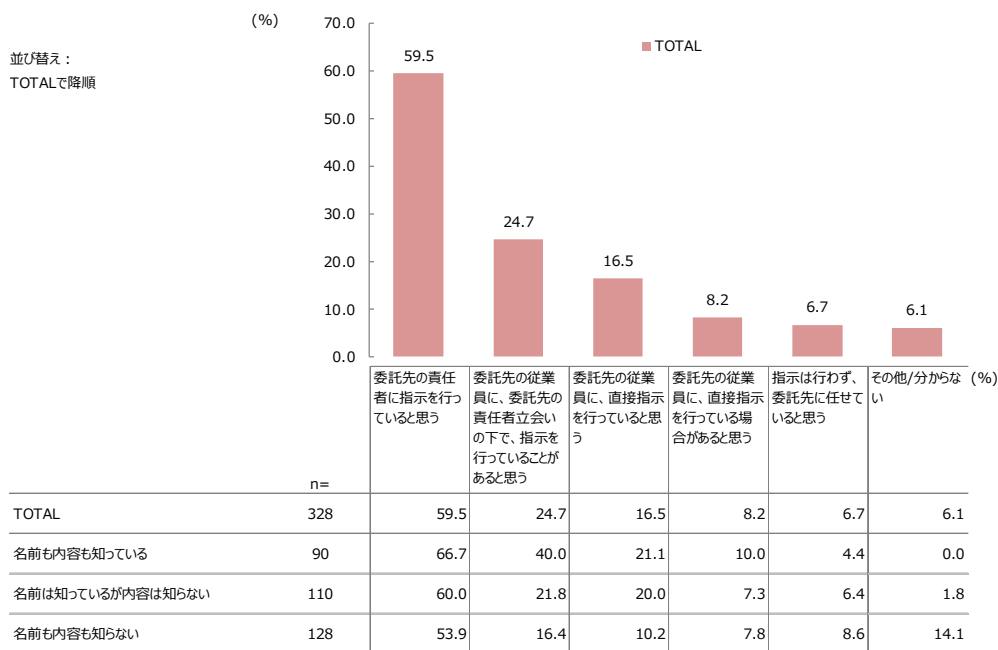
図表 IV-1-1④. 委託業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】  
 (2) 製造請負ガイドライン



図表 IV-1-1⑤. 委託業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】  
 (3) 労働契約申込みみなし制度

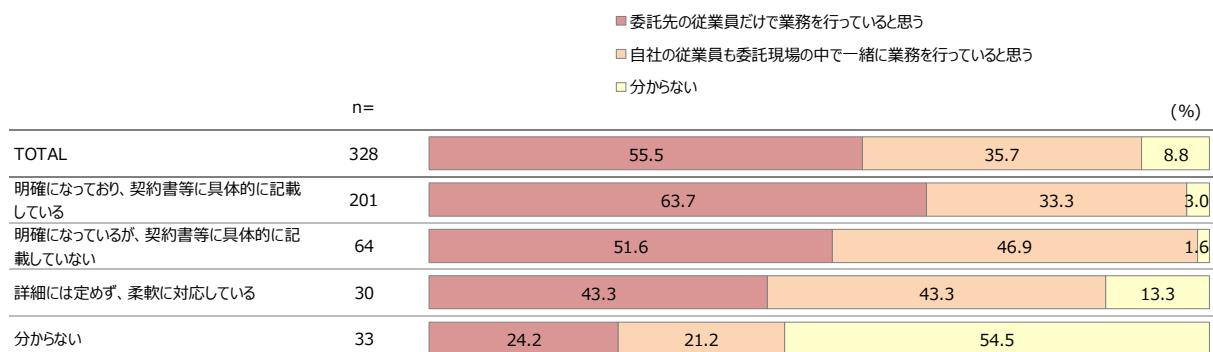


図表 IV-1-1⑥. 委託業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】  
 (4) 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）



【2】委託業務を行っている現場の状況について(Q10)[図表⑦]

図表 IV-1-1⑦. 委託業務を行っている現場の状況【委託業務の内容・範囲の明確化別】



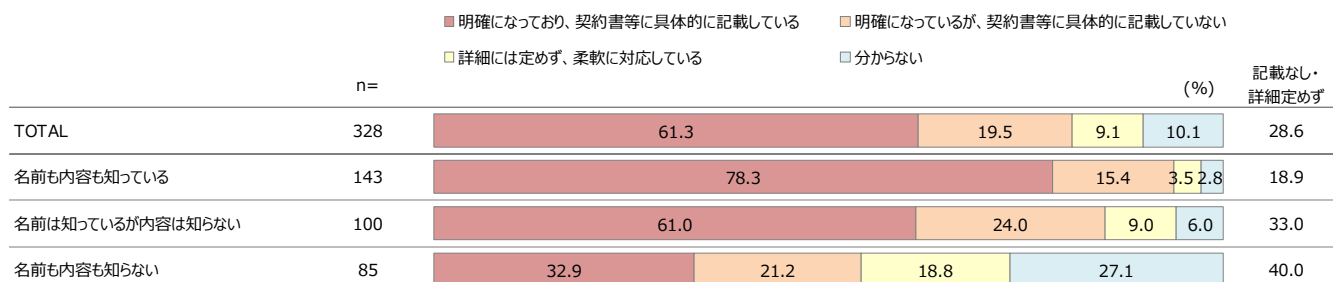
(%)

	n=	委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	分からない
TOTAL	328	55.5	35.7	8.8
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	201	63.7	33.3	3.0
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	64	51.6	46.9	1.6
詳細には定めず、柔軟に対応している	30	43.3	43.3	13.3
分からない	33	24.2	21.2	54.5

【3】委託業務の内容・範囲の明確化について(Q11)[図表⑧～⑪]

図表 IV-1-1⑧. 委託業務の内容・範囲の明確化 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)

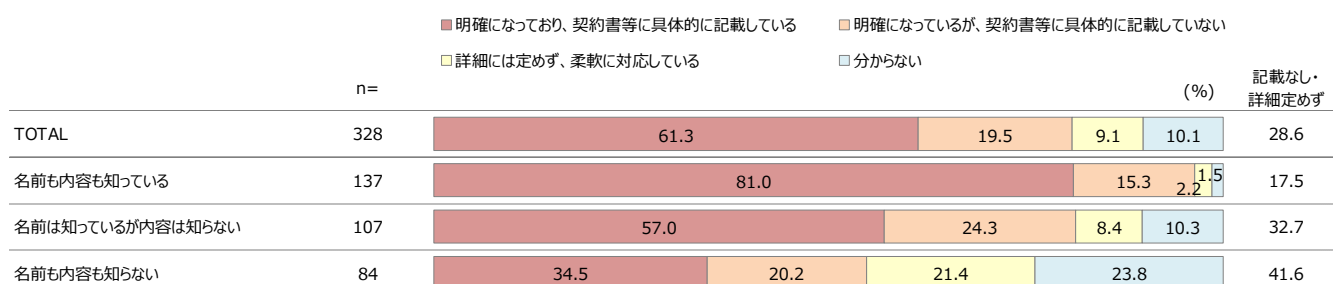


(%)

	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めず、柔軟に対応している	分からない	記載なし・詳細定めず
TOTAL	328	61.3	19.5	9.1	10.1	28.6
名前も内容も知っている	143	78.3	15.4	3.5	2.8	18.9
名前は知っているが内容は知らない	100	61.0	24.0	9.0	6.0	33.0
名前も内容も知らない	85	32.9	21.2	18.8	27.1	40.0

図表 IV-1-1⑨. 委託業務の内容・範囲の明確化 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン

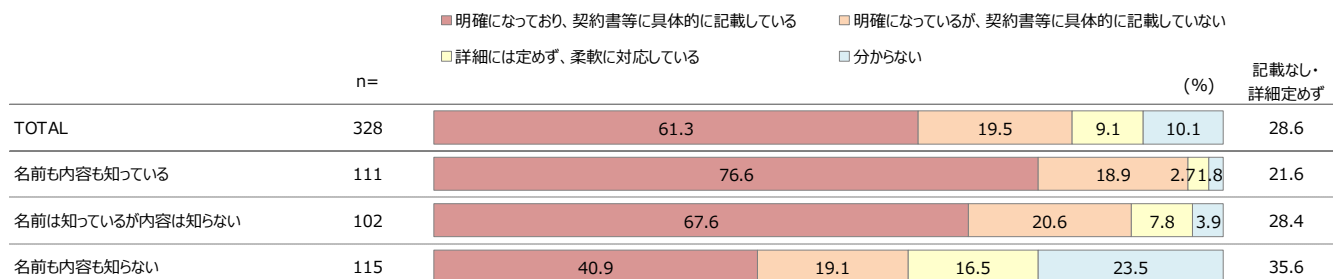


(%)

	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めず、柔軟に対応している	分からない	記載なし・詳細定めず
TOTAL	328	61.3	19.5	9.1	10.1	28.6
名前も内容も知っている	137	81.0	15.3	2.2	1.5	17.5
名前は知っているが内容は知らない	107	57.0	24.3	8.4	10.3	32.7
名前も内容も知らない	84	34.5	20.2	21.4	23.8	41.6

図表 IV-1-1⑩. 委託業務の内容・範囲の明確化【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

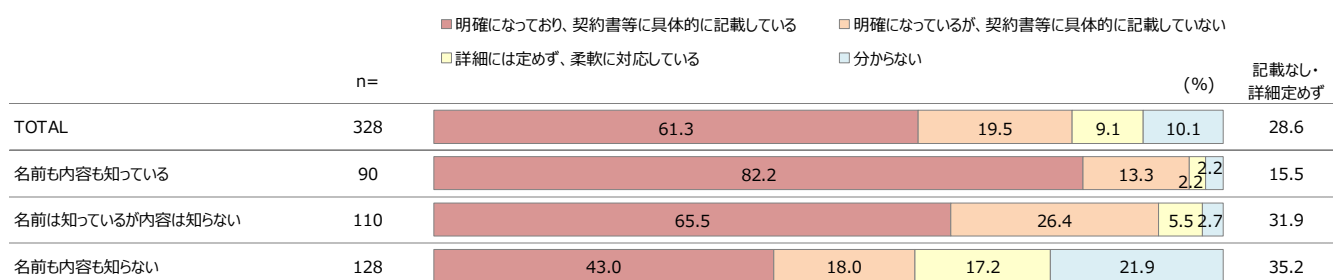


(%)

	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している (%)	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない (%)	詳細には定めず、柔軟に対応している (%)	分からない (%)	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	328	61.3	19.5	9.1	10.1	28.6
名前も内容も知っている	111	76.6	18.9	2.7	1.8	21.6
名前は知っているが内容は知らない	102	67.6	20.6	7.8	3.9	28.4
名前も内容も知らない	115	40.9	19.1	16.5	23.5	35.6

図表 IV-1-1⑪. 委託業務の内容・範囲の明確化【適正な請負を行うための知識の認知別】

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

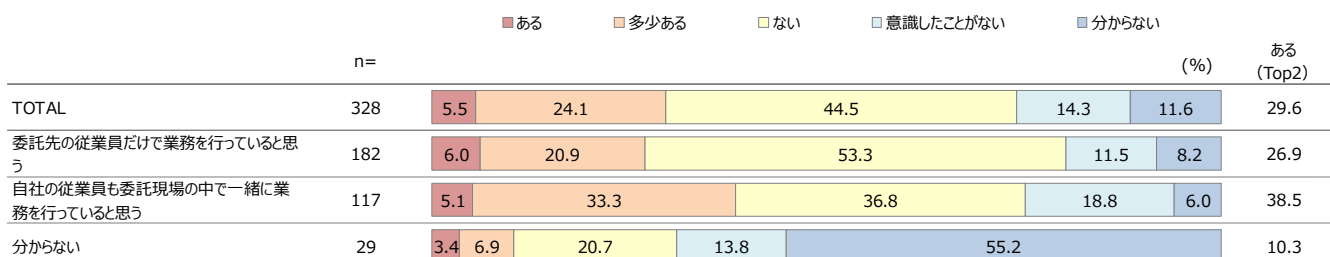


(%)

	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している (%)	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない (%)	詳細には定めず、柔軟に対応している (%)	分からない (%)	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	328	61.3	19.5	9.1	10.1	28.6
名前も内容も知っている	90	82.2	13.3	2.2	2.2	15.5
名前は知っているが内容は知らない	110	65.5	26.4	5.5	2.7	31.9
名前も内容も知らない	128	43.0	18.0	17.2	21.9	35.2

【4】偽装請負への不安について(Q14)[図表⑫～⑭]

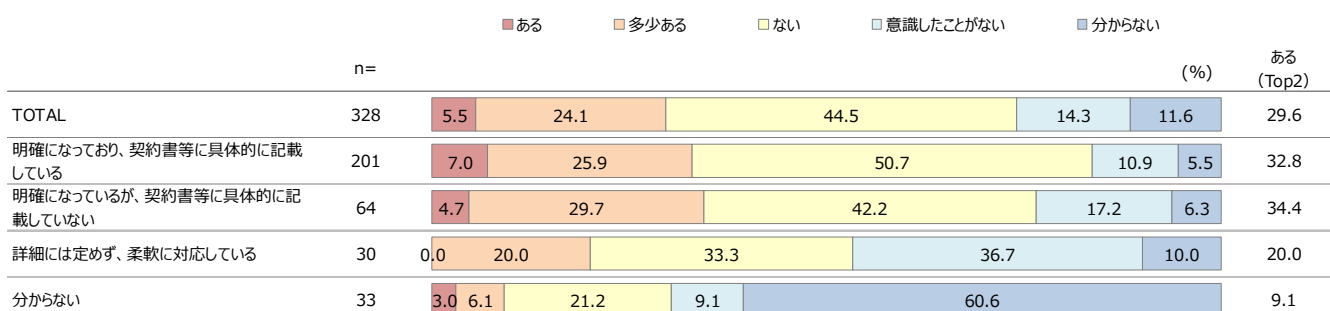
図表 IV-1-1⑫. 偽装請負への不安【委託業務を行っている現場の状況別】



※n=30未満は参考値

	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	あり (Top2)
TOTAL	328	5.5	24.1	44.5	14.3	11.6	29.6
委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	182	6.0	20.9	53.3	11.5	8.2	26.9
自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	117	5.1	33.3	36.8	18.8	6.0	38.5
分からない	29	3.4	6.9	20.7	13.8	55.2	10.3

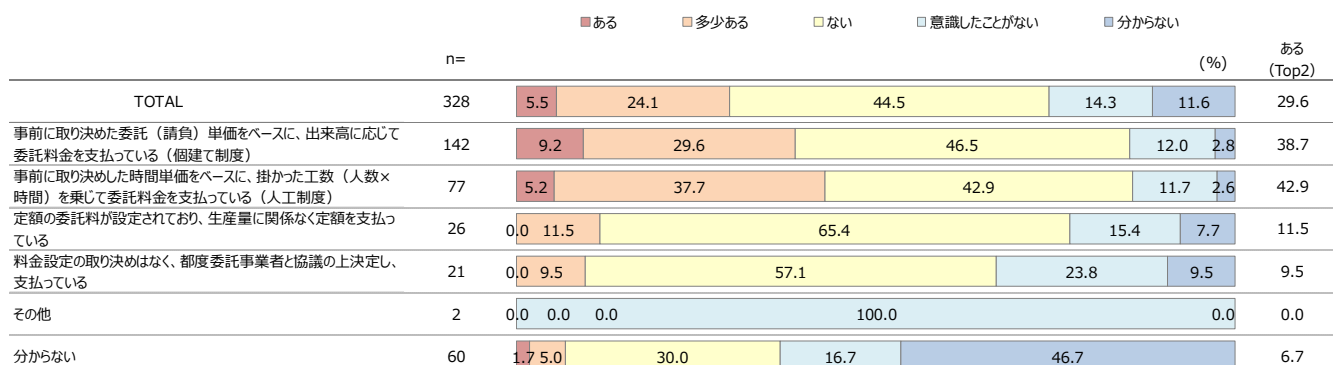
図表 IV-1-1⑬. 偽装請負への不安【委託業務の内容・範囲の明確化別】



	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	あり (Top2)
TOTAL	328	5.5	24.1	44.5	14.3	11.6	29.6
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	201	7.0	25.9	50.7	10.9	5.5	32.8
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	64	4.7	29.7	42.2	17.2	6.3	34.4
詳細には定めず、柔軟に対応している	30	0.0	20.0	33.3	36.7	10.0	20.0
分からない	33	3.0	6.1	21.2	9.1	60.6	9.1



図表 IV-1-1⑭. 偽装請負への不安【委託業務の料金設定・支払い方法別】



※n=30未満は参考値

(%)

	n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)
TOTAL	328	5.5	24.1	44.5	14.3	11.6	29.6
事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	142	9.2	29.6	46.5	12.0	2.8	38.7
事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	77	5.2	37.7	42.9	11.7	2.6	42.9
定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	26	0.0	11.5	65.4	15.4	7.7	11.5
料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	21	0.0	9.5	57.1	23.8	9.5	9.5
その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
分からない	60	1.7	5.0	30.0	16.7	46.7	6.7

【5】委託料金の設定・支払い方法について(Q19)[図表⑮～⑰]

図表 IV-1-1⑮. 委託料金の設定・支払い方法【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準(告示37号)

- 事前に取り決めた委託(請負)単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている(個建て制度)
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数(人数×時間)を乗じて委託料金を支払っている(人工制度)
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている

	n=	(%)				
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	143	53.8	29.4	7.0	3.5	6.3
名前は知っているが内容は知らない	100	41.0	25.0	14.0	7.0	13.0
名前も内容も知らない	85	28.2	11.8	2.4	10.6	47.1

	n=	(%)				
		事前に取り決めた委託(請負)単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている(個建て制度)	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数(人数×時間)を乗じて委託料金を支払っている(人工制度)	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他/分からない
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	143	53.8	29.4	7.0	3.5	6.3
名前は知っているが内容は知らない	100	41.0	25.0	14.0	7.0	13.0
名前も内容も知らない	85	28.2	11.8	2.4	10.6	47.1

図表 IV-1-1⑯. 委託料金の設定・支払い方法【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン

- 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	137	55.5	31.4	5.8	3.6	3.6
名前は知っているが内容は知らない	107	37.4	26.2	12.1	5.6	18.7
名前も内容も知らない	84	31.0	7.1	6.0	11.9	44.0

(%)

	n=	事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他/分からない
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	137	55.5	31.4	5.8	3.6	3.6
名前は知っているが内容は知らない	107	37.4	26.2	12.1	5.6	18.7
名前も内容も知らない	84	31.0	7.1	6.0	11.9	44.0

図表 IV-1-1⑰. 委託料金の設定・支払い方法【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

- 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	111	55.9	27.9	8.1	3.6	4.5
名前は知っているが内容は知らない	102	43.1	29.4	9.8	7.8	9.8
名前も内容も知らない	115	31.3	13.9	6.1	7.8	40.9

(%)

	n=	事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他/分からない
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	111	55.9	27.9	8.1	3.6	4.5
名前は知っているが内容は知らない	102	43.1	29.4	9.8	7.8	9.8
名前も内容も知らない	115	31.3	13.9	6.1	7.8	40.9

図表 IV-1-1⑱. 委託料金の設定・支払い方法【適正な請負を行うための知識の認知別】

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

- 事前に取り決めた委託 (請負) 単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている (個建て制度)
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて委託料金を支払っている (人工制度)
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	90	57.8	26.7	6.7	3.3	5.6
名前は知っているが内容は知らない	110	40.9	33.6	8.2	8.2	9.1
名前も内容も知らない	128	35.2	12.5	8.6	7.0	36.7

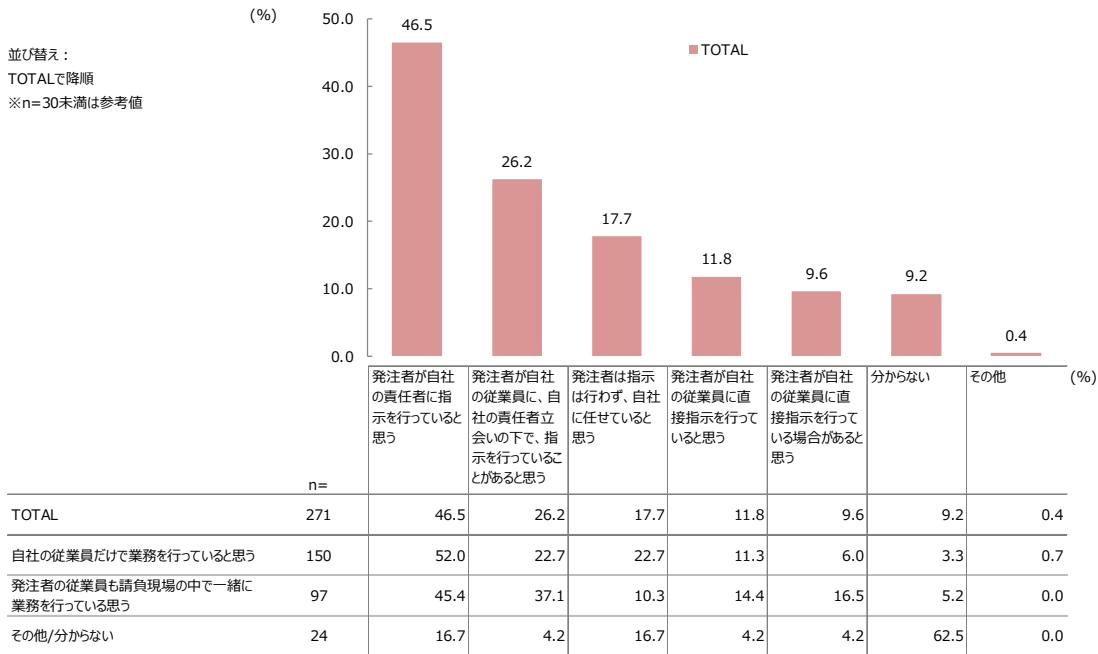
(%)

	n=	事前に取り決めた委託 (請負) 単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている (個建て制度)	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて委託料金を支払っている (人工制度)	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他/分からない
TOTAL	328	43.3	23.5	7.9	6.4	18.9
名前も内容も知っている	90	57.8	26.7	6.7	3.3	5.6
名前は知っているが内容は知らない	110	40.9	33.6	8.2	8.2	9.1
名前も内容も知らない	128	35.2	12.5	8.6	7.0	36.7

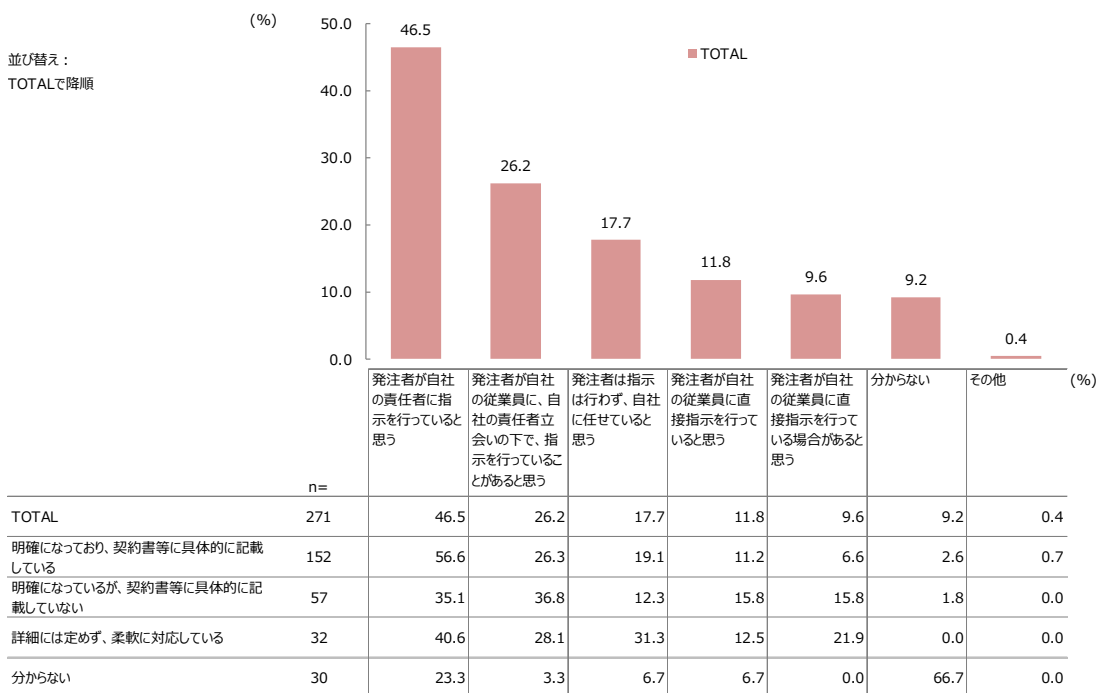
## (2) 受託者(請負事業者)

### 【1】発注者の請負業務への指示について(Q9)[図表①～⑥]

図表 IV-1-2①. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【請負業務を行っている現場の状況別】

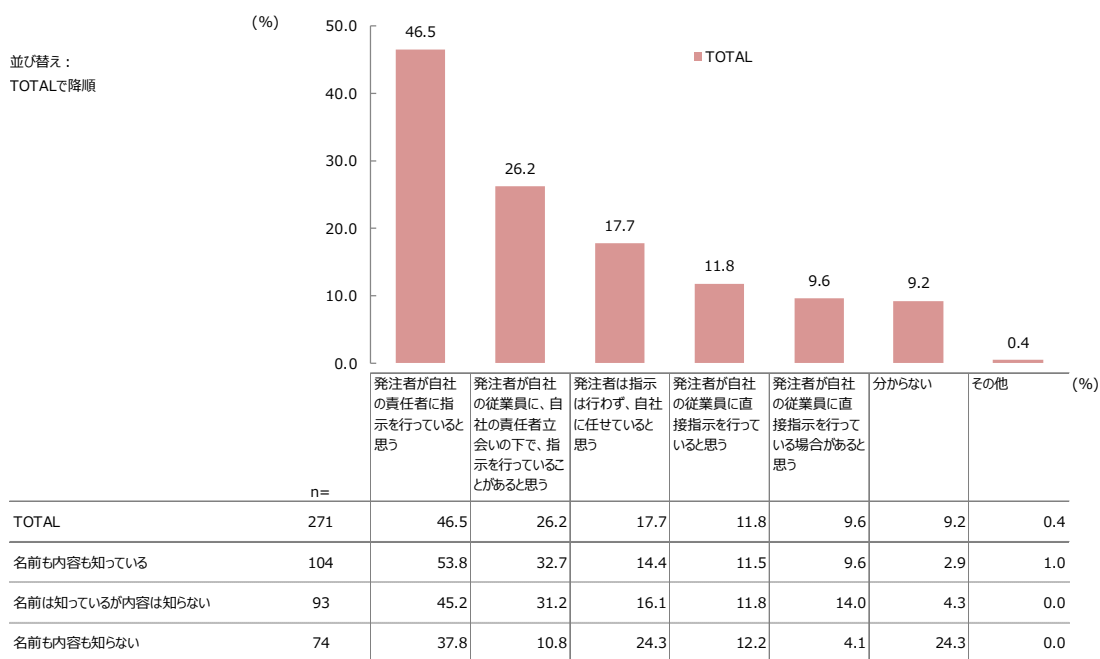


図表 IV-1-2②. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【請負業務の内容・範囲の明確化別】



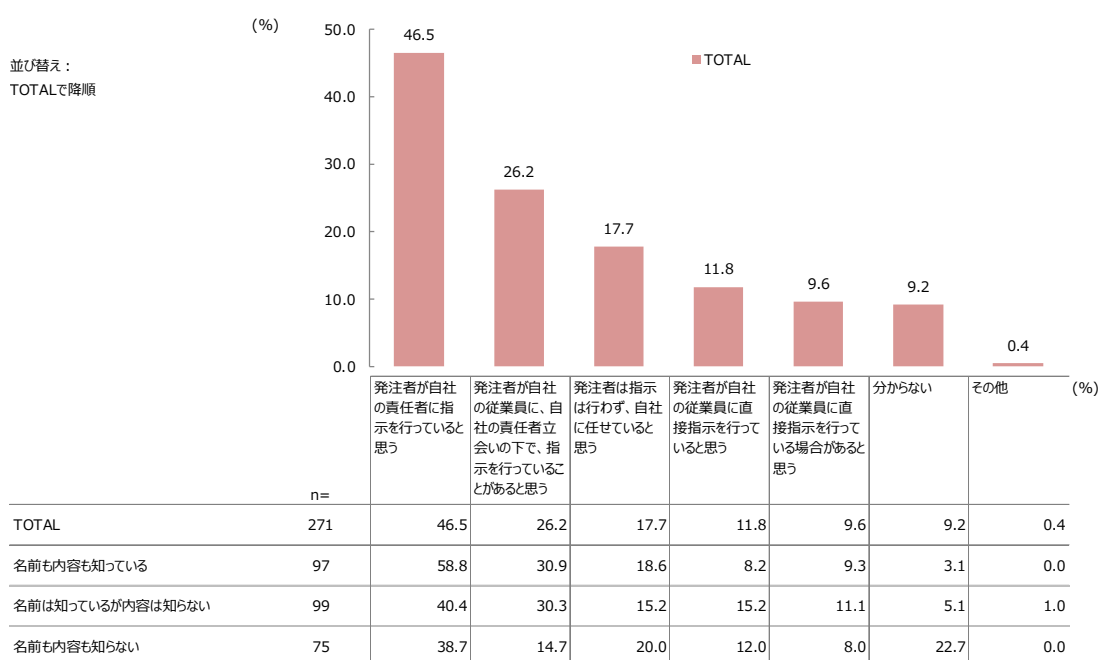
図表 IV-1-2③. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準（告示 37 号）



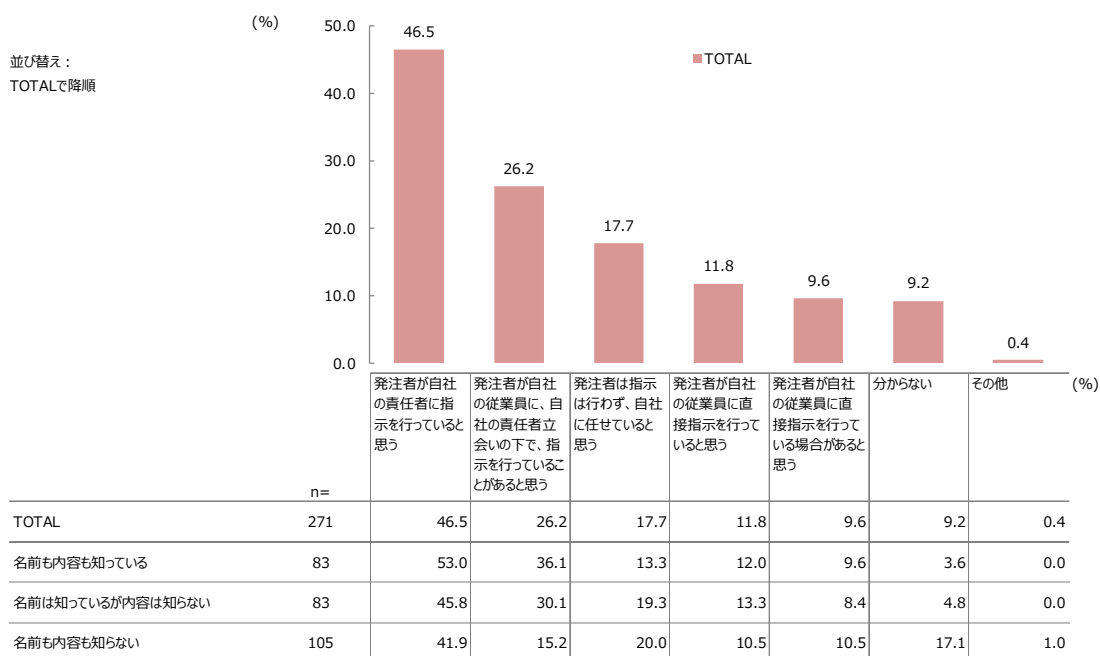
図表 IV-1-2④. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン



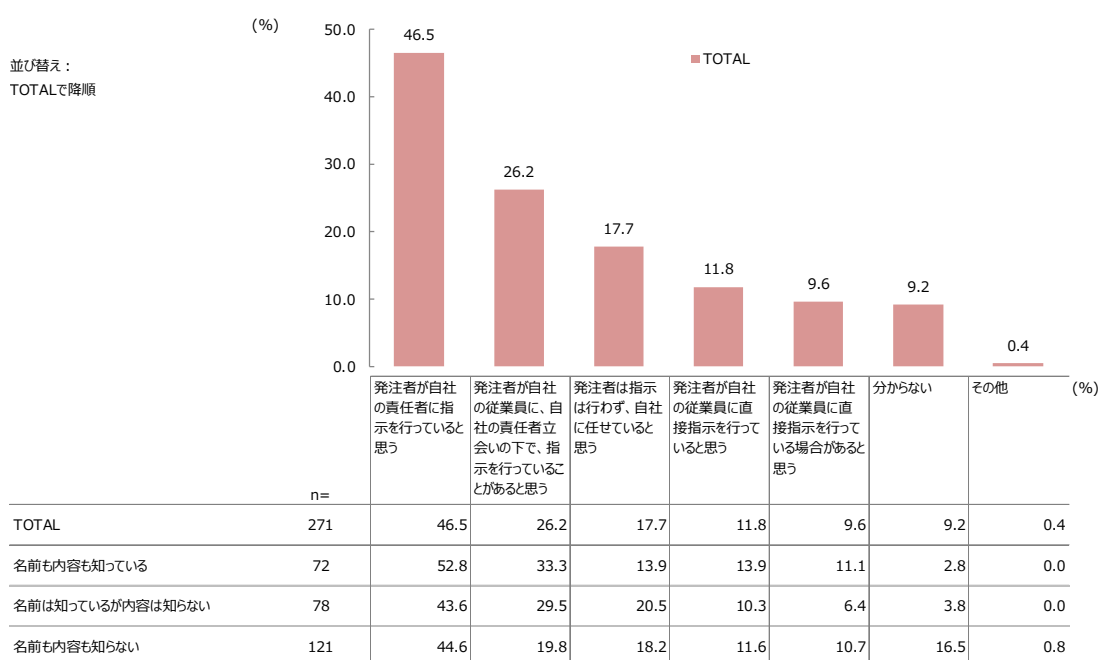
図表 IV-1-2⑤. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度



図表 IV-1-2⑥. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【適正な請負を行うための知識の認知別】

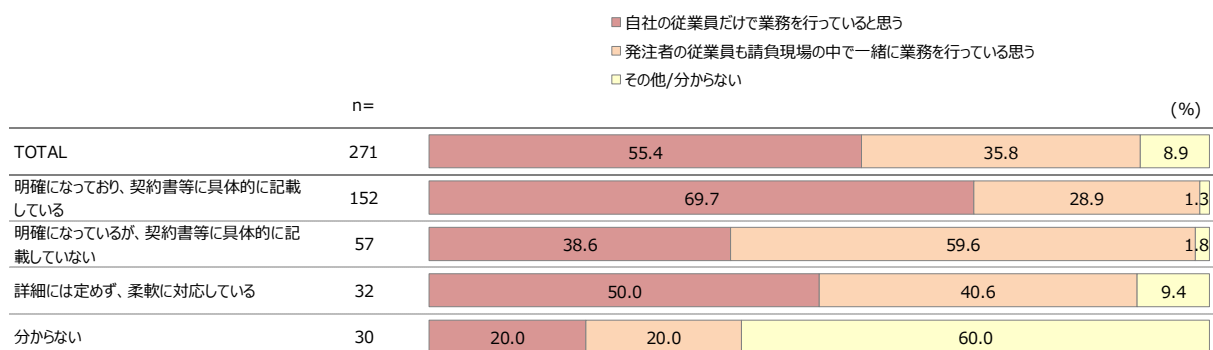
(4) 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）





【2】請負業務を行っている現場の状況について(Q10)[図表⑦]

図表 IV-1-2⑦. 請負業務を行っている現場の状況【請負業務の内容・範囲の明確化別】



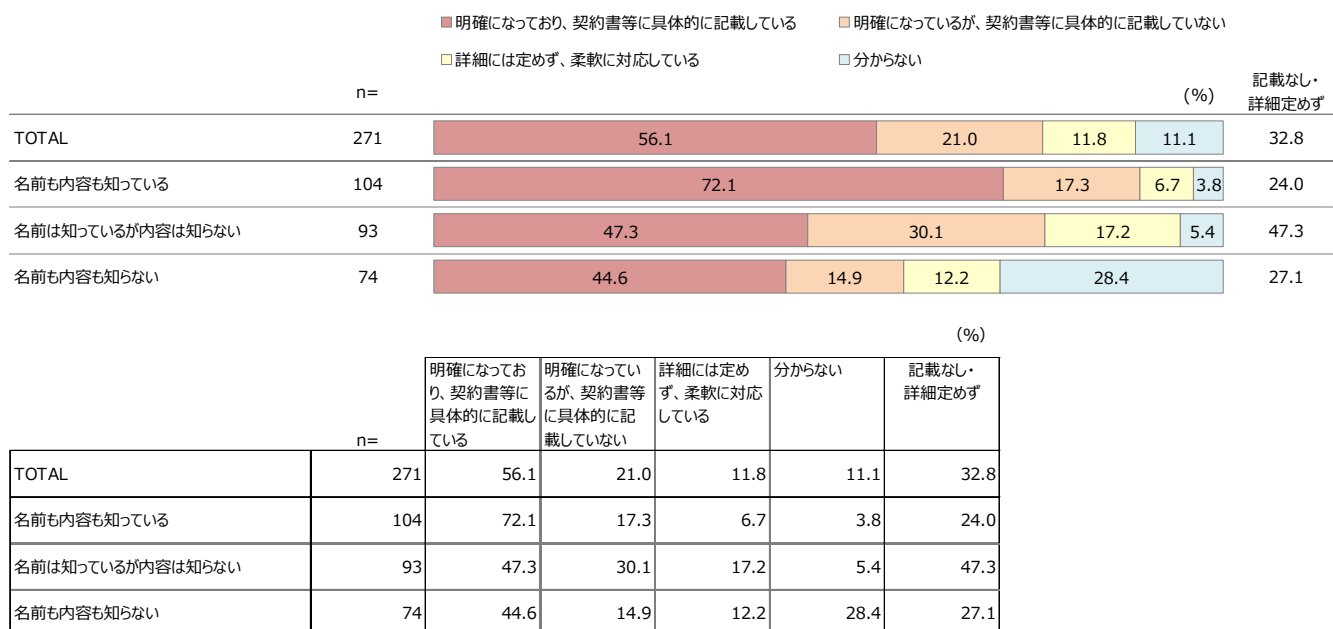
(%)

	n=	自社の従業員 だけで業務を 行っていると思う	発注者の従業員 も請負現場の 中で一緒に業 務を行っている と思う	その他/分から ない
TOTAL	271	55.4	35.8	8.9
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	152	69.7	28.9	1.3
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	57	38.6	59.6	1.8
詳細には定めず、柔軟に対応している	32	50.0	40.6	9.4
分からない	30	20.0	20.0	60.0

【3】請負業務の内容・範囲の明確化について(Q11)[図表⑧～⑪]

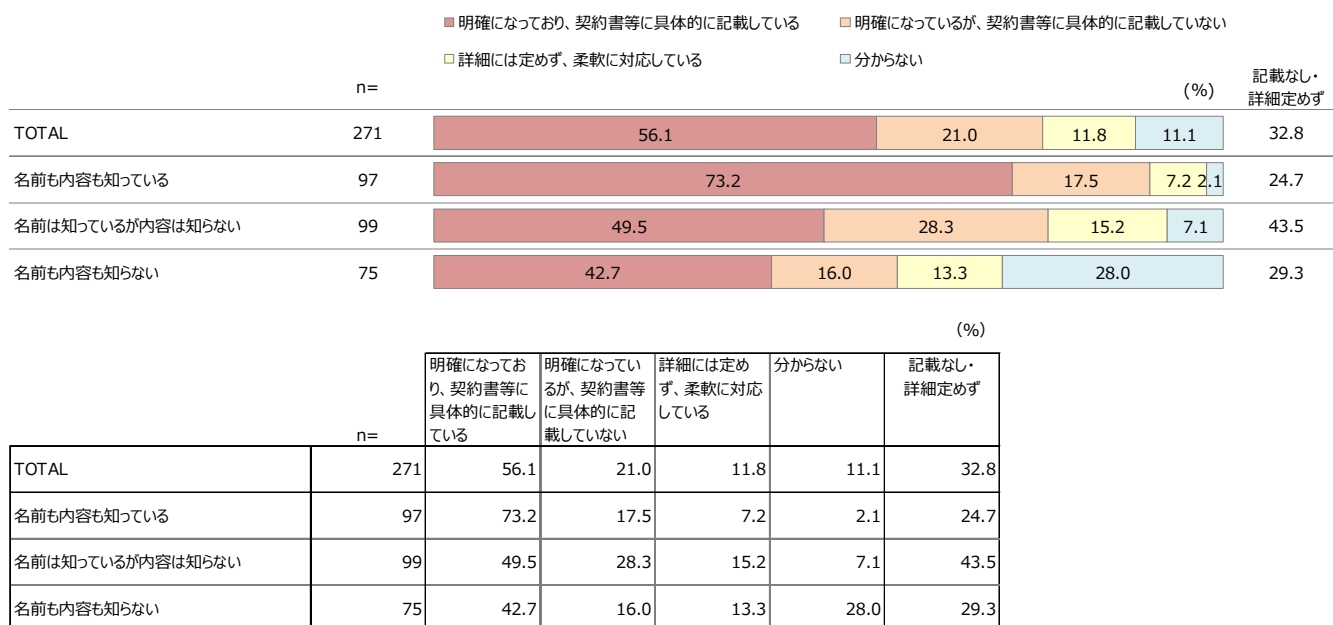
図表 IV-1-2⑧. 請負業務の内容・範囲の明確化 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)



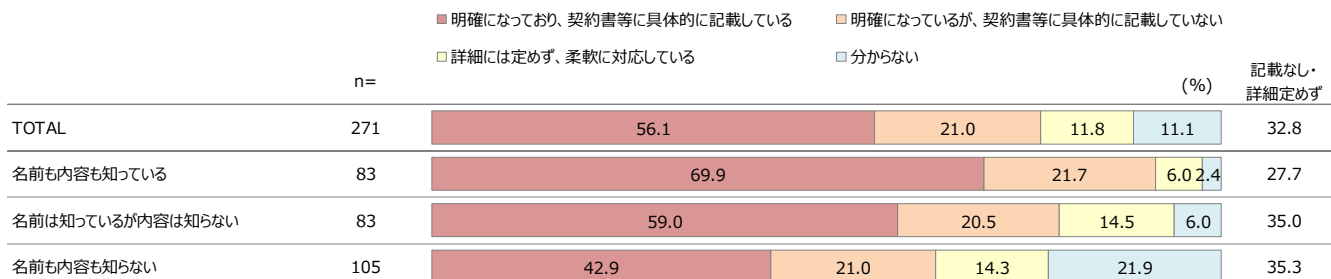
図表 IV-1-2⑨. 請負業務の内容・範囲の明確化 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン



図表 IV-1-2⑩. 請負業務の内容・範囲の明確化【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

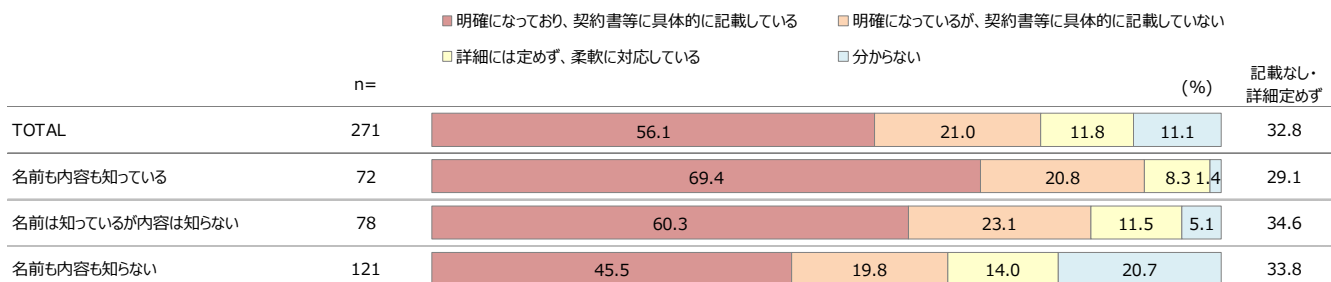


(%)

項目	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している (%)	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない (%)	詳細には定めず、柔軟に対応している (%)	分からない (%)	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	271	56.1	21.0	11.8	11.1	32.8
名前も内容も知っている	83	69.9	21.7	6.0	2.4	27.7
名前は知っているが内容は知らない	83	59.0	20.5	14.5	6.0	35.0
名前も内容も知らない	105	42.9	21.0	14.3	21.9	35.3

図表 IV-1-2⑪. 請負業務の内容・範囲の明確化【適正な請負を行うための知識の認知別】

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

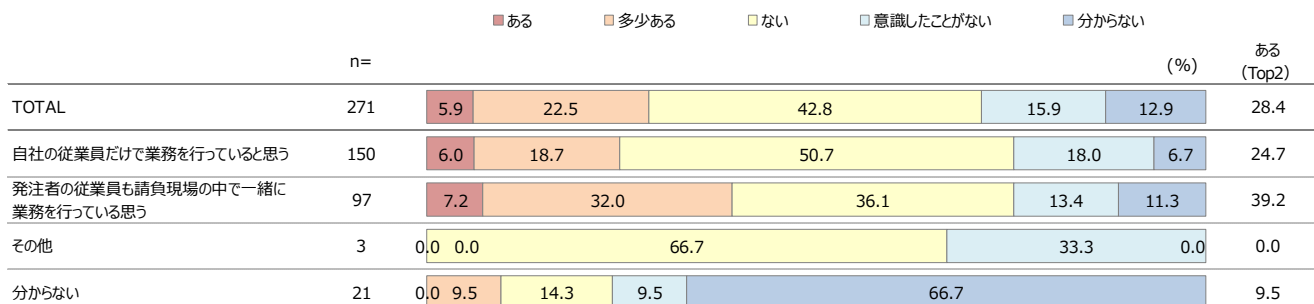


(%)

項目	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している (%)	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない (%)	詳細には定めず、柔軟に対応している (%)	分からない (%)	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	271	56.1	21.0	11.8	11.1	32.8
名前も内容も知っている	72	69.4	20.8	8.3	1.4	29.1
名前は知っているが内容は知らない	78	60.3	23.1	11.5	5.1	34.6
名前も内容も知らない	121	45.5	19.8	14.0	20.7	33.8

【4】偽装請負への不安について(Q14)[図表⑫~⑭]

図表 IV-1-2⑫. 偽装請負への不安【請負業務を行っている現場の状況別】

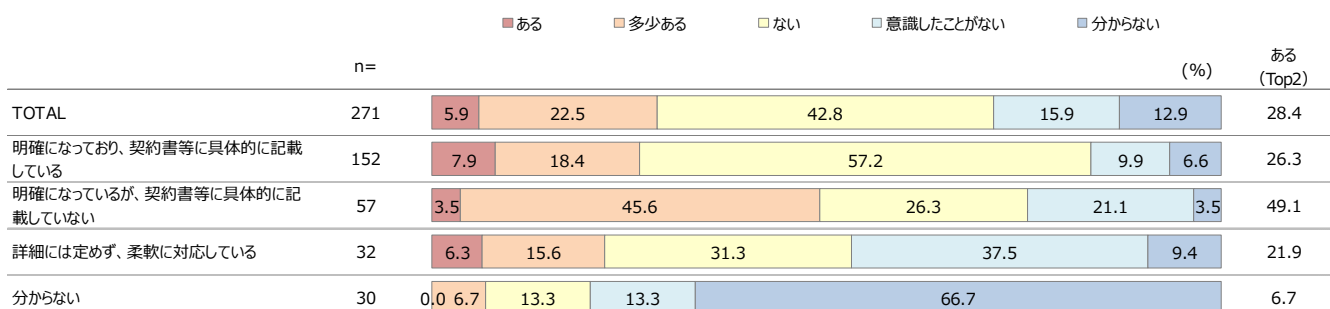


※n=30未満は参考値

(%)

	n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)
TOTAL	271	5.9	22.5	42.8	15.9	12.9	28.4
自社の従業員だけで業務を行っていると思う	150	6.0	18.7	50.7	18.0	6.7	24.7
発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	97	7.2	32.0	36.1	13.4	11.3	39.2
その他	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
分からない	21	0.0	9.5	14.3	9.5	66.7	9.5

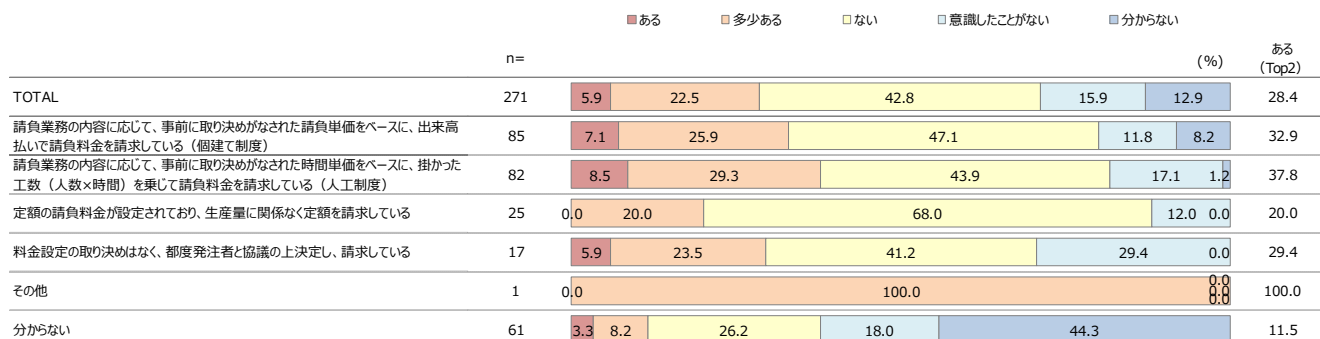
図表 IV-1-2⑬. 偽装請負への不安【請負業務の内容・範囲の明確化別】



(%)

	n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)
TOTAL	271	5.9	22.5	42.8	15.9	12.9	28.4
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	152	7.9	18.4	57.2	9.9	6.6	26.3
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	57	3.5	45.6	26.3	21.1	3.5	49.1
詳細には定めず、柔軟に対応している	32	6.3	15.6	31.3	37.5	9.4	21.9
分からない	30	0.0	6.7	13.3	13.3	66.7	6.7

図表 IV-1-2⑭. 偽装請負への不安【請負業務の料金設定・請求方法別】



※n=30未満は参考値

(%)

	n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (Top2)
TOTAL	271	5.9	22.5	42.8	15.9	12.9	28.4
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)	85	7.1	25.9	47.1	11.8	8.2	32.9
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)	82	8.5	29.3	43.9	17.1	1.2	37.8
定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	25	0.0	20.0	68.0	12.0	0.0	20.0
料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	17	5.9	23.5	41.2	29.4	0.0	29.4
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
分からない	61	3.3	8.2	26.2	18.0	44.3	11.5

【5】請負業務の料金設定・請求方法について(Q19)[図表⑮～⑰]

図表 IV-1-2⑮. 請負業務の料金設定・請求方法 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)
- 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	104	42.3	33.7	10.6	2.9	10.6
名前は知っているが内容は知らない	93	25.8	37.6	10.8	6.5	19.4
名前も内容も知らない	74	23.0	16.2	5.4	10.8	44.6

	n=	(%)				
		請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)	定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他/分からない
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	104	42.3	33.7	10.6	2.9	10.6
名前は知っているが内容は知らない	93	25.8	37.6	10.8	6.5	19.4
名前も内容も知らない	74	23.0	16.2	5.4	10.8	44.6

図表 IV-1-2⑥. 請負業務の料金設定・請求方法 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
- 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	97	39.2	39.2	11.3	3.1	7.2
名前は知っているが内容は知らない	99	30.3	35.4	6.1	7.1	21.2
名前も内容も知らない	75	22.7	12.0	10.7	9.3	45.3

	n=	(%)				
		請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他/分からない
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	97	39.2	39.2	11.3	3.1	7.2
名前は知っているが内容は知らない	99	30.3	35.4	6.1	7.1	21.2
名前も内容も知らない	75	22.7	12.0	10.7	9.3	45.3

図表 IV-1-2⑰. 請負業務の料金設定・請求方法 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
- 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他/分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	83	39.8	39.8	10.8	3.6	6.0
名前は知っているが内容は知らない	83	24.1	39.8	9.6	2.4	24.1
名前も内容も知らない	105	30.5	15.2	7.6	11.4	35.2

	n=	(%)				
		請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他/分からない
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	83	39.8	39.8	10.8	3.6	6.0
名前は知っているが内容は知らない	83	24.1	39.8	9.6	2.4	24.1
名前も内容も知らない	105	30.5	15.2	7.6	11.4	35.2



図表 IV-1-2⑱. 請負業務の料金設定・請求方法 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)
- 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他/分からない

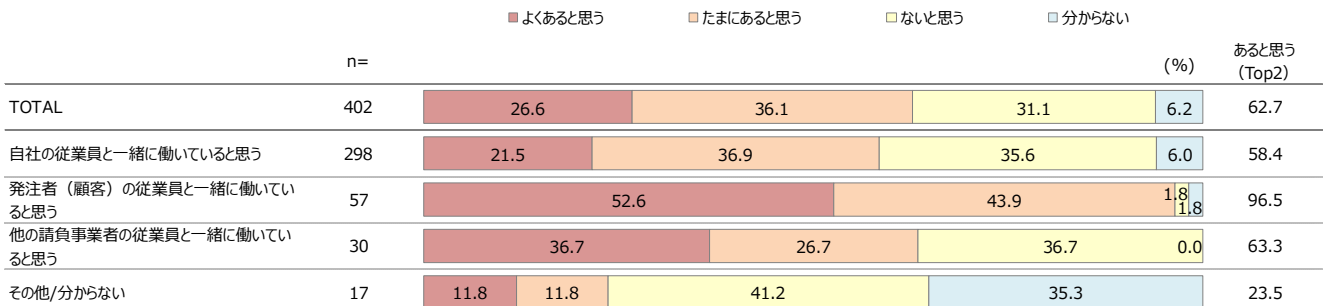
	n=	(%)				
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	72	44.4	41.7	6.9	2.8	4.2
名前は知っているが内容は知らない	78	24.4	37.2	14.1	1.3	23.1
名前も内容も知らない	121	28.1	19.0	7.4	11.6	33.9

	n=	(%)				
		請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)	定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他/分からない
TOTAL	271	31.4	30.3	9.2	6.3	22.9
名前も内容も知っている	72	44.4	41.7	6.9	2.8	4.2
名前は知っているが内容は知らない	78	24.4	37.2	14.1	1.3	23.1
名前も内容も知らない	121	28.1	19.0	7.4	11.6	33.9

### (3) 請負労働者

#### 【1】発注者からの業務についての指示について(Q11)[図表①]

図表 IV-1-3①. 発注者からの業務についての指示 【業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

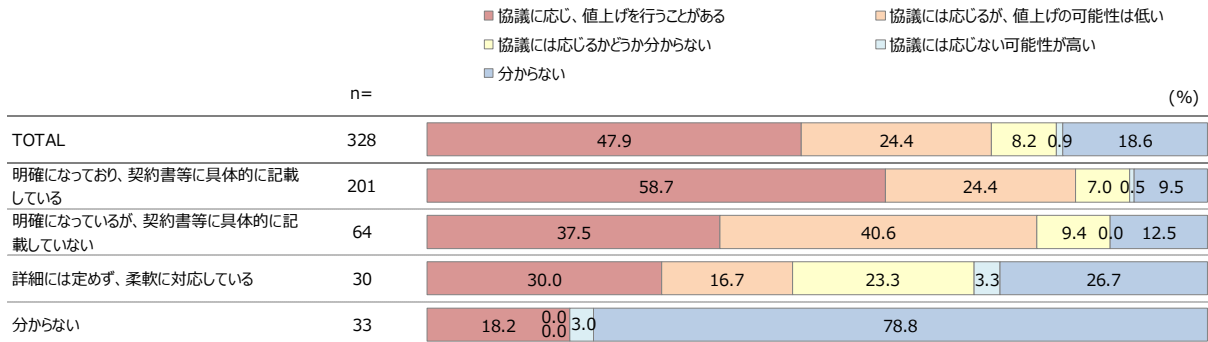
		(%)				
	n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (Top2)
TOTAL	402	26.6	36.1	31.1	6.2	62.7
自社の従業員と一緒に働いていると思う	298	21.5	36.9	35.6	6.0	58.4
発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	57	52.6	43.9	1.8	1.8	96.5
他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	30	36.7	26.7	36.7	0.0	63.3
その他/分からない	17	11.8	11.8	41.2	35.3	23.5

## 2. 価格交渉の成否

### (1) 発注者(委託元)

【1】委託料金の値上げの申し入れへの対応について(Q21)[図表①～⑥]

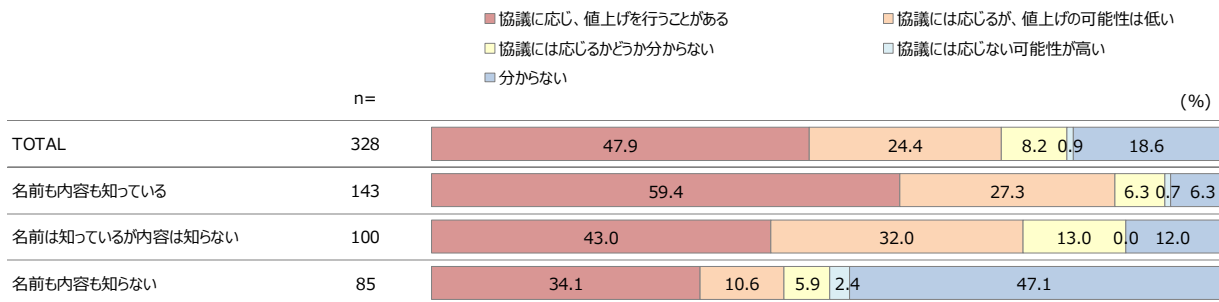
図表 IV-2-1①. 委託料金の値上げの申し入れへの対応 【委託業務の内容・範囲の明確化別】



	n	協議に応じ、値上げを行うことがある (%)	協議には応じるが、値上げの可能性は低い (%)	協議には応じることが分からない (%)	協議には応じない可能性が高い (%)	分からない (%)
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	201	58.7	24.4	7.0	0.5	9.5
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	64	37.5	40.6	9.4	0.0	12.5
詳細には定めず、柔軟に対応している	30	30.0	16.7	23.3	3.3	26.7
分からない	33	18.2	0.0	0.0	3.0	78.8

図表 IV-2-1②. 委託料金の値上げの申し入れへの対応 【適正な請負を行うための知識の認知別】

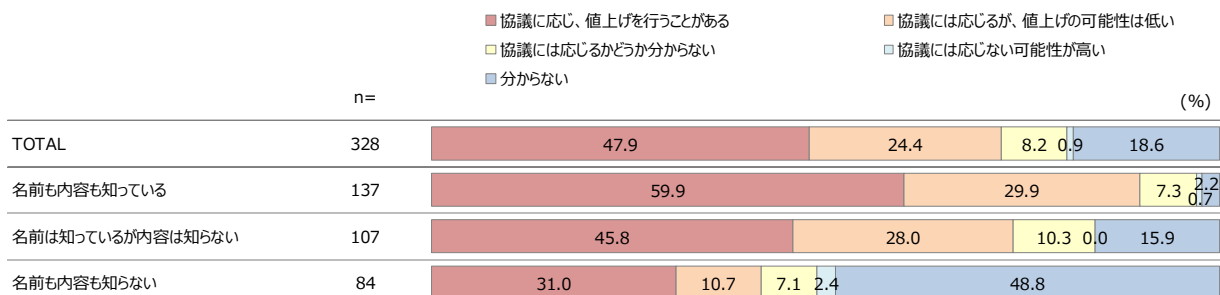
#### (1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)



	n	協議に応じ、値上げを行うことがある (%)	協議には応じるが、値上げの可能性は低い (%)	協議には応じることが分からない (%)	協議には応じない可能性が高い (%)	分からない (%)
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
名前も内容も知っている	143	59.4	27.3	6.3	0.7	6.3
名前は知っているが内容は知らない	100	43.0	32.0	13.0	0.0	12.0
名前も内容も知らない	85	34.1	10.6	5.9	2.4	47.1

図表 IV-2-1③. 委託料金の値上げの申し入れへの対応【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン

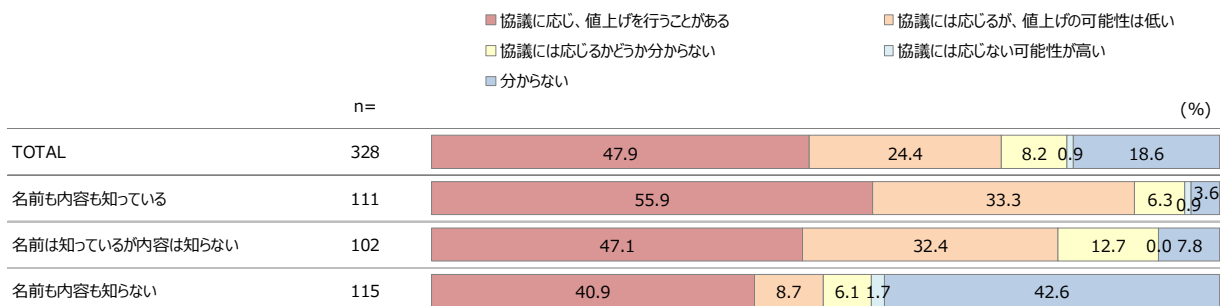


(%)

	n	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
名前も内容も知っている	137	59.9	29.9	7.3	0.7	2.2
名前は知っているが内容は知らない	107	45.8	28.0	10.3	0.0	15.9
名前も内容も知らない	84	31.0	10.7	7.1	2.4	48.8

図表 IV-2-1④. 委託料金の値上げの申し入れへの対応【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

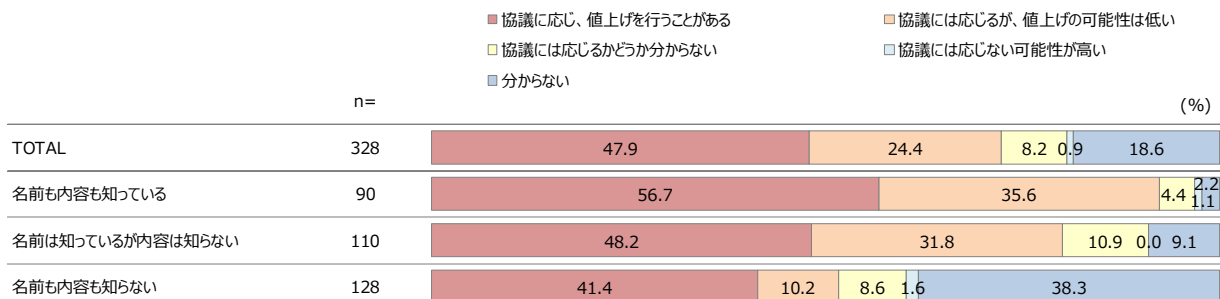


(%)

	n	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
名前も内容も知っている	111	55.9	33.3	6.3	0.9	3.6
名前は知っているが内容は知らない	102	47.1	32.4	12.7	0.0	7.8
名前も内容も知らない	115	40.9	8.7	6.1	1.7	42.6

図表 IV-2-1⑤. 委託料金の値上げの申し入れへの対応【適正な請負を行うための知識の認知別】

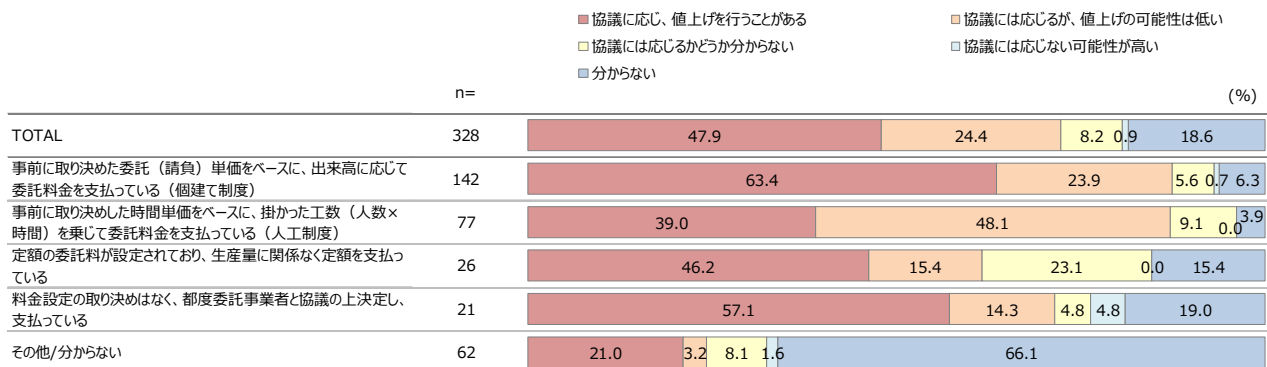
(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)



(%)

Category	n	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
名前も内容も知っている	90	56.7	35.6	4.4	1.1	2.2
名前は知っているが内容は知らない	110	48.2	31.8	10.9	0.0	9.1
名前も内容も知らない	128	41.4	10.2	8.6	1.6	38.3

図表 IV-2-1⑥. 委託料金の値上げの申し入れへの対応【委託料金の設定・支払い方法別】

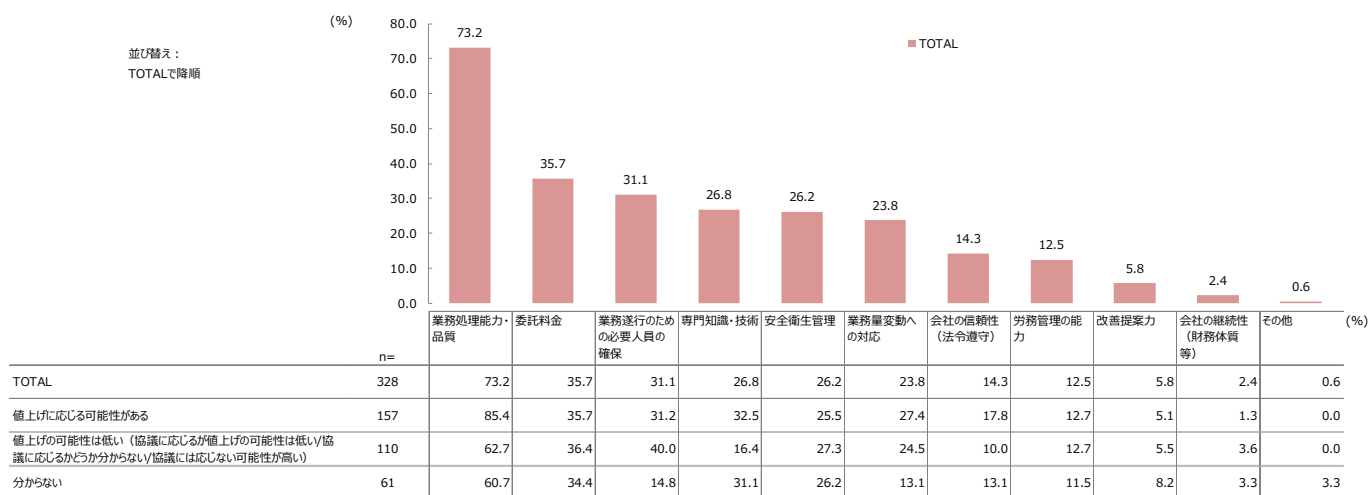


(%)

Category	n	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない
TOTAL	328	47.9	24.4	8.2	0.9	18.6
事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	142	63.4	23.9	5.6	0.7	6.3
事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	77	39.0	48.1	9.1	0.0	3.9
定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	26	46.2	15.4	23.1	0.0	15.4
料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	21	57.1	14.3	4.8	4.8	19.0
その他/分からない	62	21.0	3.2	8.1	1.6	66.1

【2】委託先に求める重視ポイントについて(Q23)[図表⑦]

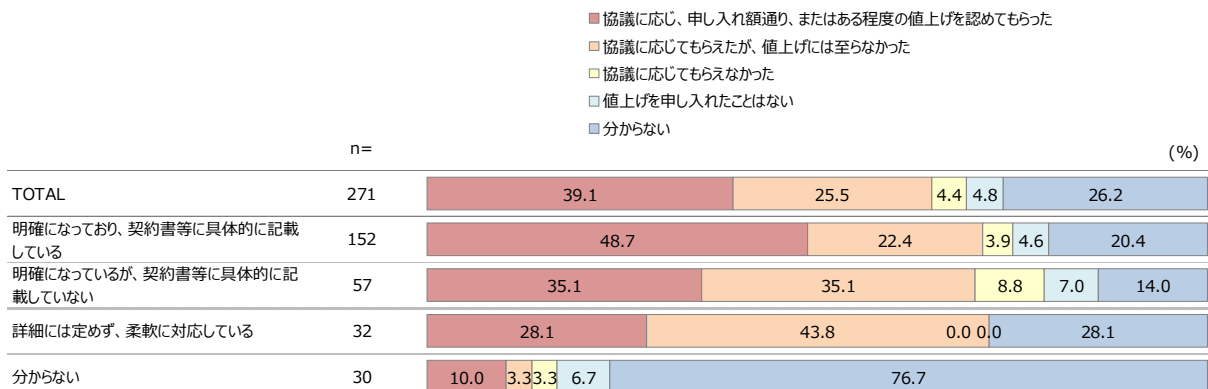
図表 IV-2-1⑦. 委託先に求める重視ポイント（複数回答）【委託料金の値上げの申し入れへの対応別】



## (2) 受託者(請負事業者)

### 【1】請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応について(Q21)[図表①～⑥]

図表 IV-2-2①. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 【請負業務の内容・範囲の明確化別】



(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	152	48.7	22.4	3.9	4.6	20.4
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	57	35.1	35.1	8.8	7.0	14.0
詳細には定めず、柔軟に対応している	32	28.1	43.8	0.0	0.0	28.1
分からない	30	10.0	3.3	3.3	6.7	76.7

図表 IV-2-2②. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応【適正な請負を行うための知識の認知別】

(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (告示 37 号)

- 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
- 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
- 協議に応じてもらえなかった
- 値上げを申し入れたことはない
- 分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	104	51.9	27.9	1.9	3.8	14.4
名前は知っているが内容は知らない	93	34.4	33.3	6.5	2.2	23.7
名前も内容も知らない	74	27.0	12.2	5.4	9.5	45.9

(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	104	51.9	27.9	1.9	3.8	14.4
名前は知っているが内容は知らない	93	34.4	33.3	6.5	2.2	23.7
名前も内容も知らない	74	27.0	12.2	5.4	9.5	45.9

図表 IV-2-2③. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応【適正な請負を行うための知識の認知別】

(2) 製造請負ガイドライン

- 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
- 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
- 協議に応じてもらえなかった
- 値上げを申し入れたことはない
- 分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	97	56.7	26.8	3.1	3.1	10.3
名前は知っているが内容は知らない	99	34.3	32.3	6.1	4.0	23.2
名前も内容も知らない	75	22.7	14.7	4.0	8.0	50.7

(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	97	56.7	26.8	3.1	3.1	10.3
名前は知っているが内容は知らない	99	34.3	32.3	6.1	4.0	23.2
名前も内容も知らない	75	22.7	14.7	4.0	8.0	50.7



図表 IV-2-2④. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(3) 労働契約申込みみなし制度

- 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
- 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
- 協議に応じてもらえなかった
- 値上げを申し入れたことはない
- 分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	83	55.4	30.1	4.8	3.6	6.0
名前は知っているが内容は知らない	83	33.7	27.7	4.8	6.0	27.7
名前も内容も知らない	105	30.5	20.0	3.8	4.8	41.0

(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	83	55.4	30.1	4.8	3.6	6.0
名前は知っているが内容は知らない	83	33.7	27.7	4.8	6.0	27.7
名前も内容も知らない	105	30.5	20.0	3.8	4.8	41.0

図表 IV-2-2⑤. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 【適正な請負を行うための知識の認知別】

(4) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ 認定制度)

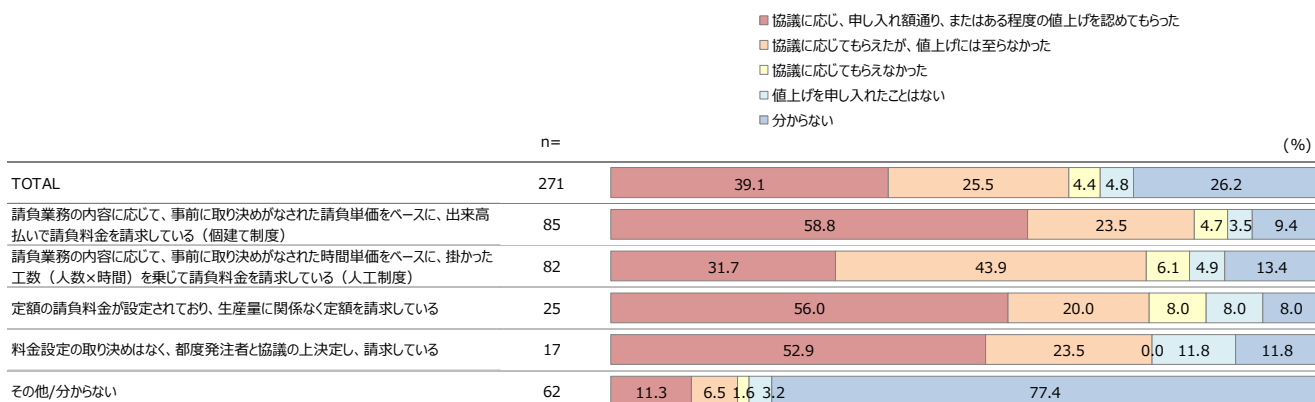
- 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
- 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
- 協議に応じてもらえなかった
- 値上げを申し入れたことはない
- 分からない

	n=	(%)				
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	72	58.3	31.9	2.8	1.4	5.6
名前は知っているが内容は知らない	78	35.9	25.6	7.7	6.4	24.4
名前も内容も知らない	121	29.8	21.5	3.3	5.8	39.7

(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
名前も内容も知っている	72	58.3	31.9	2.8	1.4	5.6
名前は知っているが内容は知らない	78	35.9	25.6	7.7	6.4	24.4
名前も内容も知らない	121	29.8	21.5	3.3	5.8	39.7

図表 IV-2-2⑥. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 【請負業務の料金設定・請求方法別】



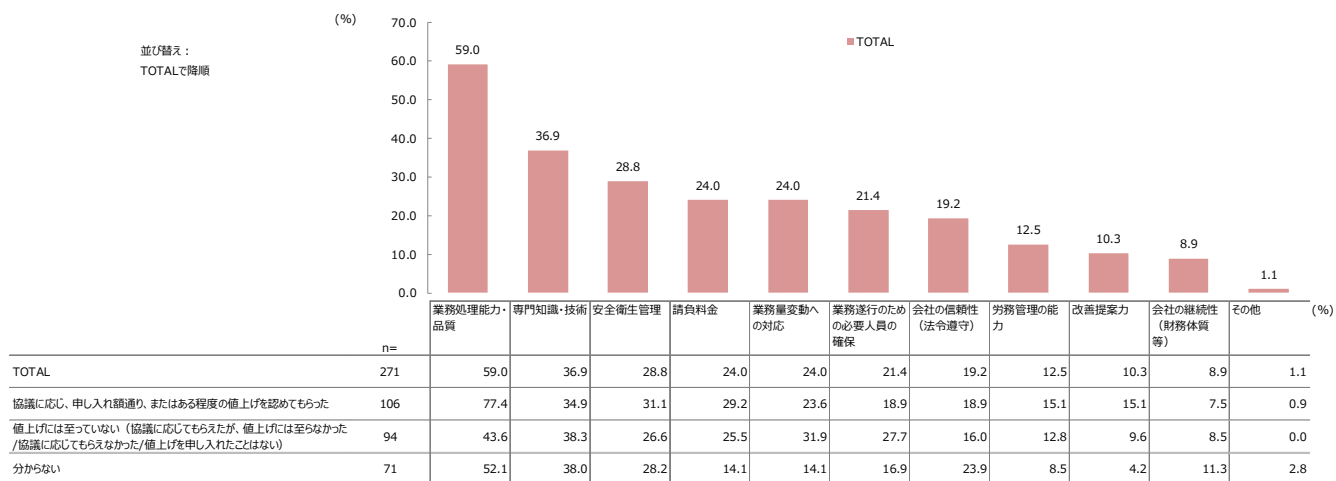
※n=30未満は参考値

(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない
TOTAL	271	39.1	25.5	4.4	4.8	26.2
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	85	58.8	23.5	4.7	3.5	9.4
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	82	31.7	43.9	6.1	4.9	13.4
定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	25	56.0	20.0	8.0	8.0	8.0
料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	17	52.9	23.5	0.0	11.8	11.8
その他/分からない	62	11.3	6.5	1.6	3.2	77.4

【2】受注のためのアピールポイントについて(Q22)[図表⑦]

図表 IV-2-2⑦. 受注のためのアピールポイント 【請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応別】

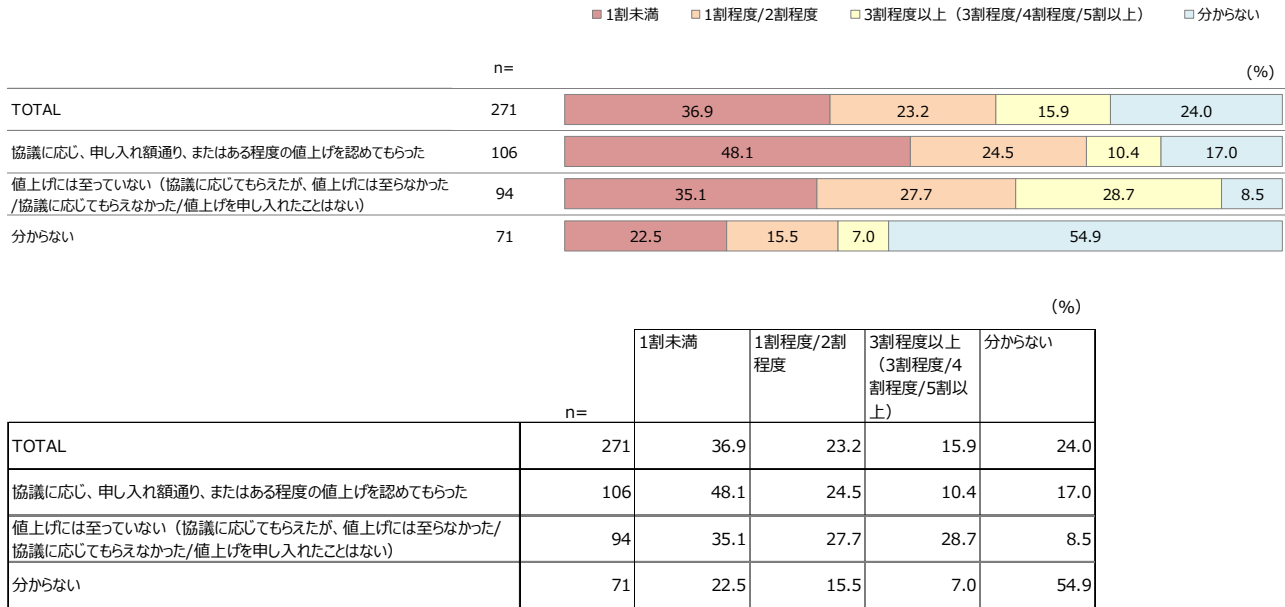


### 3. 労働者の定着

#### (1) 受託者(請負事業者)

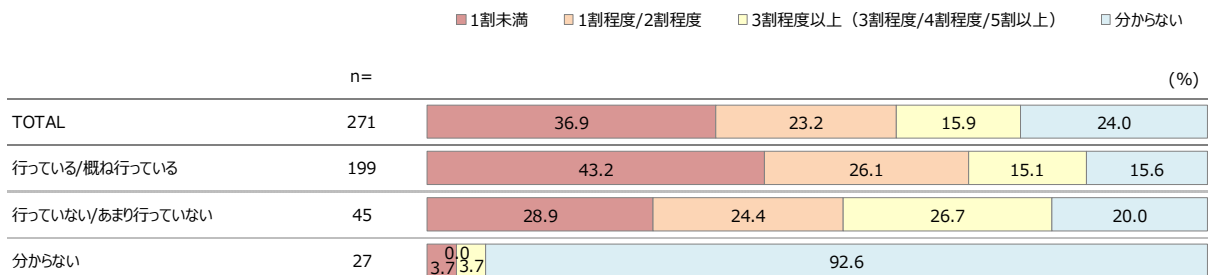
【1】請負業務の従業員の1年以内の離職状況について(Q24)[図表①～⑧]

図表 IV-3-1①. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応別】



図表 IV-3-1②. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

#### (1) 人材の育成(教育訓練)の実施

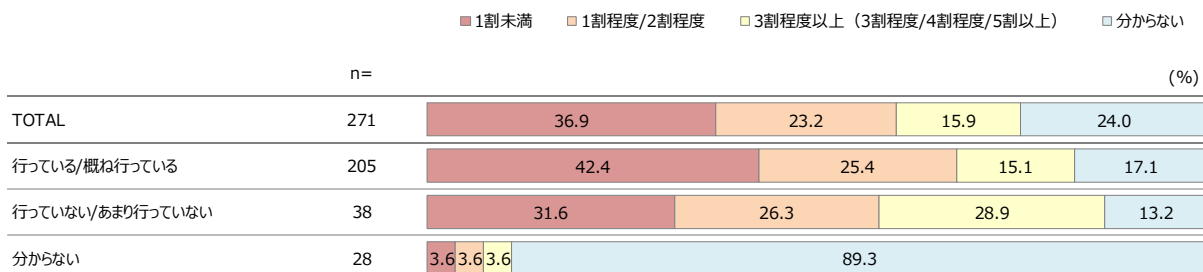


※n=30未満は参考値

	n=	1割未満 (%)	1割程度/2割程度 (%)	3割程度以上 (3割程度/4割程度/5割以上) (%)	分からない (%)
TOTAL	271	36.9	23.2	15.9	24.0
行っている/概ね行っている	199	43.2	26.1	15.1	15.6
行っていない/あまり行っていない	45	28.9	24.4	26.7	20.0
分からない	27	3.7	0.0	3.7	92.6

図表 IV-3-1③. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

(2) 必要な職務知識、資格等の明示

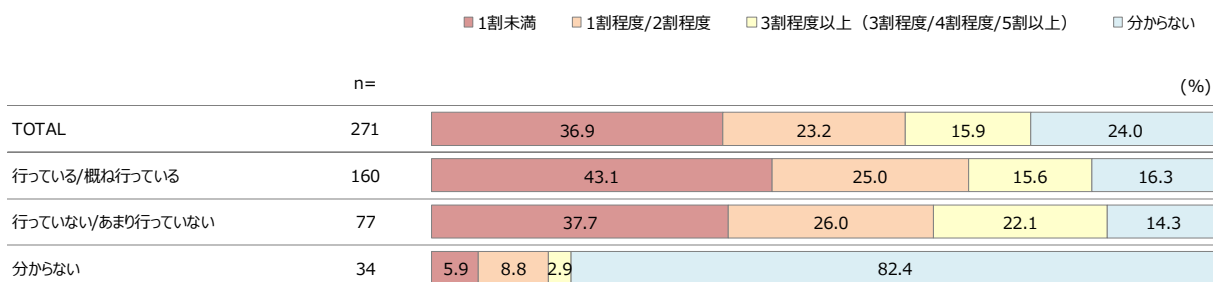


※n=30未満は参考値

		n= (%)			
		1割未満	1割程度/2割程度	3割程度以上 (3割程度/4割程度/5割以上)	分からない
TOTAL	271	36.9	23.2	15.9	24.0
行っている/概ね行っている	205	42.4	25.4	15.1	17.1
行っていない/あまり行っていない	38	31.6	26.3	28.9	13.2
分からない	28	3.6	3.6	3.6	89.3

図表 IV-3-1④. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

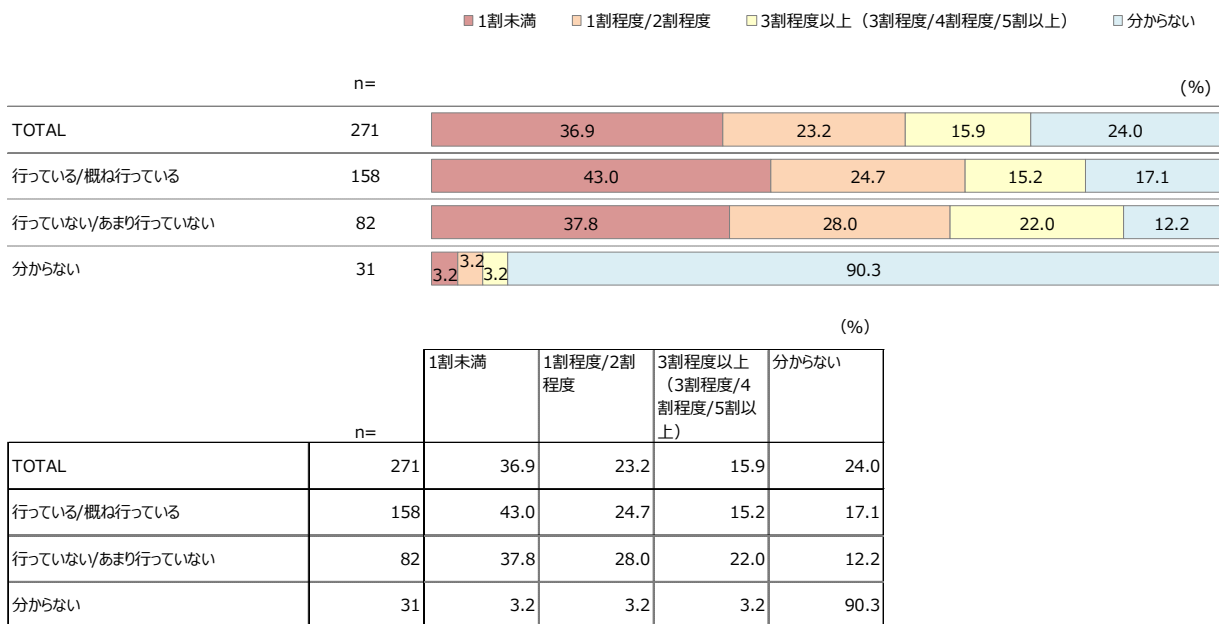
(3) リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示



		n= (%)			
		1割未満	1割程度/2割程度	3割程度以上 (3割程度/4割程度/5割以上)	分からない
TOTAL	271	36.9	23.2	15.9	24.0
行っている/概ね行っている	160	43.1	25.0	15.6	16.3
行っていない/あまり行っていない	77	37.7	26.0	22.1	14.3
分からない	34	5.9	8.8	2.9	82.4

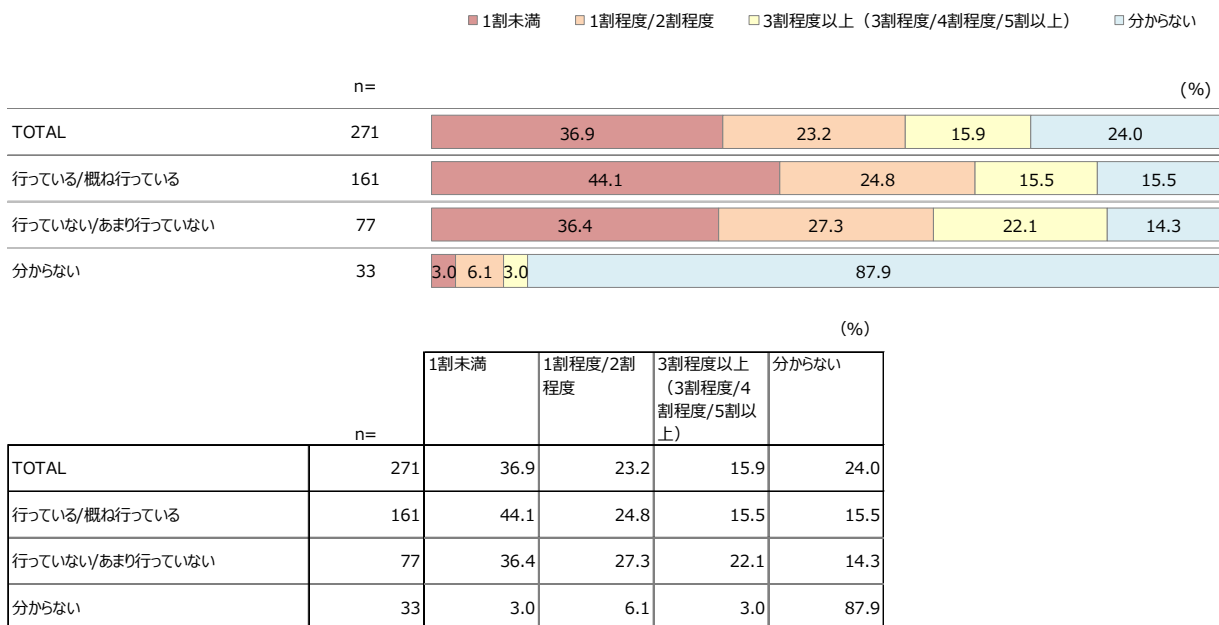
図表 IV-3-1⑤. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

(4) 定期的な面談による本人の希望の聴取

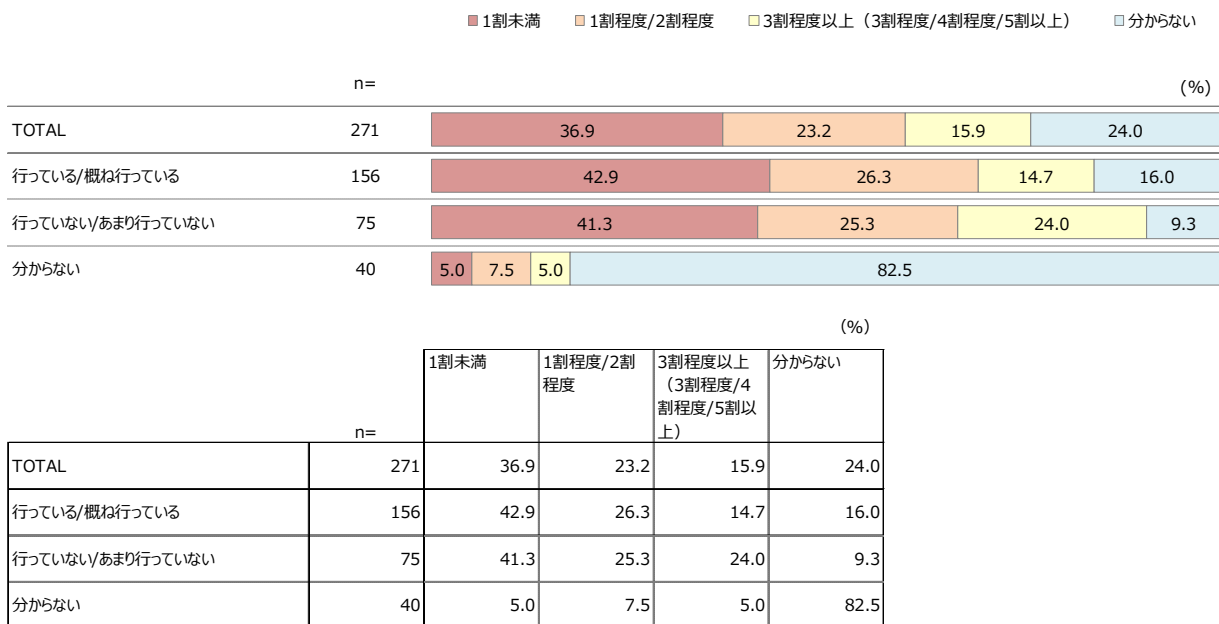


図表 IV-3-1⑥. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

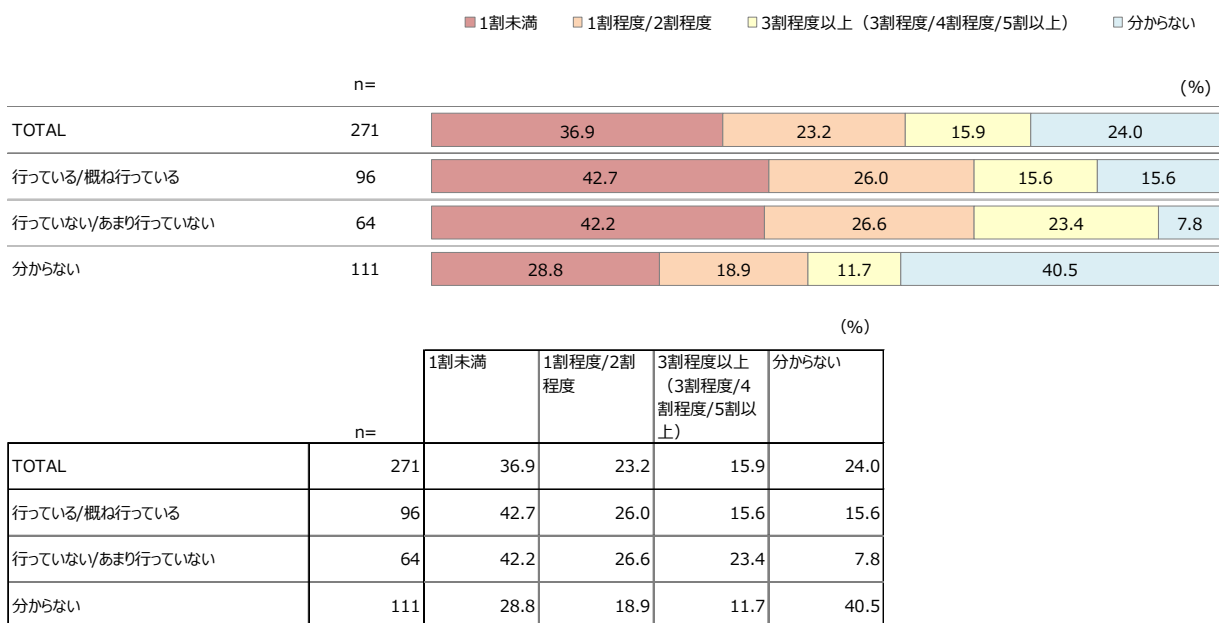
(5) 業務や能力評価の賃金への反映



図表 IV-3-1⑦. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】  
(6) 福利厚生面の充実



図表 IV-3-1⑧. 請負業務の従業員の1年以内の離職状況【請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】  
(7) その他

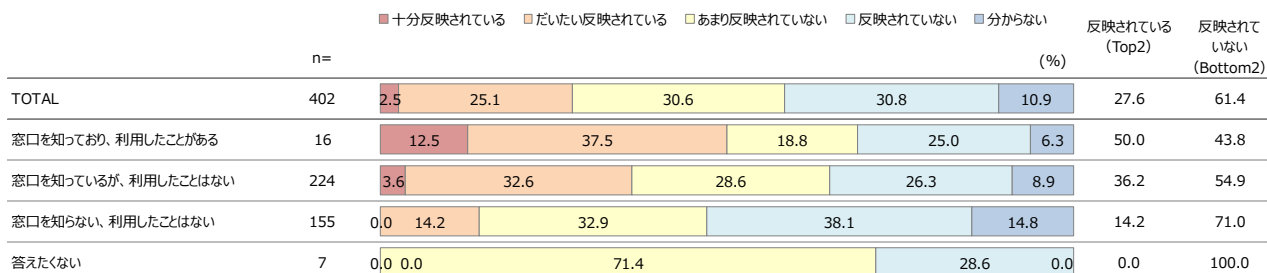


## (2) 請負労働者

### 【1】仕事上の貢献の処遇への反映について(Q22)[図表①～④]

図表 IV-3-2①. 仕事上の貢献の処遇への反映

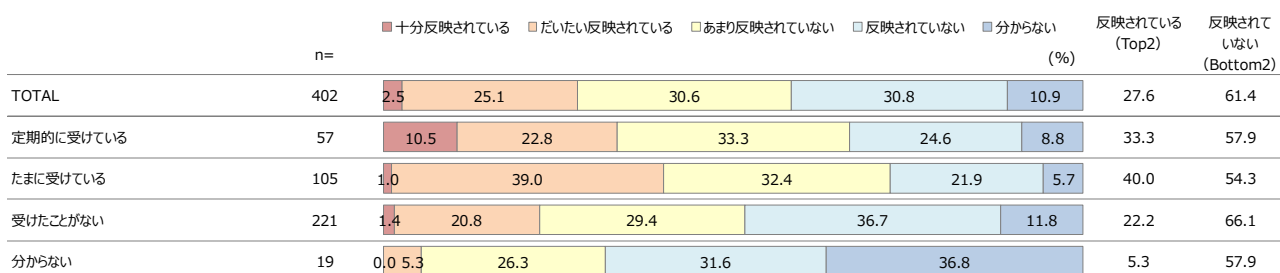
【内部通報窓口・相談窓口の認知・利用状況 (2)苦情や相談ごと等の相談窓口別】



※n=30未満は参考値

		(%)						
n=		十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
窓口を知っており、利用したことがある	16	12.5	37.5	18.8	25.0	6.3	50.0	43.8
窓口を知っているが、利用したことはない	224	3.6	32.6	28.6	26.3	8.9	36.2	54.9
窓口を知らない、利用したことはない	155	0.0	14.2	32.9	38.1	14.8	14.2	71.0
答えたくない	7	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	100.0

図表 IV-3-2②. 仕事上の貢献の処遇への反映 【キャリア面談を受けた経験別】

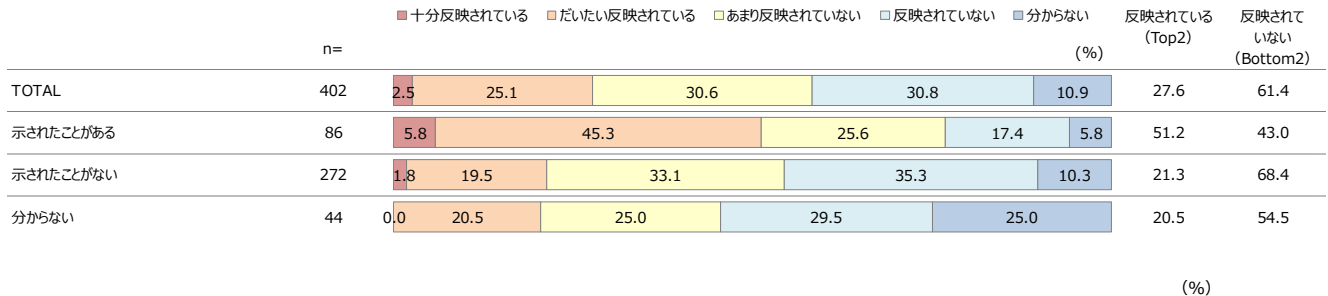


※n=30未満は参考値

		(%)						
n=		十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
定期的を受けている	57	10.5	22.8	33.3	24.6	8.8	33.3	57.9
たまに受けている	105	1.0	39.0	32.4	21.9	5.7	40.0	54.3
受けたことがない	221	1.4	20.8	29.4	36.7	11.8	22.2	66.1
分からない	19	0.0	5.3	26.3	31.6	36.8	5.3	57.9

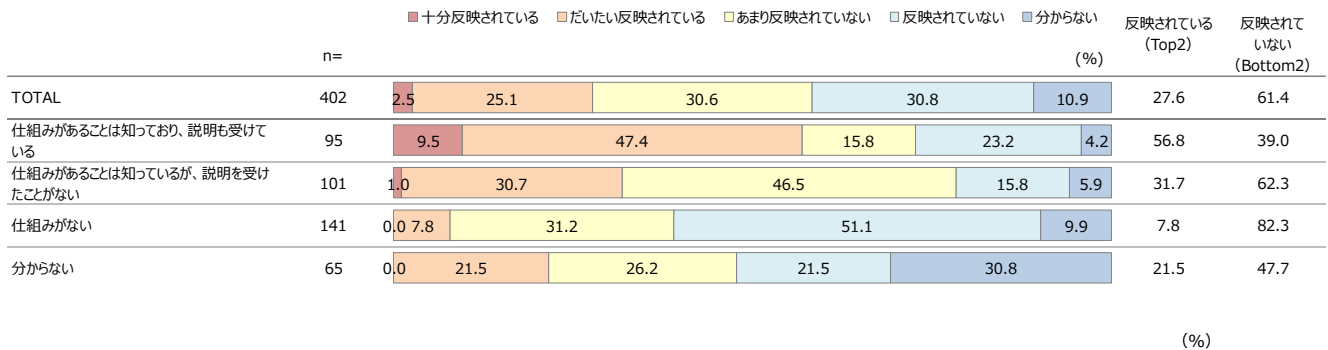


図表 IV-3-2③. 仕事上の貢献の処遇への反映 【キャリアパスの提示別】



	n=	十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
示されたことがある	86	5.8	45.3	25.6	17.4	5.8	51.2	43.0
示されたことがない	272	1.8	19.5	33.1	35.3	10.3	21.3	68.4
分からない	44	0.0	20.5	25.0	29.5	25.0	20.5	54.5

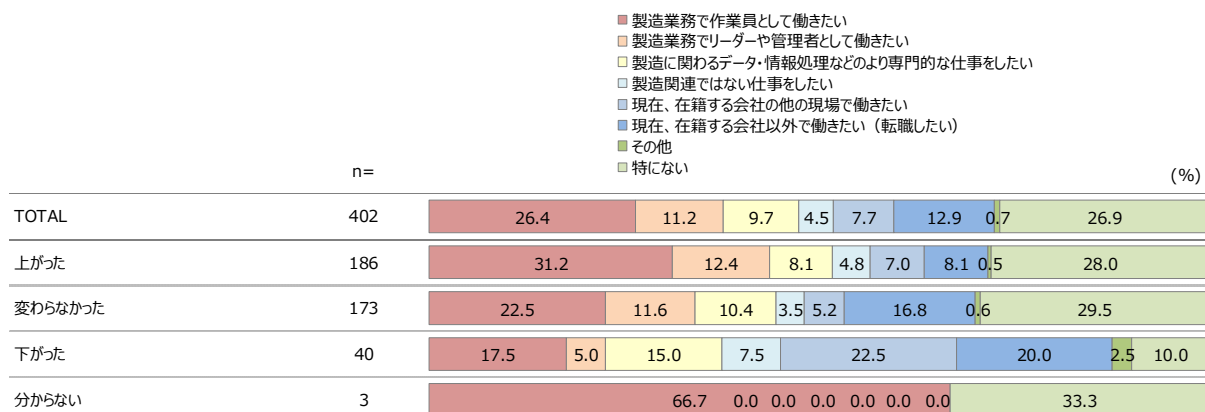
図表 IV-3-2④. 仕事上の貢献の処遇への反映 【評価の仕組みの有無・説明状況別】



	n=	十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
仕組みがあることは知っており、説明も受けている	95	9.5	47.4	15.8	23.2	4.2	56.8	39.0
仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	101	1.0	30.7	46.5	15.8	5.9	31.7	62.3
仕組みがない	141	0.0	7.8	31.2	51.1	9.9	7.8	82.3
分からない	65	0.0	21.5	26.2	21.5	30.8	21.5	47.7

【2】今後(1~2年)の仕事や働き方に関する希望について(Q23)[図表⑤~⑨]

図表 IV-3-2⑤. 今後(1~2年)の仕事や働き方に関する希望【給与の単価の変化別】

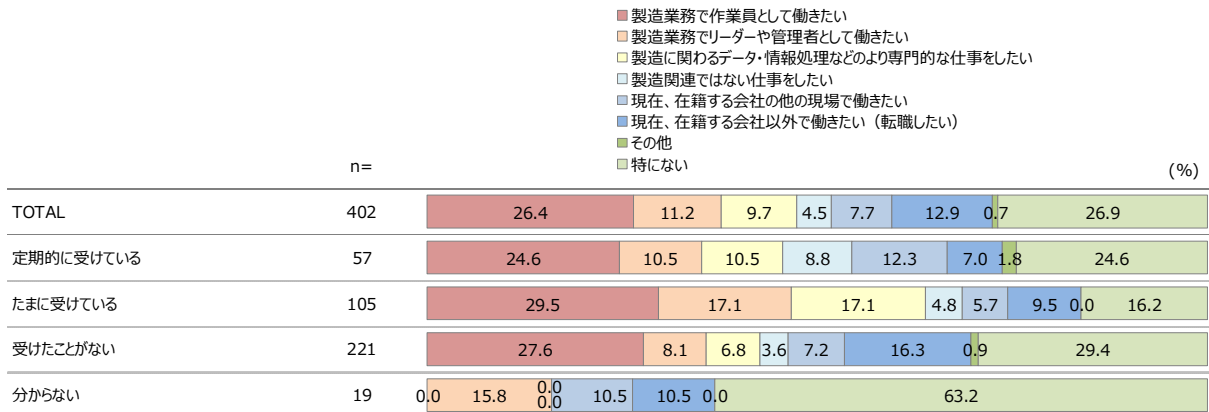


※n=30未満は参考値

(%)

	n=	製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい(転職したい)	その他	特にない
TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
上がった	186	31.2	12.4	8.1	4.8	7.0	8.1	0.5	28.0
変わらなかった	173	22.5	11.6	10.4	3.5	5.2	16.8	0.6	29.5
下がった	40	17.5	5.0	15.0	7.5	22.5	20.0	2.5	10.0
分からない	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

図表 IV-3-2⑥. 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望【キャリア面談を受けた経験別】

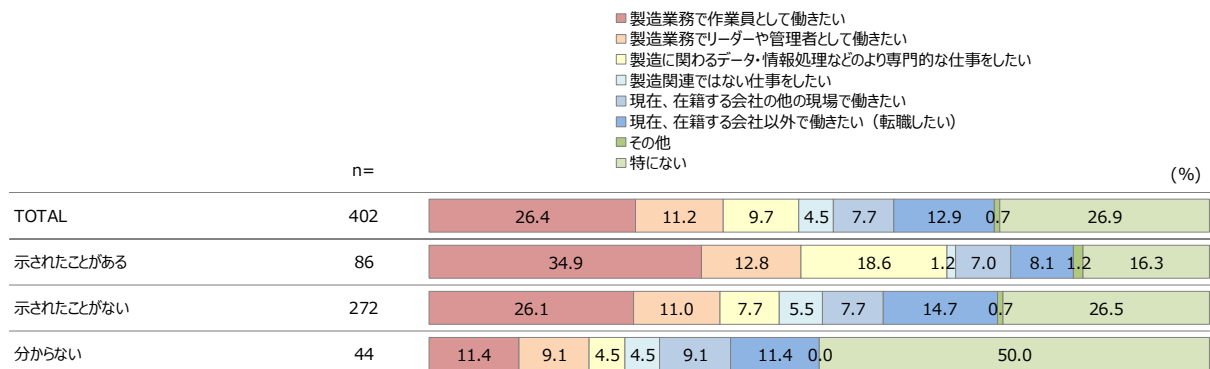


※n=30未満は参考値

(%)

	n=	製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）	その他	特にな
TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
定期的に受けている	57	24.6	10.5	10.5	8.8	12.3	7.0	1.8	24.6
たまに受けている	105	29.5	17.1	17.1	4.8	5.7	9.5	0.0	16.2
受けたことがない	221	27.6	8.1	6.8	3.6	7.2	16.3	0.9	29.4
分からない	19	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	10.5	0.0	63.2

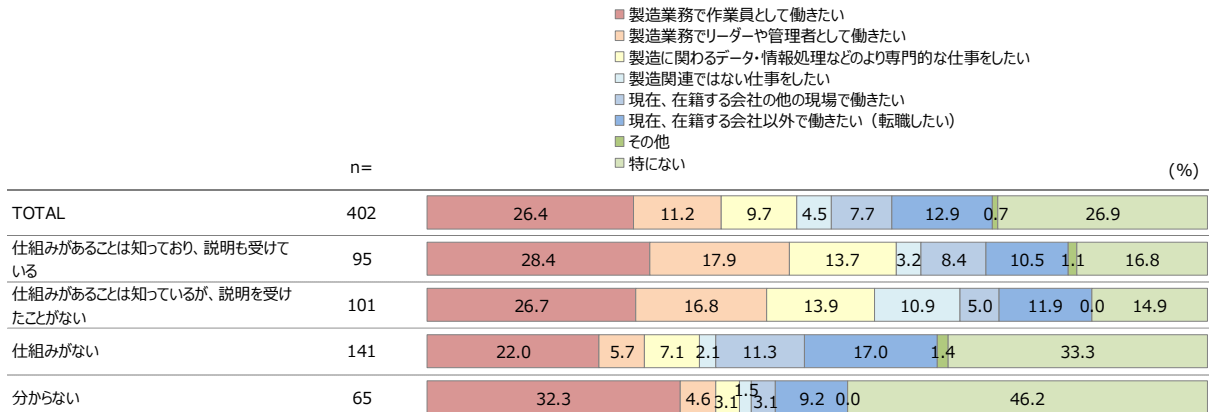
図表 IV-3-2⑦. 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望【キャリアパスの提示別】



(%)

	n=	製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）	その他	特にない
TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
示されたことがある	86	34.9	12.8	18.6	1.2	7.0	8.1	1.2	16.3
示されたことがない	272	26.1	11.0	7.7	5.5	7.7	14.7	0.7	26.5
分からない	44	11.4	9.1	4.5	4.5	9.1	11.4	0.0	50.0

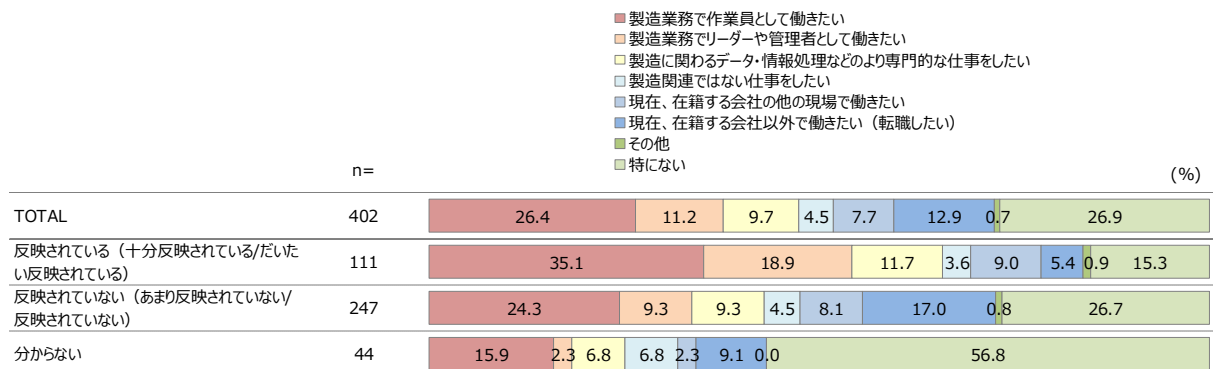
図表 IV-3-2⑧. 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望【評価の仕組みの有無・説明状況別】



(%)

	n=	製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）	その他	特にない
TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
仕組みがあることは知っており、説明も受けている	95	28.4	17.9	13.7	3.2	8.4	10.5	1.1	16.8
仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	101	26.7	16.8	13.9	10.9	5.0	11.9	0.0	14.9
仕組みがない	141	22.0	5.7	7.1	2.1	11.3	17.0	1.4	33.3
分からない	65	32.3	4.6	3.1	1.5	3.1	9.2	0.0	46.2

図表 IV-3-2⑨. 今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望【仕事上の貢献の処遇への反映別】



(%)

	n=	製造業務で作業員として働きたい	製造業務でリーダーや管理者として働きたい	製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい	製造関連ではない仕事をしたい	現在、在籍する会社の他の現場で働きたい	現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）	その他	特にない
TOTAL	402	26.4	11.2	9.7	4.5	7.7	12.9	0.7	26.9
反映されている（十分反映されている/だいたい反映されている）	111	35.1	18.9	11.7	3.6	9.0	5.4	0.9	15.3
反映されていない（あまり反映されていない/反映されていない）	247	24.3	9.3	9.3	4.5	8.1	17.0	0.8	26.7
分からない	44	15.9	2.3	6.8	6.8	2.3	9.1	0.0	56.8

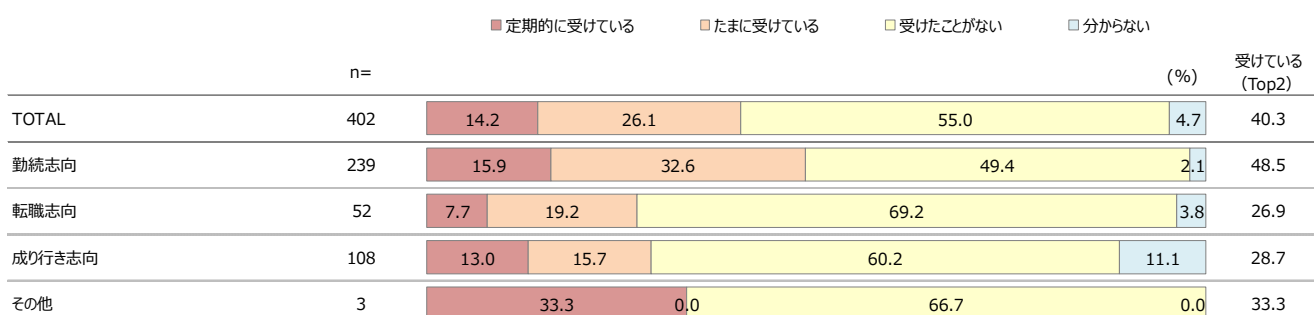
【3】キャリア面談を受けた経験について(Q19)[図表⑩]

※補足説明※

以下、請負労働者調査票の Q23『今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望』について、回答選択肢と各志向の関係を次のとおりとした。

- 【勤続志向】
  - 「1.製造業務で作業員として働きたい」
  - 「2.製造業務でリーダーや管理者として働きたい」
  - 「3.製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい」
  - 「4.製造関連ではない仕事をしたい」
  - 「5.現在、在籍する会社の他の現場で働きたい」
- 【転職志向】 ← 「6.現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）」
- 【成り行き志向】 ← 「8.特にない」

図表 IV-3-2⑩. キャリア面談を受けた経験 【今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別】

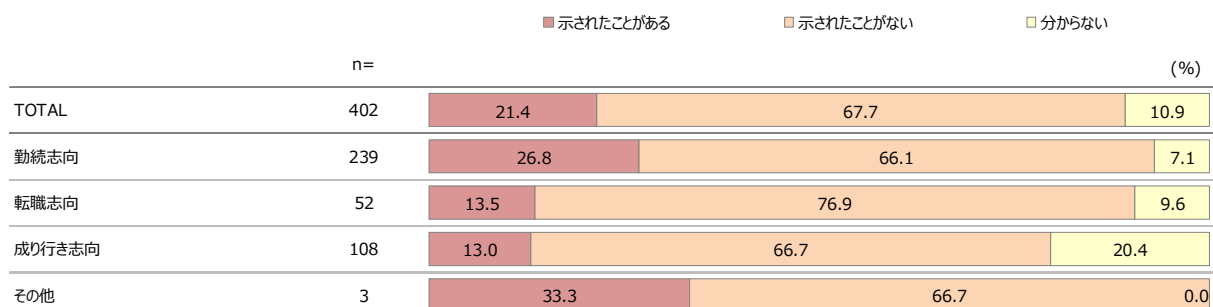


※n=30未満は参考値

	n=	(%)				受けている (Top2) (%)
		定期的を受けている	たまに受けている	受けたことがない	分からない	
TOTAL	402	14.2	26.1	55.0	4.7	40.3
勤続志向	239	15.9	32.6	49.4	2.1	48.5
転職志向	52	7.7	19.2	69.2	3.8	26.9
成り行き志向	108	13.0	15.7	60.2	11.1	28.7
その他	3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3

【4】キャリアパスの提示について(Q20)[図表⑩]

図表 IV-3-2⑩. キャリアパスの提示【今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別】



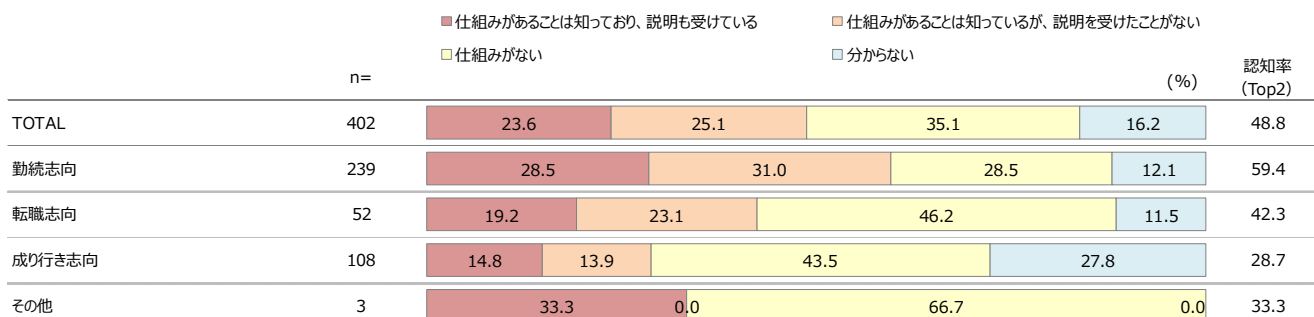
※n=30未満は参考値

	n=	(%)		
		示されたことがある	示されたことがない	分からない
TOTAL	402	21.4	67.7	10.9
勤続志向	239	26.8	66.1	7.1
転職志向	52	13.5	76.9	9.6
成り行き志向	108	13.0	66.7	20.4
その他	3	33.3	66.7	0.0



【5】評価の仕組みの有無・説明状況について(Q21)[図表⑫]

図表 IV-3-2⑫. 評価の仕組みの有無・説明状況【今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別】

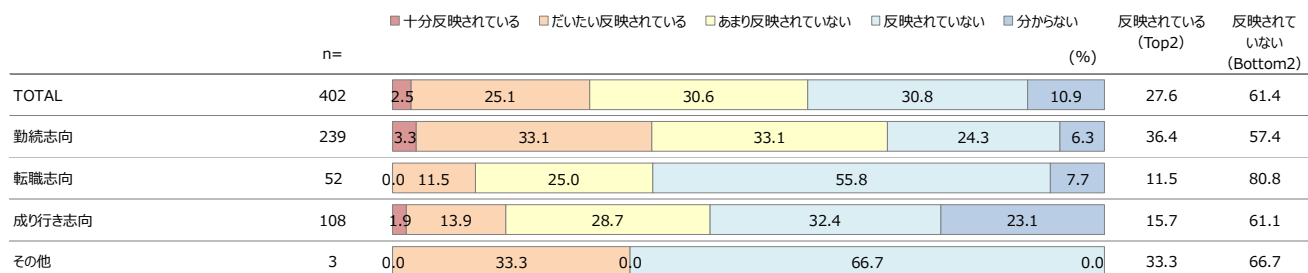


※n=30未満は参考値

	n=	(%)				認知率 (Top2)
		仕組みがあることは知っており、説明も受けている	仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	仕組みがない	分からない	
TOTAL	402	23.6	25.1	35.1	16.2	48.8
勤続志向	239	28.5	31.0	28.5	12.1	59.4
転職志向	52	19.2	23.1	46.2	11.5	42.3
成り行き志向	108	14.8	13.9	43.5	27.8	28.7
その他	3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3

【6】仕事上の貢献の処遇への反映について(Q22)[図表⑬]

図表 IV-3-2⑬. 仕事上の貢献の処遇への反映【今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望の志向別】



※n=30未満は参考値

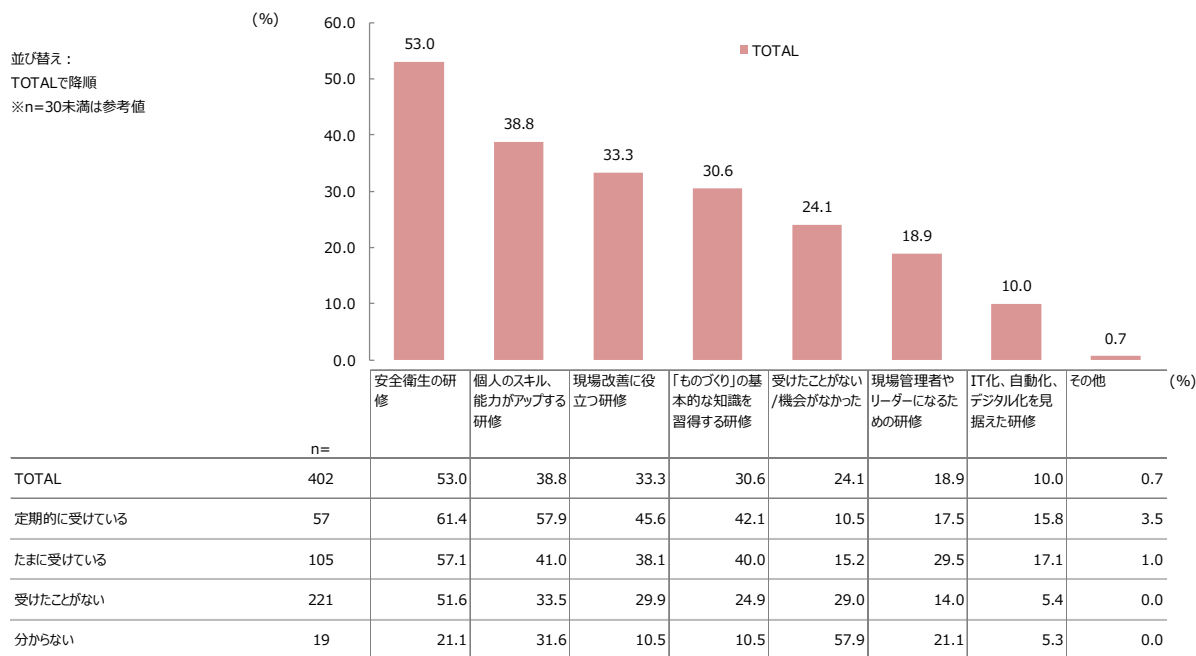
		(%)						
	n=	十分反映されている	だいたい反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	分からない	反映されている (Top2)	反映されていない (Bottom2)
TOTAL	402	2.5	25.1	30.6	30.8	10.9	27.6	61.4
勤続志向	239	3.3	33.1	33.1	24.3	6.3	36.4	57.4
転職志向	52	0.0	11.5	25.0	55.8	7.7	11.5	80.8
成り行き志向	108	1.9	13.9	28.7	32.4	23.1	15.7	61.1
その他	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7

## 4. 教育研修の取組み

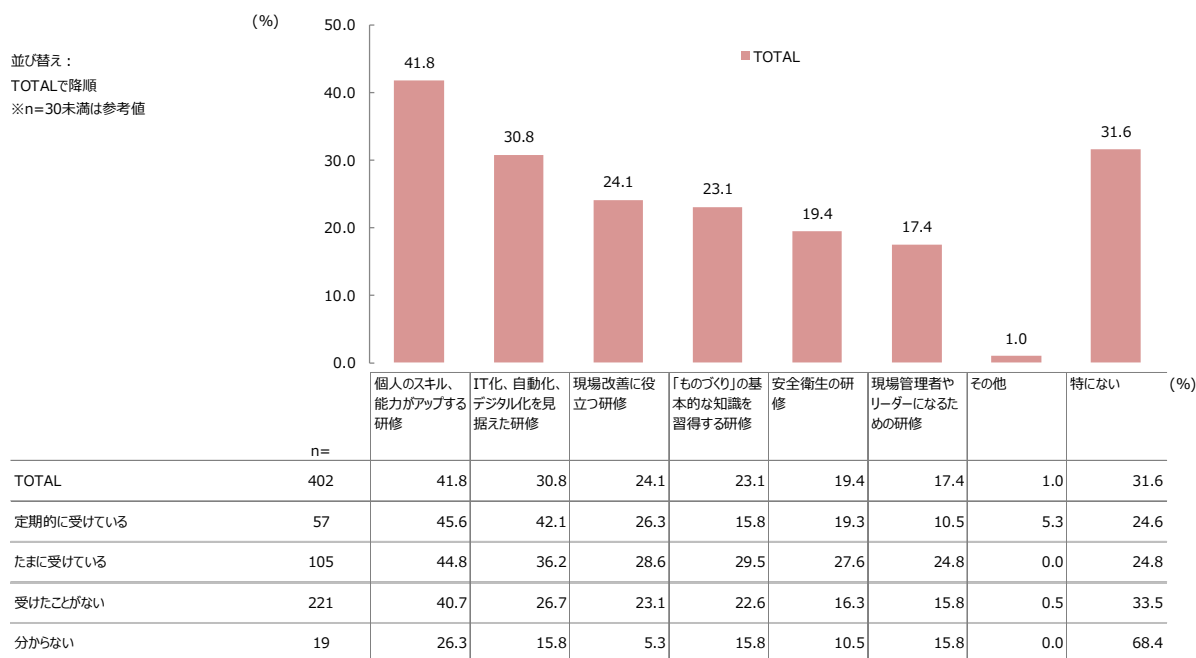
### (1) 請負労働者

【1】教育・研修を受けた経験(Q16)[図表①③]/今後受けたい教育・研修(Q17)[図表②④]について

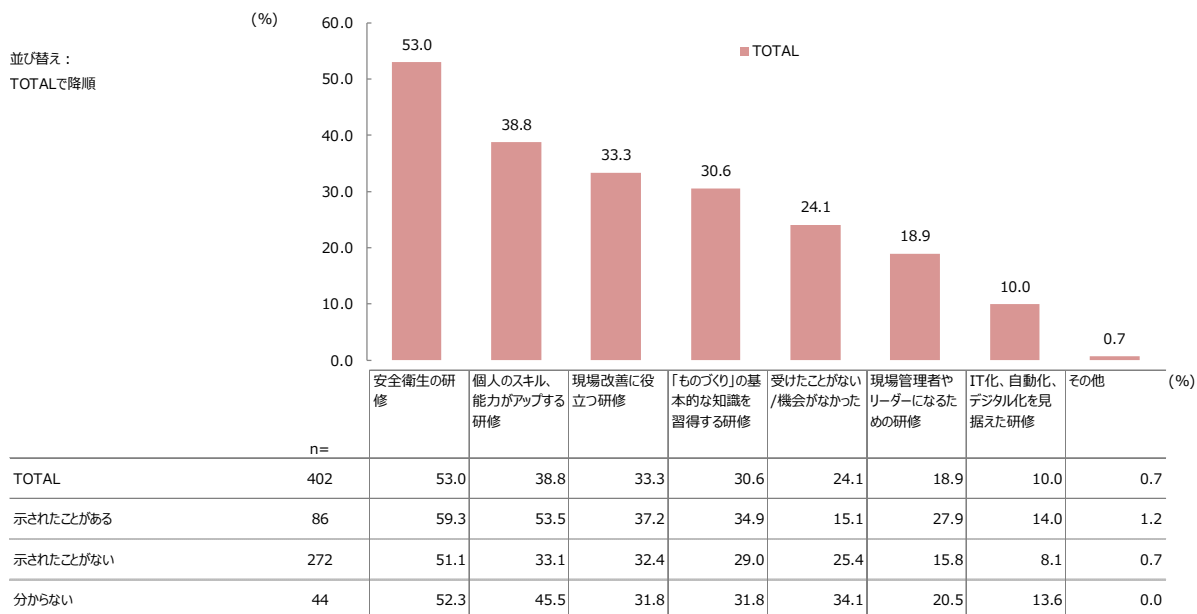
図表 IV-4-1①. 教育・研修を受けた経験（複数回答）【キャリア面談を受けた経験別】



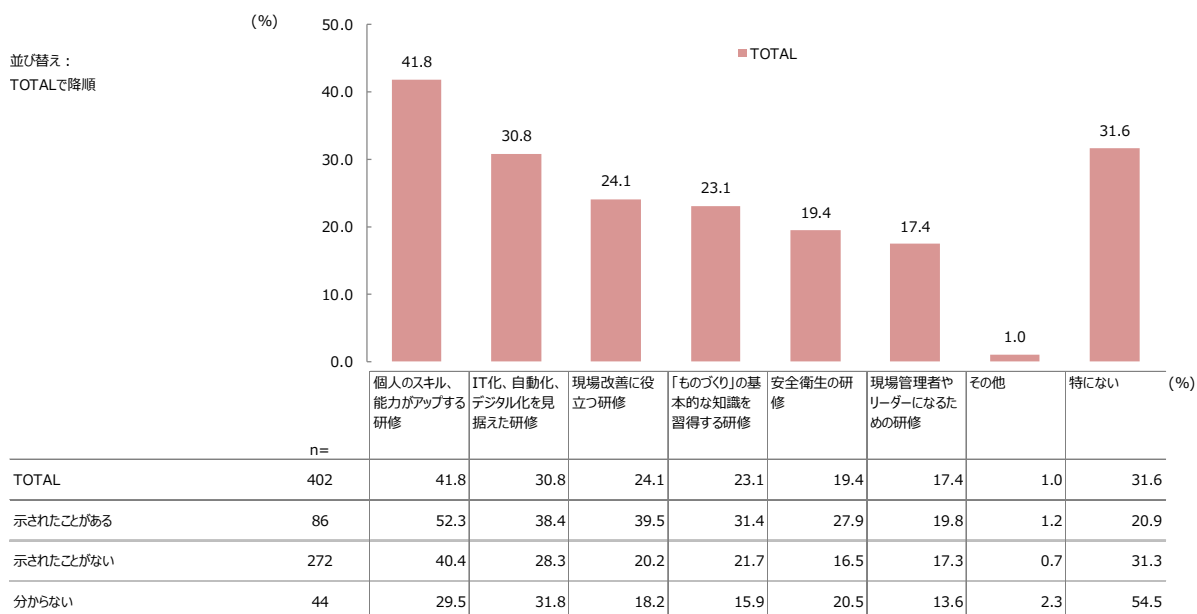
図表 IV-4-1②. 今後受けたい教育・研修（複数回答）【キャリア面談を受けた経験別】



図表 IV-4-1③. 教育・研修を受けた経験（複数回答）【キャリアパスの提示別】



図表 IV-4-1④. 今後受けたい教育・研修（複数回答）【キャリアパスの提示別】



## (参考) 調査票

# 1. スクリーニング票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。 <hr/> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 男性</li><li>2. 女性</li></ol>
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。 <hr/> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <input type="text"/> 歳</li></ol>
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの職業をお答えください。 <hr/> ※複数の職業にあてはまる方は、主に業務を行っている職業を1つお選びください。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 会社員（正社員・正職員）</li><li>2. 会社員（契約・嘱託）</li><li>3. 会社員（派遣）</li><li>4. 会社員（臨時・その他）</li><li>5. 経営者・会社役員</li><li>6. 医師・弁護士・公認会計士</li><li>7. 公務員・団体職員</li><li>8. 農林漁業</li><li>9. 自営業（SOHOを含む）</li><li>10. 学生（高校、高専、専門学校、短期大学、大学、大学院）</li><li>11. 受験浪人（予備校生、自宅浪人等）</li><li>12. 専業主婦／主夫</li><li>13. パート・アルバイト</li><li>14. 無職</li><li>15. その他</li></ol>
回答者条件 : Q3の選択肢『1.会社員（正社員・...』～『5.経営者・会社役員』、『13.パート・アルバイト』の中でいずれかを選択した 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの役職をお答えください。 <hr/> ※複数の役職にあてはまる方は、主に業務を行っている役職を1つお選びください。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 一般クラス（正社員）</li><li>2. 一般クラス（契約社員、派遣、パート・アルバイト、臨時等）</li><li>3. 主任クラス（リーダー等）</li><li>4. 係長クラス</li><li>5. 課長クラス</li><li>6. 部長クラス</li> <li>7. 経営・役員クラス</li><li>8. その他</li></ol>

回答者条件 : Q4の選択肢『1.一般クラス（正社員）』～『7.経営・役員クラス』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



**あなたのお仕事についてお伺いします。**

**あなたが勤務している事業所のおよその従業員数をお答えください。**

※本社も事業所の一つとみなしてお答えください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. わからない

回答者条件 : Q5の選択肢『2.3～10人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



**あなたのお仕事についてお伺いします。**

**あなたの会社の業種をお答えください。**

※複数の業種にあてはまる方は、主に業務を行っている業種を1つお選びください。

※勤務先（実際に働いている現場）のことについてお答えください。

1. 農業、林業、漁業
2. 鉱業、採石業、砂利採取業
3. 建設業（※建築資材・部品等の製造に関わる方は製造業をお選びください。）
4. 製造業（機械関連）
5. 製造業（金属・鉄鋼関連）
6. 製造業（電子部品・電子デバイス関連）
7. 製造業（化学関連）
8. 製造業（食品・飲料関連）
9. 製造業（建築・住宅関連）
10. 製造業（医薬品関連）
11. 製造業（化粧品・ヘアケア関連）
12. 製造業（日用雑貨・トイレットリー関連）
13. 製造業（たばこ関連）
14. 製造業（家電製品関連）
15. 製造業（自動車・バイク関連）
16. 製造業（その他）
17. 電気・ガス・熱供給・水道業
18. 情報通信業
19. 運輸業（鉄道・道路・水運・航空）、郵便業 ※「物流業」は除く
20. 物流業（梱包・倉庫・荷役）（※製造請負に関わる方は製造業をお選びください。）
21. 卸売業、小売業
22. 金融業、保険業
23. 不動産業、物品賃貸業
24. 学術研究、専門・技術サービス業
25. 宿泊業、飲食サービス業
26. 生活関連サービス業、娯楽業
27. 教育、学習支援業
28. 医療、福祉
29. 複合サービス事業（郵便局、協同組合）
30. 職業紹介・労働者派遣業・業務請負（※製造請負に関わる方は製造業をお選びください。）
31. サービス業（他に分類されないもの）
32. 公務
33. 分類不能の産業



Q7

MA



あなたのお仕事についてお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、次にあてはまるものはありますか。

1. 業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている
2. 業務の処理の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる
3. 業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している（人材派遣は除く）
4. あてはまるものはない・わからない

回答者条件： Q7の選択肢『1.業務の処理の全部...』、『2.業務の処理の全部...』の中でいずれかを選択した

Q8

MA



「業務の処理の全部または一部を他社から請け負って（受託して）いる」または「業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている」と答えた方にお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、他社(発注者)から請け負っている業務について、あてはまるものすべてをお答えください。

1. バックオフィス（経理・会計、人事・総務・庶務、給与計算、教育研修、福利厚生）
2. フロントオフィス（受付、窓口、コールセンター）
3. 情報処理（システム・ネットワークの設計・開発・運用・保守）
4. 製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）
5. 物流（輸送、梱包、荷役、在庫管理・ピッキング）
6. 技術開発（設計・開発）
7. 企画・販売（商品企画、マーケティング・調査、営業・販売）
8. 施設管理・保安（ビル・施設管理、清掃・廃棄物処理、警備・保安）
9. 食堂・売店（食堂・売店、給食）
10. その他（上記にあてはまらないもの）

回答者条件： Q8の選択肢『4.製造（製造、組立...』を選択した

表示形式： ラジオボタン

Q9

SA



前問でお答えになった「他社から請け負って（受託して）いる業務」について伺います。

あなたが関与している製造業の請負業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 自社の工場等
2. 発注（委託）元の工場等
3. その他
4. わからない

回答者条件： Q7の選択肢『1.業務の処理の全部...』、『3.業務の処理の全部...』の中でいずれかを選択した

Q10

MA



「業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している」または「業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている」と答えた方にお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、他社に発注(委託)している業務について、あてはまるものすべてをお答えください。

1. バックオフィス（経理・会計、人事・総務・庶務、給与計算、教育研修、福利厚生）
2. フロントオフィス（受付、窓口、コールセンター）
3. 情報処理（システム・ネットワークの設計・開発・運用・保守）
4. 製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）
5. 物流（輸送、梱包、荷役、在庫管理・ピッキング）
6. 技術開発（設計・開発）
7. 企画・販売（商品企画、マーケティング・調査、営業・販売）
8. 施設管理・保安（ビル・施設管理、清掃・廃棄物処理、警備・保安）
9. 食堂・売店（食堂・売店、給食）
10. その他（上記にあてはまらないもの）



---

回答者条件 : Q5の選択肢『2.3~10人未満』~『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

---

回答者条件 : Q10の選択肢『4.製造（製造、組立...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA



前問でお答えになった「他社に発注（委託）している業務」について伺います。

あなたが関与している他社に発注（委託）している製造業の委託業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 
1. 自社の工場等
  2. 発注（委託）先の工場等
  3. その他
  4. わからない

## 2. 本調査\_発注者(委託元)票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、 <b>「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している」</b> とお答えになりました。本アンケートでは、その「発注（委託）業務」についてうかがいます。 <b>合紙</b> <b>【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】</b>
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。  1. 10億円未満 2. 10～50億円未満 3. 50～100億円未満 4. 100～500億円未満 5. 500～1,000億円未満 6. 1,000億円以上 7. 分からない
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたの会社の従業員のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。  1. 10人未満 2. 10～50人未満 3. 50～100人未満 4. 100～300人未満 5. 300～500人未満  6. 500～1,000人未満 7. 1,000～3,000人未満 8. 3,000人以上 9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



あなたの関わる業務における委託業務と派遣労働者の活用状況を教えてください。該当するものを1つ選んでください。

1. 委託業務をメインに活用している
2. どちらかというと委託業務をメインに活用している
3. 委託業務と派遣労働者のどちらも同じ程度活用をしている
4. どちらかというと派遣労働者をメインに活用している
5. 派遣労働者をメインに活用している
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



■以降の設問については、あなたが関わっている委託業務についてお答えください。複数の委託業務に関わっている場合は、主な委託業務についてお答えください。

委託業務の生産品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 事務用機械器具・部品
2. 電子部品・デバイス
3. 電気機械器具・部品
4. 情報通信機械器具・部品
5. 輸送用機械器具・部品
6. 鋼材・金属
7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）
8. 食料品
9. 飲料品
10. 日用品・消耗品
11. 建築・住宅資材
12. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA



委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。該当するものを1つ選んでください。

※委託先が複数ある場合は、すべて合計したおよその人数をお答えください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. 分からない

回答者条件 : 全員

選択回数制限 : 3個 以下

Q8

MA



業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 人件費・管理コストの軽減
2. 固定費の変動費化
3. 業務量変動への対応
4. 人材不足への対応
5. 雇用リスクの回避
6. 品質・作業効率の向上
7. 経営資源・人材の有効活用
8. グループ経営への貢献
9. IT化、自動化等、技術革新の進展への対応
10. その他

回答者条件 : 全員

Q9

MA



委託業務の遂行に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 委託先の責任者に指示を行っていると思う
2. 委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う
3. 委託先の従業員に、直接指示を行っていると思う
4. 委託先の従業員に、直接指示を行っている場合があると思う
5. 指示は行わず、委託先に任せていると思う
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA



委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 委託先の従業員だけで業務を行っていると思う
2. 自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う
3. その他
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA



委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めず、柔軟に対応している
4. 分からない

回答者条件 : Q11の選択肢『1.明確になっており...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q12



委託業務の内容、範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更を行っていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. その都度行っている
2. 委託先から申し出があれば行っている
3. 契約の更新時に行っている
4. 契約を見直したり変更することはない
5. そもそも業務内容が変わることがない
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13



業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』※とあります。

あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

※労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. おおむね基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14



委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

※偽装請負とは、請負事業と称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」）

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない



回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

MTS

必

適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）
2. 製造請負ガイドライン
3. 労働契約申込みみなし制度
4. 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）

===== 選択肢 =====

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

回答者条件 : Q15の項目『4.製造請負優良適正...』の選択肢『1.名前も内容も知っ...』、『2.名前は知っている...』の中でいずれかを選択した

Q16

MA

必

Q15の（4）製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）について、「名前も内容も知っている」及び「名前は知っているが内容は知らない」と答えた方にお伺いします。それは、どの方法で知りましたか、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. インターネット
2. 新聞
3. 専門紙（誌）・業界紙
4. 労働局、ハローワーク
5. 委託先からの情報
6. 同業者（メーカー等）からの情報
7. 社内（職場）情報
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

Q17

MA

必

委託業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 発注量の正確な情報を事前に委託先に伝える仕組みがある
2. 急激な発注量の変動に対し、委託先と事前に協議する仕組みがある
3. 急激な発注量の変動に対し、委託先への支援を行う仕組みがある
4. 急激な受注量の変動に対し、協力会社（委託、派遣）を複数持っている
5. その他
6. 特にない
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q18

SA



委託業務が急激な生産減になった場合の委託先への補償についてお伺いします。該当するものを1つ選んでください。

1. 契約書等に補償の記載があり、補償を行う
2. 契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償する可能性がある
3. 契約書等に補償の記載はなく、補償を行わない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA



委託業務の料金設定、支払い方法はどのようになっていますか。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
2. 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
3. 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
4. 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q20

SA



委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金(単価)はどのようにしていますか。その対応について、最も該当するものを1つ選んでください。

1. 変えない
2. 変えないことが多い
3. 減らすことが多い
4. 減らす
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA



委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 協議に応じ、値上げを行うことがある
2. 協議には応じるが、値上げの可能性は低い
3. 協議には応じるかどうか分からない
4. 協議には応じない可能性が高い
5. 分からない

回答者条件 : Q21の選択肢『1.協議に応じ、値上...』を選択した

選択個数制限 : 3個 以下

Q22

MA



Q21で、「協議に応じ、値上げを行うことがある」と答えた方にお尋ねします。値上げに応じる際に、重視する理由を最大3つまで選んでください。

1. 委託先の運営コスト（人件費等）の増加
2. 委託業務の生産性の向上
3. 委託業務の品質向上
4. 長い信頼（貢献）の積み重ね
5. 自社の良好な経営状況
6. その他

7. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q23

MA



委託業務において委託先に求めることを教えてください。特に重視するものを最大3つまで選んでください。

1. 業務処理能力・品質
2. 委託料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 労務管理の能力
7. 専門知識・技術
8. 改善提案力
9. 会社の信頼性（法令遵守）
10. 会社の継続性（財務体質等）
11. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q24

MTS



安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）
2. 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）
3. 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 行っていない
3. 分からない



回答者条件 : 全員

Q25

MA



今後、自動化（ロボット化）・IT化など技術革新が進展するとしたら、委託業務にどのような影響があると思われますか。委託業務の今後の見通しについて、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 労働集約的な委託業務は減少する
2. 労働集約的な委託業務は増加する
3. 技術的・専門的な委託業務は減少する
4. 技術的・専門的な委託業務は増加する
5. 委託業務全体が減少する
6. 委託業務全体が増加する
7. 委託業務は特に変わらない
8. 分からない

### 3. 本調査\_受託者(請負事業者)票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、  「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる」  とお答えになりました。本アンケートでは、その「請負（受託）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。  1. 1億円未満 2. 1～5億円未満 3. 5～10億円未満 4. 10～50億円未満 5. 50～100億円未満 6. 100億円以上 7. 分からない
回答者条件 : 全員 Q4 NF	あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）  合計が100%になるように、それぞれの項目におよその割合の数字を整数で入力してください。合計は自動で計算されます。 1. 請負事業 <input type="text"/> % 2. 派遣事業 <input type="text"/> % 3. その他 <input type="text"/> %

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA

必

あなたの会社の従業員（現場スタッフを含む）のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。

1. 10人未満
2. 10～50人未満
3. 50～100人未満
4. 100～300人未満
5. 300～500人未満
6. 500～1,000人未満
7. 1,000～3,000人未満
8. 3,000人以上
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA

必

■以降の設問については、あなたが関わっている請負業務についてお答えください。  
複数の請負業務に関わっている場合は、主な請負業務についてお答えください。  
請負業務の生産品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 事務用機械器具・部品
2. 電子部品・デバイス
3. 電気機械器具・部品
4. 情報通信機械器具・部品
5. 輸送用機械器具・部品
6. 鋼材・金属
7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）
8. 食料品
9. 飲料品
10. 日用品・消耗品
11. 建築・住宅資材
12. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか（派遣労働者を含む）。およその人数について、該当するものを1つ選んでください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. 分からない

回答者条件 : Q7の選択肢『1.3人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q8

SA

必

Q7で回答いただいた人数（請負業務を行っている人数）の中で、有期雇用者（派遣労働者を除く）の占める割合は、およそどれくらいですか。該当するものを1つ選んでください。

※有期雇用者とは、契約社員、パート、アルバイト、嘱託社員などの呼称にかかわらず、期間の定めのある労働者。

1. 有期雇用者はいない
2. 1割未満
3. 1～3割未満
4. 3～5割未満
5. 5～7割未満
6. 7～9割未満
7. 9割以上
8. すべて有期雇用者
9. 分からない

回答者条件 : 全員

Q9

MA

必

請負業務の遂行に関し、発注者は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う
2. 発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う
3. 発注者が自社の従業員に直接指示を行っていると思う
4. 発注者が自社の従業員に直接指示を行っている場合があると思う
5. 発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA

必

請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 自社の従業員だけで業務を行っていると思う
2. 発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う
3. その他
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA

必

請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めず、柔軟に対応している
4. 分からない

回答者条件 : Q11の選択肢『1.明確になっており...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA



請負業務の内容、範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更が行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. その都度行っている
2. 発注者から申し出があれば行っている
3. 契約の更新時に行っている
4. 契約を見直したり変更することはない
5. そもそも業務内容が変わることがない
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA



業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要がある、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』とあります。

あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

※労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. おおむね基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

SA



請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

※偽装請負とは、請負事業と称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」）

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない



回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

MTS

必

適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目について該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 派遣事業と請負事業の区分基準（告示37号）
2. 製造請負ガイドライン
3. 労働契約申込みみなし制度
4. 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）

===== 選択肢 =====

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

回答者条件 : Q15の項目『4.製造請負優良適正...』の選択肢『1.名前も内容も知っ...』、『2.名前は知っている...』の中でいずれかを選択した

Q16

MA

必

Q15の(4)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）について、「名前も内容も知っている」及び「名前は知っているが内容は知らない」と答えた方にお伺いします。それは、どの方法で知りましたか、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. インターネット
2. 新聞
3. 専門紙（誌）・業界紙
4. 労働局、ハローワーク
5. 発注者からの情報
6. 同業者からの情報
7. 社内(職場) 情報
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

Q17

MA

必

請負業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 発注量の正確な情報を発注者から事前に入手できる仕組みがある
2. 急激な発注量の変動に対し、発注者と事前に協議する仕組みがある
3. 急激な発注量の変動に対し、発注者からの支援を受けられる仕組みがある
4. 急激な発注量の変動に対し、協力会社（委託、派遣）を持っている
5. 事業所間（本包含む）の応援体制等、柔軟に人のやりくりができる体制を整えている
6. 変形労働時間制、短時間勤務、交代・シフト勤務等、労働時間を柔軟にコントロールできる制度を設けている
7. その他
8. 特にない
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q18

SA



請負業務が急激な生産減になった場合の発注者からの補償についてお伺いします。該当するものを1つ選んでください。

1. 契約書等に補償の記載があり、補償を受けられる
2. 契約書等に補償の記載はないが、協議の上、補償される可能性がある
3. 契約書等に補償の記載はなく、補償されないと思われる
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA



請負業務の料金設定、請求方法はどのようになっていますか。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
2. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
3. 定額の請負料金が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
4. 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q20

SA



請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金（単価）はどのようになることが多いですか。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 変わらない
2. 変わらないことが多い
3. 減ることが多い
4. 減る
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA



発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の主な例について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

1. 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
2. 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
3. 協議に応じてもらえなかった
4. 値上げを申し入れたことはない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

選択回数制限 : 3個 以下

Q22

MA



請負業務を受注するために、発注者へアピールできるポイントを次の中から、最大3つまで選ん

てください。

1. 業務処理能力・品質
2. 請負料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 労務管理の能力
7. 専門知識・技術
8. 改善提案力
9. 会社の信頼性（法令遵守）
10. 会社の継続性（財務体質等）
11. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q23

MTS



安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 発注者(委託元)の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）
2. 発注者(委託元)の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）
3. 発注者(委託元)への情報（事故、注意喚起等）の提供

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 行っていない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q24

SA



請負業務の従業員が採用後1年以内に離職したおよその割合（有期の雇用契約の満了によるものも含む）を教えてください。該当するものを1つ選んでください。

1. 1割未満
2. 1割程度
3. 2割程度
4. 3割程度
5. 4割程度
6. 5割以上
7. 分からない



回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q25

MTS



請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 人材の育成（教育訓練）の実施
2. 必要な職務知識、資格等の明示
3. リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示
4. 定期的な面談による本人の希望の聴取
5. 業務や能力評価の賃金への反映
6. 福利厚生面の充実
7. その他

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 概ね行っている
3. あまり行っていない
4. 行っていない
5. 分からない


回答者条件 : 全員

Q26

MA



請負業務の従業員に今後、実施したい研修はどのようなものですか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 現場改善に役立つ研修
2. スキル、能力が高まる研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーを育てる研修
5. 「ものづくり」の基本的な知識を習得する研修
6. 安全衛生の研修
7. その他
8. 分からない 

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q27

MTS



従業員が社内の不正行為等を通報するための内部通報(公益通報)窓口や、社内トラブルや苦情等の相談窓口の設置状況についてお伺いします。該当するものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 内部通報（公益通報）窓口※内部通報（公益通報）窓口とは、内部通報制度（公益通報制度）に基づき、社内の不正行為を発見した従業員等からの報告について、上司を通じた通常の報告ルートとは異なる報告ルートの通報窓口のこと。
2. 社内トラブルや苦情等の相談窓口

===== 選択肢 =====

1. 設けている
2. 設けていない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q28

MA

必

請負業務を進めていく上で、  
「取引、料金、請負契約」  
「業務運営、職場」  
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

**取引、料金、請負契約について（最大3つまで）**

1. 契約の期間が短い
2. 直前の中途解約が多い
3. 損害賠償等不利な条件で契約を締結している
4. 定期的にコストダウンを要請される
5. 請負料金の見直し交渉に応じてもらえない
6. 料金の請求から支払いまでの期間（支払サイト）が長い
7. 同業者間の値下げ競争（ダンピング）が激しい
8. 多重下請契約になっている
9. その他
10. 特にない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q29

MA

必

請負業務を進めていく上で、  
「取引、料金、請負契約」  
「業務運営、職場」  
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

**業務運営、職場について（最大3つまで）**

1. 作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい
2. 生産性向上が思うように進まない
3. 業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している
4. 発注者とのコミュニケーションがとりづらい・取れていない
5. 従業員のコンプライアンス徹底（守秘義務等）に苦慮している
6. その他
7. 特にない

回答者条件 : 全員

選択回数制限 : 3個 以下

Q30

MA

必

請負業務を進めていく上で、  
「取引き、料金、請負契約」  
「業務運営、職場」  
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

**人事、労務、組織について（最大3つまで）**

1. 働き方改革関連法への対応によるコストが増えている
2. 人材の確保が難しい
3. 請負職場の従業員の定着率が低い
4. 教育研修、訓練が行える環境が整わず、長期的な人材の育成ができない
5. 自社の人事、配置換え等に発注者が関与してくる
6. 発注者からの人材の斡旋が来る（転籍・出向）
7. 安全衛生管理体制の組織化、強化が思うように進まない
8. 外国人労働者の活用が難しい
9. その他
10. 特にない

回答者条件 : 全員

Q31

MA

必

今後、自動化（ロボット化）・IT化など技術革新が進展するとしたら、請負業務にどのような影響があると思われますか。請負業務の今後の見通しについて、該当するものを選んでください。  
（複数回答可）

1. 労働集約的な請負業務は減少する
2. 労働集約的な請負業務は増加する
3. 技術的・専門的な請負業務は減少する
4. 技術的・専門的な請負業務は増加する
5. 請負業務全体が減少する
6. 請負業務全体が増加する
7. 請負業務は特に変わらない
8. 分からない

回答者条件 : 全員

Q32

MA

必

今後、自動化（ロボット化）・IT化など技術革新が進展するとしたら、請負業務において、懸念されること、あるいは課題としてどのようなことがあると思われますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 人材の採用・確保が難しくなる
2. 自動化・IT化に対応するための教育・研修を社員が望まない
3. 自動化・IT化に対応するための教育・研修に割く時間がない
4. 自動化・IT化に対応するための教育・研修の費用が負担になる
5. 自動化・IT化に対応するためにどのような教育・研修をしたら良いかわからない
6. 自動化・IT化に対応するための教育・研修について、発注者の協力が得られない
7. 受注や売上が減少する
8. 発注者の内製化が進む
9. 発注者の他社への委託先変更
10. 分からない

## 4. 本調査\_請負労働者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、  「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる」  とお答えになりました。本アンケートでは、その「受託（請負）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたが従事している業務の生産品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。  1. 事務用機械器具・部品 2. 電子部品・デバイス 3. 電気機械器具・部品 4. 情報通信機械器具・部品 5. 輸送用機械器具・部品 6. 鋼材・金属 7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など） 8. 食料品 9. 飲料品 10. 日用品・消耗品 11. 建築・住宅資材 12. その他



回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q4

SA



あなたが従事している業務について教えてください。主に従事しているものを1つ選んでください。

1. 加工
2. 組み立て
3. 検査
4. 梱包
5. 運搬（構内）
6. 生産（工程）・品質管理
7. 機械操作・点検・保守
8. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



あなたの現在の雇用形態について、当てはまるものを1つ選んでください。

※複数の雇用形態にあてはまる方は、主に業務を行っている雇用形態を1つお選びください。  
（以降の設問も主な業務についてお答えください。）

1. 正社員（無期雇用社員）
2. 契約社員
3. パート・アルバイト
4. 嘱託社員
5. 派遣社員
6. 日々雇用
7. その他

回答者条件 : Q5の選択肢『2.契約社員』～『5.派遣社員』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



Q5で、有期雇用社員（契約社員、パート・アルバイト、嘱託社員、派遣社員）と回答された方にお尋ねします。あなたの現在の雇用契約の期間を教えてください。最も近いものを1つ選んでください。

1. 1日単位
2. 1週間単位
3. 1か月単位
4. 2か月単位
5. 3か月単位
6. 6か月単位
7. 1年単位
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

現在の会社での勤続はおよそ何年になりますか、教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満
5. 10年以上

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q8

SA

必

あなたは、近い将来（2～5年後）に、どのような働き方（雇用契約）をしたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 正社員
2. 契約社員
3. パート・アルバイト
4. 嘱託社員
5. 派遣社員
6. 日々雇用
7. その他
8. 分からない

回答者条件 : Q8の選択肢『2.契約社員』～『5.派遣社員』の中でいずれかを選択した

Q9

MA

必

Q8で、有期雇用社員（契約社員、パート・アルバイト、嘱託社員、派遣社員）と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

1. 責任が重くない働き方をしたい
2. 契約で定められた、限られた範囲の仕事のみをしたい
3. 転勤などが無い働き方をしたい
4. 残業や休日出勤はあまりしたくない
5. 有給休暇が取りやすい働き方をしたい
6. 転職しやすい働き方をしたい／1つの会社にしがらみたくない
7. 自分の働きたい仕事につきたい
8. 正社員（無期雇用）のような研修・勉強はしたくない
9. 正社員（無期雇用）への申し入れをしたが、断られた
10. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA

必

あなたの給与の時給（日給を含む）や月給などの単価は、この過去1年間で上がりましたか。（昇給しましたか。）当てはまるものを1つ選んでください。

1. 上がった
2. 変わらなかった
3. 下がった
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA

必

あなたが従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. よくあると思う
2. たまにあると思う
3. ないと思う
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA

必

あなたが従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

1. 自社の従業員と一緒に働いていると思う
2. 発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う
3. 他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA

必

あなたが従事している業務の工程や現場において、IT化や自動化、デジタル化が進んでいますか。最も近いと思われるものを1つ選んでください。

1. かなり進んでいると思う
2. ある程度進んでいると思う
3. あまり進んでいないと思う
4. まったく進んでいないと思う
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

MTS

必

IT化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響があると思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

前問で「進んでいないと思う」「わからない」とお答えの方も、IT化や自動化、デジタル化が進んだとしてお答えください。

===== 項目 =====

1. 新たに勉強することが増えている
2. 作業がやり易く、早くできるようになってきている
3. 新しいやり方についていけるか不安
4. 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安
5. 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない
6. やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる

===== 選択肢 =====

1. そう思う
2. ある程度そう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

MTS



請負現場で不正行為を発見したときや苦情や相談ごとがある場合に、現在、在籍している会社の通報や相談をする窓口を知っていますか。また、利用したことはありますか。次の各項目について、当てはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 不正行為を通報する内部通報窓口
2. 苦情や相談ごと等の相談窓口

===== 選択肢 =====

1. 窓口を知っており、利用したことがある
2. 窓口を知っているが、利用したことはない
3. 窓口を知らない、利用したことはない
4. 答えたくない

回答者条件 : 全員

Q16

MA



現在あなたが在籍している会社で、これまでにどのような教育・研修を受けましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 現場改善に役立つ研修
2. 個人のスキル、能力がアップする研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーになるための研修
5. 「ものづくり」の基本的な知識を習得する研修
6. 安全衛生の研修
7. その他

8. 受けたことがない

9. 機会がなかった

回答者条件 : 全員

Q17

MA



あなたが今後受けたい教育・研修はどれですか。当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 現場改善に役立つ研修
2. 個人のスキル、能力がアップする研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーになるための研修
5. 「ものづくり」の基本的な知識を習得する研修
6. 安全衛生の研修
7. その他

8. 特にない



回答者条件 : Q17の選択肢『1.現場改善に役立つ研修』～『7.その他』の中でいずれかを選択した

Q18

MA



Q17で、答えた教育・研修を受けたい理由について教えてください。当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 能力を向上させるため
2. 周囲に認められるため
3. 給与等、収入をアップさせるため
4. キャリアアップするため
5. 社内の他の業務に移るため
6. 他社へ転職するため
7. 将来が不安なため
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA



あなたは、現在、在籍している会社から、あなたの今後の仕事やキャリアについての面談を受けたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 定期的に受けている
2. たまに受けている
3. 受けたことがない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q20

SA



あなたは、現在あなたが在籍している会社から、今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など(キャリアパス)を示されたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 示されたことがある
2. 示されたことがない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA



あなたの能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献を評価する仕組みについて教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 仕組みがあることは知っており、説明も受けている
2. 仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない
3. 仕組みがない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q22

SA



あなたの能力や仕事ぶりなど仕事上の貢献は、給与などに反映されていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 十分反映されている
2. だいたい反映されている
3. あまり反映されていない
4. 反映されていない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q23

SA



今後1~2年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

1. 製造業務で作業員として働きたい
2. 製造業務でリーダーや管理者として働きたい
3. 製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい
4. 製造関連ではない仕事をしたい
5. 現在、在籍する会社の他の現場で働きたい
6. 現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）
7. その他
8. 特になし

回答者条件 : 全員

Q24

MA



あなたはご自身の仕事や働き方に関して、特に何を重視していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 責任の重さ・軽さ
2. 仕事のやりがい
3. 転勤の有無
4. 給与（時給）等の処遇
5. 労働時間の長さ・短さ
6. 時間外労働（残業・休日出勤）の多さ・少なさ
7. 働く時間帯や曜日を選べること
8. 有給休暇の取りやすさ
9. 職場の安全衛生環境
10. 職場での人間関係
11. 研修・訓練など技能を伸ばす機会
12. 転職のしやすさ
13. 一つの会社にしばられないこと
14. その他
15. 分からない

2022年度厚生労働省委託事業 請負事業適正化・雇用管理改善推進事業  
製造請負事業実態把握調査 報告書

2023年 3月

---

一般社団法人 日本BPO協会

〒105-0004 東京都港区新橋4-5-1 アーバン新橋ビル9F

TEL:03-6721-5361 FAX:03-6721-5362